

1. 「福祉・保健・医療」分野

(1) 「安心して子育てができる社会」とは

内容	性別	年代
地域で世代間交流や体験活動を行っている社会を取り戻すこと。子育ては社会全体で取り組むべき。	女性	20代
核家族の中で子育てへの不安を解消し、地域社会で暖かく見守られていると実感できる社会。	女性	20代
保育所などを増やし、女性が職場復帰できる環境がある。誰でも安心して結婚できる社会づくり。	女性	20代
隣近所の付き合いがマメで、いざという時に頼れる間柄の友人がいる。金銭的な不安定さからくる心理的不安から自由である社会。社会全体が身分を保障し、子育てに協力する意識がある社会。	女性	20代
経済安定ももちろんですが、地域・社会が協力し合いながら子どもを育てられたらと思います。	女性	20代
必要ときに子どもを預けられたり、夜遅くまで預かってくれる保育所があって、地域全体で子どもを守ることができる社会。	女性	20代
保育所等が充実している。地域との関わりが密であり、自分の悩み等も相談したり情報交換もでき、子ども自身の輪も広がる。犯罪のない社会。	女性	20代
難しいとは思いますが、地域で保育所があり、見守ってくれる社会。	女性	20代
緊急時の医療や子育てに関する施設の充実した社会。	女性	20代
安全（地域の大人が見守ってくれる環境）で、保育施設が充実している社会。	女性	20代
各家庭だけでなく、近所や地域でも子どもたちに声をかけたり、気にかける昔のような温かい社会。	女性	30代
各家庭だけでなく、地域、施設が連携できている社会。	女性	30代
子育て支援事業の活動を広げ、高齢者・地域住民を一体として見守っていく環境（企業の参画）。	女性	30代
外で遊ぶ子どもが減ったような気がします。地域全体で育てるという意識で見守る社会。	女性	30代
子どもとって世間が重視しているのは幼児又は小学生ですが、成人になるまでの未成年者を社会全体がしっかり見守って育成をしていくのが、本当に安心して生活できる社会ではないでしょうか。	女性	30代
働く親として、子どもが病気になって・・・でも、どうしても仕事を抜けられない時もあるのに、職場も保育園も地域もうわべだけで、結局は何も協力してくれない。	女性	30代
地域との輪を大切に、たくさん交流の場があり、特に病気やアレルギーの子を育てているお母さんが孤立しないですむような助け合いのできる社会。	女性	30代
仕事をもつ親が、安心して子どもを預けられるコミュニティの充実。	女性	30代
建物、家や車から、大人も子どもも出ている社会地域。普通に外で子どもが遊び、大人や高齢者（地域の大人）が活動している。	女性	40代
出産のため長期休みをとることができ、町全体で子育てについて相談できる場所があること。	女性	40代
それぞれの人の違った生き方を認め合える社会。	女性	40代
家庭・地域・行政が連携して子育てを実現している社会。保育所・児童クラブ等はもちろん。産休・育休がとれる職場づくりや法律も必要。	女性	40代
地域、家庭が育成にきちんと取り組んでいく社会。	女性	40代
自分が子育てに行き詰ったり、再就職を望むときに「相談できる相手がいる」「安心して病気のとときに子どもを預けたり、もしくは休むことができる」社会だと思います。	女性	40代
まだまだ田舎的思考の人がいて、子育て＝女性、母親という意識の人が多く。その一方で、職場ではシフトの為、子どもの体調不良でさえ休めない。“あなたじゃなくても誰かみる人いるのでは？”みたいな考えをなくしてもらいたい。	女性	40代
孤独にならず、周りが支えてくれる社会。子どもを安心して預けられる所も（保育所、知り合いなど）沢山あり、社会全体で子どもを守ってもらえる。	女性	40代
地域ぐるみで声が掛け合える環境。おせっかいおじさん、おばさんがいる町。	女性	40代
隣近所の人々が気楽に声を掛けてくれる社会。	女性	40代
地域での世代交流は大切だと思う。核家族より昔のように大家族だといえるのになあーと思います。	女性	40代
様々な方面からの子育てサポートが充実し、社会で育てる環境。	女性	40代
学校、地域、保護者が常に子ども達を見守れる社会。学校が隠し事をしない。	女性	40代
個々が尊厳されている。地域の密着。	女性	50代
多様な発信網を家族、学校、教育委員会、地域で共有できるオープンな接点を数多く持つ社会。	女性	50代
子どもが地域の中で、安心して暮らせるような環境を作っていけること。	女性	50代
仕事があり収入が安定している。保育所の無料化。近くに相談できる子育てボランティアがいること。子育てに協力的な事業所、環境があること。医療費、出産費の無償化。	女性	50代
育児に関する悩み事など、気軽に相談できるサポート体制の充実。子どもを遊ばせる公園の整備。	女性	50代
地域が子育て支援をよくしている。	女性	50代
相手の立場になり考え、暴力的な行動をしない社会（言葉や上から目線な態度、自分が嫌なことは誰でも嫌なのだから）。	女性	50代
いつでも誰かが見守っていてくれる社会。	女性	50代
健康者と障害者に隔たりがなく、平等に子育てが出来る環境です（差別もなくなると思います）。	女性	50代
それぞれの家庭で子どもがのびのび育って、家以外や環境が温かく守ってくれる社会。	女性	50代
問4①の選択肢「5 企業や職場が子育てに協力していない」、「6 家庭での子育てへの不安や悩みを相談する場がない」、「7 地域が青少年の健全育成を見守ることができていない」、「8 地域で世代間交流や体験活動が行われていない」の充実した社会。	女性	50代
地域にて子どもを見守り育てていくことができる環境。	女性	60代

誰にでも我が子当然のように目を向けてあげる。	女性	60代
人の子も同じようにみんな育てる社会にしてほしい。安心して出産できるようにしてほしい。	女性	60代
地域で大人が見守る環境。	女性	60代
子どもたちの遊び場として→日曜祭日には地域の学校（高校も含む）のグラウンドの開放をしてもいい、それを老人たちが見守るようにしてほしい。	女性	60代
三世代家族生活、日本の良き文化が大切。親、子、孫と一緒に暮らす事の大切さが忘れられている。	女性	60代
むずかしいですね。子どもや高齢者が集まったりできる場所（？）がもっとたくさんあるといいかな。	女性	60代
近隣家族とのコミュニケーションがもっと上手くとれればと思う。	女性	60代
地域子どもクラブの醸成。マナー厳守、心の教育。ものづくり博物館。	女性	60代
必要な時に利用できる施設の充実は大事と思うが、親、家族の和、地域社会の和を、一人一人が命の尊さを認識することは大事と思う。	女性	60代
医療や保育所の選択に不自由しない社会環境であること。	女性	70代以上
地域少年の健全育成を見守ることで、リーダーとなる子どもの育成に重点を置いて指導する必要があると思う。わがままな子どもが多い。	女性	70代以上
昔みたいに近所を遊びまわることができたら、大人と会話することが大きくなり、いろいろと子どもたちのためになると思う。	女性	70代以上
三世代同居の推進。お互いの身になって生きる姿を子どもに見せる。	女性	70代以上
地域社会の人々が互いに助け合って生活している社会を目指したい。	女性	70代以上
成人した家族も近所の人も不安のある若い子育て家庭に暖かく手を伸ばし相談にのってあげられる社会。	女性	70代以上
昔のように若い時は、両親に子どもをお願いして、両親が年をとってくると、今度はめんどろを見える。おたがいに助け合う事。良い事ばかりはないけど、話し合う事。	女性	70代以上
生活環境、自然環境（田舎環境）を住民と一緒に学び育てて行くように希望しています。	女性	70代以上
隣近所の子を注意しても悪くとの親が多いこと。我が子は立派と思う親ばかり。今現在、親の教育から始めねば。	女性	70代以上
地域ぐるみで、もっとお年寄りとの交流をしたらいいと思う。	女性	70代以上
地域地域での世代間交流が全くといってよいほど今はないと思う。ちょっと前の日本に戻りたい真情です。	女性	70代以上
衣・食・住において安心でき、地域のつながりが深い社会。	男性	20代
地域住民が一体となって子育てを支援する。いつでも雇用できる社会になれば養育の心配が軽減される。	男性	30代
他所の子も我が子と同じ目線でほめたりしかったりできる（今は親から反発が多い）。	男性	30代
子どもたちが健全に成長するため、助け合う地域づくりをしないとイケない。	男性	30代
地域が子どもたちを見守って安全に生活できる環境。	男性	30代
社会全体で子育てができる環境。悪い子には悪い。よくないことはよくないと言える環境。	男性	30代
企業や職場、県、市町村を含め、教育支援の充実した社会。子を持つ親の教育費の負担軽減。	男性	30代
おじいちゃん、おばあちゃんが、より子どもの教育に参加している社会。	男性	30代
地域の人達が顔見知りで、みんなで子ども達を育てる社会。	男性	30代
近隣はみんな顔だけでも知っている。	男性	40代
地域一帯となり、青少年の犯罪等を防止すること。	男性	40代
地域全体的に、自分本意のことだけ行うだけでなく、もっと思いやりの地域をつくる。	男性	40代
地域全体で子ども達を見守る環境が一番大切だと思う。	男性	40代
我々の子どもの頃のように、地域、町が全体で子どもを教育する。育てる雰囲気は漂う社会。	男性	40代
どんなステージにおかれている方々でも平等に子育てができる社会。	男性	40代
地域の大人と子どもが、お互いに顔を知っており、気軽に話ができる環境。	男性	40代
佐賀県の県民性を生かした子育て。子どもを教育できる老人が元気でいられる県づくりを期待する。	男性	50代
核家族化からの脱却で、数世代の共同生活の実践。親から子、孫への教育。	男性	50代
福祉が充実し、雇用に不安がない社会。	男性	50代
地域の人々（世代関係なく）の顔がみんな見えている社会。子どもは外で遊ばない。地域の子どもクラブなどの活動が少ないから見えない。	男性	50代
隣近所の人々が我が子と思って接することのできる地域環境をつくってほしい。	男性	50代
地域の子どもには自分の子どもと同様に進んで関わりを持つことが自然にできる社会。	男性	50代
社会生活の中で高齢者が若い人に悪いことは悪いと注意できる社会。	男性	50代
ゆとりある社会。	男性	50代
学校、家庭、地域の一体感がある。	男性	50代
子育て世帯を孤立させない社会づくり。行政、公共施設制度にだけ頼らない地域ネットワーク。	男性	50代
昔のように隣近所が仲良く、怒る（叱る）ときは怒る。	男性	50代
地域（近所）の人が子どもの顔を知って気にかけてたり、声かけたり、注意してくれたり、防犯の意味でも気にかけてもらえること。	男性	50代
近所近辺の横のつながりががないために、地域での連帯感がない。もっと地域での催しごとや子どもクラブの充実を。	男性	60代
昔のような地域の教育力、家庭（祖父母がいて）というような社会が充実している。	男性	60代

政治（国）の充実化と近所付き合い（親同士）の充実化（コミュニケーション）による“見て育てる”環境の整備。	男性	60代
地域全体で子育ての社会を考えています。	男性	60代
近所のおじいちゃん、おばあちゃんとの会話、交流が足りない。年寄り話しを若い者が聞こうとしない。	男性	60代
子どもクラブの組織がなくなっている。地域全体で子どもを育てる必要がある。	男性	60代
子どもクラブ活動の充実。行事を実行するにも結果が先行（事故の時の責任）。	男性	60代
地域の子ども達ともう少し気軽に話が出来れば、大人が見てこれは悪いと思った時、直ぐでも注意が出来る様な気がするが。	男性	60代
老人施設などと共存できる子育て施設を考えるべきだ。老人だけ、子どもだけという環境は本来、人間のあるべき姿ではない。	男性	70代以上
年寄りを大切にしよう。医療とかもっと子どもを育てる施設を、順番待ちがないよう。	男性	70代以上
地域に溶け込み子育てをするような親の教育・考えを持たせるような社会でありたい。	男性	70代以上
向こう三軒両隣の様な親密なる社会。	男性	70代以上
世代を超えた対話、交流が家庭を中心に社会に広がりを持つこと。	男性	70代以上
収入が安定していること。家族関係が良いこと。他人の子どもも自分の子どもと同じ目線で見守ることが出来る。親が成長すること。	不明	70代以上
家庭だけでなく地域全体が子育てを協力し合える社会。	不明	不明
病気に子どもがなったときでも保育所等が預かってくれたら安心して仕事ができたりする。	女性	20代
保育所に子どもを預ける際、しっかりとした環境ができてる。	女性	20代
保育園にすぐに入れる環境。	女性	20代
退職しても安心して長く産休が取れるように、保育園に預けられるようになってほしい。	女性	20代
保育所、幼稚園の増加、時間の延長。	女性	20代
保育所に余裕がある。産休が男女ともとれる。地域の大人がしっかり子どもを見守る。そのような社会。	女性	20代
保育所や地域サービスが充実していて、制限が少ないと安心感がある。	女性	30代
働いている時に、病院が病気の子どもを見てくれたりしないと、子どもが多いと休まなくてはいけない日が多くなる。	女性	30代
共働きの家庭が増えているので、待機児童の絶無、また、保育時間の延長（なるべく無償で）を行ってほしいと思います。	女性	30代
延長保育や小児科などの充実。	女性	30代
日曜・祝日も関係なく、市立の保育園すべてが利用できるようになってもらえると助かります。	女性	30代
働いていても学童保育で遅い時間まで預かってくれたり、病気のときに預ける施設がきちんと整っていること。	女性	40代
子ども手当で現金をばらまくより、給食費や保育環境を充実させた方が、安心して子育てができるし、雇用が生まれると思う。	女性	40代
保育園の申し込みに市役所に行ったけど、現在仕事をしている方が優先だと言われました。子どもを誰にも預けられない人は…仕事があっても、働けない。保育園の一時保育は週3日までなのに…。とても苦労しました。	女性	40代
休日、夜間、子どもを預かってもらえるところがあると嬉しいです。学校の役員会など出かけることがあっても子どもだけ置いて行けない。	女性	40代
児童クラブなど、希望者全員がすぐに入所できる様にする。	女性	40代
働きたい時、すぐ保育所に預けられる、待機児童などない社会。退職され子育ても終わられたベテラン主婦の力を地域に。	女性	50代
保育所がない。預ける場所がない。	女性	50代
保育所の料金、所得によっての差額大きい。	女性	50代
保育所を本当に必要としている人が利用でき、又、子どもが安心して学べる小・中・高の学校が備えられ、一人一人の持ち味が尊ばれる社会です。	女性	50代
低年齢児を病児・病後児預ける所をもっと増やし、パート労働者でも、その収入に応じた費用で預ける事ができる託児所があるといいと思います。	女性	50代
いつでも24時間預かってくれる所があって、安心して働けること。	女性	50代
保育所が少なく、子どもを預けられない。学童保育も少なく、共働きの家庭が子育てに考えさせられる。	女性	50代
保育所等の充実。	女性	50代
短時間、短期間でも預けられるところがある。	女性	50代
病気をしても、みてもらう保育所、学童などがあると安心して親も働ける（看護婦さんがいるとよい）。	女性	50代
今、1年～3年の学童保育に限られているが、共働きの家庭の場合、4年生以上も利用出来た方が安心できる。	女性	50代
必要な時に障害児などを安心して預けることができるようにしていただきたい。	女性	50代
共働きの家族が多くなっているのに保育所の数が少ない。	女性	50代
私達が子育てしていた時よりも社会が子育てをサポートをする時代へと変化し、私達からするともっと早くからあったらと思う程です。共働き家庭の保育料が高額なのが不満です。	女性	50代
必要なときに保育所が利用できる。	女性	60代
親が安心して働けるための保育所や託児所の充実。	女性	60代
仕事が安心してできるよう、保育所の充実が一番大事な事と思います。心温かい保育士の育成。	女性	60代

保育所の保育料をもっと安くするようにしたらと思います。	女性	60代
お金の心配がない。保育所・学童保育の充実。	女性	60代
私自身は子育ては卒業しましたが（他県で）、田舎のため保育所が遠いように思う。	女性	60代
安心して子どもを預けられる環境。	女性	60代
会社で保育料も少しでも補助してくれれば。	女性	60代
健全なる保育所があり、安心して子どもを預け、心豊かな気持ちで育成したいものです。	女性	60代
放課後児童教室が足りないために、親が安心して働けない。それを解消。	女性	70代以上
保育所であれば0歳から預かる。帰りは遅くても7時までとか。時間外の場合は1時間（いくら）とか決めて。	女性	70代以上
親は毎日食べていくために育児放棄して夜遅くまで仕事して帰ってきていない。そんな子どもを預けられる場が必要だと思う。	女性	70代以上
共働きや片親の場合も、子どもを安心して預かる児童センターを設置し、企業や職場も子ども保育園が会社内に設置され、安心して仕事出来るような社会。	女性	70代以上
病後はみてもらえるけど、病児はみてもらえない。何とか預かってもらえる所は税金が高額である。1日、2日は何とかなるが、1週間、2週間となれば苦しい。	女性	70代以上
子育てで支援など各自自治体で色々工夫されているようですが、病後（熱があり、元気であっても）一週間は保育所など預けられない等、病後保育を考えてもらいたい。	女性	70代以上
現在、男女均一の社会ですが、知り合いの男性（60代）が無職で家にいるため、若い息子のお嫁さんが子どもを保育園に入れられないで困っています。理由を聞いて緩和してほしい。	女性	70代以上
子どもの医療に関する事柄の再検討。保育園の負担額削減。	男性	20代
働きながら子育てができるように、保育園・託児所を増設し、保育士を子どもの数に合う割合で雇用してほしい。時間も考慮して開設。	男性	20代
低年齢児をいつでも安心して預けられない。	男性	20代
子どもを預ける施設の充実や、地域の安全などが整った社会。	男性	30代
保育園料金がサラリーマンと自営業で違いすぎる。一律には無理でも、平等にしてほしい。	男性	40代
地域の公園の整備。託児所（時間外）の設置。	男性	40代
いつも保育所は定員オーバー。	男性	40代
住んでいる周辺に保育所等が必ずあること。その保育所等に小学生まで学童保育が可能であること。	男性	50代
自宅、又は学校の近くで子を預ける事ができる場所がある。	男性	50代
1時間単位で自由に子どもを預けることができる環境を整えてほしい。	男性	60代
安い保育所、また時間AM8:00~PM6:00ぐらい預かってもらいたい。又は土曜、日曜日も。	男性	60代
子ども手当などより、保育所（多少、病気であっても預かってくれる）を多くつくってくれること！子育ては親だけでなく地域でするもの。	男性	60代
保育所、幼稚園の充実、産業の発展、雇用の確保。	男性	60代
保育所を増やして、いつでも入れるように。	男性	70代以上
女性が働くとき、保育園を利用できるようなしくみ。子どもの医療制度（無料化）。	不明	30代
企業があり、子どものための施設がある事。保育園があり、子どもをあずけて安心して働ける場所。	不明	不明
夫1人の給料でも生活できる社会。	女性	20代
子どもを産んでから母親が仕事復帰できる雇用環境が整っていて、その仕事の間、子どもを預けられる施設がちゃんとある。青少年の健全育成も重要視する。	女性	20代
雇用状況、経済面において安定している社会など。	女性	20代
保育所があり、仕事が続けられる社会。育児休暇の助成がある社会。	女性	20代
働き続けられる環境。	女性	20代
仕事と育児が両立しやすい社会。	女性	20代
小さい子がいても障がいを持った子がいても安心して親が働けるような社会。	女性	30代
職場が子育てに理解があり、地域で安全であり、親にあまり負担がかからない（お金はもちろんだが、送り迎え他いろいろ）。	女性	30代
仕事をしながらも子育てできる社会。	女性	30代
子どもがいるとなかなか仕事がないので受け入れてくれるような会社が多くなればいい。	女性	30代
育休中の給与、生活保障、アルバイト、パートは地位が低く、会社の定めている規約には当てはまらない事がある。	女性	30代
働いても子どもが急病など、休みたいときに早く休ませてもらえる。共働きでも夫婦が協力して子育てできるように職場の理解がある。	女性	30代
本当は女性まで働く必要がないように、男性の方に収入があれば良いのですよ。女性まで収入をほしいから保育園が必要になるのでは。	女性	30代
子育てにもお金がかかるため、共働きをしなくてはならない環境だが、企業の受け入れ体制が全くできていないところが多く、再就職もできない。	女性	30代
自分の子どもは自分で3~4歳まで育てる。育てたい！とみんな思っている！！専業主婦の保証はされない。間違った世の中だと思う。夫の給料だけで暮らせるように考えてほしい。	女性	30代
産休や育休をもっととりやすくしてほしい。制度はあっても働けなくなったら辞めざるを得ない感じに持っていかれるのが現状。ある程度、人数の社員がいる職場には託児所を設けてほしい。社会全体、企業が本当に協力してくれないと、育てる前に不安がありすぎて産みたくない。	女性	30代
小さい子どもがいるとなかなか就職がない。	女性	30代
育児と仕事（収入）が両立できる社会。育児（妊娠、出産後）の社会復帰ができる社会。	女性	40代

会社と家庭が両立されていること。	女性	40代
少なくとも3才までは母親が家にいて、子どもと向き合い、その後の再就職が約束された社会。	女性	40代
産後、職場復帰しても安心して働ける勤務条件。	女性	50代
上記のように必要な時に利用できるようになって欲しい。職場、企業の理解。	女性	50代
職場などの協力で、子育てができればよい。地域で安心して子どもを預けられるセンターがあればよい。	女性	50代
職場の上司が理解してくれる社会。そしてその職場の周りの人たちも理解してくれる社会。	女性	50代
企業や職場に子どもを預かる施設があれば、また、利用できる施設があれば若い職員、従業員の方たちは安心して仕事復帰できる。そしたら生活も助かる。	女性	50代
子育て、介護中の人少しシフトダウンして、時期がきたら復活できる社会。	女性	50代
子どもを中心として企業も協力をして具合が悪くなってもみてくれる人がいない時は休みがとりやすい社会。	女性	50代
勤務先が子育てに協力する体制（例えば短時間勤務についての理解）、地域のお年寄りなどの協力を得、子育てをする家庭をボランティアで支援する等（子どもを預かる等）。	女性	50代
税金で給料を取っている公務員の場合だけは、出産してから2年でも休めるが、一般の会社員は辞めなくてはならない。それっておかしいでしょう。	女性	60代
児童手当など個人ではなく施設に支給して、安心して働ける環境を作って頂きたい。	女性	70代以上
共働きの時代となった現在、働きながらも子どもの目が行き届けることができるような職場の協力。	男性	20代
安心して仕事をできるような職場環境。	男性	20代
子育てに協力する企業が増え、安全で遊べたり学んだりできる社会。	男性	20代
地域、企業、職場が協力して子育てをしていく社会。	男性	20代
まず、子育てをする親が安心して働く、安定した給与をもらうのが一番であり、その為には企業誘致、中小企業の育成が急務であると考えます。	男性	30代
行政の協力（制度化）、職場の理解と協力。	男性	40代
年齢に関係なく仕事を受け入れてくれる会社であって欲しい。40才～50才でも、仕事は出来ます。	男性	40代
女性の職場への復帰が促進されていること。	男性	40代
子どもが病気がとれて、心が不安定になったとき、親が側にいられる社会。	男性	50代
共稼ぎ世帯が、病気が子どもを安心して預けて働ける社会。	男性	50代
子育てをしながら仕事ができる環境が整っている社会。	男性	50代
企業が子育てに協力すれば安心できると思う。	男性	50代
雇用が少ない。金が安い。	男性	50代
所得の安定と低額保育場所。	男性	60代
両親が安心して仕事ができる事。	男性	60代
親が安心して仕事ができること（保育所がない、金額的に高い等）。	男性	70代以上
育児休暇がとれて、又、職場復帰が出来る社会が望ましい。	男性	70代以上
夫婦がお互いに仕事ができ、子ども、孫たちが安心して生きられる日々がきたらなと思います。	不明	不明
書籍販売に自主規制が働き、幼い人間の目にふれるすべてが安全。歩きタバコ、公共の場での飲酒を法的に禁止。未成年非行を注意できる社会。	女性	30代
子どもたちだけでも外で外で遊ばせることができる社会。昔ながらのよさが今は全然ない。	女性	30代
子どもを安心して預けることができること。女性は安心して働けません。人口が少ない私たちの地域では、ベビーシッターもいませんので。	女性	30代
犯罪のない、治安のよい社会。	女性	30代
犯罪がない社会。	女性	40代
犯罪などのない社会。	女性	40代
公園が少ないし、ここ数年で不審者が増え安心して子育てができないので、親子でスポーツ（無料で）などをすることができるグラウンド、施設があればいいと思います。	女性	40代
子どもの安全第一の社会。	女性	40代
見守り隊など、小学生の通学時に必要なくなる社会。	女性	40代
子どもの登下校に不安がない。安心して遊ばせられる場所がある。社会のルールをきちんと守る大人がいる（子どもの手本となる人）。	女性	40代
道路の歩道設備状況が悪い。交通マナーの悪い人が多すぎる。佐賀県警は昔から免許取得も甘いとされているが、佐賀に来てわかった。安心して道を歩きたい。	女性	40代
子どもひとりでの留守番もできる、安全な社会。	女性	50代
治安が良く、安全で、地域が子どもを見守れる社会。	女性	50代
昔みたいに子どもたちが外で遊ばない。交通事故、犯罪が多い。それらのない世界。	女性	50代
一見して変質者とは見えない人がいて、油断できない。	女性	60代
危険な場所をなくして安全な策など作ってほしい。	女性	70代以上
あまりにも犯罪が多くなった日本。小さな孫を持つ祖母として、夕方迄と遊園地で遊んだり、ひとりで近所の実家位は行ける、安心の出来る社会を願う。	女性	70代以上
防犯。野生動物が民家に近づいたときなど自己防衛しかない…不安。	女性	70代以上
数年前より治安が少しずつ悪くなっているため、治安が良い社会生活。	男性	30代
小学生が一人で外で遊べる。教育費が本当に不要なこと。	男性	40代
犯罪や事故に遭わない社会。但し、親の考え方が多様化しすぎ。野放図になってきているのではないか。	男性	40代
治安が良く、家族や地域の中で支え合うことができる社会。	男性	60代

当地区は中山間地の為、環境は良く子育てには良いと思うが、県道に歩道がなく危険な状況。通学路の整備が必要。集団登校しているが交通安全の解決になっていない。	男性	60代
通学路の防犯策で街路灯や防犯カメラ等を取り付け、犯罪から守る環境をつくる。特に、中山間地域においては街路灯が少ない。	男性	60代
低所得者への子育て支援がきちんとされている。	女性	20代
医療費の無料化と私立高、私立大、国立大の入学費、学費を安くし、進学しやすい環境をつくること。	女性	30代
他県は乳幼児の医療は無料である。	女性	30代
子どもの医療費は他県では小学校卒業まで無料化になっているのに、子どもが多い佐賀では親の負担が重い。	女性	30代
子ども手当・高校無料化より、もっとすることある。給食無料（中学まで）とか、もっともっと。頑張っても頑張っても大変な人を助けてほしい。	女性	40代
中学卒業時まではいろいろな分野でお金の負担ができるだけ“少ない”状態。無理でしょうけど、病児を預かってもらえたら助かると思います。	女性	50代
以前に比べると医療費、子ども手当等の補助があり、金銭的には楽だと思うのに、甘えすぎていませんか？	女性	50代
離婚をして実家に子どもを連れて帰ってる孫に、両親（嫁の）と一緒にだからと母子手当を出せないというのはおかしいと思います。年寄り年金生活しているのに・・・。	女性	60代
お金がなくても安心して子育てができる環境。	女性	60代
子育てでお金に困る事がない社会。	男性	20代
教育にお金がかからない社会。	男性	20代
子育てしていく上でお金がかかりすぎる（病院・保育園等）。通学路にガードレールがない。	男性	30代
他の市町村では子どもたちの医療控除が認められている（小6年）。佐賀市も対応してほしい。	男性	30代
医療費の無料化を小学生または中学生まで対象とする。	男性	40代
医療費無料。低所得者への子どもの手当等。	男性	50代
給食費無料化。	男性	70代以上
子ども手当はいい事の一つだと思うが、家族の収入上限は当然あるべきだと思う。	男性	70代以上
公園など子どもが安全に遊べる場所が多くある事。	女性	30代
佐賀市や、やや大きい町は児童館等があり利用できるが、小さな旧郡部の町は、まだ自由に行ける場が少ない。	女性	30代
子どもが安心して遊ぶ場所がない。常に親の目がないといけない。	女性	30代
近所の子どもたちが集える場所。親子で集いゆっくり過ごせる児童館や公園が自分の住む地域にはないので・・・。	女性	40代
子ども達がのびのび遊ぶ場所がない。例えば公園など。	女性	50代
都会等の遊べる公園等が近いところがないなど。	女性	60代
子ども達が自由に遊べる広場があればいいな。	女性	60代
のびのびと外で子どもが遊べること。	男性	20代
地区により、教育区とかあまり評判のよくない校区があると聞きます。どの地区も親が安心して教育をお任せできる状態になってほしいです。	女性	30代
いじめがどうして起きるのか、教育に関係する人たちが真剣に考え対処してほしい。親の学校への口出しも、先生方の質が良くないのでは。	女性	50代
今の子どもは思いやりと痛みを知らない、限度を知らない。教員が体罰という言葉で縛られ、大事な事を教えられなくなっている。	男性	40代
いじめのない学校。	男性	50代
誰にでも挨拶ができるような生徒を育てる先生をつくること。先生の教育。	男性	60代
道徳・論理が不足しているので、その点の教育。	男性	60代
夜間、子どもが急に熱を出したりしても近くで行ける病院がある。	女性	30代
病児保育、医療面の負担の少ない環境。	女性	40代
子ども専門の心療内科医がいないので、気軽に通える所がない。どこも予約を取るところからはじめねばならず、時間も合わない。	女性	50代
環境、文化がきちんとしている。	女性	20代
社会かどうかと考える前に、子育てをする親がどうあるべきか考えることが先だと思う。	女性	30代
道など整地されていて、徒歩圏内で学校や買い物、病院があり、安心して生活出来る（理想だけど・・・）。	女性	30代
子ども手当などやめて、その分を医療、福祉、教育にお金を使った方がいいと思います。	女性	40代
もっと物価が下がって消費税も増えないで、物価が安定している社会。	女性	40代
ほしい情報をすぐ知ることができる。	女性	40代
親が時間がとれなくても、いろいろな体験ができる環境が整っていること。	女性	40代
子どもがいないのでわからない。	女性	40代
二世帯同居。	女性	50代
両親の休日が土・日曜日と決まっていけないのに、どうして子どもだけ休みにする。何をもち決めるのか、何かあったとき、誰が責任とる。国、県！！	女性	50代
生活にゆとりをもって子育てができること。	女性	50代
そんな社会はありえないと思う。自立を目指す考えを教えることが大切と思う。	女性	60代
国の政策に信念がないし、政治家自身、良い事・悪い事を理屈で行わず、現実の状況を知り、実行に移す。	女性	60代

子どもを安心して任せられる人がいる家庭である事。	女性	60代
子どもを親が小学生になるまで必ず育てる。親がまだ子どもだと思えます。(娘の親御さんが甘やかし過ぎる。実家に頼りすぎ)。	女性	60代
近くにリサイクルの名義で車の解体をされて、昼夜お構いなく騒音がし迷惑しています。	女性	60代
自分が子育てをしていないから、私は子どもの子守りをしないのでよくわからない。	女性	60代
人と人との思いやりがない事。人と他人の事、人間性がない。	女性	60代
75歳にもなれば、保育、学保などあんまり考えたことがない。	女性	70代以上
昔と比べ、十分すぎると思います。	女性	70代以上
核家族の生活があまり良くないと思う。	女性	70代以上
男性も子育てをする事。	女性	70代以上
暴力団等、反社会的勢力がゼロの社会。1億人いて1人でも反社会的な人がいてはダメ。	男性	20代
社会自体が働く事よりも子育てが重要である事が常識となっている事。	男性	20代
大人が子どもの理想であり続ける社会。	男性	20代
子どもがのびのび生活できること。	男性	30代
0~2歳児を保育所などに預けず、配偶者を働かせずに生活できる社会。赤ちゃんや幼児が母親といるのが当たり前。育児サークルなどつくっても、ほとんどの人は働いていて利用できないのでかたただけ。	男性	30代
子どもに自由があるようで自由がない。電子化が進みすぎている。情報が多すぎる。	男性	40代
ゆとりが親自身にない為、子どもとの時間がとれない。高齢地域が増えて、若い働き手が他県へ出てしまう。	男性	40代
町内が寂しすぎる。人がいない。商店があつていい。	男性	40代
地方の(特に佐賀県)景気対策を何とかしなくては、この問題は解決しない。	男性	50代
共働きしなくても子育てができる社会。子どもが小さい頃は母親と一緒にいることがベストだと思う。	男性	50代
世の中が戦争などがなく平和であること。地域社会の安心安全、働く場があること。子どもたちが希望溢れる中で生きられる社会。	男性	50代
核家族が進み、本来あるべき死生感の体験や、親子間でのコミュニケーション不足で、各々が「自分さえよければ・・・」というふうな考え方に偏っている。	男性	50代
その時その時の生活が苦しいので、4ヶ月に1度の児童手当では助かるが、結局子どもの為にはまわらず、支払いで終わってしまう。	男性	50代
常識のある大人の中で育てる。	男性	50代
差別、いじめ、暴力とか親子含めての教育の場。	男性	50代
24時間対応できる相談窓口の開設。若い母親は何でもない事で悩んでいる。	男性	50代
明確な区分判断ができない。経済的側面ばかりが強調されすぎである。他の面からの判断必要。	男性	60代
問4①の1~8の選択肢を満足できる社会。	男性	60代
子育てとは何を目的としているのか?どんな子を育て上げたいのか、目的が分からない(健全な子はどんな子)。	男性	60代
社会常識のルールを守る事。	男性	60代
子ども手当など、やらない方がいい。税金の無駄だ。子どもは親が頑張って育てるもの。	男性	60代
相談窓口、アドバイス、病院、保育所、費用等の充実。	男性	60代
自由の、はき違いのない社会。	男性	60代
働きたい。→パートに出る。→子どもを保育園に預ける。パートの収入の1/2の支出はいたい。(保育料は高い。収入は少ない。)→その上、子の病欠その他で職場に迷惑をかける。→仕事でくたくた。収入も思うほどではなくなる。→悪循環。	男性	60代
子どもがいないのでわからない。	男性	70代以上
忙しくて他人の子を見てる暇がない。	男性	70代以上
子どもが独立後の親子関係ができない社会になってしまった。	男性	70代以上
今日の子どもを育てるときに、母親は他人つまり幼、保といった施設に頼ることが子育てによくはない。3歳迄は母親が自分で育てること。	男性	70代以上
子育てが終わり、子ども達とは離れて暮らしているので、手当てさえ出せばよいという考えは違うと思う。	男性	70代以上
昔のように外には主人だけ出て、主婦は内にいて、専業主婦で暮らせるような世の中になってほしい。	男性	70代以上
お互いにいたわる心がけが最も大事だと思う。	男性	70代以上
今の若い母親は自分の立場を理解してない。自分勝手だ。	男性	70代以上
戦後すぐの時代に子を産み育てた者には、現代は恵まれていると思うが、今は世の中複雑になり、どこまで要求できるか、それは国の行政に関わってゆくとと思う。	不明	70代以上
子育ては済み、わかりません。	不明	70代以上

1-(2)「高齢者や障害者などだれもが地域で生活しやすい社会」とは

内容	性別	年代
地域イベントで高齢者や障害者とコミュニケーションをとれるような地域社会。	男性	20代
①にも言えることだが、子育てや教育の段階で、日常的な異世代交流、身近な地域の人々との触れ合いがオープンに行われる社会。本人が受け入れようと入れまいと、自分とは異なる立場や特徴を持つ人々が存在するということを認識させること。	女性	20代

地域で生活するとき、周りのバックアップが必要なので、理解してもらって助け合える社会が生活しやすい。	女性	20代
思いやりを持ち、その人の立場になって考えることや、お互いに住みやすい地域にしようと思う。 個人・家族・企業の集団。	女性	20代
自然に風景の中に溶け込んでいくくらい当たり前のように生活しているように見えます。しかし、時には身の危険を感じることもあり、そうした不意の、こちらが予測しえない分まで含めて、それを事故にならないよう未然に防ぐことができ、はじめて互いに生活しやすいと言えらると思う。一概には言えないが、やはりイレギュラーに対してサポートするという考え方で福祉は成り立っていると思う。逆に言うとノーマルが、そちらに対しても思いを致すことも必要である。	女性	20代
まず、高齢者・障害者に対する人道的関心を持つて人間を育成。「政治に関する仕事をしている方々は、もっと高齢になってからの生活保障、安定を考えた政治をしてほしい。それが確実ならば多額の年金、税金を支払うのは苦にならない」と思う人が少なくなる社会だと思ふ。	男性	20代
高齢者や障害者、地域の小中学生や保護者みんなが触れ合える地域のイベントがたくさん行われる社会。	女性	20代
高齢者を家族だけでなく、地域全体で見れる社会。	女性	20代
ハード面は勿論だが、ソフト面での協力、理解が得られるよう、普及していく社会。	女性	20代
福祉にかかわる人が多く（高齢者・障害者1人にかかる人数が多い）理解のある社会。	女性	20代
高齢者なら高齢者とまとまるのではなく、いろんな立場の人が交じり合った社会。	女性	30代
地域のつながりを強くする。	男性	30代
障害者に対するいじめ等が多い。	女性	30代
発達障害は、なかなか障害者とまでは見られないので、高齢者も同じですが、色々相談できる集える場所があるといい。イベントを起こすなど。	女性	30代
障害者への偏見のない社会。	女性	30代
一人暮らしを一人ぼっちにしない声かけのできる社会。	女性	30代
障害の知識がなさ過ぎて、どのように接していいのかわからないので、障害を理解する場と高齢者の方には、今まで培った物を出せる場の機会を多くつくってあげる社会。	女性	30代
高齢者・障害者に対しての偏見がない社会。そのためにもっと知識の共有・理解を進めてほしい。	男性	30代
高齢者、障害者が相談、情報、支援を求めなければならないのではなく、高齢者、障害者へ相談情報支援を積極的に発信してほしい。	男性	30代
世間が障害者に対し健常者とは違う偏見の目でまだ見る人が多い。	女性	40代
地域のつながりがある社会。	男性	40代
誰でも少々は不自由を感じているくらいの社会。たくさんの種類の不自由を支えることができる、人が気付くことができる、余裕のある社会。	女性	40代
心の余裕が人々にある社会。	女性	40代
みんなで手を取り合って生活できる社会。	男性	40代
人の心の中に「差別」や「優越感・劣等感」といった感情が少ない社会で、相互秩序の意識が高い社会だと思います。	女性	40代
1つの町単位で衣食住ができ、世代間交流もあり、自給自足（野菜づくり等）の生活があり、人々が必要とされる同居型の社会。	女性	40代
地域と社会が協力できること。	女性	40代
独居老人のための交流会開催。点字図書室の設置。手話通訳者のレンタル。成人障害者のための交流会開催。	男性	40代
交流、やはり地域の付き合い。お互いの家族を知っていると、改めて生活しやすい社会と考えることはないのに残念です。お互いの家族などを知っていると、やはり手助けをしてやると思ふ。助け合いですね。	女性	40代
高齢者や障害者を理解する教育を、学校教育としてではなく、社会教育として取り組める環境（地域の大人が高齢者、障害者を見守る姿を子どもたちに伝える）。	男性	40代
地域の人が高齢者や障害者を理解し、思いやることのできる社会理解を高めるための講習会なども開設されるとよいと思ふ。	女性	40代
誰もが（高齢者も障害者も）社会参加、社会とのつながりをもてる社会。	女性	40代
地域での世代、人々の交流が少なすぎる。そういうことをきっかけに、地域の人々がお互いを理解し合える社会。	男性	50代
現代は凄まじいスピードで発展している。しかし、本来の人間性、愛国心など何か急ぎすぎて人に対する思いやりが欠けている。	男性	50代
認知症になると、地域社会から隔離されてしまう。老人クラブの行事、地域の行事にも参加させて、地域とのつながりをもって年老いていく人を見守ってほしい。たとえば集会で粗相をしても、非難せずみんなて温かく受け止めてほしい。誰でもいつかは年老いる。	男性	50代
老人が町の中で立ち寄れる場所が少ない。	女性	50代
みんな一丸となって何でも参加する場がない。又、周囲への理解が足りない気がする（自分さえよければ・・・ではダメと思ふ）。	女性	50代
家庭の中に閉じこもりがちにならないで、地域へ出て行ける環境がある社会。	女性	50代
あなたの存在そのものが価値があるのですと、どんな人も大切にされる社会です。	女性	50代
差別心のない社会。	男性	50代
子どもの時から、高齢者や障害者への理解をあたり前に受入れる教育（道徳）の啓発で、そばにいろのが普通だと感じられる社会。そこから次のステップへと続くのではないのでしょうか。	女性	50代

認知症の理解が少なく、地域での生活がむずかしい。ひとり暮らしの人が他者とのコミュニケーションとる場が少ない。	女性	50代
社会全体、教育全般に効率主義、能力主義が優先している。もっと大きな見方のできる社会づくり。	男性	50代
高齢者や障害者などという隔たりが多すぎる。もっと交流してほしい。お互いに甘えがあるみたい。	男性	50代
障害者が差別されない。	女性	50代
高齢者や障害者が家にひきこもらない、地域の方がもっと関わっていける社会。	女性	50代
安全で、安心して暮らし、相手の気持ちを思いやる対話のある生活。	女性	50代
高齢者のコミュニケーションの場所がどこにあるか、情報が皆無です。	男性	60代
偏見だらけの世の中で生活しやすい社会なんて到底無理。	女性	60代
地域、地域の集会所（コミュニティー）がもっと身近にたくさんほしい。	男性	60代
地域（自分の家の近所）にいる高齢者や障害者に対して無関心な人が多いように思います。	女性	60代
障害者が地域の中で安心して周囲の方達と理解し、共有できる環境をつくってあげる。	女性	60代
助け合いの精神。	男性	60代
特別な人としての目でみないこと。普通にお付き合いできること。	女性	60代
好きな時に自由に行ける出会いの場があれば良い。	不明	60代
心の支え合い。人権、人格の尊重。	女性	60代
高齢者が生活するための支援体制（交流できる場）ができていないこと。	女性	60代
特に障害者に対する社会の援助のあり方が構築されて、一般に知らされる社会であってほしい。	男性	70代以上
思いやりのある社会。	男性	70代以上
昔のように隣近所との交流の復活。	男性	70代以上
なにかの場合、手を差し伸べてくれる地域の支援体制。	男性	70代以上
お互いに自分が考えていることなどを自由に話しあえる友人をたくさんつくることと思う。	女性	70代以上
独居老人など日ごろ集まって話し合える場所、「寄り合いサロン」の充実。	男性	70代以上
県で行われているいろいろなイベント等、日・時・場所等の明記がない。高齢者に対する利便性、人間交流の場など考えてほしい。	女性	70代以上
若い人から声をかけてくれる社会。	女性	70代以上
助け合う社会であってほしい。	女性	70代以上
私は障害者です。第一に健康に気をつけて、毎日が勉強と努力です。地域の方とうまく交流していく事です。くよくよしない事。	女性	70代以上
高齢者、障害者のふれあいが出来る施設のイベントの機会、又は、生活相談窓口。母子・父子の生活支援と低所得者の生活保護に力を入れている社会（家庭訪問）。	女性	70代以上
障害者だからと特別視はいらないが、障害者用トイレと書いてあるのに、健常者が入っていて、困ってお願いしたら「障害者もへったくれもあるもんか」という言葉が返ってきたとき涙が出てとまりませんでした。障害者は外出時など水分制限し、いろんなことに気を使い出かけてるのに、そんな考えのある人がいるのが悲しいですね。	女性	70代以上
高齢者が孤立しない地域が良い。	女性	70代以上
定期的に家庭の様子を聞いてくださる方がおられたら、また、相談の場所があったら暮らしやすくなるかとも思います。	女性	70代以上
もっと皆が思いやりをもってほしい。子どものいいところを見つけて褒めて伸ばしてほしい。	女性	70代以上
おかげさまと感謝しあえる社会。	男性	70代以上
国・県・市町の助成も必要ですが、地域のボランティア的な助けが必要と思う。	男性	70代以上
老人も邪魔者ではないよと言える意識ある者が最も大事かなと。	男性	70代以上
自分を含めて身近な人々の交流から。何かヒントが出てきそうな気がしますが・・・。	女性	70代以上
昔のような隣近所仲良く助け合う、話し合える社会。今は車時代で挨拶も頭だけ下げて通る、薄っぺらい感じ。忙しいのかなあ。	男性	70代以上
助け合う事です。	女性	70代以上
人それぞれの思いやりが必要だけどそれが足りない。	男性	70代以上
高齢者も障害者も周囲の人達から変な目で見られない社会づくりが必要だと思います。差別のまなざし0（ゼロ）運動を！！	男性	70代以上
お年寄りが孤立しないよう、気軽に出かけられるつどいの場所があればと思う。	不明	不明
身近な方が優しくしてくださる社会だと思います。	不明	不明
高齢者、障害者が1人暮らしでなく、家族と住んでいる社会。福祉サービスが十分にあるとよい。	女性	20代
見守ってくれる保健師やボランティア（民生委員）の数が地域によってバラつきがあるので、どこでも一律のサービスが受けられる。	女性	20代
ホームヘルパーがいつでも来てくれる、また、病院が通える範囲内にある。	女性	20代
自分が年老いて人の世話になるとき、一人ひとりを尊重し、できるだけ自立に近いような生活ができるような施設やサービスがあってほしい。	女性	30代
高齢者、障害者が、いきいきと生活するのに必要とする援助がある社会。	女性	30代
介護施設が少ない！	女性	30代
所得に関係なく、誰もが介護を受けられる体制づくり。	男性	30代
高齢者・障害者は体が不自由な人達なので、そこら辺を考慮した私生活のサポートを、又支援出来る社会。	男性	30代
施設、サービス等が不足がないような社会。	男性	30代

特別養護老人ホームやグループホームがもっと増えて、職員の人数ももっと増えていったらいいなと思います。	女性	40代
必要な支援が受けられ、その支援に関する情報が行き届いている社会。	女性	40代
必要なサービスが限度なく利用できる制度。また、サービス選択の幅が狭い。融通が効かない等の問題を解決したら。	女性	40代
地域で支え合える社会になること。介護の体制が充実することは大切であるが、それが画一的で、サービス毎に担当者が変わることが果たして高齢者に良いことかどうか。	男性	40代
利用しやすい施設が整っている（安心できる）。	女性	40代
福祉行政が整い、誰もが生きがいを感じられる社会。差別をしない社会。	男性	40代
北欧みたいな社会保障が整備されている社会。そのためには消費税など上げて構わない。	男性	40代
宅老所や障害者支援施設（パン屋・菓子店等）が町内に必ず1箇所以上設置してあること。	男性	50代
まずは、困った時に相談（対応）できる窓口がはっきりして、対処してくれること。	女性	50代
施設を十分に利用できる支援体制を整えて欲しい。	女性	50代
24時間、いつでも困った時に対応してくれる人がいる社会。	女性	50代
私の家族にも高齢者がいます。もし介護が必要になった時に、すぐそれができるか心配です。人の話によると、なかなか介護認定が遅いとか聞きますし、その費用も多額になるとも聞いています。家庭の事情で仕事辞める事もできないので、その時はどうしたものかと考えています。	女性	50代
相談支援が信頼関係が構築されていないような気がします。安心して何でも相談でき、本音で話ができるという気がします。市直営だと支給量を減らすことばかり考えて、現実の生活を困らないようにという視点がなく、制度を盾に出来ないことばかりを言われるようです。	女性	50代
高齢者の暮らし・・・一緒に暮らしたい家族。しかし、地元で仕事なし。障害者・・・佐賀では引き受けてくれる施設がなく、県外に委ねている。そのため、利用料が高くなり、支払いのため仕事へ。家族崩壊。	女性	50代
高齢者や障害者を預かる施設が不足していると思う。また、預かる施設があったとしても、現在の利用料の金額では、低所得者では利用できないため、もう少し考えてほしいと思う。	女性	50代
1人暮らし高齢者の方が施設で生活しようと思っても入所費用が高額なので入所出来ないのが実情だと思います。	女性	50代
高齢者が自立した生活を送るための介護の体制を充実。	女性	60代
介護体制や周囲の理解が十分に得られる社会。	男性	60代
医療と介護の連携で、一定期間を経過すれば退所するのではなし、一連の介護を伴う病院への入院等、社会的システムが必要では？	男性	60代
高齢者は障害者の方も、ある程度自立した生活ができる社会。	男性	60代
希望するとき（年齢、体力、気力、経済力）に、希望するサービスが受けられる社会。	男性	60代
国・地方行政と民間（諸団体）ネットワークの連携によるサービスの向上を目指す。	男性	60代
高齢者が入る「施設」があったらなあー。	男性	60代
いろいろ利用できそうですが、お金のことを考えるとと思うようには・・・。	女性	60代
コミュニティービジネスもできる、食事付賃貸マンション（ケアハウス）。	女性	60代
高齢者の入居する施設の費用が高額すぎて、一般人は利用できないのではないかと思います。	女性	70代以上
障害者になった人に対して、どのような手続きをして何のサポートをえられるか、まったく説明もなくわかりづらい。高齢者、障害者は自分で行動できない人が多いはずなのに、もっと優しい県になってもらいたい。	女性	70代以上
施設に入所せずに最期迄家で暮らせる様にヘルパーさんの充実。	女性	70代以上
障害者が希望通りに利用出来る施設が欲しい。	男性	70代以上
福祉が充実している社会。	不明	不明
高齢者の自立した生活を送る施設が少ない。	不明	不明
高齢者、障害者雇用の増加。	女性	20代
高齢者や障害者が活躍できる場を設けた地域社会。	女性	20代
障害者も高齢者も保護されるだけでなく、社会の一員として役割を果たすことのできる社会。	女性	30代
障害者が働く場が少ないので、もっと多くの雇用、また、障害者が働いた場合、給料（賃金が安い）が少ないので、両親が亡くなった場合のサポート。	不明	30代
年金だけでは生活できないため、働きたいけど働ける場が少ない（時間帯など）。	女性	30代
もっと高齢者や障害者の方の働く場を多くしたらいいと思います。	女性	30代
社会活動をする場が本当に年寄り臭く、高齢であっても若々しい方の足が遠のいている。結果、老齢になった時に孤立を生んでいる。	女性	30代
健常者、障害者の区別なく働く場所があり、みんなが共に生活している社会。	女性	30代
高齢者など集まって話をしたり、勉強をしたりする。また、楽しめる場所がない。楽しんで生きることが必要と思う。行政に求めても仕方ないと思いますが。	女性	30代
障害者の雇用は企業に割り当てるべき。定年後の高齢者にも知識を生かして働ける環境をつくるべき。生きがいのある生活を。	男性	30代
高齢者でも障害者でも健常者になん、すばらしい面を持っていると思うので、その分野を十分に伸ばし、社会貢献していただける領域までもっていけるような社会。	女性	30代
自分の能力にあった仕事ができる社会。	男性	40代
精神障害者の場合、身体面でのハンディは少ないことが多く、公的に就労の機会を作り出す体制を創出して欲しい。全国に先がけて行おう位の先進性を期待する。	男性	40代
働く場所がある事。	女性	40代
誰もが役割を持ち、生きがいを感じながら生活できる社会。	女性	40代

高齢者にも仕事がほしい。	男性	40代
障害者ですが働く場所がほとんどないし見つけることがむずかしい。	女性	40代
高齢者でも、ワークシェアリングの導入等で、柔軟な雇用を通して、社会的な担い手の一員としての誇りが持てるような社会。	男性	50代
高齢者であれ障害者であれ、自らできることはやり、生きがいを持って生きていける社会。人や行政を頼るばかりでなく、それぞれが自立できる社会。なにもできなくなってしまわれた高齢者の方や障害者の方にはもちろん支えが必要です。	男性	50代
活動したり収入を得ることが基本的に可能であることに加え、他者の状況を自分に置き換えられる心の豊かさがある社会。	女性	50代
高齢者という介護問題しか話し合われていないような気がします。介護を必要としない健康な高齢者が、人生のリタイア後に生き生きと暮らせる場面が少なすぎます。「生涯学習」という考え方があり、各市町等にも「課」の設置はあるが、実際にそこで何が行われているかが見えてこない。	女性	50代
高齢者雇用。シルバー人材バンクの充実。	男性	50代
高齢者や障害者に働き場地域活動の場の紹介や相談支援が気軽にできる施設があればいい。	男性	50代
高齢者、障害者とも自分の能力に応じた仕事を与え、社会の一員として認められること（偏見や差別をなくす）。色々なサポートが整っている。	女性	50代
高齢者、障害者にちょっとした働く場があればいいと思う。	男性	50代
できる範囲での仕事の提供をする職場がある社会（最低賃金が邪魔している）。	女性	50代
普通の企業でも障害者を10人以上と、職場でも笑える環境であってほしい。	女性	50代
高齢者や障害者へ対する助成制度を柔軟に対応できる仕組みが整っている。働く場や生活の援助など、それを相談支援する役所自体の理解がきちんとできていること。現状では役所の対応が悪い。弱者に対して。	女性	50代
今から高齢者・障害者が多くなる。市は前者の人が働きやすい所を誘致してもらいたい。	男性	60代
一度、就職したら65歳まで長期に勤務できる態勢を整えてほしい。	男性	60代
高齢者、障害者、簡単な仕事が楽しみながらできる場があることと、1日を家の外で過ごせる支援センターなどあるといいと思います。	女性	60代
ときには高齢者にも何かできないか……。したいようなときもある。	女性	70代以上
高齢者が社会の一員として役割がほしいと思うが、体力が十分でないのをよく考えて行きたい。	女性	70代以上
花づくりや手入れをする機会があってありがたいと思っています。	女性	70代以上
自立心がなかった時代に育った人が自ら進んで社会の一員の自覚がなく、受身ばかりになっていると思う。自分も役に立つことができるのだと、何高齢者自身も気づけば、高齢者の生きがいが生まれ、福祉にかかる金も減ると思う。	女性	70代以上
障害者の働く場がほしい。	女性	70代以上
高齢者が元気なうちは、もっと働き口が有ると良い。	女性	70代以上
高齢者や障害者が安心して働ける場所。老人の施設が少ない（武雄市）。	不明	不明
高齢者や障害者を受け入れる企業や施設の充実と、それを支えるスタッフの充実した社会。	不明	不明
十分な経済的な支援体制。賃金の格差のない社会。	男性	20代
介護や医療の費用負担がもっと少なくなり、地域で支え合う社会。	男性	20代
低所得者層と高所得者層の格差をなくす。	女性	20代
両立しやすいように、支援できるようにしてほしい。	男性	30代
年金で十分に生活出来る社会。	女性	30代
母たちを見ていると、支払いが多く、税金、保険、年金は少なく、お金がかかるという不安な気持ちになります。60歳以上にお金がかからない社会にしてほしい。	女性	30代
貧乏な家庭でもそれなりに豊かで満足した生活を送れる社会。	男性	40代
最低限の生活ができる社会。	女性	40代
高齢者でも看護・手当支給・税金が高すぎる。年を取りたくない。不安になる。	女性	40代
障害手帳（A、B）を持っている方は医療費は無料にして欲しい。	男性	40代
生活上余裕がある人々が少ない。少ない年金から医療・生活費など出費が大きい。どの家庭も高齢者などだけでなく。	男性	40代
同居の場合で、介護必要な時は相当な負担になっているのが現状。それを解決した時。	男性	40代
小学生までは、医療費を1割負担してほしい。	女性	40代
周りの方を見ていると、どうしてもお金の苦労が家族の大きい悩みとなっているように感じます。障害者にさらに手厚い金銭的支援が必要と思います。	男性	50代
年金（国民年金）の範囲内の金額で、最低限の生活ができる社会。	男性	50代
負担のない最低保障。	男性	50代
老後（将来）の生活が保障されている社会。	男性	50代
所得に応じた対応が必要。	男性	50代
高齢者が家族に頼らずに生活できる社会になってほしい。	女性	60代
本当の障害者に対して生活支援体制がなっていない。	男性	60代
国民年金だけでは高齢者は医療費もかかるし、介護料は引かれ、自分は受けられず生活が大変。生活ができない。	女性	60代
高齢者の負担が大きい。	男性	60代
高齢者や障害者、病人は医療費等で出費が重なるので、収入によって生活に幅があります。我々も毎月それで通帳と睨めっこしています。	女性	60代
国民年金が少なすぎて、老後の生活ができない。自由業は退職金もないし、家を建てて、子どもを学校にやると、後、何も残らない。	男性	60代

障害者に対して手厚い保護。金銭的問題はすべて保障。	男性	60代
医療費の無料と税金の無料。	男性	70代以上
富裕者だけが優遇されない社会。	男性	70代以上
保険料、介護保険の値上がり高すぎ。年金は上がらないのにいきなり上げる。	男性	70代以上
年金を充実させた老後の安心できる社会がほしい。	男性	70代以上
高齢者の医療が高すぎて、低所得者に対しての社会を考えてほしい。	男性	70代以上
年金だけで家賃（医療費、長期入院）など、生活がままなりません。	女性	70代以上
年金から引かれる税金は少なくして、明るい老人の暮らしやすい社会にしてみたい。	不明	70代以上
高齢者の年金生活が厳しく、医療の面をもっと考えて、負担のないようにしてほしい。	女性	不明
ユニバーサルデザインの物が増え、誰もが安心して暮らせる環境が整った社会。高齢者や障害者が一人暮らしをしている場合は周りが気にかかる。	男性	20代
坂道が無い道路だらけ。	男性	20代
商業施設等も完全バリアフリー化する。独居老人に対しても、地域の人々が積極的に関わりを持つ。	女性	20代
立場、権利の尊重。スーパーや道路など、もっと行動しやすくする。	女性	20代
生活保護の申請者・継続内容が甘すぎて、他の事業に使う費用が削られている。佐賀人・九州人の心をアピールして、ユニバーサルデザインの活性化を期待する。	女性	30代
近所に車椅子での生活をしている人がいるが、歩道が狭かったり、バリアフリー化が不十分であり、思うように動けない様な声を聞いた。その辺りの整備が必要だと思う。	男性	30代
一番わかりやすいのは、歩道や街の整備。佐賀はまだまだ遅れていると思う。	男性	30代
私自身が障害者です。私が住んでいる町は道路に面する歩道がほとんどないので、車いすやお年寄りが安心して外出したくても危ない時があります。車が猛スピードで通る、隅っこを歩かなくてはなりません。歩道があっても昔ながらの物でお年寄りがカートを押したり車いすで登ろうと思っても高い段差があつてムリです。	女性	30代
介護タクシーや車いすの方が安心して外出できる段差の少ない町。	女性	30代
町営住宅の建て替えなど、バリアフリーやコーポ形式の住宅設置など、高齢者対策に町がやるべきことがあるのでは？	男性	40代
そのような人が使えるトイレ等が充実していること。	女性	40代
外出したとき利用しやすいようにユニバーサルデザインの充実。	女性	50代
ユニバーサルデザインが普及し、他の人への思いやりが出来る社会。	女性	50代
車イスの人が道路の段差をなくしてほしい。	女性	60代
歩行者、自転車道の整備。	男性	70代以上
①バリアフリーの生活が出来るように。 ②近所の人々から見守っていただいていますので幸せです。	女性	70代以上
自由に出かけたくなるような交通の便が充実していない。なかなか外出しないと思う。	男性	30代
高齢者でも買い物等、移動するのに困らない環境。	女性	40代
高齢者の移動手段が少ない（医療機関等）。	男性	40代
高齢者は車の運転ができなくなる場合が多いので、せめて町内くらいは無料バスを1時間に1本くらいあれば助かると思う。障害のある方も同じ。	女性	50代
行きたい時に手軽な交通手段があり、買い物等に近くに行けること。	女性	50代
子どもと同じく通勤時間帯は外出できないので、老人は見かけない。また、武雄市のみんなのバスに期待している。	男性	60代
伊万里に私は住んでいますが、佐賀まで直通で行く交通手段がないのですよ。これにはおどろきます。伊万里からだ2回以上は乗り換えないとはいけません。	女性	60代
高齢者の為にもう少しミニバスとか交通利用を考えてほしい。	女性	60代
買物・医療・交通をどうすればいいのか。	男性	60代
生活するために必要な交通網、市内中心へのバス路線の回数が少なくなったり、廃止などで不便している。	女性	70代以上
病院や施設への送迎車が来て下さるから助かっています。	女性	70代以上
身近に高齢者がいないので、現状がわかりませんが、家族の負担（精神的・金銭的・肉体的にも）が少しでも緩和されるような社会的なシステムがあれば、少しでも多くいいと思います。	女性	30代
介護する側のプライベートを尊重してほしい。	女性	30代
家族介護の負担が大き過ぎるので、もっと家族の負担が減るように。	女性	30代
ボケてない高齢者と同居している家族は大変です。世話している家族のケアをしてほしい。	女性	40代
本人や家族を常にサポートできる行政のシステム化と専門家の育成。	女性	40代
難しいのでよくわかりませんが、障害者をもつ両親の大変さ、独居老人が多くて増えているなど、支援がないと生きられない。将来の不安などが無い社会。	女性	50代
社会的弱者と言われる児童、それを養護する親は、専門施設へ通う場所が近くにないため負担を強いられる。気軽に通えない。	女性	50代
介護施設の料金が安い。家で介護する人の大変さをもっと知ってほしい。	女性	50代
介護をする側の人間に対しても考慮してもらいたい（例えば付き添いの者に対して交通機関等を無料にしろ等）。	女性	50代
介護者の負担が軽減できるような福祉サービスがあり、家族が大変なあまり親を見捨てないような環境。	女性	60代
高齢者社会の中で、若者が減る一方。高齢者の医療制度などはいろいろと充実しているが、負担のかかる若者の健康のサポートも考えるべき。	女性	20代

彼らが自分を弱者だと考えずに、何事にも行動する精神をもっている社会。	男性	20代
子どもは将来の宝となる。指導者は口ばかりで実態は違う。	男性	20代
悪徳業者が一時的プレハブなどを建て、高額なものを買わせている。高齢者がもっと自由に買い物のできる環境をつくることによって、地元の商店街などが活気づくと思う。	男性	30代
障害者の家族も安心して外に出て行けること。高齢者に対しては十分であるようだ。	女性	40代
無理して地域で生活する必要があるのかわからない。	女性	40代
自助と共助がうまく融合している町。	女性	40代
自分が考える場所に自由に暮らせる。	女性	40代
話は違いますが、我家も障害者を抱えています、申請窓口を一般の人と同じに役所がなっているので変えてほしい。周りの人に話を聞かれないので。	女性	40代
乳幼児の医療費は他県にかかるその後からの申請で、手続きが面倒。全国统一にしてほしい。	女性	50代
老人が元気で生活している姿をあまり見ない。	男性	50代
家族と一緒に生活。	男性	50代
介護をする方達は、公務員にするべきだ。そうしないと、あんなに安月給では誰も働かない。	男性	50代
県の南西部に住んでいる者にとって、医療機関の貧弱さが際立っている（いい病院が少ない）。	男性	50代
地域の高齢者は自分達が頑張っていると思うし、町役場もよくしている。	女性	50代
CS（化学物質過敏症）はやっと病気として認定されたばかりです。障害者手帳の交付対象となれば周囲の理解ももっと得やすいのではないかと思います。ケミカル害に対する啓発活動行ってください。	女性	50代
自立して一人で暮らせる事。買い物など便利な事。	男性	50代
全員が安心して生活できる社会。	男性	60代
高齢者や障害者と共に暮らしていく中で、何か問題が起きた時に、それを解決できるシステムが確立していること。	男性	60代
高齢者や障害者の別々の園を作る。	男性	60代
すべての高齢者・障害者が平等に住み慣れた地域での生活を支えるため、各人の生活支援コストのすべてを公開し、平等に検討すべきでは。	男性	60代
年金ぐらしの方や、子育てのおわった人等、何か人様のお役に立てるはずなのに、その術も、受入れ先等のネットワークシステムが何もないので、助けがほしいのに「手」が借りれない。助けてあげたいのに「手」の行く場がない。	男性	60代
行政や地域の順応性次第による。	女性	70代以上
外部に見え難い老人虐待（主に精神的）。そんなときは、普通の人間は助ける手立てがない。最後は心の病になって自殺もしかねないです。	不明	70代以上
高齢者問題に直面していないのでわからない。	男性	70代以上
個人情報保護法などで昔のような自由がない。	男性	70代以上
若い人の働く場が少ないので外に出て、老人などばかりの隣近所となった。若い人が働ける場所づくりが一番必要。	女性	70代以上
孫に対して子と祖父母との関係が今はどうもゆかない。	男性	70代以上
今の教育では無理でしょう。指導的立場の人が実践していない。建前ではダメ。	女性	70代以上
現在は社会、他人に依存する意識が強すぎて、自分の力で何とかしようと考えない。	男性	70代以上
息子が障害者だが、福祉の担当者が事務的。	男性	70代以上
近年、一般にプライベート感が強く困っていると思える方に対し、善意でも相談を持ちかけることが難しい。	男性	70代以上
今の私は地域の環境はいいと思います。	男性	70代以上
問4②の理由の1(高齢者が役割を果たす機会)・2(高齢者自立のための介護体制)・11(UDの普及)・12(低所得者への生活支援)はあたりがしっかり構築されることを望みたい。	男性	70代以上
身体障害者と認定されれば病気でない。マッサージとかに行き医療費の無駄使いと思う。	男性	70代以上
一人暮らしの老人の援助。孤独死をなくすための方法。(例)異常があるときは門に赤旗をかけるとか、援助体制をつくる。	男性	70代以上
年金、医療、介護などが中央、地方で整備されて安心して暮らせる社会。	男性	70代以上
役所又は、指導して頂く場所の方は、その場限りでなく踏み込んで対応、又はお世話して頂ければ幸いに存じます。	男性	70代以上
公務員制度は誰でも社会の一員として、諸公務に少なくとも二、三回(諸省庁)勤務体験をするよう義務付けるべきです。そして、そこから高齢者・障害者と差別しない、みな平等の社会という観念を育てていくべきだと思います。	女性	70代以上
子どもと同居しておりますので、今は満足した生活を送っております。	女性	70代以上
私も高齢になりました。体力も弱りました。いつも思うのは、省庁や官公庁に書類を手続きをするときですが、市役所に行って、又県庁などの離れ行くのに余りにも離れすぎ遠いのです。同じにまとめて市病院もすぐ隣で手続きがスムーズであってほしいと願っています。	女性	70代以上
安心できることがあればいい。	不明	不明
よくわからないけど、安心して生活ができればと思います。	不明	不明

1 - (3) 「健康的な生活が送れる社会」とは

内容	性別	年代
いつでも無料で人間ドックができる社会。	男性	20代
上から下まで健康診断を行う（精神的な面も）。仕事は残業を少なくし、休みを増やす。	女性	20代
気軽に健康診断を受けられるように、企業や職場に検診車が来てくれる。	女性	20代
人間ドックなどの検診が気軽に受けられる体制である事。企業に対して、各病院の医師がついている事。	男性	20代
検診の補助、病院の確保。	女性	20代
検診をもっと身近に感じられるように、いつでもどこで検診が受けられるかなどをたくさんアピールした社会。	女性	20代
がん検診の受け方がよくわからない。病院の位置を載せた地図の配布がほしい。	女性	30代
検診の機会と種類を増やしてほしい。ワクチン接種の補助をもっと積極的に行ってほしい。	女性	30代
若い人でも病気にはなる。40歳以上からの検診では遅い。20代でも肺・胃・大腸ガンなどの（乳ガンも）検診に補助してほしい。	男性	30代
生活習慣を改善するには、検診の普及率が低い。年1回では少ない。子宮がんワクチンの補助も確立していない。中絶率の高さは性教育の低さも感じる。	女性	30代
がん検診も2年に1回じゃなく毎年あればいい。	女性	30代
病気、寝たきりになる前に予防、検診が充実した社会を望みます。	女性	30代
社員やパートは健康診断が義務付けなのに、アルバイトは対象外など、希望者はすべてできるように行政から指導してほしい。	女性	30代
20代でも30代でも、ガン検診を市町村（安いので）受けられるようにしてほしい。	女性	30代
検診の受診率が高く、社会ぐるみで病気の予防に取り組んでいる。また、そのPRにも力が入っている社会。	男性	30代
定期的に検診、相談を受けられる機会を増やし、早期発見、治療が施せる社会。	男性	30代
人間ドック等もっと若い年齢でも、小額の負担で受けられればいいと思う。	女性	30代
誰もが定期的に健康診断を受けられる社会。	男性	30代
だれでもが平等に健診が受けられる社会。国民保険は町で健診が受けれるけど、社会保険は会社で受けられない人は町では受けられない。	女性	30代
乳がん検診は30歳以上、毎年受診できること。	女性	30代
旧市町村の時は検診があったが、合併して検診を受けることができなくなっている。	男性	30代
無料検診の充実。地域に無料で参加できる運動やジムの普及。	女性	30代
健康について不安のあるときに相談できる窓口があり、健診等の受けやすい社会。	女性	40代
異常を早期発見できる制度がある。初老期からの活動性をあげる（身体・精神的にいい効果あり）。	女性	40代
健康診断が年に1回あっていて、吉野ヶ里マーチなど、体を動かす取り組みがあっているので進んでいると思う。	女性	40代
子育ての中でなかなか検診に行く機会がつかれない。	女性	40代
やはり、早期発見だと思えるので、検診だと思います。小さな子どもがいると行くことができません。つつい子どもが先になり、検診に託児サービスがあるといいと思います。	女性	40代
もっともっと無料で受けれる機会をとってほしい。	女性	40代
まだ企業によっては健康診断を行っていない会社などある。	男性	40代
町で基本健診が受けれるようにしてほしい（社会保険の家族ということで、町のが受けれない）。	女性	40代
がん検診を受け損ねてしまう人が多い。その場合は必ず個人に通知や連絡を取るという行政の努力。	女性	40代
皆が平等に検診を受ける環境になっている。	女性	40代
がん検診が気軽に受けられない。	女性	50代
安い料金でいろいろな検診を受けられるようなシステムの充実。	女性	50代
毎年、男性、女性に関するがん検診があってほしい。女性のがん検診が2年に1回は心配だ（町の健康検診）。	女性	50代
がん検診などもっと受ける機会を多くし、だれもがぜったい受けることと思う。	男性	50代
仕事に行っているのに年に（土）又は（日）が一回は少なすぎる。検診の話です。	男性	50代
検診のことをもっと町全体で大々的に宣伝したり、いつでも受けれるようにしてほしい。	男性	50代
検診など安心して受けられるが、親身になって相談を受けてくれそうなベテラン医者（人生経験豊富）がいなく、若い人に相談したくない。	女性	50代
健康診断を受け、食生活に注意し、体を動かせば健康に暮らせると思います。食や物に贅沢しないこと。	男性	60代
今回、特定健診を受けて自分の身体の基本的な数値を知りました。検診など積極的に受けるようにしたいと思います。	女性	60代
予防や健康診断にもっと力を入れるべき。病気にならないように。	女性	60代
がん検診家族に病人がいると出かけられず、一緒に病院へ行ったとき検査したり、回りの環境に恵まれることです。	女性	60代
がん検診とか無料にして（公費助成）健康推進する。	女性	60代
今住んでいる町では、子宮ガンの検診は一年おきになっています。毎年の健診が希望です。	女性	60代
数年前より健診が2年に1回になったので毎年あった方がよい。	女性	60代
健康診断をみんなが受けて元気な体になること。	女性	70代以上
問4③の4、5の徹底的なものを考えてほしい。	女性	70代以上

どのガン検診も年齢ごとに分けて受けるようにし、又、季節ごと、今現在流行している感染、難病を町内放送で伝えて、生活習慣病を防ぐように地域ごとにパンフレットを渡す。	女性	70代以上
すべての病院・医院で何のがん検診ができるのかの情報がない。	女性	70代以上
難病の発見がおくれる等、早期発見の機関が必要と思われる。	男性	70代以上
ライフステージに応じて変化する生活習慣や環境を理解し、心身ともに健康で、それぞれが自己実現に向けて努力するさま。	女性	20代
万人が健康に関し、正しい知識を持ち（食生活についても）、健康を保つため、運動する機会が沢山あり、社会的にも健康であること、運動することが奨励される仕組みのある社会。	女性	20代
自分自身による生活習慣の管理をすることが第一。	男性	20代
目標をしっかりと設定し、行政においてもそれを支援して頂ける社会。	男性	20代
禁煙。	女性	20代
もっと情報を流して、すべての人が健康に対し意識を高めよう社会。	男性	20代
家族を基本に生活習慣が身についていること！	女性	20代
誰かに何とかしてもらおうことを考えないで、前向きに自分で努力していける社会。	女性	30代
予防を意識するための、病気に関する情報が得られる社会。	男性	30代
健康であるかないかは個人の考え次第。みんなが心身ともに健康であると自信を持って言える社会。	女性	30代
自分の考え方だと思う。	女性	30代
自己管理は勿論だが、地域などでも定期的な検診。年齢問わず運動ができる場所があるなど、一体となった取り組み。	女性	40代
人任せにならず、自分からもっと健康を追求していく行動。	男性	40代
自分の体が動く間は「晴耕雨読」ができ、近所の人ともコミュニケーションのとることができる環境。心身ともにいきいきとできることだと思います。	女性	40代
日常の健康管理ができること。	女性	40代
社会の責任ではなく、個人の責任の部分が大きいと思う。	女性	40代
病気になったときの医療機関の設備もだが、まず病気の予防を徹底させることに重点を置くべきだと思う。	女性	40代
たばこの危険がわかっているが、しかもその講義をしながら、実際はそれに従事している、例えば教師や医療関係者の一部の人は吸っておられる。たばこを全く売らないでほしい。	女性	40代
個人の生活態度によるものが大きいと思うので、社会的に相談窓口は設けてあると思います。	女性	50代
地区の公民館等で月1回以上の巡回相談、健康セミナー等を実施する。	男性	50代
天災に備える知識と人の和があること。健康な自然（水・空気など）を保つことと人類よりも地域の都合に視点がある中で営む社会。	女性	50代
食生活習慣等、生活習慣病については無料で行われる行政の取り組み等はできていると思います。ただ、問題を抱えている人のフォローをいかにするか重視されていない気がします。本来健康な人が健康に送れる社会とは、ボリュームを支えている人たちが文化、スポーツ等によって、明るく充実した毎を送り、地域に参加する場をつくることだと思います。なんか、働き盛りの人への行政サービスが全くみられない。	女性	50代
自身の健康管理。	男性	50代
食育や運動で健康になるよう、もっとアピールする。	女性	50代
生活習慣病をなくす為に、専門的な指導ができ、判りやすい生活が送れる。	女性	50代
小さい頃からの生活習慣が大切。親としての自覚がない家庭の子ども達は大変だと思う。教育の場での徹底した知識習得が必要ではと思う。	女性	50代
健康的食生活習慣が身に付いている。	女性	50代
子どもにきちんと食育の教育をし、生涯自己管理して、できる限り健康に暮らしていく社会。	女性	50代
もっと予防医療に力を入れて、病気や寝たきりにならず、健康で毎日を過ごせる社会にしてほしい。	男性	60代
個人の自覚が必要であるが、やはりテレビや講演会にて素晴らしい人生の過ごし方等、強く生きるための心の持ち方等、国民に伝える。	女性	60代
行政の方々もそれぞれの分野で取り組んでおられますので、本人の自覚問題とされます。	女性	60代
何が健康なのか自覚すること。	女性	60代
自己管理。	男性	60代
事件・事故・災害・災難の少ない環境に住んでいるので、健康に対する自己管理が出来る社会に暮らしていると思う。	女性	60代
心身共に育ってきた人だったら送れている。	女性	60代
生活上、自己管理ができる一般教育がほしい。	男性	70代以上
上下水道も通ったし、空気もまあまあきれいだし、自然もまだまだ豊富で、本人が健康に気を付けるといいところだ。	不明	70代以上
自分の健康は自分でつくる。あまりにも行政が面倒見すぎだ。また、人も行政に頼りすぎ。	男性	70代以上
「健康的な生活を送ることができる環境」という目標はあっても、それを本当に理解し悩み、自分のこととして受け入れることができる、または、できるように導く人がいたらと思います。	女性	70代以上
自分に対する甘えを少しでもなくす。健康な体は（自覚）。自分に厳しく、他人様に優しく（私のことです）。	女性	70代以上
インフルエンザにしても口蹄疫にしても過剰反応のしすぎではない？ちゃんとした情報の伝達をして！！	男性	70代以上

国産のものが食べられるような経済の状態であること。働く場所があること。予防の医療が充実していること。	女性	20代
お米やお野菜など、佐賀産のものは美味しいと思います。食生活はいい環境だと思っています。散歩したり子どもが遊べる公園も少し足をのばせばたくさんあり、いいと思います。	女性	30代
様々な健康に対する働きかけを行っても、受ける側の人々の意識や行動がともなっているのか・・・。食育といわれているように子どもの頃からの教育を、先日行われていた食育フェスタのように続けて行ってほしい。	女性	30代
地産の食料を手に入れることが出来る。	女性	30代
自分の健康は自分で守る医食同源の理論を深く理解し、食改善の中で健康を目指す社会。	女性	30代
適切な値段で、安全な食物が手に入ること。	女性	40代
食の安全について考えてほしい。	女性	40代
食育が大切。地産地消できる社会。	女性	40代
本当に健康な食べ物を食べ、思いやりのある社会。	女性	50代
健康的な食生活習慣が身についている。	女性	60代
腹八分目の食事に基づいた生活を継続すること。	男性	60代
新鮮な食材が手に入り、ストレスの少ない生活環境の中で暮らせること。	男性	60代
高齢者の食事研修を受けた。健全な生活ができるようにするために施設がほしい（小さいところでもよい）。	女性	70代以上
健康的な食生活習慣が私にはいいと思います。	男性	70代以上
少なからず体に影響のある食品添加物の食品と、安心できない外国製が店で多く販売され、利用されていることが気になる。	男性	70代以上
私どもが住んでいるところは、生鮮食品が少ないので、少し遠いところまで行かねばならない。	男性	70代以上
仕事の内容になるが、昼休憩は1時間必ず取るなど、サービス業や夜勤などで生活が不規則になるときはそれを徹底する。働きすぎはよくない。	女性	20代
不景気の影響で長時間労働して稼がないと生活できない。ゆとりある生活まではいかなくても、生活的にも精神的にもゆとりがほしい。	男性	30代
家族で夕飯が困る社会（そのためには勤務時間など考慮してほしい）。	女性	30代
仕事、プライベート、どちらも充実できる時間が取れる社会。	男性	30代
具合が悪くなったら無理せず病院に行けるような職場がある社会（皆が同じ環境の中頑張っているのので、「辛い」と言えずに倒れた方を何人か見ました）。	女性	30代
健康は病院ではなく、労働基準法が意味あるくらいに労働時間を減らし、運動、睡眠のバランスもとる。平日でも運動施設を利用、活用する。	男性	30代
時間に追われることがなく、規則正しく生活できる社会。日常生活で歩くことができる（会社も店もバス停も遠く、本数もなく、ドアからドアに車で移動はNG）。	女性	40代
生活苦である家庭が増えている。増えれば子どもはふえない。会社（大手企業）の賃金の見直し等、上下の差をなるべくなくしたい。	男性	40代
もう少し生活にゆとりがある社会。忙しい人間と社会的に休日がある人、暇な人、怠けている人がもう少し平等に。	男性	50代
産業など他の県と比較して、佐賀県は特に北部地区では働く場所が少ない。	男性	50代
ゆとりのある生活ができる社会。	男性	60代
まず人々、皆が働けるようにする。3～4時間。	男性	60代
主婦は主婦らしく、世帯主はそれなりに自覚がある家庭。	女性	60代
余暇の時間がある社会。	男性	60代
昼間、働いて夜しか自由な時間がないが、夜は周辺が暗くて危険で外に出られない。	男性	20代
運動公園のように、気軽にジョギングなどをする場所がある。	女性	20代
運動する場所がない。	男性	30代
月に1回「運動デー」みたいなものをつくってみては。	男性	30代
個人単位でのスポーツクラブ参加は可能だが、家族単位では商業的活動しかできない環境。公園の整備を再度検討し、すべての世代が外で過ごす環境が欲しい。	女性	30代
休日には手軽にスポーツ等、気軽に出来る。	男性	40代
都市部の遊歩道の整備。	男性	40代
集落単位で健康増進運動。	男性	50代
身近に（車の運転ができなくても）低料金もしくは無料で自由に利用できる、誰でも出来るようなスポーツ施設があるといいと思う。	女性	60代
適度なスポーツ大会の開催。	男性	60代
町が小さいことでもあります、健康的な遊び場や楽しく送る場所がない。家での引きこもり、それか病院に行くこと。	女性	70代以上
歩くこと。	男性	70代以上
いろいろ健康を支える運動。自宅のできる、一人のできる。指導者がおられるといい。	男性	70代以上
病院の開院時間を延長してもらいたいです。（たとえ週1回であっても。仕事をしていると病院に行きたくも行きません）。	女性	30代
平日は働かないとお金にならない。休日も安心して平日のように病院にかかりたい。	女性	30代
充実した医療施設。	男性	40代
医療機関が夜間受付、休日受付できないのだろうか。	男性	40代
病院に（高齢者なども）通いやすい。	女性	40代
重病をわずらった時にかかる病院が、やはり近くにはないと思う。	男性	50代

病院に通っても、薬ばかりでなく、他のケアなど相談・指導する。	女性	50代
病院は検査や投薬で私腹をこやし、患者は支払額が大きくなり、病院へ足が遠のく。	男性	60代
医療施設（総合的な）の充実がない。	不明	不明
総合病院が近くにない。車で30～40分かけないとないのは・・・。	不明	不明
衣食住に困ることがなく、近所と仲良くできる。	男性	20代
現代社会は不安が多くあり、悩みをだれもが持っている状態。それを少しでも無くす為には、声掛けが大事だと思う。役所の人間は近所の人を把握し、挨拶するなど人とのつながりを持たせる。	男性	30代
地域の中で集まり、一人にさせない事。	女性	50代
1人暮らしの高齢者の自宅を定期的に訪問してほしい。	男性	60代
毎日の生活に不安がなく、趣味や生涯学習などを通して人との交流が出来る社会。	女性	60代
一人暮らしの場合、すぐそばに相談できる人（場所）がある。	女性	60代
地域での生活全般についての会合を設け指導をしてもらうこと。	女性	70代以上
お互い話出来る社会。相手がいて自分のことを聞いてもらえることが一番いいと思う。	女性	70代以上
一日の時間を正しく送り、皆様といろいろなる行事参加。	女性	70代以上
佐賀県は教育県のせいか隣近所の交わりが少ない。老人の一人暮らしが多いなか、若い人や近所の人の老人に対する声かけが少ない。不安である。	女性	70代以上
やはり貧乏な家族や失業中の人も健康で健全な生活が送れる社会。	男性	40代
会社倒産の方へは仕事が見つかるまで失業手当を受けさせる社会を作りたい。	男性	40代
70歳になって、病院に入院している人の話を聞いて、年金だけで入院できる社会になってほしい。	女性	50代
今の時代は何をするにも金、金、金。もっと金のいらぬ時代にしてください。	男性	50代
高齢者でも1ヶ月の年金がもう少しないと生活が成り立たない。これが、すべてを解決するように思う（国民年金では生活できない）。	女性	60代
福祉、年金。	男性	70代以上
子どもたちを安心して病院に連れて行けない（金銭面で）。	不明	不明
以前、うつ病の友人のことで、ボランティア団体に電話して相談したことがあるが、最後には別のところで相談してくださいと、相談を投げ出されたことがあった。そんな相談員に幻滅した。もっと真剣に取り組んでほしい。	女性	30代
身体的健康は、生物である以上「死」を誰もが向えてしまう。精神的な健康（社会不安による自殺・精神病など）が保てる社会。	男性	50代
服薬管理ができない方、アルコール、たばこに依存されている方、心の健康に対する相談が充実すると良いと思います。また、思春期の心のケアも大切だと思います。	女性	50代
自殺者の分析が出来ていない。逆に避けている（借金に対する自殺支払い）。	男性	60代
若年者や中高年者の自殺、野宿生活、殺人等のない安心できる社会。	男性	70代以上
自然がたくさん。	女性	20代
自給自足。	男性	20代
騒音に悩まされることがない。自然が豊かである。	女性	20代
ストレスがあればうまく発散できる場がある社会。	女性	20代
明るく元気に誰もが生きていければいい。	男性	30代
地域、企業での精神的弱者（うつ病、対人障害）などの人のケアが、まったくなされていない。	男性	30代
自殺者が3万人を（年間）こえている昨今。うつ病や悩みをかかえている人たちの理解が足りないのでもう少し対策を考えてほしい。	女性	30代
人が個人の欲を出さないこと。緑豊かな町であること。	男性	30代
心のケアができる社会。	男性	40代
水、空気が汚れていない環境。	女性	40代
簡単に予防対策ができる環境が整っている。	女性	40代
差別なく誰もが幸せを感じる社会。	男性	40代
いきいきとした人が笑顔で生活できる社会体制が充実している。	男性	50代
施設の充実。	男性	50代
あたりまえに生まれ育ち、教育や医療を必要なときに受けることができ、"田園・文化都市"として佐賀県や地域社会が成熟し、働く場に恵まれる社会・・・。	男性	50代
ゴミは燃やしてはいけない事になっているが、自分の家のゴミを他家の所で燃やす人がいて、すごく不愉快しています。臭いがきついため（ビニールを燃やす人がいる為）。	女性	50代
生活苦等、相談しやすい対策。	女性	50代
衣食住に関わる中で、害のあるものをできるだけ避けて生活できるように整えて過ごす社会だと思います。	女性	50代
質問が抽象的で範囲が広すぎる気がします。どうにか衣・食・住は整っていますので、次は意欲（やる気）を出せる社会かな？	女性	50代
重症のES・CS患者が療養のため山間地に移り住んでも、ゴミ焼き（昔と同じように庭先で焼くのですが、凄くダイオキシンです）、除草剤の多様等で、井戸水も畑地も空気も汚染されているので、症状がむしろひどくなってしまいます。一見、環境が良さそうな所ですが病人だらけです。研究者は、増え続けている病気はどれも（ガン・心臓病・精神症など）ケミカルによる環境汚染がベースにあると言っています。多くの人は、そのことに気が付いていますが、全く認識のない人もいます。日本はケミカルや電磁波に関する安全基準でも、欧州に比して二桁違うくらい立ち遅れていますので、一般市民の認識が低いのも当然かもしれません。あるふとん店の方は、「CS患者が安心して使える物が誰にとっても安全な物」とおっしゃっています。誰もがそういう認識を持つようになれば「健康的な生活が送れる社会」になるのではないのでしょうか。	女性	50代

国の安全、健康基準が甘い。対策がなされていない。	男性	50代
一人ひとりが自立できている社会。仕事ができる人は仕事を、勉強したい人は勉強を、家にいる人は地域を見守って。	女性	50代
ストレスが少しでも軽くなるような生活が送れる環境。	女性	50代
空気汚染の少ない環境に配慮した生活が送れる。	女性	50代
県全体での働く場所の少なさ。	男性	60代
学校給食では地産地消をしていらっしゃる様ですが、各学校の栄養士の権利がなく、調理士の意見が強く、健康的な食が損なわれている。	女性	60代
公害もなく環境に恵まれていて充分である。健康的な生活が送れる社会とは昭和30年代の社会に戻る事（環境、人のきずな、教育）。	男性	60代
きれいな空気・水・緑がいっぱい。心身共に健康であること。	女性	60代
快適な住まい・栄養バランスのとれた食事、人との会話。	男性	60代
心と体がマッチした状態で生活できる社会。	男性	60代
テレビの健康生活番組の時間帯を変える。	女性	60代
十分に食事が取れる。安心して生活が送れる社会に。	男性	70代以上
今の環境でいいと思う。昔を思うとありがたい限りである。	女性	70代以上
親子同居に勝るものなし。	男性	70代以上
思いやり。人のことを考える。人の嫌がることを進んで実行する。	女性	70代以上
相談のできる社会。	女性	70代以上
問4③の①から⑤までの点がもっと整ってほしい。	女性	70代以上
贅沢をしない事。若い時、精一杯働く事。計画を立てる事。どんな事があっても一定の金額は貯める事。人と同じ事をしていても、人より上にはいかない。一生は山あり谷あり。	女性	70代以上
高齢化が進むと体力も昔ようには行きません。ぶをわきまえて生活していく以外ありません。	男性	70代以上
緑が多く水も豊かな佐賀県は、心も豊かな子どもが育つてると思います。	男性	70代以上
生活と健康維持に不安がない社会。	男性	70代以上
世の中全体が何となく忙し過ぎて気持ちにゆとりがない様に思う。	女性	70代以上
働きたい人の仕事を。	女性	70代以上
つつましい気持ちから周りを大切に、少しでもきれいにしてく心かげ→健康。	男性	70代以上
若い人たちが健康で働く場のあること。	男性	70代以上
世の安心できること。	不明	不明
施設が充実していて、安心して高齢者や障害者を安心して預けられるところ。	不明	不明

1- (4) 「安心して医療を受けることができる社会」とは

内容	性別	年代
少し気かりの症状でも気軽に病院に行けるよう、医療費は改善できる分は見直して、重い病気も早期発見にうまくつなげてほしい。	女性	20代
住所不定無職や保険証の不所持の者が刻々と迫る病におびえないでよい社会。	男性	20代
医療に対する正しい情報を知ることができ、高額な医療費を社会全体で支える社会。	男性	20代
高額医療費の制度とかあるが、手続きが面倒だ。	男性	20代
医療費を心配しなくてすむ。	女性	20代
医療費無料化。	女性	20代
国民保険制度が充実している社会。	女性	20代
低料金、短時間。	女性	20代
高額医療費の返還手続きを簡潔にしてほしい。	女性	30代
(毎月会社引き落とし) 保険料の額が上がっていくので、収入に応じて上限を決めてほしい(協会けんぽなども上がっていく)。	女性	30代
医療費負担が少ない、また、病院に行くことへの壁が低い社会。	男性	30代
低所得者にも平等に医療が受けられるような仕組み、医療を受けられる施設の充実した社会。	男性	30代
小学生までは医療費をもっと安くしてほしい。	女性	30代
お金が高いから病院に行かないと言わずに、症状が軽いうちに、でも我慢せず病院に行けること!	女性	30代
県外の病院に通院入院しても医療費の金額やシステムが同じだと安心できると思います。	女性	30代
医療費(財政)の確保が充分にできてる。	女性	30代
医療負担額を気にせず、診察を受ける事ができる医療社会!!	女性	30代
医療費がもっと安く、高度な水準の医療が受けられる。	女性	40代
医療費が高すぎるので、もう少し考えてほしい。また、国民健康保険料も年々高くなっているのので、この先納めることができなくなるかも・・・と不安です。	女性	40代
誰もが軽負担で医療が受けられる社会。	女性	40代
老人医療制度で、働いていない人でも年々支払う金額が上がってきているのが納得いかない。子育ての終わった年代からもう少し取るべきでは。	女性	40代
年金または生活保護費を負担にして、医療が受けられる社会。	男性	40代
医療費が高く、気軽に病院に行けない。	女性	40代
国民健康保険料が年々高くなるので、この先不安になる。もう少し安い保険料で医療が受けられるようにしてもらいたい。	女性	50代
国民健康保険制度のような、すべての人が医療を受けられる社会(アメリカのような貧富差による医療格差はイヤです)。	男性	50代

医療費の負担を軽減する。	女性	50代
医療費が安いこと。信頼できる医師（かかりつけ医）がもてること。	女性	50代
国保が高すぎる。	女性	50代
不況の中、社会保険料負担は多くの家庭に重いものとなっている。収入が安定しているといいが、そうでない所への医療サポートを。（医師の資質向上や患者の検査・受診費用等の負担軽減を望む）。	女性	50代
高額療養費制度の基準が高い。	女性	50代
生活費がないということは、金がない。従って、病院にも行けない。医療費を無料にしてください。	男性	50代
病院代が高額（無駄な検査、不必要な量の薬）。	男性	50代
保険料が高いため、病院へあまり行けない。	女性	50代
収入が少なく、医療費が払えないとき、一時的支払いを月送りしてほしい。	女性	50代
保険制度が不安定。難病の方に対して、もっと金銭的負担を軽くしてほしい。	女性	50代
医療費を安く。	女性	50代
国民健康保険制度が高すぎるので、もう少し安くしてもらいたい。	男性	60代
年金生活なので国民健康保険税を減税してほしい。	女性	60代
低所得者の医療費の無料化の実現。	女性	60代
高齢者80才以上は無料化。低所得者障害者無料化。	男性	60代
緊急の場合に、すぐ医療を受けられて、金銭的にも負担の少ないシステムが整っている。	男性	60代
医療費を安くしてもらいたい。病院に行きたくても行けなくて手遅れになる。	女性	60代
医療費が高いので、ほとんどかからず、みんなが安心して病院に行けること。	男性	60代
国民健康保険料がもう少し安くないかと思うが・・・。	女性	60代
負担の少ない医療費。	男性	60代
少ない年金から安心して医療が受けられるか心配。	女性	60代
国民年金でも安心して医療を受けることが出来る。年金生活でも病気をした時に不安がない社会。	女性	60代
保険料が高くなっている。	男性	60代
何でも保険がきくようになって欲しい。	女性	60代
医療費の3割負担が大変です。	女性	60代
健康保険適用範囲（金額面）を広げてほしい。	男性	70代以上
医療費と保険料が競合しない社会。	男性	70代以上
高齢者いじめの今までの自民党政治による長期間のものが改善されることを望みたい。	男性	70代以上
高齢者の医療費（生活習慣病）があまりにも高くなり、低い年金生活ではやりきれない。もっと低くしてほしい。	女性	70代以上
国民健康保険制度に不安があり、また、老人医療制度にも不安があり、老人医療を無料にした社会が必要である。	男性	70代以上
定期的に値上げされる医療制度ではなく、安定した医療制度の確立。	男性	70代以上
医療費の負担、特に高齢者は一部負担が大変心配である。	男性	70代以上
健康保険税が高くなって、加えて介護保険も高くなり不安である。	男性	70代以上
高い医療費の助成。	男性	70代以上
老人医療費が高くなることや、どうしても病院で治療をしなくてはならない時など、3ヶ月迄退院させられないことがないようにしてほしい。	女性	70代以上
小学校までは医療費を安くしてほしい。	不明	不明
医療費が高い。特に保険できない分野 e t c ひとり親や収入の少ない者には払えないので、病院に行かないで終わる。	不明	不明
必要なときに地元で治療が受けられるように。往診など充実させた社会。	女性	20代
遠くの大病院より近くの医院。小さくても成り立つような制度を導入してほしい。	女性	30代
近くに専門科の病院がなく、市内まで通わないといけないので不便！！	男性	30代
県内でも地域によっては受けられない科がある（産婦人科、整形外科等）。	女性	30代
地域によって診療科に偏りがあるので、もっと均等にあればいい。	女性	30代
身近に受診可能な診療科目があり、病院等の情報（夜間、休日など）が得られる社会。	男性	30代
内科や耳鼻科は近くにあって産婦人科や心療内科などは遠いので、あらゆる病気をみてもらえるようになってほしい。	女性	30代
やっぱり近くに大きな病院がある事。	女性	30代
近くにいい先生がいない。	女性	30代
子どもはいつ病気になるかわからないので、近くに小児科があれば安心ですが・・・ないです。	女性	40代
昔のように自宅で病気を療養したい希望の方も、一つの選択として遠慮せず申し出ることができる医療体制ができるといいと思います。	男性	50代
難しい病気も地元で入院できて、費用も補助が大きい。社会保険や一般の生命保険だけでは安心できません。	女性	50代
地元で高度な治療が受けられない。	男性	50代
必要な時に近くに医療機関がない。	女性	50代
専門的な医療が身近で受けられる社会にもっとなれば良いと思います。	女性	50代
近くで急病の時に、すぐ受けられる場所が欲しい。	女性	50代
地元にある病院が少ない（大きい病院）。	女性	50代
住んでいる地域に総合病院がない。	女性	50代
必要なときに地元で治療が受けられる。	女性	60代

十分な医療設備が整い、信頼できる医師が揃っている病院がすぐ近くにある社会。	男性	60代
必要な医療機関（診療科目が揃っていて）が近くに在所していること。	男性	60代
産科・新生児搬送が遠い。近いところがない。	女性	60代
まず公的な病院に先生がいらっしゃらない。半分以上の人が佐世保の病院に行ってます。	女性	60代
重体のときは、久留米の病院に搬送された。県東部に立派な頼れる病院を願う。	女性	60代
生活の場の近くに、医療を行う施設がある。	男性	60代
小地域にカウンセリングのできる「何でもクリニック」をつくる。	女性	60代
私達の生活している所は佐賀の東部ですので、東部には総合HPとしての核になる病院が少ない。	男性	60代
人口減の中、近くに産婦人科医の施設が少ないので、施設の充実を。	女性	70代以上
地元到医院があるので心強い。	男性	70代以上
必要なとき地元で医療が受けられる。	女性	70代以上
必要なときに地元で治療が受けられる。よい病院がある。また、中央の病院への紹介をしてもらっている。	女性	70代以上
往診が受けられる様な医療制度。	女性	70代以上
私は85歳です。いつ病気になるかわかりません。それが心配です。老人の行ける、いつでもいい病院があったらいいと思います。	不明	70代以上
地元大きな病院がない。	女性	70代以上
個人情報がいちちゃんと守られている（医療機関において）。	女性	20代
病院によって、良い悪いのイメージがなく、どこへ行ってもしっかりとした医療が受けられる保障がある事。	男性	20代
近年、病院において不祥事が目立つ。よって情動的にもクリーンさが求められると思う。そういった社会。	男性	20代
短時間で主治医が変わることがあまりなく、患者の異変に早く気付いて対応してくれる、信頼できる医療。	女性	30代
病院が利益に走らない。保険制度を無駄遣いしない社会。	男性	30代
県病院が独法化して、安定した基盤のある総合大病院がない。経営に病院が向いてしまうとダメだと思う。	男性	30代
医療に関する疑問を尋ねるところが不明です。手術の必要ができたとき、どの医者に聞くのがいいのか、よくわかりません。	男性	40代
一定の水準を持った病院が少ない。もっと多い方がよい。	女性	40代
医師の質だけでなく、高度医療に関しての整備が不十分ではないかと感じる（ガン治療）。	男性	40代
利益目的ではなく、患者の為の病院が必要。	女性	40代
安心できる医療施設が整っている。	女性	40代
よい病院や専門の病院が整っている。	男性	40代
質の高いよい医者が増えることが大切だと思います。	女性	40代
医師とのインフォームドコンセントがきちんとできること。医師にその教育をして、時には調査して（上から）厳しく言ってほしい。	女性	40代
地域の公立病院の赤字体質、医者が変わる、不在等々、信頼感が薄い・・・。そうではない地域医療を願います。高額医療費の場合の支払方法に一工夫を。	男性	50代
信頼出来る病院。	男性	50代
病気になった時、病院を選ぶことに不安。	女性	50代
何でも安心して相談できる病院の先生がいる事。	女性	50代
医療が充実しているところとしていないところの差が激しいので、その差をうめれる体制があること。	男性	50代
検査ばかりでなく、親身になってほしい。	女性	60代
小さい病院ばかりでなく、何でも医療上手な病院をつくってほしい。	女性	60代
いい加減な医者も多いので、どの医者が安心なのかわかれば助かるが・・・。	男性	60代
医療費が安くて、先生方がよく相談にのってくれる。	男性	70代以上
損得抜きで患者を見てくれる医者のいる町。	女性	70代以上
体調を見せに行ったら風邪と言われ、検査の結果ガン患者として手術が必要と言われた。初診とも年中とも常時の病院を決めて検査が必要。	男性	70代以上
医者と患者が信頼関係にあること。病院で患者が暮らすことで元気になるように、心のケアをもっとしてほしい。	女性	70代以上
県病院にすばらしい信頼のできる先生をおいて下さい。	女性	70代以上
病院が充実している事。患者をたらいまわしにしない事。ある一定の期間は病院に入れておく事。	不明	不明
24時間365日、すべての専門医による診断、治療、手術等ができる社会。	男性	20代
時間に関係なく病院にいける。	女性	20代
24h、いつでも病院を受診できる。田舎、離島医療の充実。	男性	30代
子供が夜間でも休日でも受診できる病院を作してほしい。	女性	30代
休日に診療を受けた時に、外科の専門医が当番医だった。熱がある小児の経験がなく、不安がダイレクトに伝わってきた。	女性	30代
急な病気の時に行く病院が少ない。	男性	30代
平日は働かないとお金にならない。休日でも安心して平日のように病院にかかりたい。	女性	30代
休日、子どもも病院が昼間は開いていない。医者に対する保証を高くし、昼も診れる環境をつくるべき。	女性	30代
休日などにも近くで受診できるような社会。	女性	40代

いつでもすぐに治療できる病院が1つとあるといいです。	女性	40代
必要なときに、より必要な時間に。働いている人間には半日、一日がかりでは初期の場合、医療を受けたくない。	男性	50代
夜間診療、休日診察などの受入れ。	男性	50代
今より充実した病院が近くにある。24時間とは望まないが、時間外でもみってくれる病院が近くにある事。	男性	50代
無理だと思うけど、24時間いつでも治療が受けられればいいと思うけど。	女性	50代
心配なことがあれば夜間でも相談ができ、夜間救急にかからなくてもいいように、また、小学生までは医療費の心配がないようにしてほしい。	女性	50代
働く者が夜間でも受診できるように窓口を多くしてほしい。	女性	50代
土日祝に救急医療を受けるところがない。県病院でも断られることが多い。	男性	60代
急な病人が出て早急にいろいろな病院があり、治療を受けられること。	女性	60代
地元の医療（土、日）に不安がある。	女性	70代以上
休日診療の病院が決まっている。何か一通りの受診ができる機関がほしい。	女性	70代以上
かかりつけ医はありますが、夜診察が出来ないので不安です。	女性	70代以上
地域の中心、主要な場所に総合病院がある社会。	女性	20代
高度医療を受けられる病院が多くあれば安心につながるのでは？	男性	30代
国立大学など大きな公共の総合病院があること。	男性	30代
先進医療も都会並みの高度技術で対応できるようになる。	女性	40代
地方でも先進医療を受けられる体制をつくってほしい。	男性	40代
佐賀県に安心して医療を受けられる医療が少ない。	男性	50代
重病をわずらった時にかかる病院が、やはり鹿島市はないと思う。	男性	50代
高度な医療が必要なときの受け入れが組織化されているの？	男性	50代
どの地域に住んでいても最良の治療を受けられるネットワーク。	女性	50代
きちんとした医療機関へのネットワークができていて、必要な時、進んだ医療を受けられる社会。	女性	50代
神の手といわれるベテラン医師との連携。佐賀県の病院に行きたくない。	女性	50代
大きな病気の時には、佐賀医大や県病院へ紹介するシステムをお願いする。治療（手術）後は、再び地元病院で治療するシステム。	男性	60代
県立病院が嘉瀬町に移転すれば、医大病院とアクセスできて、高度な医療サービスを受けられる。	男性	70代以上
医療体制の充実（総合的な病院）。	不明	不明
急な患者でも受け入れ体制が整っている社会。	女性	20代
県立病院や佐医大をはじめとする医療救急をもっと整備して、かかりつけ病院での治療のQualityを高くする。	女性	20代
救急対応できる病院が少ない。一刻を争う場合に近辺に病院がない。たらい回し、居留守にはならないようにしてほしい。	男性	20代
総合病院等、医療設備の整った大きな病院があり、夜間も診療してもらえる小児科が多くある。	女性	20代
急病でも対応できる病院がたくさんあるとありがたい。	男性	30代
子どもが夜、熱を出したり病気の時見てくれるところがない。夫が夜、救急車を呼んだときも、何分か移送する病院が見つからず待たされたこと。夜間の医療体制の充実を望みます。	女性	30代
医療圏ごとにきちんとした中核医療施設を整備し、少なくともその施設であれば24時間365日きちんとした診療を受けられる社会づくりが必要。	男性	40代
緊急な対応が身近で受けれる。	男性	40代
夜間でも診察してもらえる。救急車でのだらい回しが無いこと。	女性	40代
この頃、救急車が来ていてもすぐに出発しないのをよく見ます。受け入れが問題になっているのでしょうか。救急のときはすぐに看てもらえる施設が必要です。	女性	50代
県東部には高度救命のできる病院がなく、久留米市に頼っている状態。これをなくす。	女性	50代
病院のたらいまわしがなく、夜中でも必要な時みてもらえる病院が身近にある事。	女性	50代
救急医療体制が整っている。	男性	70代以上
過疎地域へ医師の派遣を可能にし、みんなが医療を受けれる社会。	女性	20代
医師が充実している社会。	男性	20代
山村部にも医師が常にいるような社会。	女性	30代
地域連携病院の仕組みをもっとアピールしてほしい（インターネット）。救急車の使い方を理解していない人が多い。→教育・小児・産科医の問題がきちんと整っていない。特に医師不足の問題はその場しのぎになっている！次年度、次の世代のことまで考えてほしい。公立病院等の整備に対し、公にされていない部分が多い。	女性	30代
信頼できる医師が多い社会。	男性	40代
病院に行ったときに、先生や看護師さんが不足していると感じない社会。	女性	40代
病院の不足。医師不足のため、田舎でも安心して受診できる機関がほしい。	女性	40代
医者が少ない。独立開業医が増しているが協力していない。	男性	40代
産婦人科医院が減少しているので不安がある。	男性	50代
誰もが平等に医療を受けられる社会。僻地には医者が少ないと聞きますが、外国での実績を参考にして、国や県がもっと積極的に取り組むべきだと考えます。	女性	50代
高齢者が病院へ行こうにも、町の中心部以外では、交通の便が悪く、なかなか通院ができないので、この辺に配慮がされている社会。	男性	40代
医療費を考えてほしい。一人暮らしになったときなど、交通手段がない。	男性	40代
病院等へ行ける手段（交通）の充実。	女性	60代

唐津の交通。→福岡市と佐賀市と比べて福岡市の方が速い。佐賀-唐津間の交通便を計ってほしい。	男性	60代
通院する交通手段の不足（タクシーでは高額すぎる）。	男性	70代以上
その地域の大きい病院によってはバスを出して治療ができ、病院に来れない高齢者は往診に来てもらえる医療社会。	女性	70代以上
高齢者には交通費が普通以下になることを望みます。	女性	70代以上
バスの交通が少ないため出来ればバスの増便がほしい。	男性	70代以上
夜間に緊急で使える病院をわかりやすく掲示できるようにする。	女性	20代
安心して医療が受けられる病院がない。	男性	20代
年に一度でもどこになんの病院があるのかがわかる地図を配る。	男性	20代
情報の共有化、発信。	女性	20代
医療関係者の情報が古い感じを受ける。地域に対し、レベルの高い総合病院もない。	女性	30代
自分の症状からどんな医療機関を受診したらいいのかかわからないので、どこかに相談できるといい。	男性	50代
PET-CTの検査の金額を健康保険でできるように願っています。	女性	50代
地区民の人々（年金生活者）も、年2回春秋健康診断を受けられるようにする。	男性	50代
がんの死亡率が高いので、検査、治療が健康保険で最新最高のレベルで受けれる環境。	男性	50代
今のままで1年に1回検診を受けるように。のっていない者はそれでいいのです。	女性	70代以上
老人の医療も必要だが、老人の多い県内で、私（27歳）が急に具合が悪くなり、診療を早く受けたいが、注射や薬などで老人が多く、かなりの時間待っているのどうにかしてほしい。	男性	20代
病院は待ち時間が長い。疲れる。	男性	60代
病院での待ち時間長いのでは？	女性	60代
地元で治療を受けるために時間を教えて、何時ごろという予定を教えて待ち時間を短くすることが負担をかけないように。	女性	70代以上
病院の待合室が寄合所みたいになっていない社会。各自、目的意識を持ち、予防医療に力を入れる社会。医療機関への負担が重いなどと聞くと、先行き不安を感じる。	女性	20代
医療が充実した社会。	女性	20代
現在、保険適用でない治療や新薬を適用化してほしい。	女性	30代
国立病院とか総合病院などすぐに行きたくても紹介状がないと行けないので、病気の発見も遅くなる。	女性	30代
病院間の情報共有し、セカンドオピニオンが出来やすいシステムがある社会。	女性	30代
仕事をしていると、なかなか受診できないので、基本的な検査や（健康診断）で再検査の場合は、仕事を半休取らせて行くとかできたらいい。	女性	30代
患者のみならず医療関係者の負担も少ない仕組みの社会。	男性	30代
情報の開示・セカンドオピニオンの活用。みんなが自らの病気に対してアドヒアランスを高める。	女性	30代
年をとって働けなくなったときの年金も不安ですが、大きな病気をしそうな年齢になったときの医療や保険制度が充実していると嬉しいです。	女性	30代
世界を考えると日本はとても恵まれていると思います。ただ、もしも何かあったとき、心臓だけは動かしてしてくれる病院がほしいです。あとは移動させていいので。	女性	30代
病院間でも情報を交換できる環境。	女性	40代
医療や薬や手術に頼らない社会。	女性	40代
将来のためにきちんと負担する自覚のない人がいる。	男性	40代
TELによる健康相談窓口が少ない。	男性	40代
症状に応じて「マクロ」で見えてくれる病院と細分化されてより専門的に「ミクロ」で見えてくれる病院の連携がとれている社会だと思います。	女性	40代
認知症になっても多額のお金がないとホームに入れないし、施設も少なすぎる。	女性	40代
年を取っても安心して病院を受診できる社会（医療、内容、保険料等）。	女性	40代
自分でお金を払って病院にかかる人と、そうでない人との差別がある。	女性	40代
市町村でネットワークでつながっていること。	女性	40代
どの市にも1ヶ所でもいいので、いつでも献血が出来ればいいのに。	女性	40代
身も心も治してくれる医療社会。	男性	40代
少しの病気では不安で病院に行けない。	男性	40代
予防医療の普及。	女性	40代
地域内にすべての医療サポートが充実している社会。	男性	50代
総合病院が複数あって、手術等をしなければいけないとき、自分で選べる。	女性	50代
病気になったとき、どの病院に行けばいいのか考えています。市民病院がなくなって、病院に対する信頼度（医者）が薄れました。	女性	50代
同じ医療費を払うのに、都会と田舎の医療技術などの格差がありすぎる。	男性	50代
ネットワークの整備と医師の方々の定着率。	女性	50代
今や情報の普及により、自らが受けたい医療があります。しかし、県内、高度な医療内容をオープン化されていないため、医療が選べない。医療を受ける側に立った指導をしていただきたい。	女性	50代
医師の資質向上を願う。医療費の定額。	女性	50代
医療も50年前と今では全く変わったものもあるでしょう。現在では「食養」（汚染のない食物による）だけで、薬剤を使わないドクターも増えています。副作用のない医療が望ましいと思います。	女性	50代
障害児者によっては、地域に安心して受診できる医療機関が少なく困っております。また、風邪でもやんわり断られることもあります。	女性	50代

長期的な展望がない。	男性	50代
医療品を過剰にあたえすぎない。予防医学をもっと普及してくれる医療。	女性	50代
相談する場をもっと作ってほしいと思う。	男性	50代
病気に通っても、薬ばかりでなく、他のケアなど相談・指導する。	女性	50代
薬の与えすぎなど考えてほしい。	女性	60代
介護士の方が家族への思いやりが足りない。患者の心を家族から引き離し、夫婦間に溝ができ、夫婦生活を壊す。	女性	60代
保険料の制度間での負担の公平性を求めたい。	男性	60代
必要な治療を、必要なだけ安心して受けられること。	女性	60代
全ての医者国家公務員にする。	男性	60代
医療は充実してきているが、一人暮らしの世帯が増加。今後も増える。親子同居できるのが一番安心だと思う。同居支援策が必要。	男性	60代
紹介状を持って病院に行かないと、少し多めの医療費を支払う。	女性	60代
短期間の入院じゃなくて転院しなくて良い入院期間をもうけてほしい。	女性	60代
いつでも入院ができること。	女性	70代以上
リハビリなど1週間に2回しか受けられない。点数が13点以上になったら、それ以上治療が受けられないこと。	男性	70代以上
どこに行っても同じレベルの治療が受けられる社会。	男性	70代以上
今のところ健康なので特別には思いあたらない。しかし、一人暮らしなので心にかかる。	女性	70代以上
病院に診察に行ったときに検査がその目に出るように。	女性	70代以上
私は今のままでいい。結構です。	男性	70代以上
話がしやすい医療制度。	女性	70代以上
社会保障制度充実していない。医療のタテ割りみたいと思う。失くしてほしい。	男性	70代以上
老人医療制度の整備。	女性	70代以上
毎日、頭の体操とか体を動かして健康を保つよう、テレビなどで指導されていても、病院に行けば何処の待合室も満杯で健康のことに余り関心がない様に思います。お金の為に働く事で時間が足りないのかも知れません。病院代や消費を誘う様なチラシが多くて、金のために皆振り回されているのでしょうか。	女性	70代以上
信頼によってつながる社会。	男性	70代以上
若者問わず明日に夢を持つこと。	男性	70代以上
突発的な事故等は別として、私どもの周辺医療はこの辺でよしとしないと・・・。望むことばかり追いかけても、また別の角度から無理が出てきそう！	女性	70代以上
薬の副作用の説明が足りない。	男性	70代以上

1-(5)「福祉・保健・医療」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
医療費が高い。	女性	20代
病院への入院期間についてですが、経営的な要因もあろうけど、完治せず長引きそうな患者を期間(3ヶ月位)で他病院へ移したり、退院させたりは人道的に反していると思う。特に老人の方に対して・・・。	男性	20代
初診はどんな病院でも受けられ、次に病状によって次の病院を紹介され、安心して治療が受けられたいと思う。	男性	20代
所得に関わらず、医療が受けやすくなるといいと思う。	女性	20代
夜間など他市まで行かないといけない。	男性	30代
重病人などを3ヶ月おきに病院を移動させるのは、どうかと思いますが・・・。受け入れてくれる病院を探すのも大変だということをよく聞きます。何か理由があつてのことでしょうか、そのあたりをもう少しずつでもいいから、どうか加していただきたいです！！	女性	30代
車がないと病院にも行けない。車が運転できないと何の施設も利用しにくい。	女性	30代
公立の医療機関の休日に疑問。シフト制にして24時間年中無休にして、老若男女の生命を守って欲しい。医学部進学生へのスカラシップをもっと充当し、県内へ勤務すれば税納で完納と考えるような方法はないのか？	女性	30代
高額医療制度の限界を下げてください。ガンになってもお金の心配をしなくて良い社会にしてほしい。	女性	30代
年をとってからの医療負担はできるだけ少ない方がいいと思います。	女性	30代
副作用ゼロの根本療法、ホメオパシー療法の医療機関を増やしてほしいです。特に産婦人科など薬を使えないところで広まってほしいと思います。	女性	30代
鳥栖市の粒子線治療施設を大変期待しています。	男性	40代
夜間診療、救急医療の充実を図ってほしい。	男性	40代
救急車で運ばれて受け入れ先がないために死亡するケースが時々あるが、そういうことがないように対処してほしい。	女性	40代
医療費が生活費の中でかなりの部分をしめる時がある。健康でないと貧しくなる。	女性	40代
県立病院について。知事はなぜ九大系の医師を追放したのか。県民の高度な医療を受ける権利を知事は奪う権利は無い。	男性	40代
現在の医療制度には満足し、これからも維持・発展させていくべきだと思います。	男性	50代
鳥栖市には信用、信頼できる病院がない。	男性	50代

医療などに従事する人は患者と向き合い、ただ、薬をやるんじゃない、どんな治療法があるか考える（医者はいらない、ただ医薬品があったらいい）。	男性	50代
1年間ないし2年間を通して、医療機関（健康保険）を利用しなかった場合は、次の年度の保険料が下がる等の優遇制度等を考えてほしい。	女性	50代
ドライマウスで、歯科、耳鼻咽喉科を数件回りましたが、納得する医療が受けられませんでした。県病院、医大で相談したいのですが、医者が紹介状を出さなければなかなか医療を受けることができません。また、セカンドオピニオンの考え方に立っても、佐賀県は遅れていると思います。新型インフルエンザの拡大時の情報が少なかったと思います。イタズラな混乱を避ける意見もあったのですが、情報はもっと詳細にタイムリーにしていきたい。休校を含めた感染の状況等、情報を受けて活用するのは、私たちの自己責任です。正しいあからさまな情報がほしいと思います。	女性	50代
生活が苦しい時（不況）、医療費が払えず治療を受けられない時等の対策。	女性	50代
低所得の人でも、高い薬を買えたり（良く効く薬）高度な医療を受けられる様にしてほしい。	女性	50代
一度に変えられないが、特に急を要する生命に関わることに手をつける。例えば、医師の適正配置。	男性	50代
医療費が高いので、思うように病院へ行かれない（経済に余裕がない）。	女性	50代
ホスピスが少ない。行政の福祉の効率が悪い。	女性	50代
難病特に海外での移植など余儀なくされる方・家族などに対して、無金利の貸付けなどあればいいと思う。ほとんどの方は募金に頼り助かる命も助からないのではないのでしょうか。	女性	50代
金がない人は病院にも行けない。	男性	50代
知人の親など、国立病院（佐賀医・嬉野）など、急死してしまい、病院は連携がとれているのか、不安・不信感があります。	女性	50代
整形外科や皮膚科といった安易に金儲けができる病院ばかりが街中に増えており、小児科や外科などの必要な病院が少ない。	男性	60代
国、県など税収入が減っているので、ジェネリック薬品などの%などを増やすことなど考えてほしい。	男性	60代
病院に行っても短時間で帰れるようにしてほしい。	女性	60代
再検診に入らなければ、その都度高い料金を払わなければならない。	男性	60代
医師と介護師との問題で患者は犠牲者となる。家族もまたその犠牲者となる。	女性	60代
老人医療にシップ薬（はるもの）たくさん持ってるけど、といいながら貰っている人が多い。	女性	60代
医療費が高い。	女性	60代
医療機関はすぐ検査に回さず、しっかり問診を行ってほしい。頼りない医者が多すぎ！！	男性	60代
医師の目線を患者の高さに並べる。	女性	60代
出来るだけ佐賀県内の病院を利用したい。	男性	60代
延命治療の必要性はあるのですか？あまりにも過ぎることはよくないと思う。医療費の面でもそう思うが、人間の命の生死は、自然に一。	女性	60代
入院のベッド数が不足で、なかなか入院出来ない。又、単なる治療は入院させてもらえない事が多い。	女性	60代
また、鳥栖市にガン粒子線センターが開発されれば、ガンの先進医療県ともなる。	男性	70代以上
以前、子宮ガンを町の検診で見つけてもらい、乳ガンの手術もしてもらい、一命を取り戻したものです。あの検診がなかったら、私の人生……。今のままの、どのくらい検診にのって来るかは自分次第です。どうぞ来たくない者にヤイヤイと紙の無駄です。本当にこんなにまでしていただき……。	女性	70代以上
質の高い医師を多く。	男性	70代以上
現場で患者に接している人以外の人に、人件費がかかりすぎることは考える必要がある。	女性	70代以上
富裕者だけが受診できる施設が増えてきていること。	男性	70代以上
眼科が一つしかなくて不便です。	女性	70代以上
総合病院など大きな病院が近くにない。	女性	70代以上
休日医療にしても、突発的に重症に陥ったとき、限られた病院で間に合わなかった例もある。	女性	70代以上
僻地では何でも相談のつてくれて、治療もしてくれる医者がテレビで見た事があるけど、そういうのがあればよいと思う。	男性	70代以上
老人になると検査やデータも大切だと思いますが、病院での医師、看護師の触診や言葉の交流が、何よりも精神的なやすらぎを感じるものです。医療の原点だと思います。	不明	70代以上
医師の数が少なく、待ち時間が長すぎる。また、地元では治療できずリハビリ等、途中で退院させられる事がある。	女性	70代以上
専門的大きな病院がなく、医院クラスは多くても、全科目診療ができるような施設の病院が必要だと思います。	男性	70代以上
病院へ通うのがとても不便。自宅へ往診してくださる医師がいたら足の不自由な者は安心。	女性	70代以上
一人暮らしの高齢者などを地域で支える体制をしてほしいです。	女性	20代
医療費の負担は家族の大きな負担になります。長期の入院や老人ホーム等の費用を引き下げたり、支払う家族の負担を少しでも減らしてほしい。	女性	20代
昔、佐賀県は老人医療の先進県だったと父から聞いた。なぜこんなに後退したのか。責任は県にあるのではないか。	女性	20代
高齢者の孤独死をなくしてほしい。	男性	30代
寝たきりにさせない、病気にさせない方法に、もっと力を入れてほしい。また、介護する側にも支援を充実させてほしい。肝臓ガンワースト1返上を目指す。健康作り日本一。	女性	30代

これから先、老人部落になるところが多くなる。福祉もっと力を入れてください。	男性	40代
自宅介護をしているのですが、夜も寝ないで介護しているので手当をもっと増やしてください。	男性	40代
今の現状では、年を取れば取るほど医療費がかかるような保険体制なので、負担割合の軽減をお願いしたい。	女性	40代
これから先、保育所等の整備を行うより、老人介護の方に力を入れていって欲しい。子供が減ってきているので、子供は会社の福祉で面倒をみて、老人介護者の助けがもっと充実すれば、介護疲れをもっと取り除けると思う。嬉野市役所に保育室があったのはいい事だと思ったし、まずは役所から実践して貰って、徐々に会社関係でも取り組んでいって、社会全体が同じように考えられたら、ずいぶん働きやすいと思う。	女性	40代
若い者は生活がありますので働かないといけません、病気の親を抱えるとそういうわけにもいきません。そこをもっとサポートしてほしい。	女性	40代
老人の人はあまりにもお金を持っていない。年金も少なすぎ。子ども手当等など足りない。もう少し老人にまわしてほしい。	女性	40代
老人を大切にできていないと思う。	男性	50代
国民年金の分で、どこかの老人ホームにいけるようにしてもらいたい。	男性	50代
低所得で子どもや老人を抱えていると、老人の病院にかかるお金（入院など）がかかり、高額医療にならなくても生活に支障をきたし、働き盛りの人間が多少具合が悪くても病院に行けない。老人を施設や病院に入れたくても、月々の利用代が高く、働いたお金が大半を利用代にまわされ生活できなくなるし、妻が家において面倒をみれば収入が減り生活はできないし。国民年金で老人が生活できる社会にはなれないのか。	男性	50代
TVで他県で高齢者向けにピンピンコロリ運動、送迎付体操、運動教室などがあっていい。移動体操教室があれば、住んでいるところが山村なので助かる。健康相談、運動教室あるが、平日の昼間ばかり。老人と限らずメタボ予防に有線TVではなく、集落に月1でも出向いてほしい。	男性	50代
家での看護。両方倒れないよう聞く。聞いてあげられる窓口がほしい。気楽に足が向く窓口。そして、そこで働くスタッフが働きやすい環境にしてほしい。	女性	50代
農業者の高齢化で、米づくりを営むのに大変になってきているので、何か対策はないものか。	女性	50代
いつでも運動できる施設が近くにあり、安価で施設利用できるとよい。自己管理ができるよう、高齢者がもっと外に出かけることができるよう。	女性	50代
独居の状態でも周りから支えられた状況。	男性	60代
85歳を過ぎたら介護保険を支払わなくていい制度などがあればいい。	女性	60代
福祉については受入れが幅広くありたい。介護保険制度がややこし過ぎる。	不明	60代
老人の協同生活のできる施設。	男性	60代
年々、高齢者が増しているの、こういう提案のアンケートは切実に検討してほしい。	女性	60代
介護保険料が年々増加、あるいは地域差がある。	男性	70代以上
私は老人です。保健、医療はともいい市と思います。	男性	70代以上
高齢者弱者には予防接種等は無料で受けられるように、できたらしてほしい。	女性	70代以上
医療、介護制度の充実により、高齢者に不安のない社会。	男性	70代以上
老人医療保険が低所得者はきつい。	男性	70代以上
高齢者が多数を占める病院は、病気を治すことより暮らす生活の場になっていることが多い。リハビリをして元気になっていられる人もいますが、ボランティアによる言葉かけ、季節ごとのささやかでもいい催し物等、心のケアがほしい。	女性	70代以上
入院しても年金で支払うことができる。年金が必要である。	男性	70代以上
医療費が赤字は知っているが、後期高齢者医療保険については納得がいかない。人間は皆んな老いていく。人間働いて頑張っている時は所得に応じて税金を納め、年齢が来れば殆どの人が、生きるため周囲に迷惑をかけないため、医療関係に頼り、自分の身を守るため生きている方が多いと思う。まして年齢が来れば働きたくても働けない。そのための年金制度だったと感じている。年金に頼って生活している者には、年金より差し引かれ、言う事もいわれず、時代に合わない額からの差引きは、或時代のように老いたる者はいらぬと考えているのでは？捻てるわけではないが。	男性	70代以上
少ない年金で借家に住んでいます。脳神経内科で一生薬を飲まなければと言われました。だから、市営住宅のシルバー団地に入りたいとお願いしておりますけれど、なかなか入れません。心配です。今いるアパートは、近所付き合ひもありません。一人です。近所のアパートは学生や男の人ばかりで、顔も見たことありません。本当に寂しいです。早くシルバーに行きたいです。是非、シルバー団地に行けます様、お願いします。病気で数ヶ月苦しみました。寂しかったです。	不明	不明

<p>今、子供を預けるとなると、徒歩圏で預けられる場所がまず見つからない。送迎バスが10時近くまで走っているのを見るが、母親が働くとなると、保育時間分も稼ぐためには時間が足りない。かと言って、車を買うほどの稼ぎが出る仕事もない。</p> <p>現在の累進保育料金は、おそらく母親が自宅で子供をじっくり育てる為のインセンティブという制度設計だと思うのですが、非課税世帯が保育料無料と、他の2万とか4万とか保育料を記載している横に書いてあると、勤労意欲を削っているのではと危惧します。（「別途申請」の一言でも書いてあれば、そう違和感はないのですが）。共稼ぎで500～800万という世帯が周りには多い（小さいお子さんがおられる方で）のですが、奥さんが一生懸命パートをして支えているけれど、保育園代でプラス1～3万という具合で、わずかな足しにしかありません。かと言って、職歴がなければ雇ってもらえるには厳しいという話も聞くので、何とか歯をくいしばって耐えてという家庭が多いようです。</p> <p>また、佐賀県は十代の妊娠中絶率が全国一位ですが、本当に佐賀県の女の子ばかりなんですか？たしかに若い子供づれのお母さんをよく見かけはするものの、話題になっていたので気になっています。薬局対人口比か密度も1位だったと思いますが、不名誉な一位を減らすような努力を！！</p>	女性	20代
<p>子どもの医療費が3割でかかりすぎる。小学校前までは申請に手間がかかる。3歳までのように窓口へ500円のみ払えるようにしてほしい。</p>	女性	30代
<p>就学前の医療費控除はあるが、小学校にあがったら全く控除がないので、負担が大きい。</p>	女性	30代
<p>子どもが3歳まで医療費補助はどうかと思う・・・。お金がかからないからと軽く病院にあちこち受診するように思う。それから、ちょっと風邪ひくと、熱が出ると、すぐ検査して下さいと言われるのも困る。</p>	女性	30代
<p>先日、児童センターを利用したいと思い伺った際、住民以外は利用できないという事でした。出かけ先で、おむつ替え・授乳する場所がなかったので、児童センターならできると思ったのですが、とてもかなしくなりました。県内の人全部が自由に使えるようにしていただけたら良いと思うのですが、無理なのでしょうか。利用票は書くのは構わないのです。育児に行き詰まり、ああいう場所がちょっとあるだけで行ってみようかなと足を運べます。子育てばかりが問題ではないと思いますが、ちょっとでも改善できたらいいなと願います。</p>	女性	30代
<p>都会に比べれば、子どもや老人が住みやすい環境であると思います。少子化の中、地域で子育てをしていかなければならない時代だと考えます。</p>	女性	40代
<p>子育て支援といいながら何万円も月に負担している現状はおかしい。不妊治療の助成ももっと増やしてもいいのでは・・・。</p>	男性	40代
<p>乳幼児医療費に助けられました。</p>	女性	40代
<p>子どもの医療費の負担が3割とは高すぎる。小学生までは1割でいいと思う。</p>	女性	40代
<p>子育て中に子供や自分が病気をした時、頼れる場がなくて大変でした。</p>	男性	50代
<p>子どもの手当が少なくなったぶん、子どもの小学生の間の医療費が無料になればいいと思う。</p>	女性	50代
<p>福祉については母子・父子家庭の生活支援。又、高齢者、障害者の自立支援にもっと力を入れて欲しい。保育所、保育園入所の受入れ、小学校に必要な経費の無料化。</p>	女性	70代以上
<p>障害者に対する周りの理解がまだまだできていないと思う。</p>	女性	20代
<p>発達障害手帳を作してほしい。</p>	女性	30代
<p>障害者医療助成を受けていますが、市町村によって制度（手続きなど）がちがいます。私の住んでいる市では医療費の振り込みがあっても、例えば〇月×日に振り込みましたという通知も何もありません。別の市に住む友人に聞くと通知がハガキになって来るといいます。通帳を記帳しない限り分からないのです。私は主人が車で連れていってくれるのでいいのですが住んでいる所が離島や一人暮らしのお年寄りは何度も銀行には行けませんし、不便です。私も主人と何回も銀行に行き、振り込みの確認を最初は分からなくて、しに行っていました。本来ならば市に言うべきですが、県の方から働きかけて頂ければ幸いです。</p>	女性	30代
<p>精神障害者の支援をもっとやってほしい。</p>	女性	50代
<p>市は福祉に対して力を入れている気がしますが、子どもに知的に障害があるので、支援センターにも相談に行きますが、高学年になり授業時間も長い日が多いために、時間内に予約を取ることができません。学校に行きながら相談に通うのですから、いくら市の施設とは言っても、平日にしか予約が取れないと通いづらいと思います。相談希望者もかなり増えて、相談員が足りないというのも原因の一つだと思います。通所される側の立場になって、通いやすくなる様に考えて下さい。特別児童扶養手当の毎年の専門医の診断書も、精神科を探すことからはじめねばなりません。市から届いた書類で、どこに行けばいいかとたずねても、はっきり教えてもらえず、とても不親切な対応です。</p>	女性	50代
<p>最近のトピックで、自殺と虐待が特に力を入れるべきだと思う。次世代に向けて、心のギズ、負のスパイラルを断ち切るべきだと思う。自殺については、雇用や社会環境を整備することはしかり、うつの相談窓口や自分をもっと愛する教育を取り入れることが必要だと思う。また、自殺された遺族について支援する制度があってもいいと思う。虐待について乳幼児期における無償の愛を受容するか否かで、成人になるまでの過程や自己愛に関係を及ぼす。そのため、ヒトは愛し愛されるべき存在であるという教育、出産直後のアタッチメント形成やスキンシップが大切である。妊婦になったとき、喜ばない事情や環境があるならば、そのときからの支援が必要である。自殺、虐待は早急に取り組む内容であるが、難しい場合もある。そのため、事後で行為にいたった原因や環境を究明し、次につなげていく必要があると思う。</p>	女性	20代
<p>成人のうつ病などの発生が高くなってきているように感じる。原因の追究と発達上でなにかやらないといけないことがあるのでは？</p>	女性	40代

社会的弱者に対してあたたかい支援を行って欲しい。	男性	20代
新しい事は、積極的に実施していく。	男性	20代
がん検診を受けるきっかけがあっても、仕事や学校の都合で受けることができないので、受けやすくしてほしい。	女性	20代
地元のスーパーなどの大型駐車場に障害者専用の駐車エリアを見かけるようになってきた。いいことだと思います。でも、そういう場所に平気で車を停める一般の人がいるのがとても残念。	女性	20代
国が変わらないと、地方ではどうしようもないこともあると思います。	女性	20代
献血に関しては社会全体の認識が低い。健康だからこそできる社会貢献の1つとして、どんどん増進してほしい。	男性	30代
交通手段が少ない。小さいバスでも良いので時間数を増やしてほしい。少なすぎる。	女性	30代
いろいろな問題があるが、行きつく所は結局お金であり、一人一人が安心して生活できるくらいの所得があれば、ほとんどの問題は解決する。税金の使い方が一番初めに改善すべき。	男性	30代
県全体で人を人が支えあえるようにしてほしい。例えば地域の公民館や学校の空き教室を使って、医師の受診を受けたり、デイサービスを受けたりできる仕組み作り。	男性	30代
市町村合併等により、規模が大きくなることは良いことだが、今まであった良い所が消されている。	女性	30代
やはり様々な取り組みに対して、県民がまず知ることが大事なのではないかと思います。	女性	30代
本当の弱者を助けるのは行政にしかできません。プロ意識を持ったバランスのよい人がたくさんその現場にいてくれたらよいのと思います。窓口でクレームで来られる人を見たことがあります。が、わけのわからない人という対応でなく、心から、この人は何に不満なんだろうか？どうすれば心が穏やかになるのだろうか？とか、どうしてここに八つ当たりのような不満をぶつける原因は？とか考えた方がいいと思います。仕事ですから。	女性	30代
せっかくなつくた施設や取り組みは中途半端な管理で値上げや増税ではなく、利用者を増やす努力をしてほしい。維持目的なら潰す方がいいと思う。	男性	30代
各地域に保健師がいるが、もっと地区に親身に相談にのってくれる人を配置してほしい。	女性	40代
社会弱者に対してだけでなく、「広範囲の人々にとって・・・」という考え方が大切な気がします。	女性	40代
人員が足りない。目が届かない状態では。	男性	40代
ワーカーズという働き方がもっと増えればいい。行政だけでやるには無理がある。	女性	40代
予防歯科が成果を上げているように、予防医科を小学校から取り入れていけば、成果が望めると思う。総合診療科(医)の充実を望む。	女性	40代
気軽に相談できる環境が整っていないと感じる。	女性	40代
弱い立場の人に立って考えてほしい。	男性	40代
県は情報を与えるのみで、その現状について知ろうという姿勢があまりみえない。インターネットで配信すれば済むという考えの様な感じがする。しかしインターネットの整備状況が県内でどういう状況か把握してあるのか疑問です。また、県のホームページも検索し難く情報が古いものもある。	女性	40代
財源あってこそその希望なので、いろいろ考えたりしてません。自分自身の生活においては、「病気になるしない」が第1です。	女性	50代
年金を納めている人は、年金額に応じて施設をつくってほしい。	女性	50代
行政に意見を言っても、仕事に対する責任がないし、言いたくない。	男性	50代
小さな子どもたちを見かけると、この子どもたちの将来は・・・？この国のかたちは・・・？多くのことで不安になります。「安心」を整えるのが、政治・行政の役割かと・・・もちろん県民にもそのための責任や負担はありますが。	男性	50代
福祉、健康、医療、各セミナーを年2回程度巡回して開催する。	男性	50代
健診などはいつでも無料で受けられるようにしてほしい。健康保険料が高い。	女性	50代
以前のように一年に一度の定期健診を希望者全員が近くの保健施設で受けられることを望みます。	女性	50代
質問が具体的ではないため(健康的な生活とは?)、回答するにも曖昧になってしまう。県民が健康的な生活についてどう考えているのかを求めるにしても、もう少し具体例を示さないと回答が難しい。	男性	50代
本当に困っている人が困っていることを相談でき、本人が望むことへ近づける行政等の対応が必要。	女性	50代
全体的に質問が抽象的です。参考になるのでしょうか？	女性	50代
福祉的社会的資源の充実だけでなく、トータル的な(一般の方と同様に)支援ができるようになると良いと思います。今からだと思いますが。	女性	50代
相談する場所のアピールを誰もが理解できる体制が必要だと思います。	女性	50代
金のある人は問題ないと私は思う。問題は金次第である。スウェーデンのようにすれば!	男性	50代
弱者には厳しい社会になっていると思います。弱い立場の人に、よりあたたかい目を向けることができる行政を行ってほしいです。	女性	50代
利用のしかたや制度など、もっとわかりやすく、もっと広めてほしい。	女性	50代
健康的な食生活習慣を身に付け、がん検診を受ける機会を多くする。	女性	60代
佐賀に余裕のある経済力をもっとつけたい(全員力で)。	男性	60代
ずっと以前に聞いたことがあるけど、年金を無理してかけなくても、一年に一度の更新で払わなくてもいいようになる。年をとったら生活保護をもらう方が多いから、その方がいいという話でした。	女性	60代
きれいな事が多すぎる。	男性	60代

教育が第一。すべてが満足できるはずがない。自己中を、まずなくす教育を。	男性	60代
国民健康保険料が高すぎる。	男性	60代
どの分野でも速やかに物事が進みますように願いたい。	女性	60代
バス停まで遠い。	男性	70代以上
今の政治にどんどん地方自治としての提起を行って、地方でできる体制づくりを・・・。	男性	70代以上
日本が貧しい時代を生き抜いた人間から感じるのは、今の時代はありがたい事ですが、貧しい時代を知らない人々は今以上と思うのでしょうか。求めるのもほどほどに日本の為、県の為、子供達の為に。	男性	70代以上
主人が遠方の会社で働いている家族は、近くで健康診断があっても受けられない制度は間違っていないでしょうか？	女性	70代以上
福祉課に行っても何の説明もなく、1つの質問に対し1つだけの返事しかこない。それに関連する答えはいくらでもあるだろうけどと思う。	女性	70代以上
何でも（事、問題、事件等は）の裏側は“物”。意味の無い。そしてその中で振り回されている。“心”まで汚染されるように今感じます。全部では無いことも！	女性	70代以上
ありがたいと思っています。	女性	70代以上
福祉施設が少ない。福祉施設を増やしてほしい。	不明	不明

2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(1) 「子ども一人ひとりにとって望ましい教育環境」とは

内容	性別	年代
先生と生徒のコミュニケーションを常にし、子どもの豊かな心を発揮する環境。	女性	20代
“モンスターペアレント”と最近言われていますが、学校の現場の教師が強ししっかり教育をしていけば、昔の日本のように熱い教育はできると思います。	女性	20代
学校の先生に威厳と情熱を！！	女性	20代
いろいろな面でサポートできる教職員を増やしてほしい。	女性	20代
教員の数が充分にある。子ども一人にかかる時間をとることができる環境。	女性	20代
教職員の質とゆとり。	女性	20代
労働組合の力を弱めて、正しい歴史観、日本の素晴らしさを教えてほしい。	男性	30代
教師が親の顔色ばかりを伺っているように思える。もう少し厳しくしてほしいと思う。	男性	30代
教育設備を充実させることも大切だが、例えば、小学校の担任2人など、多くの大人の目と言葉で指導できる仕組みがいいと思う。そうすると学力向上や非行・イジメもなくなる環境になると思う。	男性	30代
学校の先生方など子どものために、とても頑張っていただいています。そんな中で「子ども一人ひとり」を見るのは現実どこまでみるのか不明で、全体的にみていくべきものかなと考えます。	男性	30代
子ども一人ひとりに教師が接する時間が十分とれる。	女性	30代
厳しさと愛情のメリハリがある教育が行われる環境。	男性	30代
女子生徒に不適切な行為を働こうとする教師や、おとなしい生徒をターゲットにして、「皆が静かにしないから」という理由で、その子に暴行を加えていた教師が学校からいなくなればいいと思いました。	女性	30代
教師の指導力、性格で学力に違いがでる。機嫌が悪いと生徒にあたるなど。教師の感情に左右されず、生徒を引き込むような授業をしてほしい。	男性	30代
義務教育段階では、教職員は受け持ちクラスだけでなく、他学年教職員も含めた学校全体での組織的な取り組みの中で、③「不登校やいじめなどを相談する場がない」⑤「障害のある子どもへの支援ができていない」などへの解決にあたる環境をつくるべき。	男性	40代
教育者の充実。	男性	40代
教員もっと増やしてほしい（教員の質にも問題がある）。	女性	40代
もっと教育設備を充実させてほしい。教職員の数をもっと多くし、一人ひとりにあったきめ細かい教育をしてほしい。	女性	40代
教職員採用試験には年齢制限があり、いい先生、情熱をもった先生は講師として扱われて待遇が違いすぎる。授業のできない教員が多い。人気、実力のある人は仕事があるので採用すべき。実力のある先生がいなくなってしまう。サラリーマン教員は権利ばかり主張して仕事をしない。	女性	40代
特別支援教員スクールカウンセラーに専門知識の高い人を派遣してほしい。スクールアドバイザーは、中立的立場の人（教員退職者外）。小中少人数制。	女性	40代
塾に頼らなくてもいい授業をしてほしい。教職員の指導力を上げてほしい。	女性	40代
子どもが思いっきり遊んで勉強できる場所であること。非常識な親の都合、やる気のない教師の都合で子どもの教育自由が制限されない環境。	女性	40代
一クラスに先生が一人じゃなくて、二、三人にしてほしい。	女性	40代
子ども一人ひとりのためのカウンセリングの時間確保。授業の2人担任制。	男性	40代
情熱をもった教職員に対して、教員委員会や保護者の理解が少なく、学校に対する子どもののぼせあがりがありすぎる。	男性	40代
子どもが先生を尊敬できる関係が保たれ、学ぶことが楽しいと思わせられる環境をつくること。	女性	40代
家庭は勿論のことですが、問5①6番（専門家としての力量と情熱をもった教員が少ない）に関しては特に強く思います。教職が事務職のように感じられます。	女性	50代
在学中は担任にはなかなか話せない。子どもが先生のことをこう言っている（あまり良くない扱い）と言うと、ますます対応が悪いように感じる。	女性	50代
子ども達は目標や課題を持っていないのでは。先生が親に尊敬されるようになっていないと子どもにもされない。	男性	50代
小・中学校は担任の先生で、学校全体がまとまったり、バラバラになったり、学力が伸びたり全然ちがいました。一番身近にいる、いつも接する先生方の育成をしっかりする。	女性	50代
学校の先生が忙しすぎて、あまり余裕のない印象を受ける。そのため子どもに授業をするだけでも手一杯の感じ。学校での変化に気付きにくい。	女性	50代
怒るときはスパルタじゃないけど昔のようにしてほしい。同和だのいろいろありすぎである。	男性	50代
教職員の数を増やし、T. T. の機会を多くし、子どものつまづきをいち早く気付いてほしい。土曜日などの学校開放などできないか？	女性	50代
誰もが塾（子どもの）とか家庭教師とか受けなくても平等に勉強できて、意欲が出るような教師が増えてほしい。	女性	50代
教員のサラリーマン化。P. T. Aなどへの弱腰（教員が親によわい）。	男性	50代
教員の数をもっと増やし、子ども一人あたりに接する時間を増やしてほしい。	女性	50代
教育は子どもにとって、やる気が出るも教え方したいで、楽しくきびしく、子ども達の成長を考えて教育してほしい。	女性	50代
家で宿題の答え合わせまでするのは、先生の手抜きのような気がします。	女性	60代
教職員の考え方次第。	男性	60代
先生の質を高めることと、家庭の重要性をもっと皆が自覚する。	男性	60代

教育・スポーツ活動、現場教師に負担をかけすぎている。教育委員会は、現場の違法な超勤の実態をどうするのか。	男性	60代
目を守る。ルールを守る。貞操を守る。先生たちをまず教育する。	女性	60代
先生自身が団体生活になじんでいない。自分勝手な先生が増えている（組合の組織率の低下）。	男性	60代
何よりまず教師のレベルアップと親のエゴ対策を徹底していかねばなるまい。道徳心の原点をもっと勉強させるべきだ。	男性	70代以上
子どもたちが安心して勉強できるよう。指導者（先生）が父兄に遠慮している。	男性	70代以上
教師の給料は高くなくてもいいから、サラリーマン化してほしい。	女性	70代以上
今の教育者は保身的で、愛情ある教育者（先生）がいるかと思う。少しの体罰も必要なときもある（愛情のともなった）。	男性	70代以上
専門家としての力量と情熱をもった教員が必要です。	女性	70代以上
教育者の充実された目的の欠如。哲学がほしい。教師自身が教育であると自覚してほしい。	男性	70代以上
教師の雑用が多すぎる（事務職員がもっと頑張してほしい）。教師はもっと生徒と直接接する時間を増やし、隠れたいじめなど生徒の本当の実態を把握してほしい。	女性	70代以上
以前、孫（男子）が一人の先生から言葉の暴力や嫌がらせを受けたとき、両親が学校へ相談したとき、いつの間にか当の先生は他校へ転校されていたこともあった。	男性	70代以上
先生が本気になって一人ひとりの子どもに接してほしい。厳しくするところはして、親の方がわかっていない気がする。	女性	不明
まず何よりも「家族」の基盤の確立。子育てやしつけを学校のみ押し付ける考えは払拭されるべき。学校と家庭の信頼関係を築くこと。	女性	20代
社会人になってから、「好ましかったな、してほしかったな」と思う教育と、子どもが望む教育とはギャップがあるのですが、私が行っていた学校（中）は荒れていて、家庭に問題がある子はすぐに荒れていた。昼食は菓子パンとか。解決すべき問題が、教育以前にあるような気がする。	女性	20代
現代ではモンスターペアレントなどの問題があり、教師より親が強い状態であり、親の意見に左右されすぎ。国が教育するのだから、親より教師の状態に戻すのが先決である。	男性	30代
学校だけでなく、家庭でもきちんと教育できていること。	男性	30代
すべてを学校に任せる親が多すぎる。無責任に批判ばかりするマスコミや親。	男性	40代
今、学校に対して親が口出しが多い。学校職員にもっと任せる。	男性	40代
子どもをきちんと教育できる親であるべきなのに「モンスターペアレンツ」などの言葉が出てくるぐらいなので、まず先に親を教育しなおすべきだと思う。	女性	40代
一人ひとりに望ましい環境の整備自体に問題があるのではないかと。基本的には家庭の問題であると思われる。家庭環境に問題がある場合についての改善及び支援が必要ではないか。	男性	40代
教育環境の基本は、まず、家庭環境からつながるものだと思います。	女性	40代
家庭の教育力の低下が心配。	女性	50代
学校と親の信頼関係が一番だと思う。親の教育、先生の教育が問われる時代だと思う。	女性	50代
父親は父親として、母親は母親として、教職者は教職者としての役割（あるべき姿）をしっかりとつかみ、それを日々の生活の中に実行していること。	女性	50代
外出先から帰宅した際に「お帰り」の声がある家庭環境がまずあってこそ、子どもは外へ向って進んでいけると思う。	女性	50代
両親、兄弟が仲良く笑いの出る家族であれば、子どもにとっては教育だけでなく生活態度もよくなり、これがいい環境といえると思う。	男性	50代
先生と家庭が一体となって子どもを育てる事。	男性	50代
家や地域でのしつけが出来ていないため、学校での団体行動ができずにいる。しつけは家でやるもののアピールをやって行くべき。	男性	50代
教育の基本は家庭だと思うので、親が失業しないようなある程度生活できるぐらいの安心して暮らせるための社会。	女性	60代
子どものしつけを父母が責任を持って進めることができるような社会環境の実現→共働きをなくす！	女性	60代
成績のことはあたりまえだけど、家庭でのしつけなどが大事だと思う。昔のように他人の子どもでも叱るというように、みんなで見守つたらいいと思う。	女性	60代
家庭環境が一番大事だと思う。両親の影響が子どもの知能や人格にまで及ぶと思うから。	女性	60代
親子で食事、旅行、レクリエーション、会話のある家庭作り。	男性	60代
家庭環境が大切である・・・。じいちゃん、ばあちゃんと同居ならば、両親が積極的に“大切”にし、子どもたちに見本を見せるとともに、子どもたちにもじいちゃん、ばあちゃんの教えを聞かせることが大切。	男性	60代
学校教育よりも各家庭での教育、また、しつけが大切である。社会生活におけるマナーが教えられていない。	男性	70代以上
学校側と家庭の絆ができていない。また、親が学校だけに頼りすぎ、親は子のしつけにつきる。	男性	70代以上
今の子ども達には質実剛健といったものが見えて来ない。家庭での教育（しつけ）が美化されすぎているのでは・・・と思う。	男性	70代以上
家庭にちゃんと受け止めて抱きしめてくれる人がいる家庭と先生がその子の目線で考えてくれる。	女性	70代以上
保護者と学校がよく連絡しあって、自分の子どものことが保護者に伝わり、どう伸ばしていくか保護者も子どもと一体化することが望み。	女性	70代以上
家族の親和、和楽は向上の出発点。	男性	70代以上
戦後は不登校等誰一人もいなかった。子どもたち、親を指導すること。	男性	70代以上

祖父母ー父母ー兄弟→この原点から、子どもの社会へ出てからの人間性はしっかりとつくられるように思うが…。	女性	70代以上
望んだ教育を受けられる環境。	女性	20代
今は少子化で子どもが少ない分、あまりに周りが1人に干渉しすぎだと思います。もう少し自由にできる環境に…。	女性	30代
なにかしたい、勉強したい、と思ったときに誰にでもチャンスがある環境。	男性	40代
交通量が多いところを通学しなければならないので、時間制限されている道路の進入禁止などを徹底してもらいたいです。	女性	40代
自然が豊かで、危険の少ない環境。	女性	40代
安心して公立学校にまかせられる環境。	男性	40代
ゆとりある教育と環境。	女性	50代
専門的な相談を学校カウンセラーや養護教諭などが受けられ、常にネットワークが組めていければ良いと思います。	女性	50代
安心して施設にあずけることができる環境。	女性	50代
家以外の外で遊んでいても安心できる場所。	男性	60代
将来に楽しい思い出が多く残る環境。	男性	60代
心が安らげる環境から伸びる。子ども達にも心の安らげる場を。	女性	60代
小・中・高ともに学校がのびのびと行ける環境を作ること。	不明	60代
小学校の教育充実を図れば、色々な諸問題の芽をつめるのでは。	男性	60代
規模が小さいと教師の目は行き届くが、保育園から中学校まで1クラスで活力が少ない。	男性	60代
あまりわかりませんが、外国より教育が劣ってきているとか？日本の教育も知恵を増すよう願っている。環境づくりも大切です。	女性	60代
私の町の小中学校は小1～中3まで1クラスで、何の変化もない学生生活である。ときには変化があれば、素晴らしい友達ができ、学校生活になれると思う。	女性	70代以上
子どもが自学できる地域社会に完備した図書館が必要と思う（内容の充実した図書館）。	女性	70代以上
問5①の1から10（理由として挙げている選択肢）すべてを充実してほしい。	女性	70代以上
子どもが喜んで学校へ行ける教育の場であってほしい。	女性	70代以上
教育費の公費負担。少なくとも高校まで。	男性	70代以上
昔の様に子ども達も自由に外で遊べて、安心して友達の家とも行き来ができる世の中になってほしい。車社会になって親は心配が絶えないようです。	女性	70代以上
自然の中で遊び、勉強、スポーツのできる環境を作ること。	不明	不明
今の所は自然があり、子どもも少ないので先生に対しては教えやすいと思う（小さい子がいないので、深くはわからないが…）。	不明	不明
子ども達の将来の選択肢を増し、それを叶えてあげられる様な、教育環境の整った社会。	男性	20代
価値観を単一化しない環境。多様な感覚を子どもに与えられる学校。	男性	20代
子どもの意欲がある分野をさらに高度な教育を受けることが出来る社会。	男性	20代
個性が伸ばせる環境。	女性	20代
一人ひとりの個性を伸ばせるような環境。	女性	30代
自然環境の中で、その子の個性に合った教育が望ましいのではないかと思います。	女性	30代
その子の特性に合った勉強ができて、学力も十分に伸ばしてあげられるような教育で、他の子との競争ではない、その子の中で100%を目指せる教育環境。	女性	30代
勉強以外で個々の得意な好きな分野でHEROになれるシーンが学校内外である環境。	女性	40代
子どもの全体像を捉え、それに応じた教育。	女性	40代
子どもの才能を伸ばしてあげられる様な、沢山の取り組みがあること。	女性	40代
しつてもちゃんとしつと、個性を伸ばせる環境。	女性	40代
一人ひとりのよい個性が発揮される教育環境です。よい個性はほめる。悪いことをすれば叱る教育。	男性	40代
安心して通学できる公立、小、中学校が少ない。一人ひとりの子どもの可能性が開ける環境がほしい。不登校の子の教育の場の確保ができていない。教職員は熱意と愛情をもって教育してほしい。	女性	40代
基礎学力も必要ですが、中学、高校にもなれば、自らの特性、個性を育て、それを伸ばすことができる教育。教職員の資質の向上も願います。	男性	50代
個人の長所を生かせるような先生をもっと教育現場に増やしてほしい。	女性	50代
一人ひとりが自由に選択できる環境。授業料以外の費用（給食費など）にも親の負担を必要としない政策。	男性	50代
子ども一人ひとり顔や性格も違うのだから、そのこの素質を見出して伸び伸びと教育できる環境をつくる。	女性	50代
子どもの個性と感性を大事にのばしてくれる教育。	女性	50代
自分の好きな事をもっと伸ばすことのできる教育環境だと思う。	男性	50代
中間に合わせた教育だけでは、最終的に社会に出たら駄目だから、個性を重視した競争のある環境。	女性	50代
画一的で、100人いても、500人いても、一糸乱れぬ姿がよいのであれば、それに外れたひとりへの対応も必要だと思う。	女性	50代
個性を伸ばす教育、現状はあまり横一線になっている。	男性	60代
子どもの自立するような教育。親が教育に口を出さない。	男性	60代
子どもの持っている個性を十分に伸ばす教育環境。	男性	70代以上

私は足が悪いので、将来、結婚できなくても自立して生活が出来るように洋裁を習い、人の3倍ぐらい努力して2人の子どもを育てながら、高収入が入り、一人ひとりに合った教育が望ましい。	女性	70代以上
まずは基礎学力の定着を目指し、“自分で物事を考える”という思考過程を身に付けさせるべきである。新聞を利用して教育したり、自分の考えを人前で発表する力を向上させるべきだ。	女性	20代
横並びの教育（私感ですが）はやめてほしい。個性というものがあるので、基礎学力は厳しく指導して、休みは少なくして、もっと勉強すれば将来に希望が持てるという教育。	男性	20代
TT教育が少なく、学力の低い子どもに合わせて教育されている。クラスのバランスが悪い。佐賀文化、日本文化にふれる教育が少ない。	女性	30代
もう少し現代社会における教育をしてほしい。	女性	30代
基礎学力が低下している児童・生徒の能力を底上げするような教育が必要だと思います。（落ちこぼれた生徒が非行に走ったりする現実があるため）。	女性	30代
数学的才能や文学的才能を、それぞれ別の物と考え、育成する専門的な機関も欲しい。身体的能力は早くに開花する環境があるが、それらは皆無。	女性	30代
競争がなく、ゆとりの影響により学力の低下。	男性	30代
昔に比べて勉強の進み方が早い？！	女性	30代
受験勉強のない教育。	女性	40代
みんなが一定の学力や身に付く教育環境。	女性	40代
基本的に「しつけは家庭で、社会的・学習教育は学校で」と思っているため、昔のように詰め込み型の学習は望ましい教育スタイルだと思っています。あと、もっと社会性を育ててほしいです。	女性	40代
勉強がわからない子ども達に、もう少し熱心に教えてほしい。	女性	40代
学ぶ楽しさを教えている環境づくり。	男性	50代
ある一定水準の基礎学力を身につけさせたいうえで、将来、社会で様々な困難な問題に向っていくうえで、問題の解決能力を身に付けさせるような環境。	男性	50代
これからの日本は国際競争力を再び重視してゆかなければならないと思います。ゆとり教育をしているのんきな場合ではない。語学が最も劣っていると思います。子ども一人ひとりの能力を専門的に伸ばせるスペシャリストを育てる教育環境を望みます。	女性	50代
子ども一人ひとりの学習能力にあった教育を行える環境。	男性	50代
学べる環境が整っていること。学校の中で塾をしてもらいたい。おちこぼれをなくす指導を。指導者の資質向上。	女性	50代
一人ひとりの存在が尊ばれ、基礎学力を大切に下さり、学ぶ楽しさを身につけ、考えることのできる力を育ててほしいです。	女性	50代
もっと独創性を養う教育をしてほしい。ゆとり教育も大切ですが、一番、脳が活発に働いている子どもの時期は、しっかり勉強させてほしい。詰め込み大いに結構。	女性	50代
個人的な学力の有る人が低下している。	女性	60代
子どもは学問ができなくてはダメ。学生時代はまず勉強をすること。教育はやらねばいけないこと。	男性	70代以上
徹底的に基礎学力を身につける教育をいま一度。	男性	70代以上
個々のレベルにあわせたクラス作り。少人数制、6人グループ授業、1クラス4、5人のTeacher設ける。	女性	30代
先生1人に対しての生徒の数が少なく、生徒それぞれにきめ細やかな対応のできるような環境。	女性	40代
一クラスあたりの人数が多すぎる。30人以下にしてほしい。	女性	40代
少人数学級の導入（15～20人）が望ましい。	男性	40代
少人数制。	女性	40代
少人数学級。	男性	40代
学級の少人数化。	女性	40代
1学級2人教師制。	男性	50代
1クラスの人数を減らされるのであれば望ましい。	女性	50代
30人学級。多いと大変で子ども一人ひとりに目が届かずにいる。	女性	60代
学校差によってクラス数が違い、（例えば近くの小学校）では、一学年120人で40人学級、121人で少人数など。その辺の見直しを？	女性	70代以上
1クラスの人数を少なくしてもらいたい。	女性	70代以上
一クラスの人数を少なくして教員の数を増やす。	女性	70代以上
地域の人々ともふれ合うことのできる行事をたくさん行われている環境。	女性	20代
地域とつながりを増やし、みんなで子どもを教育する。	男性	30代
親、地域、学校が協力して子どもを見守り教育をしている。	女性	30代
地域の人がある子の名前、家、親を知っている。悪いことをしても、地域の人から親に情報が入る環境。	男性	30代
子どもは学校や生徒を信頼していないため相談しない。また、地域での連携交流がないため、親も含め相談相手がいない。	男性	50代
地域で安心して見てもらえるセンターなどがあれば。	女性	50代
例えば運動会などを小学校と町内の運動会を一緒にすると、子どもと高齢者が楽しく1日になるなど・・・。	女性	60代
地域の子も自分の子どもとして注意し、怒ることができるような環境が望ましい。学校の先生方は対応に苦悩していると思う。親の寛大な気持ちほしい。	女性	60代
地域が助け合って子ども達を見守るなど、勉強は学校に任せて土曜日にも授業されたらと思います。	女性	60代
家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割で責任を果たす、果たせる環境。	男性	60代

地域と密着した教育。	不明	不明
思いやりの心を育む教育。行き着くところは、ここだと思います。	女性	30代
個性も大切だが、集団で生活したり（行動）するときに必要な協調性や敬うこと常識的なマナーを教育してほしい。	女性	30代
徳育ができる社会。	男性	40代
学べる内容が、時間がない為、不足しているのでは。人と人との関係をしっかり学んでほしい。	男性	40代
子どもに悪い事は悪いと、しっかり教えて欲しい。子どもへのちょっとした痛みは必要⇒体罰。	男性	40代
今の教育環境では、人間作りは無理だと思う。勉強も大切だが、それより人の痛みをわかる人間達になってほしい。	男性	40代
子どもにとってよくない情報がすぐ子どもたちに入ってくるので、インターネット、携帯電話の規制。	男性	40代
尊敬する人物（偉人・親族）を持たず、自己肯定のできる子どもが少ないと感じる。道徳も含め、ある人物を心の中に育てる教育の必要性を感じる。	男性	50代
学力ばかりを気にして、身につけなくてはいけない倫理や常識の勉強が出来ていない。	女性	50代
豊かな感性や社会性を育む教育ができる。	女性	60代
子ども一人ひとりが善悪の判断をしっかりとできるようになるような教育環境を整えてほしい。	男性	60代
共存していることが実感できること。	男性	60代
きびしくする。	男性	60代
子どもは贅沢しすぎる。甘えてばかり。もっと道徳教育がほしい。	女性	70代以上
いじめの問題について真剣になる先生も公務員もない。	男性	20代
いじめがない。学校内だけでなく、校外に出て授業をし、社会学習が行える。	女性	20代
いじめのない、生徒と先生の関係がよい環境。	男性	20代
いじめがない！学力も大切だけど、心にゆとり、思いやりを持つ、持たせる環境。	女性	30代
いじめのない不登校の子がいないこと。	女性	40代
教職員は学校校長などがいじめになど問題があったときは隠し、親には情報を表さない。親は子どもから、先生は子どもに対してなにをしたかを話している。	女性	50代
不登校やいじめられた子の再教育の場が少ないと思う。	男性	50代
いじめがない、感謝の気持ちを持てる。	女性	50代
学校全体、地域・社会全体が一体となって、今起きているいじめ、事件、事故が起きないように、情報交換。又、豊かに個性を伸ばしていく教育環境。	女性	70代以上
障害の程度によって普通の公立小学校にできるだけ通えるようにしてほしい。	女性	30代
小中高校で特別支援教育が必要な子どもたちに対して、対応する教員を増やしてほしい。集団生活の中で個にあわせた支援が不足していると思うので。	女性	30代
特別支援学級をただらした教育ではなく、学校に行っている以上は、どんな障害であれ勉強をしっかりとさせてほしい。	女性	30代
少人数学級の実現。言葉の教室をもっと増やしてほしい。障害者に対する専門知識を持った職員の増加。	男性	30代
発達障害児の教育の専門性を持った教員の育成。特に武雄は専門の方も不在、システム化もできていない。	女性	40代
発達障害の男の子がいた場合は、男っ気がわかる男性教職員などが必要と思う。	女性	60代
障害児を受け入れる場所がない。	女性	60代
障害の父母が懸命に働かないと行政が動かない。	男性	70代以上
別にないが、知的障害者は親の責任と思うので行政の責任ではない。障害年金も掛っているではありませんか。	男性	70代以上
大人の目がいつも近くにある環境。	女性	20代
子どもは大人を見て育つのに、楽しそうにしている大人が少ない気がする。まずは大人の態度から考えるべきでは。	女性	30代
大人の目が行き届く社会。	女性	30代
子どもが自ら考え、欲することができる環境がいいが、まず、社会や大人の教育が大事と思う。	女性	50代
教育環境の前の、各家庭環境のしつけ、挨拶、基本がなかなかできていない。	女性	50代
子どもは社会・大人の鑑。モデルとなる大人が少ない。	男性	50代
大人一人ひとりが、子ども達を思いやる心がない様な気がする。	女性	50代
大人がまずしっかりしないとイケない。	男性	60代
年々、部活動に取り組む子どもが減っている。	女性	20代
学校（部活）に偏っている。もっと地域と学校を結びつけるか、子どもを地域、家庭に帰すか考えるべき。	男性	50代
子どもの個性を尊重した教育。部活等、親に負担がかかりすぎる。忙しい親にとっては大変である。	男性	60代
今はわからないが授業を妨害するような生徒がいた。そういった人は隔離するべき。そういった人と一緒に勉強するため、学力が低下しているのでは？	男性	20代
地域の仲間と楽しく登校できること。	女性	30代
義務教育時から職業についての専門知識を学び、曖昧な考えをなくさせる事。	男性	20代
勉学に熱を入れても体力がないと学校の登校そのものがつらくなる。北九州は運動不足を補うため、ダンスで体力を向上させている。「はがくれ」武道ばかり言わずにリズムカルなそのような楽しい教育もほしい。	女性	40代
あたえすぎない。	女性	20代

偉い人を尊敬できる。	男性	20代
学校を選べる。	女性	30代
自然であること。	男性	40代
一人ひとりに手と目をくばる教育を学校に望むのは贅沢だと思う。	女性	40代
学校側でも精一杯されていると思います。	女性	50代
「一人ひとりの目標や課題に応じた教育」というのがありえるだろうか。	男性	50代
あまりに学校統合が早すぎる。	男性	50代
中高一貫校をつくったせいで、そこからもれた子どものやる気をうばっている。エリートをつくるための教育であっていいのでしょうか。県の教育のやり方に大いに疑問を感じます。	男性	50代
一人ひとりはずかしいと思う。一般生活最低生活常識を身につく教育。	女性	50代
一人ひとりに望ましい環境なんてありえない。	女性	60代
私が問うのは、どんな子どもに育てたいのか。目的が一つであれば問う必要なし。私は世継ぎの子を育てたい。	男性	60代
頑張ればお金がなくても望む道に進める社会。	女性	60代
転入後あまり時間がたっていないし、ここで子育てしていないのでわからない。	女性	60代
学校に関与する状況にないのでわかりません。	女性	60代
子ども一人ひとり・・・質問の範囲が不明確。	男性	70代以上
今、子どもを育てていないからわからないが、それぞれ一生懸命やっているように感じる。	不明	70代以上
孫は都会にいますのであまりわからない。	女性	70代以上
現在の学校の休日が多すぎる。もっと昔みたいに教育の時間を多くすべし。	女性	70代以上
貧富のない共存することが最も大事なことです。	男性	70代以上
学校以外での塾の時間が多いのでは？	女性	70代以上
私は子どもを30年前に大学を卒業。30倍の難関を突破して庁省に入省卒業（一人前に育て）出来ました。今は昔と違って子育ても大変ですね。	女性	70代以上
明るい汚れない日が続いてくれるのが一番だと思います。	不明	不明

2-（2）「歴史や文化にふれ、楽しめる社会」とは

内容	性別	年代
子どもたちに住んでいる地域の歴史、文化に興味を持てるようにしたい。	男性	30代
社会科見学回数は年1回。しかも自費。これでは税金の活用が全くされていません。	女性	30代
学校で文化行事などに強制的に参加させないとダメ。今は興味のある人だけふれあう様な状態なので、何も知識の無い人へのきっかけを与えられていない。	男性	30代
子ども達が町の文化を語れること。0才児、3才児未満の子どもが聴ける音楽会などが無い。	女性	30代
学校でも折にふれ、地域の歴史や固有の文化について学習できるような社会。	女性	40代
日本は歴史が独特で、世界的にも誇れる物がたくさんあります。生活や文化、いろんなことにふれ、当時を想像し、議論できる場やリーダーを小学生を中心に確立して下さい。明治～現在の歴史に関してすらだいたい曖昧になってきていることに危機感を覚えます。	男性	40代
子どもの頃からもっと文化行事や伝統文化・歴史的資産にふれる機会を増やしてほしい。	女性	40代
小学生のときに歴史に大隈、その他偉人さんの活躍を勉強させたら歴史に興味をわくと思う。	女性	50代
地域の伝統文化の継承などが地域の連体と子どもたちを育て、ひいては自分の地域の歴史や文化を学ぶことになる。	男性	50代
教科書には登場しないが、各地域には素晴らしい人々がいます。青少年のうちにそのような身近な歴史や偉人を多く知ること、夢を持ったり励みになったりします。たまに本などが出版されても、あまり世間に知られることもないことが多いように思います。大人、親、教師がもっと知らねば、学ばねば・・・と思います。	男性	50代
県の文化施設に小学生を1年生から6年生まで年2回学習させる。	男性	50代
せっかく環境とか施設はあるのに、出向く住人が少ない。スポーツは取り組みやすいが、文化的なことに触れようとする人が少ない残念。ハコ物はあるものを利用して新設はしない。大人は興味なくても、学校で積極的にやってほしい。子どもに文化の芽をもってほしい。	男性	50代
子ども時代に歴史にふれる機会が少ないと思う。正しい歴史（マイナスの面もふくめ）教育されて誇りがもてるような勉強だと楽しめると思います。	女性	50代
学校教育で佐賀の歴史をもっと力を入れてほしいし、課外授業でも取り上げてほしいし、特に幕末の佐賀の七賢人に対してもっと詳しく教育してほしい。	男性	60代
地域の（方言、古来の行事）文化が失われている。子どもに地域の伝統文化を教えるべき。	男性	60代
近年良くなっていると思う。郷土芸能等、忘れかけているものを掘り起こしたい。小学校の頃より参加させる。補助金等を充実させる。	男性	60代
国歌である「君が代」を学校等で歌わせない。どういうことか。日本人として恥じるべき事。こういう教育が親子のきずなも薄くしているのではないかと？オリンピックで君が代がいらぬのか。この教育おかしい。	男性	60代
学校生活が部活で休みはなく、ほとんど土日なく、これが今の学校生活なのかと。うちの子どもはようやく宿題も早くできないため、ぐずぐずしていると、楽しい土日でなく、今の世の中はこんなもんか？と。	女性	70代以上
それぞれ忙しくて中心的な人物がいないため、子ども達も遊び方が昔の子どもと違い、体を鍛えるにも勉強するにも金がかかり過ぎていると思う。	女性	70代以上

田舎のせいで文化にはほど遠いが、地域にある文化をもっと育ててくれると人は育つと思う。これは保護者の考えも子どもに影響があると思う。	女性	70代以上
今の30歳代、40歳代は高度成長時代で、又、隣近所の大人の方の叱咤激励でよい子に育ちましたが、30歳、40歳の今は基礎がなっていない。両親がそんなだから、うつ病や自殺、はたまた両親や家族を殺すニュースが飛び交い、胸を痛めます。県はどうか知りませんが、まず中学、高校に自衛隊入学を1年間指導したらどうでしょう。礼儀に始まり忍耐に終わる基礎が出来る。是非実行してもらいたい。又先生もゆとりなどに試験をし、道徳など勉強してもらいたい。質をとって下さい。先生も勉強するでしょう。昔の先生は厳しく良かったと思います。	女性	70代以上
歴史博物館が少なく、子どもと一緒に学べる場所を作してほしい。	不明	不明
小さい頃から地域の歴史や文化に親しめる環境を整備する。	不明	不明
伝統文化を受け継ぐのは大変。強制的に参加を求められることもあり、その地域に住むのをしぶっている若者がいるくらい。	男性	30代
子どもの数も減って来てるので、地元の昔からの行事はやめてほしい。親が面倒。よそから来たのでなじめない。	女性	30代
地域の伝統行事を見ても、若い人の姿が少ない。歴史ある伝統文化は本当に後世に伝えていってほしいと思うので、学校の授業の中でも取り上げてほしい。	女性	30代
伝統ある物事を受け継ぎ、佐賀のいい所(人物・事柄)をもっとクローズアップした行事があるといいのでは。	女性	40代
今は少しずつ地域のお祭りなどで、近くの神社の歴史などを少しずつ知ることができるが、親の私もあまり知らず、子どもに教えられていない。	女性	40代
核家族化とともに、地域の文化は核化しているようですが・・・。	女性	50代
地域独自の文化の継承が必要。押し付けではなく楽しめる興味を持ちやすくする方がいい。	女性	50代
伝統文化の保存に対して支援が少ない。	男性	50代
日常や年中行事の中に生活環境の一部として入り込んだ物こそが意味のある物だと思う。	女性	50代
大人も子どもも一緒にになり、昔から伝わるいい行事などを継続できるようにすること。	女性	50代
歴史文化は人から人へと伝承されていくものであります。親と子が一緒に参加できる行事を増やしていただきたいと思うし、土・日を使って数回通えるといいと思います。文化行事の情報が少ないというよりも、発信する側はきちんと発信されているのだと思いますが、受信する側のあり方をあまり考えていないと思います。県日よりや市報等、なかなか忙しくてみる時間がない人も多数いらっしゃると思います。コンビニ等に張り出すなら、不特定多数の方々目に触れると思います。	女性	50代
伝統・地域行事など守り、伝えていく事。そして地域(子どもは小学校など)で披露して、その良さを感じてもらおう。	女性	50代
地域の伝統行事等が意味合いも含め受け継がれること。そのため、おじいちゃん、おばあちゃんとの同居を好ましく思う。	女性	50代
小学生の間は、学校行事より地域の行事を優先させ、地域全体で子どもに文化や歴史にふれさせてほしい。	女性	50代
伝統文化も、無理なく自然に受け継がれるのがよいと思う。	女性	50代
地域の伝統文化、歴史的なものなど、ほとんどが若者対象にされる現在である。	女性	70代以上
大体伝統文化を受け継ぐ気持ちを持って生活している人が多いと思う。	女性	70代以上
お供目のトンテントン合戦が中止になった事で、伝統文化がなくなる様で淋しい。	男性	70代以上
地域ごとの歴史の展示、文化を大事にし、次の世代に分かりやすく受け継ぐような社会。	女性	70代以上
身近に文化的な物はあるが、昔ほど伝統行事が少なくなっている。もっとふれさせたい。	不明	不明
博物館の展示の充実。土地、地域の文化の知識が得られる環境がととのっている。	女性	20代
博物館で展示を通して、国内外の歴史や芸術がわかることができる。	女性	20代
博物館の展示内容を充実させ、わかりやすく展示されている社会。	女性	20代
博物館や美術館でもっと目玉名物を展示品としてみては、数日間無料開放をしたらもっと入管も増え、ふれる機会もできる。	男性	30代
博物館の充実。TV等で多くの情報が紹介される。	男性	30代
博物館等でのイベントが多い社会。	男性	30代
博物館に行けない。	女性	40代
博物館があっても、内容がよくないので、結局、福岡に見に行くことが多い。	男性	40代
博物館、美術館は十数年前に1回行ったきり。それだけ展示物に魅力がないのでは？佐賀県になくて他県の人気のある施設との違いが何なのかわかりませんが・・・？	女性	50代
美術館や映画館、伝統工芸館などの文化施設が整っている社会。	女性	50代
大きな博物館はいらないけど、ちゃんとして展示等されていない。ばらばらなのが原因。(世界で有名な伊万里焼、鍋島ももっと守ってほしいと思います)。	女性	60代
美術館を明るくしてほしい。名画の展示開催をしてほしい。市立美術館を建ててほしい。	男性	60代
若者が少なく、又、展示内容が物足りない。より参加者が少ないのではないのでしょうか。	女性	70代以上
歴史講座、文化講演など、機会ある毎に参加しています。博物館でなくても展示場がほしい。佐賀市にはあるようですが、他の市町村にはない所が多い。	女性	70代以上
身近な文化財を知る機会が少ない。若い人はそういう分野に興味がないのかも。	男性	40代
文化行事にふれる機会が、情報が浸透していない。	女性	40代
佐賀の歴史、人物についてのちょっとした話、雑学など、県外の人にちょっと話ができる程度に学ぶ機会があること。史跡がきちんと管理されていて、散歩の途中に立ち寄り、県外の人に案内しやすいようになっていること。	女性	40代

大部分の人が地域の伝統文化等よりも社会を優先せざるを得ないのが実情ではないかと思うので、歴史や文化に理解のある環境をつくり出す必要があると思う。	男性	40代
今の私たちの考え方では想像もできないような昔の考え方や、在日の方々の異文化の考え方など、違う考え方にふれられる社会がいいですね。	男性	50代
文化に触れる楽しさをわかってもらえるようなものであってほしい。	男性	50代
子どもは学校の道徳で取り入れてもらい、大人は自分でも知りたいという気持ちを持つての方であれば、どんな手段を使ってでも調べる、追求するとかで、自分なり歴史的な文化を知り、楽しんでいくのではないのでしょうか。	男性	50代
身近に気軽に行ける施設があり、多彩な行事に参加できる社会。	男性	50代
歴史や文化にもっとふれ実行させる。やれることは実行させると思う。	男性	50代
歴史等を身近に感じる為に、展示物等は学校、役場、地域の店など公共の目に触れやすい場所を利用する。	女性	50代
佐賀には素晴らしい遺跡が多く残っているのに、一部にしか知られてなかったり活用されていないのもったいない。少しでも授業なり行事でわかりやすく楽しんで学べるようになればいいのではないか。	男性	50代
郷土史にふれることができにくい。	女性	60代
先人が残してくれた知恵や技術や生き方にふれ、心豊かになれる、そんな場を提供していただけること。	女性	60代
図書館、美術館、コンサートホール等に行ける社会。	男性	70代以上
自由に参加できるように、人から押し付けられず、自分から進んで参加する。	男性	70代以上
歴史的なところへ行っても、それだけではなく、他のものも一緒に楽しめる社会。	女性	20代
身近に歴史のある社会。	女性	20代
大島邸という素晴らしい建築物を安易に壊さない社会。	女性	40代
たくさんの遺跡・城跡があること、見ているだけで古代に思いをはせることができる社会だと思います。	女性	40代
町内の昭和～江戸の歴史的なものを公民館などで知らしめるなどしてほしい。	男性	40代
歴史に残る人物、建物の保存、アピールにさらに力を入れ、みんながそれ見たり、知ったりできる社会。	男性	50代
古きを尋ねて新しきを知ること？	女性	50代
地方の文化・歴史と日本国・中央と関係を検証する。	女性	60代
吉野ヶ里遺跡は、歴史資産がたくさん保存されているので、いろいろな行事を行って歴史をみなさんに学んでほしいと思います。	男性	60代
特別に管理人がいなければならぬ展示場より、自由にその時代に入っていける様な、見学する人も歴史を大切に思い、それを自分の身で感じていける様な、生活の場と一体になるような場所があればと思う。	女性	60代
一部地域では、歴史的建造物に触れ合うことができるが、そうでないところが多い。地域分散も必要ではないか。	女性	70代以上
佐賀城や吉野ヶ里歴史など多くあり。	男性	70代以上
学校の先生が他地区からの通勤者が多いので、郷土に対する愛着心が少なく、郷土史の勉強が不足している。ふるさと（住んでいるところ）の山川の名も知らぬ子が多い。郷土史を読んで暮らしてきたので余計に思う。	女性	70代以上
住民が地域のこと地民のことをよく知っている。	女性	20代
地元から日本、世界のいろいろな文化や歴史をわかりやすく紹介する展示、講演等の充実。	女性	30代
吉野ヶ里公園の開放など、地域住民が楽しめることが、もっと増えればいいと思う。	男性	30代
町全体で子どもから老人まで一緒にとりくめる事業が削られてしまっている（特に市町村合併になってから）。	女性	40代
地元の年長者の方がわかりやすい情報を目に見える形でアピールする。	女性	40代
もっと地元の歴史を誰でも学べるように工夫して、地域で行える社会。	女性	50代
縦のつながりが少なく、地域での交流の場がない。	女性	50代
地域社会人それぞれの向上心が足りない。	女性	70代以上
足元を見つめ、自らや家の作ってきたる源を折りにふれ思う。	男性	70代以上
佐賀県も歴史の宝、山ほどあります。難しいことからでなく、身近な足元にもたくさんあることの認識も大事・・・と思います・・・。	女性	70代以上
佐賀のイベント作成はいまひとつピンとこず、人の呼び込みが下手。もっと魅力あるイベント作成をしてほしい。	女性	30代
例えば、いろいろな城で行っている侍ショーのような、お客さんを楽しませるようなことをしないと、興味のない人たちを呼べないと思う。	男性	30代
大人・子どもが行事に参加するイベントが年々減る傾向。	男性	40代
イベント、お祭り。	男性	60代
四季毎に開催される行事・・・（秋祭り、春の〇〇催等）。	男性	60代
文化行事に対して、町でのいろいろな行事が少ないと思います。私たちに、わかりやすい楽しめる行事がほしいと思う。	女性	70代以上
中央での行事等が多いので、そこまで足を運ぶ不便さがあるので、楽しめることは少ない。	女性	70代以上
公共の場が各市にない（宇宙科学館、劇場等）。	女性	30代
武雄市の宇宙科学館に対応して、吉野ヶ里町に歴史民俗文化センターを設置する（外国人対応もOKの）。	男性	40代

誰でも自由に入出入りするところがほしい。	男性	40代
都会のようないろいろな見学できる物がほしい。	男性	60代
楽しみながら行ける場所。	女性	60代
東部地区には県立の文化的な施設が何もありません。	男性	70代以上
県というより「地域」ごとの歴史や文化の情報が十分に発信されていない気がする。また、佐賀市文化会館をもっと多用して、全国の多くの文化・芸能を直接県民に広めて欲しい。	男性	40代
文化行事の情報が入り、文化的、歴史的資産が保存、活用されている。	女性	60代
文化的な行事はわかりませんが、いろいろな企画をし、みんなが気軽に出かけられるよう、宣伝も必要です。	女性	60代
本人がその気になって出かけると情報があふれているから、見たり、聞いたりできると思う。	不明	70代以上
機会があったらいろんな市の歴史や文化面をテレビ等で報道、紹介などされると嬉しいです。	女性	70代以上
文化資産が、まず身近にあること。郷土の歴史の授業が、ただの遠足みたいになっていたような気が・・・。身近になかったので、築城十何年(?)の城に行ったんですが、でも、「お城」という、見に行けて憩いの場があるというのは大事ですね。中身みたとき、ちょっとがっかりきたんですが、わかりやすい解説がないと、ただ「あるだけ」になるので、それを活かす人材をもっと活用できる場があればと思います。佐賀(市)の方はさかんですが、地方は残念です。	女性	20代
過去を大切にしながらも、現代に適応しようとする姿勢も大事に考える人々の集まり。	男性	20代
役場勤めの者で、地域にかかわりたくない、自分さえよければと思っている公務員がいて、地域がまとまらない。	男性	20代
地域の歴史や遺跡、文化財をもっと前面に出して、詳しく面白く話せる人などに表現してもらおう。それをまず大人が親しむ。	女性	30代
佐賀県民自身が佐賀県出身の偉人を知らなさすぎる。	男性	60代
佐賀には他県に誇れる歴史や文化が、県民が思っているよりも豊富にある。このことをもっと自信を持ってアピールしてもいいのでは?特に、子どもたちにはしっかりと伝えてほしい(体験させる)。	女性	20代
佐賀の町はどんなところですか?好きですか?の質問にどれだけ答えられる人がいるだろうか。もっと誇りを持って偉大な先人たちにふれあえる場ができたらい。	女性	20代
自分の生まれ育った環境を知る機会があり、誇りを持てる社会。	女性	20代
佐賀県には世界的にもすぐれている文化(有田焼や佐賀錦など)があるのに、県民にも、もっともっと情報を与え、ほこりに思える様な体制づくりをしてよいのでは。そして県全体で盛り上がるようにしてほしいと思う。普通にあつて、そのすばらしさを感じず、他県に出ると、そのすばらしさを感じることもあるのもったいない。宣伝がへたすぎる。	女性	30代
佐賀は歴史的にも多くの偉大な人を輩出した県です。佐賀県民が自信と誇りをもてるように、そして住んでいて良かったと思える町になるといいですね。その為にも、もっと文化面に力を入れて、予算を投入してほしいです。	女性	50代
もう少し絵画展などあればいい。	女性	30代
中央だけではなく、地方での展示会も行えるような。	女性	50代
国内にある美術館の作品をトレードして、短期間でも展示してほしい。	女性	50代
巡回講演とか展示を増やしてもらえれば出かけやすいのではないかな。	女性	60代
佐賀はパルーンフェスタ、唐津は唐津くんち、伊万里はトンテントン・・・など、文化行事はお祭りが多いですが、わかりやすく続いていると思うのでいい。	女性	20代
市民、学生規模のオーケストラで充分なので、幼児から音楽・楽器に触れる行事が少なすぎる。よって世帯所得の差が文化レベルの差になっている。	女性	30代
本物を見せる、聞かせる、触れる。	女性	30代
頼まれたら、出前講座をお茶の間まで届けてくれるような、形にとられない工夫のある社会。	女性	30代
みんなで一つの心になる社会。	男性	40代
歴史や文化にふれる為には、もっと駐車場の整備をすべきだと思う。佐賀は交通の便が悪く、誰もが車をもって、人口が少ないので交通の便が悪いのは仕方ない事なので、これだけ広い土地があるのなら、ゆっくり駐車できるスペースが欲しい。	女性	40代
多様な企画が出ていないのではないかな。施設が必要ではなく、人を引きつける内容が大切ではないかな。	男性	40代
そのような所を保存し、体験できること。	女性	40代
生活していくのが精一杯で、私の場合、今現在は興味ないです。	女性	50代
税金のムダが多い。県民の声を聞いて環境づくりをしてほしい。	男性	50代
真実を知り、それを受け止め、認めることのできる社会だと思います。違いを大切にすることのできる社会です。	女性	50代
文化について考える以前に、生活にゆとりがない。一部の人々の共有物となっている。	男性	50代
歴史や文化に属する町などはそうかもしれないが、一步はずれると蚊帳の外である。	男性	50代
もっと街中のサインを整備!文化的・歴史的資産の保存・活用を図ってほしい。	男性	60代
佐賀城本丸歴史館の入場料無料とはよろしくない。小・中・障害者・学生はいいとしても、大人は料金は払うべきだ。タダという感覚がおかしい。	男性	60代
他の県からの居住者は道に迷うことがある。もっと道路の標識を大きく出してほしい。	女性	60代
交通の便や解説者が必要。	女性	60代
視ること聞くこと。	男性	60代
興味のある人が、研究・研修すべきで、すべての人を対象にしなくてもいい。施設の無駄。	男性	60代
個人の興味により差があり、全社会がとは言えないのでは。	男性	70代以上

教科書通りの教育では無理でしょう。	女性	70代以上
これは私は老人には難しい思いです。返答ができません。	男性	70代以上
これから・・・という佐賀県ではないかな？	男性	70代以上
私の住む市は孔子の里として知られているが、一部の人以外はなかなか論語に親しんでいる人は少ないようです。	男性	70代以上

2-(3) 「生涯学習を楽しめる社会」とは

内容	性別	年代
いろいろな人の話や意見を聞く機会が多く、身近にある社会。	女性	20代
講演会や講座などは、開催は少なからずあるとは思いますが、それに興味を持てるようなプレゼン(紹介)の場・機会がないので増やす。	女性	20代
どんな人でも趣味がある。どんな趣味でも近くで安価で習う場が必要。	男性	20代
知的興味が刺激される機会が増えると思う。	女性	20代
生涯学習を生かせるように機会がある社会。	女性	20代
選択肢がたくさんあること。年を取ると遠くには出かけられないので、公民館などで複数の講座やイベント、発表会などでできればいいのでは。	女性	30代
専門誌が少ない。無料講座がない。	女性	30代
時間帯が10:00~16:00とか、昼までとか、平日とか、誰が行くんだという時間にしかやっていない。行けるバスがない。	女性	30代
子連れでも参加できる講座。	女性	30代
講演会や講座まで出向くことのできない人も、耳のきこえない人も参加できるようなCD講座や点字講座の充実した社会。	女性	30代
様々な興味に対応できる講座やサークル等の充実している社会。	女性	40代
講演会、図書館などが、いつでも活用できる社会。	男性	40代
平日の昼間以外の企画希望。	女性	40代
チャレンジして学ぶ場所が多くある社会。	男性	50代
いつでもどこでも誰でも学習の機会、場が得られる社会。	男性	50代
50代前後の生涯学習の場がない。パソコンや介護、食生活などについての学習がしたい。	男性	50代
気軽に学習に再チャレンジできる環境の充実。大学の公開講座も、もっと一般に開放してほしい。	女性	50代
進んで参加できる学習の場をつくる。送り迎えをする。	男性	60代
求める水準に応じた学習の場が、簡単な方法で体験。	男性	60代
集会があっても老人にとって遠い場所は無理。	男性	70代以上
学びたいときに学べる社会。	男性	70代以上
そのための施設が充実している。	女性	20代
気軽に利用できる図書館、ジム、プールなどが合わさった施設があってほしい。	女性	30代
図書館や公民館の充実を求めます。	女性	30代
年齢に関係なく出入りできる施設の充実。	男性	40代
求めれば受け入れる態勢の整った施設や団体がある社会。	女性	40代
大学院使用図書蔵書室の設置。	男性	40代
仕事をしていない人たちが、自由に行けて楽しめる場所が少ない。もちろん公共の場が少ない。	男性	40代
母は77歳です。とても健康です。もっと毎日を楽しみたくて過ごしてもらいたと思っています。生涯学習という面では市域でも複数の講座が開かれている場所がありますが、送り迎えが必要な遠方で、バス路線のアクセスが悪く、利用したくても利用できない現実がある。「やってみます」だけでなく、そこへ多くの方々が足を運べるような行政サービスも合わせて考えてください。	女性	50代
近くの公民館での教室等の内容が充実している。閉じこもりの大人をなくすネットワークの構築。	女性	50代
若い人でも高齢者でも誘い合い、車がなくても行ける場所、及び手段があること。	女性	50代
身近に学習する場所があり、いろんなジャンルがあると思います。	女性	50代
地域ごとでも、市町村ごとでも、本も、施設も、利用も、充実している場がある。休日子ども達が集まって勉強できる場がある社会。	男性	50代
気軽に利用・活用できる施設を整備してほしい。	男性	60代
文化施設の不足。片寄っている。佐賀市中心視点が違う。	男性	60代
コミュニティーセンターの土曜日の午後5時より使用が出来ない。7時くらい迄開けてはどうでしょうか。	女性	70代以上
学校図書館に関しては、福岡県(市)よりも充実していると思う。その姿勢をこれからも大切にしたい。	女性	20代
図書館の本を増やす。	男性	20代
年齢に応じた学びの場が提供されている社会。大和の図書館小さいので、冬になると学習室は受験生でいっぱいになるが、あふれて、横で勉強している子どものそばで小・中学生が遊んでいたりして気の毒です。	女性	20代
図書館はより充実になってほしい。	男性	20代
「知の宝庫」である図書館については、増冊し、みんなが読書に親しみ、知識向上に役立つ社会づくりに取り組むべき。	男性	40代
佐賀市立図書館に比べて、近くの図書館は・・・格差が大きい。	男性	40代
市内の図書館の冊数が少なく、佐賀市立図書館まで借りにいけないといけな。全ての用事が市内だけで、その地区その地区でできるようになったらいいと思う。	女性	40代

自分は本が好きなので、暇をみては図書館で本を見ている。あとは仕事仲間との社会でよく話すこと全てが学びにつながります。	男性	50代
市町村の枠をとっばらった、図書館のネットワークを求めたい。利用したい図書館で貸出ができればいいな。	男性	50代
図書館というものが楽しい場にするのだと思う。	男性	50代
私はわかりませんが、近くに図書館はあり、車も多く止まっており、みなさん活用なされているのでは。たくさんを学び、成果が発揮できること。	女性	60代
図書館の本はいっぱいあっても、子ども達の環境があまり良くない。静かな状態でない。	女性	70代以上
私は本を読むのが好きなので、図書館が近いところにあるといいなと思います。	女性	70代以上
高齢者のための娯楽的な場所ではなく、もっと質を高めた社会に還元できる学びの場として存在する。	男性	60代
老人と子ども、老人と若い奥様と同じ課題での勉強会等を聞く。若い人は情報過多で信じるものをなくしている。	男性	60代
定年後の勉強、スポーツ、他等に講演、講座を開催し勉強の場が多い事。	女性	60代
秋に高齢者の会がそれぞれの地区毎に開催されますが、これは行政・政党・議員などの挨拶が多く、高齢者同士が話し合う時間が少ない。せめて月に1回、昼間お茶を飲みながら話し合うことが、孤独になりがちな高齢者の生き甲斐になるのではないのでしょうか。	男性	70代以上
老々介護のため、時間がとれないから何とかやりたい。相手に理解がないと成り立つものではなく、宿命かもと思います。	女性	70代以上
生涯学習の講義を受けていますが、もう一つ何か違うのです。私が年をとっているのです、今の世についていけないのか？	女性	70代以上
高齢者大学卒業した人も、時間が経つに従って社会に役立つことをしていないように思うが、もっと内容を社会参加型の内容にしたらと思う。	女性	70代以上
年齢を越え信じ楽しめる社会。	男性	70代以上
今はあまりにもお膳立てがよすぎて・・・。かまえることばかりでなく、年を重ねてくるとまだ知らないことばかりで・・・。これが学び取る“時”、まず自分から知りたいと思う気持ち。	女性	70代以上
高齢者大学などを例にとれば、鹿島校、唐津校はあるのに、東部地区にはありません。なぜでしょうか？	男性	70代以上
出てる老人が多いが、学校に学習をした老人を勉強、講話など派遣し、子育てを手伝ってほしい。又PTAに対しても。	女性	70代以上
いろんな分野の講演会を頻繁に行うことで、子どもから大人まで学べる環境になる。	女性	20代
講演会が高い。	女性	40代
市町村に講演する人をもう少し増やし、講座など開催を増やしてほしいです。	女性	50代
フルタイムの勤務なので、夜間の講演会・講座を充実してほしい。	女性	50代
講演会や講座などの開催が多い。	女性	60代
月に一度で良いから、近く(10km以内)で講演会や講座などを開催してほしい。	男性	60代
市内では、生涯学習が月に1回～2回ありますので、専門の方の話で良くわかり、たのしみに通っています。	女性	70代以上
講演会や講座などの開催が少ない。	男性	70代以上
講演会や講座等行われていても、交通機関の体制が整っていないので参加できない。	女性	70代以上
都会ではないけど、もう少し講演会等を地方でも開催してほしい。数多く。	男性	70代以上
お年寄りになって勉強！？という偏見があると思う。そんな考えを壊して、死ぬまで人は成長できるんだ！！という社会の実現。	女性	20代
本人がやる気を出せば道はいくらでもあると思います。	男性	30代
心に余裕が生まれる社会。	男性	40代
自己の向上心のみにあると思う。	男性	70代以上
いろいろ学習の場が細かく、注意しているとあります。本人がその気になること。	不明	70代以上
環境は整ってなくても立派に生涯学習できている人はたくさんいる。	女性	70代以上
生涯学習を行うと思うといくらでも施設もあり、自分で工夫すればできる。	男性	70代以上
生涯学習、個々の学習をもっとやる。	男性	40代
自分で努力するもので、他力に頼るものではない。	女性	40代
生涯学習は個人でもできる。	女性	50代
これも施設などなくても、どこでも誰でもできるのが生涯学習。きっかけ作りが問題。個人小グループから立ち上げ、楽しめればいいと思う。	男性	50代
自身の生きがい社会。	男性	50代
各自多様でよいと思う。	男性	70代以上
情報を発信して。	女性	20代
身近に生涯学習について話す人がいない。そういう人がいないのが問題だと思うので、情報をもっと流れないといけないと思う。	男性	30代
生涯学習は中高年だけのものではなく、若い人、仕事をしている人も参加しやすくし、何が開催されているか情報が得やすい社会。	女性	30代
どんな内容が開催されているかわからない。もっとアピールしてほしい。私が関心を持っていないのかもしれないが、魅力のある物に出会えない。	女性	50代
報道機関が誤まった情報を正当化して流しているものがあるようだが、報道機関はもっと勉強と確認をしてもらいたい。	男性	70代以上
だれもが気楽に勉強できる社会(もっと情報等が得られるようにする)。	不明	不明

余裕がある社会。	男性	30代
人生は一生勉強だと思うので、「生きる楽しみ」がわくような社会にしてほしい。	女性	30代
一生学べる社会。もちろん安く。	男性	40代
自分自身が生涯を通じて「理想とする自分の姿」を持つことができ、その理想に近づくための助けとなる「相談」がすぐにできる社会。	女性	40代
少し余裕のある生活ができる社会。	男性	50代
学習したことが生かせる社会。	女性	30代
生涯学習をするためには、まず、生涯働いたり、人のために役立つ場面がなければ、学習したことをいかすこともできない。退職者の社会参加できる社会。	男性	30代
学習の成果を気軽に出来る生活の場が多い社会。	女性	40代
仕事を辞めても趣味などが生かせる場所が充実している。	女性	50代
開催地はほとんど佐賀市内ばかり。西部、北部などの利用もあればよいと思う。1時間かけて行き、話を聞いて、また1時間・・・ムリ。	女性	40代
市町村の中心部には各文化施設がありますが、近くに住む大人や子どもたちは利用できても、住民の遠いところに住む人々は利用できず不平等かと。	男性	50代
いつでもどこでも機会があること。県の中心部に偏在している。	男性	60代
生涯学習を受けるのはいいですけど、中心部まで出ないと不便。それは交通の便が少ない。特に車に乗らない人。	不明	不明
大人向け School の施設がない。	女性	30代
働きながら夜間に通える大学、大学院等がある社会。	男性	50代
大学が少なく、社会人になってからの勉強が佐賀では難しい。	女性	50代
文化について考える以前に、生活にゆとりがない。一部の人々の共有物となっている。定年後や有閑夫人の関心しか表れない。	男性	50代
経済面や生活面の心配ないよう。	男性	70代以上
地域が経済的にゆとりが出たらもっと楽しめる内容にもなると思います。	女性	50代
生涯学習は集落の中で、生活の中で取り組んで行くべき。学校での生涯学習は不要。一般の学習であること。	男性	60代
学んで友人と交流を深め、発表する場がある。	女性	40代
生涯学習発表コンテスト。小グループ→小自治会→市町村→県大会。	女性	60代
お金を払わなくても自由に学習できる機会が多いといいのでは。	女性	40代
年金生活に負担にならない程度の受講料で、講師の人柄にも多少の影響があると思います。	不明	70代以上
県が教科ごとに講師を招いて、小学生を文化会館等に集めて講座を行う。	男性	50代
感謝できる人づくり。	女性	60代
町を見下ろせる高い建物がある。	男性	20代
どちらかというと年配向けが多い。	女性	30代
よい先生がいること。	女性	30代
何か打ちこめる事をみつけて仲間をつくり、社会とかかわりながら暮らせる社会。	男性	50代
昔は道徳とか何とかいろいろあったが、今は勉強の時間が少ない上に、個人主義である。親がダメ。	男性	50代
働く世代は現実足を運ぶ時間がないので、今やっている公民館活動で十分。	女性	50代
講座などより多く聞くこと。	男性	60代
本当に必要な本は自分で買ってでも本気で調べていますよ。会に求めるものと、自分で求めるもの、考えるべきでは。	男性	60代
気軽に安心。	女性	60代
本を読むこと。	女性	70代以上
同じ仲間同士で話し合い好きなことをする。	女性	70代以上
誰でも気軽に参加できるところであってほしい。	女性	70代以上
高齢のため外出がおっくうになりましたが、それなりに会合などに行っています。	女性	70代以上
参加すること。	女性	70代以上
特にない。現状通りでよい。	男性	70代以上

2-(4) 「スポーツに親しめる社会」とは

内容	性別	年代
子どもから大人、高齢者まで幅広く親しめるスポーツ設備・施設があり、みんなそれぞれ笑顔で楽しめるスポーツ大会。	女性	20代
文化体育館の無料貸出や、スポーツ道具の提供も増やしてもらおうと親しみやすい。紹介ももっと積極的に知らせてほしい。	女性	20代
スポーツ施設へのアクセスが容易であること。努力することが恥ずかしいことではない社会。小・中・高ずっと佐賀で育ってきたが、努力する者を笑いものにし、足を引っ張る傾向が少なからず見られる。	女性	20代
だれもが使用できる広いグラウンドなどが近くにないので、運動する為に車を使い、遠い所へ行く。その運動するまでの負担が少なくなる事が望ましい。	男性	30代
佐賀県には多くのスポーツ設備があるが、夕方6:30までなど、時間が限られていて、やりたい時間にできない。また、市、町、村立の設備が自由に使わせてもらえない。	男性	30代
スポーツに興味がなく、好きな人は出来る場所があればいいと思います。	女性	30代

平日の夜でもスポーツができる社会。	男性	30代
どこで場所を借りたらいいかわからないので、もっとわかりやすくしてほしい。	女性	30代
低料金で家族で楽しむ設備、施設が少ない。	女性	30代
町民プールなど設置してほしい。	男性	40代
地域の設備、環境を整えることにより、健康につながると思う。	女性	40代
気楽に土日でも夜でもスポーツできる公共の施設があれば。	女性	40代
地域のスポーツ施設が借りやすい方がよい。	女性	40代
いつでも自由に出入できる場所が少ない。管理体制での見直しが必要と思う。	男性	40代
自由に利用できる施設があること。	男性	40代
夜も利用できる公共のジム。	女性	40代
設備が整備され、いつも自由に活用できたらいいと思います。	女性	40代
“身近なところ”に気軽に利用できる広場や施設・・・あるようでない。高齢者や子どもにとっては遠いところだったりすることが多いように思いますが。	男性	50代
年代に応じたスポーツができる施設があること。	女性	50代
地域の学校の体育館等を一般利用できるようにしてほしいです。	女性	50代
地域の中で施設の使用が利用できる情報をもっとあれば、スポーツを親しめる環境ができる社会になると思います。	女性	50代
仕事終了後、深夜にかけて利用できるスポーツ設備が充実している社会。	男性	50代
現在、スポーツをしていて、十分に親しんでいます。町の体育館を利用していますが、設備が充実していません。地域格差をなくしてほしい。	女性	50代
スポーツ活動する場をもっと増やすことだと思う。	男性	50代
料金が安く、市立や町立のスポーツジム、もしくは卓球場、スカッシュなど、ごく簡単なスポーツのできる所があればいいと思う。	女性	50代
構えずにいつでも手軽にスポーツが楽しめる施設や環境を整えてほしい。	男性	60代
各校区内にて、施設やスペース（広場）を複数設けうる。	男性	60代
社会のナイター施設の料金が高額。	男性	60代
スポーツ施設の充実、町内会対抗のスポーツを増やす。	男性	60代
多種の会場が多くできている。	男性	60代
広大な土地に野球・ソフトボール・サッカー・グラウンドゴルフなど、一ヶ所でスポーツができる所がない。	男性	60代
地域の中にスポーツを楽しめる設備や人材、システムがほしい。	男性	60代
自由に使用できる施設。	男性	60代
施設等が中心部にあり利用しにくい。	女性	60代
いつでも汗をかけるスポーツ施設。	男性	60代
もう少しスポーツ施設があったらと思う。	男性	60代
スポーツ活動の場が少ない。	男性	70代以上
スポーツ施設、スポーツ指導者の充実。	男性	70代以上
スポーツをする施設があって、お互い知らない人と楽しめるスポーツセンターを作ってほしい。	不明	不明
施設の充実。	不明	不明
子どもを導く大人がいる。設備が充実している社会。	女性	20代
社会体育になったので、部活動指導者がいなく、子ども達がスポーツをする機会がかなり減っている。	女性	30代
親子で参加できるようなスポーツ活動の機会が多い会社。	女性	30代
親が必ず参加しなければスポーツ活動ができない状況。仕事をする親の負担は大きい。	女性	30代
中学生の部活の種類が少ないので増やしてほしい。子どもの選択肢が限られてます（多久市の）。	女性	30代
地域と学校が連携をとって進めていくスポーツ青少年育成システム。	女性	30代
私の故郷ではスポーツが盛んで、夏休みも地域別、球技、駅伝大会、冬休みもマラソンなど必ずあり、子どものころは「イヤ」でしたが、それが当たり前だったので楽しくできていました。また、九州一周駅伝の応援をするのも小学生のときは当たり前でしたが、佐賀に来て、「応援とか行かない・・・」と聞き、少しがっかりしました。	女性	30代
学校の部活の指導は教職員だけでなく社会教育にゆだねてもいいのでは。	男性	40代
部活がもっと多くの種類がある。	女性	40代
中学校全校生徒少なく、部活動に限られたものしか出来ない。	男性	40代
本人のしたいスポーツをさせられない。親が送迎などしなければならず、子どものスポーツに親が出ないとスポーツをさせられない。送迎を出来ない家庭だと、親が大人のイジメにあう。	男性	40代
小、中学生は親が時間をとれないと入部できない環境である（金銭的にも）。	女性	40代
先生方も中学の部活はボランティアと思いますが、その時の気分で子ども達にあたりすぎている面があるので、もう少し専門的な先生を増やしてほしい。	女性	40代
部活動など、今、親の負担が多く、経済的に無理が出て、部活動などに参加できない子どもたちも増えている。	男性	50代
学校の部活動にあまりにも依存。少子化の中で学校規模が縮小し、それに伴って開設部活動も縮減する中で、社会体育の充実がほしい。	男性	50代
子どもが小学生のときから町のサッカークラブに入り、よき先生に恵まれ、親子共々楽しい思い出がいっぱいです。現在もサッカー続けております。	女性	50代
地域で子どもと遊べる広場が少ない。	女性	50代

学校（部活）に偏っている。もっと地域と学校を結びつけるか、子どもを地域、家庭に帰すか考えるべき。	男性	50代
スポーツをするにしても金が付いて回ってくる。金のない子は親が無関心である（貧乏ってこと）。	男性	50代
小さい時から体を使う事を楽しめるよう、公園等の設備が充実している。団体で行うボール競技は施設利用が手続きの簡単な方が良い。	女性	50代
中・高生が、部活に入っていないでも入ってなくても楽しめる、また、自分探しができる施設が多くあってほしい。	女性	50代
学校体育や部活動が充実している。	女性	60代
自分さえやる気があれば社会体育はできるが、子どもたちにとっては学校規模が小さいとできることが少ない。	男性	60代
他校区の学校と合同で部活動とかしたら、もう少し充実できるのでは？地方学校の少人数ではできない事でもあるのでは？	男性	70代以上
私は子どもにはバレー、水泳をさせました。良かったと思います。縦、横の伴、又先輩への礼儀など学んだ様です。	女性	70代以上
苦手な人も得意な人も勝ち負け関係なく楽しめる社会。	女性	20代
いつでもスポーツができる環境になっている社会。	男性	40代
これも安く気軽に楽しめる仕組みを充実させて下さい。	男性	40代
「身体を動かすことは楽しいね」と教えてくれる（経験させてくれる）社会。自身、スポーツが苦手でも楽しいと思ってスポーツをしたことがないので。	女性	40代
車社会の佐賀では、基礎体力が落ちる一方で、個人で何かをするのもウォーキングぐらいで。親しめる環境にはなっていると思いますが、あとは個人の参加したいと思う気持ちの持ち方だと思う。	女性	40代
気軽にスポーツを楽しめる場が多い社会。	男性	50代
スポーツをする人、観る人が増え、楽しんでやっていること。	女性	50代
太極拳とかラジオ体操、簡単なレクリエーション等、広場と運動場等で年齢層を関係なくできるような雰囲気があればよい。	女性	50代
スポーツは一流になる為でなく、コミュニケーションの場になるようにする。温泉付のバレーコート、テニスコートなど。	男性	60代
近くに運動公園もあり、スポーツをされている人は多いに楽しまれていると思います。	女性	60代
気快に参加できる。	女性	60代
身近なところで誰もがスポーツを楽しめる社会。	男性	70代以上
参加しやすいようになれるといいと思う。	女性	70代以上
手近なことから段階を追って楽しみを感じる社会。	男性	70代以上
誰もが親しめるスポーツは限られている。観戦でも親しむことになると思うが、スポーツ観戦バーや施設がないから充実させてほしい。	女性	20代
自分が参加してなくても、今のワールドカップサッカーのように応援することでも参加の一つの姿と思う。	男性	30代
他県に出なくても県内で選手やチームがレベルを上げられること。スポーツのテレビ中継。	女性	30代
第一線で活躍している選手に会える機会があったり、プレーを実際に見ることができるような社会。	女性	40代
コーチ、監督の力？駅伝など、大体40～45位ぐらいで、観戦する人も少ない。	女性	40代
近くに気軽に利用できるスポーツセンターがある。プロスポーツが気軽に観戦できる機会がたくさんある。	女性	40代
鳥栖スタジアムは言うまでもありません。プロ野球（セリーグ）の県営球場開催。	男性	40代
若者のスポーツ競技など、応援など行けたら良いなと思います。	女性	70代以上
仕事が休みの日に好きなスポーツをできるとよい。初心者でも入れるスポーツクラブが充実しているとよい。	女性	20代
気軽な大人のクラブ活動。	男性	20代
地域に社会人用のチームがあるとやりやすい。	女性	20代
スポーツ活動の機会や情報が少なすぎると思うし。気軽に参加できるようなサークルができてほしい。	男性	30代
主婦等働いていない方の活動は充実していると思いますが、会社員等、昼間活動できない者は活動できない。	女性	50代
行政が同好会的クラブ組織を結成運営してはいかがなものか？	男性	60代
地域であっているスポーツ（グラウンドゴルフ、ゲートボール、卓球など）限られた人で、なかなかいつでもは入りにくい。他の個人施設に行っている人が多い→金がかかる。	女性	70代以上
老人＝ゲートボールじゃない社会。	女性	40代
スポーツとは何か？野球、サッカー、ゲートボール、バレーボール等ばかりではない。中高年でもできるもの。例えばジムで体を鍛える（維持）。また、エアロビクス等の施設が少ない。	男性	60代
老人であればグラウンドゴルフ、ゲートボール。	女性	70代以上
高齢者のスポーツの情報。	男性	70代以上
スポーツは青少年だけでなく、年齢別のスポーツ競技があってよいのではないのでしょうか。高齢者のゲートボールは確かによくやられていると思います。野球・サッカー・ゲートボールは盛んですが、ハイキング・登山など幅を広げてもらいたいと思います。	男性	70代以上
老人のためには、競技することより、現在の体力を維持できるよう指導者がいて、参加できることが望ましい。	女性	70代以上

世界、アジア、国内で県出身の子どもの活躍している。新聞とかもバドミントンのようなマイナースポーツを取り上げるべきだ。県外に有能な子が出て行くのは残念。	男性	50代
プロスポーツを呼ぶことができる会場と、プロのスポーツ選手を呼べるプロモーター資金。	男性	50代
プロ野球で、佐賀県出身の選手が新人ながら大活躍している姿を見て、県人として誇りに思います。	男性	60代
他県と比べ強いスポーツ、科目を助成・集中。	女性	60代
あまり有名な選手を知らない。	女性	不明
どこの体育館が一時間いくらで借りれて、どんな競技ができるのかという情報が少ないので、まめに情報誌に載せてほしい。	女性	30代
どこで何のスポーツが行われているか知らない。	女性	40代
もっともっとどんなスポーツがあるか宣伝して、募集してほしい。	女性	40代
みんなが楽しんで出来るスポーツが出来ないし、情報がない。進んで出来る運動があればいいなあと思う。例えばヨガとか、だれでも出来るスポーツなど。	女性	50代
気軽に参加出来るスポーツができる情報がほしい。	女性	60代
サッカー等のスポーツ選手と県民がふれあう。公共のスポーツ施設が整っている。	女性	20代
サガン鳥栖のスタジアムに足を運びたいと思えるようにしてほしい。	男性	20代
せっかくサガン鳥栖というチームがあるので、ふれあい教室の日程をたくさん組んでほしい。	女性	30代
サッカー観戦するにしても唐津からは遠い。出来るだけの佐賀県内中央を設定。	男性	60代
スポーツ大会を増やす。	男性	30代
いろいろな大会が数多くあり、好きな人がたくさん大会に参加できるような社会。	男性	40代
町内でもお年寄りから子どもまで出やすい運動会等を。	男性	50代
市町村で少し足をのばせば、やりたい種目があること。	男性	20代
いろんな分野のスポーツ活動が盛んで整備が整った社会。	女性	20代
一つのスポーツに力を入れるのではなく、もっと分化（多様化）してみても。	男性	30代
大きなイベントより小さなイベントがたくさんあれば親しみやすい。	女性	30代
スポーツに関するイベントが多い。定期的に開催されること。	男性	30代
体を動かし、心身ともに健康を維持できる社会。	女性	30代
各企業が体力作り、健康増進の為に社員に教育するような社会。	男性	50代
公民館事業の市民が無料で習えるスポーツ講座を充実してゆけば、もっと地域でスポーツに親しめるのではないかと思います。	女性	30代
障害があってもやれるスポーツ。障害者のためのスポーツ行事がない。	女性	40代
スポーツ指導員が少ないと思います。	男性	60代
少し余裕のある生活ができる社会。	男性	50代
地域のレクリエーション。	男性	50代
スポーツする場所が限られているし、料金も高いので低料金で気軽に楽しめる場所。	女性	50代
今はまだ過渡期であるにすぎない。年々充実してきていると思う。	女性	20代
現在は多様なスポーツが日本に入ってきており、それが逆に関心の分れを誘発していると思う。よって佐賀のスポーツといった様にならなくてよいか？	男性	20代
参加人数が揃うこと。少子化で厳しいと見ています。	女性	40代
代表ばかりスポーツを楽しんでいる。全体で楽しめるスポーツを充実する。	男性	40代
あまり興味がないです。	女性	40代
芝生のグラウンドをもっと増やしてほしい。	男性	50代
県の出身者で有名な人から順じ行う（講演）。プロスポーツ全般。	男性	50代
他県の良い点を見極めて活用してほしい。	男性	50代
もっと予算があつていいと思う。	男性	50代
近場で少人数でもスポーツができる社会。	女性	50代
地域でスポーツ活動があつても、いつも同じ人しかでてこないの、初心者でもみんな楽しんでできるスポーツを取り入れたり、プロとの交流を増やせばいい。	男性	50代
スポーツは個人々の差があるので自由でよいと思う。	女性	50代
なにも汗を流すだけでなくいい。スポーツと言わず、“体を動かすこと”と表現すべき。	男性	60代
明るい社会、助け合い。	女性	60代
今のままでいいのでは。	女性	60代
自分で努力することも。	男性	60代
スポーツはわかりません。	女性	70代以上
団結心が強いのはいいことだが、新しく入り込めない雰囲気ほとんどである。	女性	70代以上
十分スポーツをする環境はできている。人それぞれスポーツに関心、興味ある人ばかりでない。	男性	70代以上
今は学校で自分のスキなスポーツを選べるので、子どもは恵まれていると思います。1人の人間が成長していくには、うれしかったり、くやしがあったり、根性と努力です。	女性	70代以上
地方になかなか充実した場所がない。	女性	70代以上
よくやっていたらいい。現状でよい。	男性	70代以上

2-(5)「教育・文化・スポーツ」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
スポーツする子どもたちを過度に優遇するのは賛成できないが、誉めるべきときはきちんと誉めること。	女性	20代

イギリスや南米、アフリカといえばサッカー、アメリカといえばバスケといったように、連想できればよいのではないか。	男性	20代
近くでやりたい競技ができ、どんなグループにでも入って参加しやすいこと。	男性	20代
スポーツは好きです。	男性	20代
就業者でも参加可能な夜間の運動教室等の実施を希望。	女性	30代
結婚してからスポーツをする機会があまりない。	女性	30代
専門の指導者がいない。	男性	30代
スポーツ施設をつくっても、利用料金が高かったり、2倍に値上げして利用者を減らしている。何のための施設かわからない。	男性	30代
指導員の育成を行い、どんどんスポーツをやってもらいたい。	男性	40代
勝負にこだわりすぎて、その根底にある礼儀や人と人とのつながりとか、大事な事を指導できる人が少ない。	男性	40代
スポーツ施設に関しては充実させることへの努力を惜しまないでほしい。	男性	40代
スポーツ教室など平日に行われていることばかりなので参加できない。	女性	50代
宿泊施設を充実させ、運動場を5か所増設する。	男性	50代
子ども達に色々なスポーツにふれさせたい。	女性	50代
金がなくてもスポーツはできると言う人もいるけど、何をするにも金が付いて回ってくるのである。	男性	50代
伊万里市に国見台総合運動場がありますが、県としてもっと積極的に他県の方々にも大いに活用していただきたい。	男性	60代
佐賀は人材供給県になっているのでは？いい選手がいても地元での受け皿が少ないと思う。	男性	60代
年齢をとっていますので、スポーツはしてみたいけど、足を怪我して今はできません。	女性	70代以上
各スポーツの情報が少ない。	男性	70代以上
冷暖房や電化での料理、掃除等も電気ですごい。ここまで体が動かない生活の中から、“スポーツ”とは何ぞや！	女性	70代以上
スポーツ活動にもっと予算をつけて活発化をはかる。	不明	不明
室内のトレーニングジムなどあるとは思いますが、余りそれを知っている方が少ない。もっと広報、宣伝がほしい(スーパー、銀行などにおいてほしい)。	不明	不明
佐賀県は教育をする環境、設備、規模が優れていると言える。これらを生かせるよう、長期的な視野をもって確実に進めていってほしい。	女性	20代
市議会等をテレビで見て思うことがあります。子どもたちに対しての(プール等の)施設・設備で、よく「予算がないので」という理由で修繕できないままの施設等がたくさんあるようです。何年も経っています。無駄が多い社会なのに・・・	女性	20代
教育について、まず熱心な教育者がいない。障害者教育やLD、AD/HD、自閉症児に対する教育の充実が必要だ。頭のいい子より感性の豊かな素直な子を育成し、次世代を担う子どもたちを育成すべきだ。	女性	20代
子ども達の夢を叶える為に必要な専門的な知識を学ぶ、専門学校等が佐賀県には不足していると思う。また、その支援も不足している。	男性	20代
基礎的な学力を上げてほしいです。それとあわせて社会的に生きていく力も上げてほしい。資源のない日本にとって、唯一、資源となりうるものが「学力」「研究力」「社会力」といった「人の力」だと思うからです。	女性	40代
ゆとり教育の言葉を、たまに耳にするが、本当にそうなのか。ただ時間をつめただけで、先生、親も子どもに対して時間を作ってあげてるか？	男性	40代
義務教育の間は、スポーツ活動に親は出ないようにする。送迎などは学校側が用意する。そしたら子どもたちの好きなスポーツをさせられるし、親の都合でスポーツを諦めさせないですむ。	男性	40代
この分野は一人ひとりの考え方に左右されると思う。道徳的教育の上に学力、文化、スポーツがくるべきで、バランスが必要だと思う。	女性	40代
佐賀県を愛する、地元のためにやっぴいこうとする子どもたちの育成を目指す教育であってほしいと思います。単にテストの点がいいことが、一流大学に入ることが目的であってはいけません。	男性	50代
私(50代)の子どもの頃と比べると、物質的には豊かな暮らしができる環境になっているのに、格差があったり、心の豊かさがなかったりして、幸せを感じる事ができない社会になっていると思います。心の豊かさを育てることのできる教育を進めてほしいと思います。	女性	50代
最も必要なものは教育。特に心の教育が必要。	男性	60代
本当に必要な基礎の整備を。教育現場の問題は重要。事務職であればすべて超勤・代休で対応している。ゆとり等全くない状況で多くを求めるとは・・・	男性	60代
偏差値の高い優秀な子ども教育よりも、社会に役立つ有能な子ども教育(心の教育)。	女性	60代
何事も途中で辞めない事。仕事でも同じ事です。知っている会社でも13人入社して10人辞めている。今になって自分は辞めなくて良かったと申しています。	女性	70代以上
この町では年1回、教育フェスティバルが開催されますが、なかなか良い催しだと思います。	女性	70代以上
環境空気には恵まれても、都会と比較すると充実した人材施設等の不足のため、優秀な人(勉強できる学生)は自然的に多方面へ流れているように思うので、いかに引き止めるかを計って行くことが大切と思う。	男性	70代以上
今、小学校で地域支援ということで参加していますが、教科の内容はわかりませんが、ボランティアができることで、もっと子どもたちと触れ合うことができれば、どんな大人になっていけばいいか、大人たちの意識改革になれるかと思う。	女性	70代以上

児童館の休日を変えてほしい。学校の代休日はほとんど月曜日です。児童館の休みが月曜なので、代休の日に行けない。	女性	30代
教育・スポーツに力を入れるのであれば、社会体育の指導者、紹介や助成金など、もっと親に負担にならないように少しでもなれば、もっと部活動へ入部する子どもも増え、子どもの夢などをもっと運動へ取り組んでくれるのではないかと思います。	女性	30代
子どものクラブ活動での親の負担が大きい。	女性	30代
「学校でスポーツをしていない子が、教育者側より差別されている」こんなことがあっていいのでしょうか！！	女性	30代
中学校、小学校の部活が少ない。サッカー、野球、バレーだけでは少なすぎる。	女性	30代
子どもだけでも簡単に参加できる行事やスポーツ環境を整えてほしい。	女性	40代
学校体育や部活動が充実していないだけでなく、生徒・保護者の思惑と、それに振り回される学校に問題がある。いくら環境を整えても、生徒・保護者・教育者それぞれの内面が充実しない限り、与えるばかりで空虚である。	女性	40代
子どもの教育費に大きな負担がかかる。	男性	50代
親の時間（練習を見る時間）。	女性	70代以上
できれば、スポーツは中学などには是非クラブに入る様勧めます。男の子は特に全員、中学、高校、大学と入ってほしい。よい子どもが出来ます。くたくたになるまで頑張り、悪い事をする子どもが減ります。	女性	70代以上
教職員の採用を増やし、子どもを見る大人の目を増やしてほしい。保育所の数と保育士を増やしてほしい（60才以上の育児経験者の活用など）。	男性	30代
教育県というならばそれなりの待遇を教職員にもすべき。何でも学校に押し付けて安月給では人材は集まらない。	男性	40代
教職員について、いい先生も多いと思うが、時々、社会性に欠ける先生がいる。学校もわかっているけどどうしようもない・・・。教職員採用試験に問題があるのではないのでしょうか。見直しをしてほしい。一般会社では、選ぶときに慎重に選ぶし、教育もしっかりと行っている。社運に関わることだから。	女性	40代
教職員が熱意を持って子どもたちに接していない人が多い。もっと子どもたちの意見を尊重してほしいときがある。	女性	40代
なぜ勉強しなければならぬのかということ、きちんと教えられる教職者や大人が必要では。	女性	50代
佐賀県で教えるいい先生が、県外へ行かれる。	女性	60代
子どもの情操教育が今一つ物足りない。それと教職員の資質の向上が必要。厳しいほどの研修研鑽をすべし。指導者の質で子どもは変わる。	男性	70代以上
市民会館やスタジアムを大いに利用するため、コンサートをたくさんやってほしい。	女性	20代
佐賀の歴史文化が他県より魅力的だとアピールするのは限界がある。他県とつながり、歴史のつながりも分かるようアピールしていけないのか、と思います。	女性	20代
文化的（講演会、美術展、スポーツ大会等）な催しごとがあまりない。青少年には多くの機会があればと思う。	女性	60代
先週、コーラスの発表会がありました。席の方がガランとしていました。文化（クラシックの音楽会）等に市長さんも興味があられない。カラオケ大会等は顔を出されている様です。市役所ロビー等でもミニコンサートをされたらと思います。	女性	60代
県第二の市でありながら、文化の結晶とも言われる映画の常設館がないということ。	男性	70代以上
施設を安く利用しやすいようにしてください。	男性	30代
気軽に利用できる施設を増やしてほしい。使用料金が高かったり、いろいろな規制があつて利用しにくい。	女性	50代
自分の時間に合わせて使える施設とか講演のビデオ。	男性	60代
近くにいろいろな施設はありますが、車を持っていない方はその場所へ行く乗り物が少ないようです。	女性	60代
老人大学等でもスポーツでも施設が充実してきた。	女性	70代以上
地域の人々に情報を提供する仕方を工夫してほしい。スポーツをするにも、文化にふれるにも、その情報がないと、ふれることすらできない。	女性	20代
情報の取舍選択は発信する側でなく、受け取る側が選ぶので、いろんな情報を発信してほしいし、それを得る方法をわかりやすくしてほしい。	男性	60代
佐賀新聞に文化、スポーツ欄があることはいい。	女性	70代以上
これまでの質問にあった事は、誰もが一つは取り組みたいと思う事であり、なぜ行動に移せないかと言うと、将来に不安がある為だと思う。人は向上心を持つには目標が必要であり、現代は目標を持ってない人が多い。その事から、やはりお金への不安がなくなるのが望ましいので、税の使い方を考え直して、庶民の生活が楽になるようにしてもらいたい。	男性	30代
佐賀の経済力がほしい。	男性	60代
お金がなくても誰もが教育、文化、スポーツを楽しめる社会。	男性	70代以上
もっと興味が持てるような内容だと、地域の活動に参加する人が増えると思う。	女性	20代
多少の費用をかけても、地域の整備、環境を整えることにより、心身ともに充実した健全な生活につながると思う。	女性	40代
退職した年齢層の人が（教師等）、地域や学校や公民館で活躍できたら。	女性	50代

図書館についてですが、低年齢の子どもにとっては、とても楽しめる場となっている。しかし、受験する年齢の子ども向けの本が残念である。というのは、殺人推理のマンガシリーズがずらりと並んでいて、中学生などがよく読みにきているようである。「図書館は遊びに来る所」という意識が見てとれる。結構なことではあるが、福岡市の同年代の子ども達が置かれている環境と比較すると、高校・大学で学ぶ情報からの隔たりがかなり大きすぎて、将来に対し、漠然としたイメージしか持てないのではと思う。	女性	20代
3年間で一回だけキャンパスを見に行くというのではなしに、学校帰りにアクセスできる大学・高校への入り口というものが有効ではないかと思う。どうして学習室のために使用していないスペースを開放しないか理解できない。福岡市姪浜に大きい図書館がありますが、皆自習室で小さい子ども勉強していました。そういう環境のない佐賀の子は、一体どこで勉強しているんでしょうか？会議室でも自習用に開放されればいいのと思いました。	女性	30代
各自自治体に図書館があり、本も充実しているので利用させて頂いております。子ども達にも本が身近に感じ、読む習慣がつかうように読み聞かせをもっと行ってほしい。	男性	50代
図書館利用については、県外の人でも利用できてもいいのではないのでしょうか。	女性	60代
免疫力を高め筋肉をつけることが予防になるとも聞いたので、毎日一人で家庭でも出来る、中高年者向けの運動を考案していただけたらと思う。	男性	60代
東京のある区では、60歳以上の人を対象に介護予防をして、スポーツ等を含むカルチャーが、無料で好きなとき好きなだけ利用できるそうです。そうなんと最高！！	女性	30代
アバンセのHPを見ましたが、何がいつ開催されているのかわかりにくい。	男性	40代
学校等の既存の組織、建物をもっと有効に活用して下さい。	女性	40代
問5③で一般的な文化講座はわりと充実しているかもしれないが、語学やその他少し専門的な分野になると福岡に出る必要がある。	女性	30代
公民館の活用の幅を広げて、教育、文化、スポーツ、曜日だけ決めて、誰でも参加できるような場を用意したらどうかと思います。教員の免許をもっている人、文化、スポーツに秀でた人を講師に、寺子屋風な教室を充実させれば、自然と、子ども達の学習量、情報量、体力も増加して、すばらしい大人へと成長していくのではないかと期待しています。	女性	60代
生涯学習で行きたいと思っている。	女性	40代
発達障害児の教育のサポート（支援）をきちんとすべき。中高生になって多くの子どもが挫折している。	女性	40代
大学の科目等履修生制度を利用しましたが、手続きの重複と学務職員の受け入れの意欲の無さに失望しました。県の制度にもあてはまるものがあるかどうかは分かりませんが・・・。県民が利用するケースが多いと思いますので。	男性	50代
講演会や体育、文化行事にしても、主に“県部”に集中。やはり地方に住むとそれだけでもマイナスです。小さいときから本物を見たり、ふれたりすることは何より大切なのですが・・・。	女性	30代
部活動やスポーツクラブ等の活動が優先される様になり、地域の伝承芸能(?)などの行事に子ども達が参加しなくなった。次の世代に文化等を伝えられなくなる。	女性	40代
博物館・美術館の展示についてですが、福岡や長崎など近県に比べても淋しいものですね。私の子ども「長崎県立美術館に行きたい」と言うくらいです。博物館周辺の環境も含めて、魅力あるものにできませんか？	女性	30代
方向性がよくわからないのでありません。	女性	40代
昔に比べれば文化やスポーツにふれあえる環境になっていると思う。	女性	50代
ほしい、ほしいの願いばかり書いてしまっていました。自分ででも何かできる事があるのではと反省しました。	女性	60代
年寄り、若者、幼児が集う場を多く持ってほしい。		

3. 「交通・社会基盤整備・情報化」分野

(1) 「人や物、情報の交流がスムーズにできる社会」とは

内容	性別	年代
身近に電車など交通機関がある。	女性	20代
交通機関の充実。駅の周りにデパートをつくるなど、人が来やすい環境をつくる。情報の交流も興味を引くように提供するとスムーズ。	女性	20代
どんなに交通機関があっても、県のはずれからはずれでは県の機関を利用するのは無理。	男性	20代
交通の便がよい。	女性	20代
交通に関しては、もっと便を増やすなどして、使いたいと思うような社会にしてほしい。	男性	20代
駅やバスの利用がしやすい。	女性	20代
公共の乗物の整備が進んでいる。その点、佐賀は大変不便。	女性	30代
田舎の方では交通機関が不便でどうしても車が必要です。もう少し各種乗物の便が増えたらと思います。	女性	30代
人と物で言うと、流れが止まる事にストレスを感じる。道路、線路、空港と、すべて離れた所にあり、スムーズな流れがまったくない。そこをまず整備すべき。	男性	30代
バスが利用しやすい。本数が少なすぎるのを増やしてほしい。	女性	30代
大きなバスはいらない。小さなバスでいいので、バス路線を充実してほしい。	男性	30代
公共交通機関が整っている社会。	女性	30代
佐賀市内だけでなく、他の地域ほど交通基盤や情報化の整備が必要だと思う。	女性	30代
自動車を持っていないと不便である。	男性	40代
交通網が発達していること。車が運転できなくても、ある程度不自由しない程度に公共交通機関が発達している社会だと思います（バス便が行先・便数ともに少なすぎです）。	女性	40代
町内だけのバスがあって、高齢者、子どもは激安で乗れたらいいと思う。	女性	40代
交通網の整備。	男性	40代
佐賀は車社会であり、ほとんどが公共の交通機関は利用していないのが現状です。	男性	50代
車を持っていないと移動が大変。公共の交通機関の利用ができない（便が少ない）。	女性	50代
公共交通機関が発達している社会。核となる施設をたくさん作って自由に選べる社会。	男性	50代
人口が少ないのでしょうがないのかもしれないが、公共の乗物が段々減り、高齢者は住み難い佐賀になってきている。	女性	50代
もっとコミュニティーバスや乗り合いタクシー等を整備！気楽に外出ができるようにしてほしい。	男性	60代
山間地区のバスの便が少ない。	男性	60代
人口が少ないから仕方ないことだけど、バスの便がすごく悪い。空港は必要なし。新幹線も必要なし。県民利用度の多いものに力を入れるべし。	男性	60代
車社会になって、これまでのバス路線が廃止されたり、JRの本数が少なく気軽に外出できない。	女性	70代以上
マイカーがない高齢者には、隣町へ行くにもバスがなくて不自由です。	女性	70代以上
列車の本数が少ない。	男性	70代以上
佐賀空港の運用そのものに疑問。毎年赤字の補填をするなら閉鎖すべき。もっと地域の要望を吸収すべき（道路とか）。	男性	40代
お金をかけてムダな電子申請制度をつくって、誰も利用しない。人手があまっているのに人手をへらすことをしてどうするのですか。	女性	40代
佐賀空港を見直すべき。	男性	40代
佐賀空港も新幹線もいらない。マイカーを持たない若年、老年層が移動できる公共交通機関を整備すべき。	男性	40代
赤字の空港はいらない。いらないのになぜ造ったのか、今でもわからない。初めから利用者が少ない事はわかってたのに。	男性	50代
県南西部に住んでいる者にとって、佐賀空港は利用しにくいし、なくてもいいのではないかと思います。	男性	50代
佐賀空港に名古屋、大阪がほしい。せめて5月、8月、12～1月でも。	女性	50代
空港は県内に必要だとは思いません。福岡、長崎（大村）への基幹道路は必要（高速無料等で）。	男性	50代
空港、新幹線などの無駄をなくし福岡へのアクセスをちゃんと整えた社会。	女性	50代
空港があってもうまく利用されていないし、アピールが少ない。もっと道路も空港の発着便も増やし、整備して利用者が増えればいい。	男性	50代
有明佐賀空港の便が多くなる。	女性	60代
発着便が少なく利用しづらい。福岡空港まで1時間で行けるので廃止すべき。税金の無駄遣いはやめてほしい。	女性	60代
空港と高速道路が直結していない。有用的なネットワークが整備されていて。	男性	60代
佐賀空港は一度も利用したことがない。不便だ。	男性	60代
問6①の1、便が少ないというより、元々空港など必要ない。	女性	60代
佐賀空港は不要。福岡が便利。新幹線ができればなおさら。他の利用を考えるか、アクセスを良くして九州のハブ空港にするか（政治力が弱い）。	男性	60代
佐賀空港は金のむだ使いでいらない。	男性	60代
佐賀空港より福岡空港が便利。理由、福岡空港までバスで30分（高速道路）で行ける。	男性	60代
佐賀空港には発着の時間を合わせて利用している。	女性	60代

有明空港の大阪便をなくすな。	男性	70代以上
老人には縁のないことでわかりません。唐津地区からは有明空港は遠いので利用できません（交通の便も悪い）。	女性	70代以上
佐賀空港は税金のムダ使い。赤字がわかっていながらなぜつづけたのか。担当者は責任を取らせ退職金の支払い不要。	男性	70代以上
佐賀空港の大阪便は現在のままで、減便絶対反対。利用密度の高い時間帯に変更すべきでは・・・。	男性	70代以上
佐賀空港の利用者も少なく、毎年多額の赤字を出している。血税を無駄にするような交通機関は廃止すべきか、他の利用法を考えるべき。	女性	70代以上
赤字の佐賀空港はいらない。	女性	70代以上
人や物、情報の交流自体にあまりお金がかからない社会。	男性	20代
情報に関する事が少ない。高速が利用しづらい。	男性	20代
色々な知識の共有。	男性	20代
誰でも簡単にメールやインターネットが使えるようにできる機会がある社会。	女性	20代
佐賀空港、長崎新幹線はいらない。なくても十分住みやすい。それより、若い人から老人までインターネットが使える技術を身に付けたい。	男性	30代
インターネット環境の充実。快適なインターネットを行うための設備充実。インターネットを利用したことがない人のための活動を行う（ボランティア含む）。	男性	30代
必ずしも情報等がスムーズになっている町が暮らしやすい町とは限らない。	女性	40代
鉄道の遅進、運行状況をインターネットで調べてもよくわからない。遅い。	女性	40代
システムの整備です。	女性	40代
現代はインターネットがあるので、地方にいても情報の交流はスムーズにできると思うし、物流も随分改善されたので、あまり不便を感じない。	女性	40代
ユビキタス社会。	男性	50代
インターネットの利用はこれからは欠かせないと思うので、利用者いろいろな方面からのサポートがほしい。	女性	50代
電子産業の急速な発展、商法に高齢者はついて行けず、戸惑っている場面が多くみられる。「より速く、より多く」だけが情報のあり方？	女性	50代
今ほしい情報が簡単に入手できる社会。	女性	50代
誰もがみんなインターネットやメールができるように、地域ぐるみで取り組んでほしい。	男性	50代
高齢者にもわかる様な情報も必要。	女性	50代
メールやインターネットばかりでなく、老人への対応の仕方が悪い（インターネットに程遠い人間がいること）。	女性	60代
新聞、テレビの情報、マスコミの信頼できる情報。	男性	60代
今の世の中に、あんまりできすぎ。情報が多く、なんかわからんように思う。付いて行けない。	女性	70代以上
高齢者も参加できるインターネットの利用や交通網の保障がほしい。	女性	70代以上
年寄りですので、メールやインターネットを使えません。教えてくれるところがあれば習いたい。	女性	70代以上
情報の氾濫で先が心配である。	男性	70代以上
高齢者にはメールやインターネットでの行事手続は無理。	女性	70代以上
駅が古いせいもあるが、もっと明るい場所で、いろんな情報がすぐわかるようなシステム！	女性	60代
広く整備された道。マナーを守る使用者。	女性	20代
道路整備。	女性	20代
特に佐賀市内に道路をつくりすぎていると思う。	女性	30代
道路の整備、バス路線の増便、インターネットを使つての情報開示の充実。	男性	30代
必要な場所に道路を作つて欲しい。不必要な道路はいらないと思います。	女性	30代
空港よりも佐賀県は道路整備の方が重要ではないか？	男性	30代
道路については、各管理者が責任を持って維持・改善を進めるべき。	男性	40代
田舎なのに車の流れがスムーズでない。バイパスはなんのためにあるの？信号ばかりが多すぎる。	男性	40代
佐賀県の場合、車の利用が不可欠な地域も多いので、道路整備の優先度を上げて欲しい。例えば国道34号の東部、右折待ちの車による渋滞の解消など。	男性	40代
できる社会の前に、何のための道路なのかかわからないのが多すぎる。必要なのか、どうしてこんなところに予算を使うのか。	女性	50代
幹線道路が進んでいない。	男性	60代
道路と乗り物。	男性	60代
長崎新幹線より、佐賀～佐賀空港～鹿児島線～鉄道でつなぎ、有明湾岸道路を早くつくつた方がいい。	女性	60代
幹線道路をもっと整備。とにかく道路が狭い。歩道が狭い。	男性	60代
唐津⇄佐賀間の道路整備（佐賀医大に時間がかかる）。	男性	60代
道路や空港等、その他施設を必要以上に作らないで下さい。自然がこわされていくのが恐いです。	女性	60代
以前より工事（道路）が少なくなり良かった。でも便利さからいうと駄目だなあと思う。道路の作り方が二重も三重も不便である。道路はきれいになった。	女性	70代以上
道路のせまい所がある（鳥海付近）。	不明	不明
佐賀は立地条件はいいところなので、道路等をもっと整備して交通がスムーズにできる社会。	不明	不明
全戸に光ファイバーを（山の中なのでまだ利用できない）。	女性	60代
幹線道路の充実。全世帯のパソコン普及と行政とのインターネット化。	男性	60代
インターネットやテレビ、ラジオで情報できる。	女性	70代以上

インターネットができない者は、新聞さえ購読してない時は、身近な情報は隣近所の付き合いが唯一の手立てだと思う。自治会組織が大事になってくる。	男性	70代以上
高齢者にとってはインターネットの使い方が難しいので、利用者が少ないのではないのでしょうか？	女性	70代以上
九州では宮崎が進んでいる。佐賀県も新幹線が整備されたら、まず宮崎県に近づく。	男性	50代
長崎新幹線は佐賀県には不要である。九州のゴーストタウンになる恐れがあると考えます。	男性	60代
新幹線新島栖駅ができてから活気に満ちた町になった。犯罪がなければいい。	女性	60代
長崎新幹線は必要ないと思う。現在の特急で充分。	女性	70代以上
公官庁での事務処理に時間がかかりすぎだし、平日は行きにくい。公官庁のサービス充実。	男性	30代
税金のムダが多い。	男性	50代
税金の有効活用。	男性	50代
赤ちゃんからお年寄りが不自由なくスムーズに移動できること。	女性	40代
高齢者や障害のある方には、生活の為に移動するには困難な場合があります。移動手段を確保することなど。	女性	50代
メールやインターネットがすべてではありません。回覧板や、いわゆる昔の「ふれごと」により、地域の人の顔と顔があうことも一方で大切ですし、これからの時代はより大切かと。	男性	50代
人を引きつける魅力的な何かがあれば、自然と交流がスムーズにできるのでは。物や情報も同じです。	女性	50代
渋滞緩和、わかりやすい標識、インターネットのわかりやすさやパソコン利用の普及、教育の充実。	女性	30代
混雑、渋滞を防ぐ。	男性	50代
新幹線ができればいいというのはさておき、インフラがなければ移動も生活もできないので、やはりインフラが整備された社会ということになるかと思います。	女性	20代
物流、人流ともに福岡県へ流れやすい。佐賀は福岡と長崎の間にある休憩地点のイメージをなくし、全国的に有名な県にしてください。	女性	30代
佐賀市内中心部が大雨で冠水するのは、早期に改善して欲しい。スムーズに通行できるのがベスト。	女性	50代
多くの企業の誘致。	男性	20代
佐賀は車社会なので、今月何日は「ノーカーデー」とかにして、公共交通機関を利用させ、環境に優しいまち佐賀県にしたらどう？	女性	20代
佐賀空港でイベントをして、お笑いのミニライブとかで人を呼んで賑やかにするとか。	女性	60代
佐賀にはこれ以上いらんと思う。田舎でいいよ。	男性	50代
自動車の数が多くて、年齢、身体的適応に応じて免許証を回収しないと、車は毎年（18才になる人）増加してしまい、道路状況が最悪で、大型車、自家用車併用は危険。	男性	20代
手続き等が単純明瞭であること。	女性	30代
意外に早く人伝いで情報は入ってくるので、佐賀って狭いなと思いつつ、特に不便はしていません。	女性	30代
人口が少ないのだから、多少の不便は仕方がないです。	女性	30代
渋滞することなく目的地へ行ける。歩道をつくる。	女性	30代
第一産業が多い佐賀県は、全国の食を支えている役割を中心としているので、あまり他の世界を知りすぎても地域から出ていってしまうので、今のくらいで良いのでは？と思います。	女性	30代
車の運転ができなくなりかけている高齢の人は、インターネットができない年齢です。そういう方たちのための工夫。メール・インターネット・グローバルなど知らなくてもスムーズに生活できる社会。	女性	40代
講演会等の数を増やし、みんながもっと知る機会をつくる。	男性	40代
使用料金がなければ利用が増すし、足を運ばなくてすむ。	男性	40代
都会にあるようなデパートとか映画館などが少ない。	女性	40代
都市化だと思います。	男性	40代
基本的な生活ができる地域になり、不便だと思う事がなくなる社会。	女性	50代
エスプラッツの活動充実は、とてもよいと思う。	女性	50代
個々の家庭と同じで、お金がないと何もできない。もっと県民とよく対話をして税金を使ってほしい。今の知事のやり方に反対。	男性	60代
不便な地域性。	女性	60代
回覧板を充実する。	女性	60代
福岡に近いので、あまり考えない。	不明	60代
佐賀県の実態を考慮し、整備の方向性を考えてください。	男性	60代
小学生までの子どもには子どもクラブを、65歳以上には交流の場を。	女性	60代
若い方から年配まで、もう少し支えあえる気持ちがほしいですね。物はたくさんありすぎて、大切さが欠けているので、交換しながら心の交流も必要です。	女性	60代
ニーズが佐賀でどのくらいあるか未確認のため。	男性	70代以上
みんな忙しすぎて話し合うとき、人がいない。	女性	70代以上
佐賀県の地域の状態上、よい環境にある。	女性	70代以上
利用したい時間帯が少ないので利用しにくい。回数を多くできたらいいと思う。	女性	70代以上
高齢者が自己責任の範囲で自由にできるものはない。	女性	70代以上
世の中の変わり方があまりにも早いため、80才近くもなればついて行けない。	女性	70代以上
地域差があるのでなんとも言えない。	女性	70代以上
老いても夢を持つこと。	男性	70代以上

日本列島、日本でも佐賀地域は村も町も、前は「気候風土」があり、そこに他の県にはない素晴らしい「優性」がありました。今はみんな食も衣も心も一列です。	女性	70代以上
---	----	-------

3-(2) 「暮らしやすいまち」とは

内容	性別	年代
交通機関がたくさんある。充実している。	女性	20代
公園や遊び場が手に入りやすい交通機関。例えば公共機関を使って、そこから現場までシャトルバスを利用する。	男性	20代
バスや電車などの公共交通機関が充実しているまち。	女性	20代
交通に不便のないまち。	女性	20代
安全に移動できる交通環境が整っている。	男性	20代
市街地に活気があり、そこに行くまでの交通機関も充実している。	女性	20代
バスや電車の公共機関が充実したまち。	女性	20代
市営バスしか走っていないのに、タイヤが少なすぎる。	女性	30代
お年寄りが家にこもらなくていいように、交通の便がよく、福祉サービスが整っていて、買い物、文化的な活動に不便しない街。	女性	30代
バスなどの交通機関が早い時間に終わるので、ゆっくり買い物などができない。	女性	30代
公共交通機関はバスしかなく、そのバスも採算の問題からか廃止になっているケースもあります。お年寄りに優しい交通の便を考えてほしい。	女性	30代
交通の便が充実していること。	男性	30代
今、公共の交通機関が利用しにくい。マイカーがないと不便。→マイカーなくても色んな所へ遊びに行ける。	女性	30代
無料バスも、もっともっと範囲を広げてほしい。	女性	40代
高齢者が簡単に移動できる手段、または、料金割引or無料化。	男性	40代
公共の小型バスなどが頻繁に往復（低料金）してくれたら、年寄り、子どもは助かります（無理でしょう）。	女性	50代
通学以外での公共交通を利用する人が少ないため、特にバスの路線廃止、便の現象が相次いで、車の運転ができない人の足が確保できにくくなっている。	女性	50代
田舎はやはり車がないと不便です。でも、長崎本線は役に立っています。	男性	50代
車のない人も動きやすいまちになると良いと思います。	女性	50代
せっかく公共交通機関が通っているが、ほとんど利用者がいないと思う。もっとPRして利用者を増やすようにすると思う。もったいない。	女性	50代
公共交通機関など身近にあり、美しい景観が保全されている。	女性	60代
公共の乗物の便が悪い。段々縮小されている。バスを小型化にして、便を多くしてほしい。	男性	60代
交通の利便性。物価の安定。福祉の充実した町。	男性	60代
交通が良くて店があって美しい景観がほしい。	女性	70代以上
交通機関（バス路線）がないために、移動が自由にできない。高齢者が自由に動ける交通機関の充実。	女性	70代以上
利用しやすい交通機関が発達しているまち。	男性	70代以上
交通基盤が整っている（地方）。	女性	70代以上
交通の便利のいいことが一番望ましいことです。	女性	70代以上
静かなよい町と思っているけど、鉄道の本線がなく、バスも少なくなって、自家用車以外非常に不便。	女性	70代以上
合併が続き、それに交通機関はともなっていない。車社会で高齢者は少ない年金では動けない。	男性	70代以上
高齢者、独り暮らしの方の交通手段が困る事のないような、1週間1度無料バスを出す。又、バス停の屋根付き、待ち場の設置、市街地に朝市みたいな毎週何曜日か開催をするまち。	女性	70代以上
公共交通機関など、身近な移動手段が少ない。	男性	70代以上
バスの便が悪くて、車に乗らない人が困っています。	不明	不明
小さなコミュニティーで独立的に生活もできるようになっているといい・・・（クリニック、買い物など）。	女性	30代
過疎化が進んでいる地域では、老人たちが買い物に行くのに一苦労。もう少し店舗（商業施設）の分化ができないだろうか。	男性	30代
買物、医療、職場等が近くにあり、交通も便利で、犯罪、災害も少ない（または対策がある）まち、明るい笑顔が多いまち。	女性	30代
身近にお店、公園、公共施設などがそろっているまち。	男性	30代
都会のように、近くに店、病院、学校、すべてある事。	女性	30代
小さな子どもがいて、なかなか買物に行けなくても配達してもらえるようなものがたくさんあるとよい。	女性	30代
自営業で生活ができる調和の取れた町。個人商店が近くからなくなり、買い物が遠くまで行かなくてはならず不便すぎ。	女性	40代
商業施設、文化施設などのそろっている町。	女性	40代
体が不自由でも安心してそれなりの生活ができる町。	男性	40代

車がなくても暮らしていける「町」。大型ショッピングセンターは便利だけれど、暮らしやすい町に必要な「商店」「小店」をつぶしてしまっている気がします。アメリカ社会がすでに経験した失敗をみているような気がします。身体が不自由になったときに、徒歩5分、交通機関を使えば用の足りる社会だと思います。	女性	40代
商業施設の大規模化、一局集中で、だれでも同じ範囲の中でサービスや商品を選ぶことになるので、市街地ならではの個性的な特徴を打ち出した街作りがあって欲しい。	男性	40代
近くにスーパーや大型店ができ、買い物がとても便利になりました。	女性	50代
中心街に行ったら何でもそろっている。商店街・デパート・映画館・レストラン・公園など、子ども、学生と高齢者に人気あるスポットを。	女性	50代
不便のない環境。	男性	50代
日常の買い物、通院、近所つきあいが安心してできる事。緑豊かで犯罪のない事。	男性	50代
高齢者が歩いていて、買い物に行ける店、スーパーが近くにない地域がたくさんあるので、市県レベルで検討していただきたい。車社会の若者はいいけど。	女性	50代
自家用車がなくても、生活するのに困らないこと（買い物・病院施設）。近くの商店などを支援しながら生活していくこと。	女性	50代
高齢者が歩いて用事がすませられるコンパクトシティ整備を目指すべきだと考える。	男性	60代
自立ができ、安心して暮らせるまち。	女性	60代
買い物の便利さや交通手段の便利な町。	女性	60代
学校・病院等が近くにある。人間関係のうまくいく所。	女性	60代
物価が安く、交通の便がよく、信頼できる医療機関があって、高齢者にやさしい町。	男性	60代
各町村に個人病院がなくなった。遠いところまで少しの病でも交通費出して行かなくてはならない。	男性	70代以上
思うようなデパートが少なく、他の町まで買物に行かなくてはいけない。もっと活気ある町になってほしい。	男性	70代以上
自分の足で歩き、好きなもの、ほしいものを自分で買って、整地された田畑に農産物が豊かに実るのを見ることが出来るなど。	不明	70代以上
自宅から歩いて行ける範囲にスーパーもコンビニも、勿論デパートもありません。高齢者は困っています。	女性	70代以上
買い物が不便。車のない老人です。	女性	70代以上
高齢者が楽しく安心してお買い物等が出来るまち。	女性	70代以上
大型店ばかり出来て高齢者等の近くでの買い物ができない。車など乗れない者は「暮らしやすいまち」とは思えない。	女性	70代以上
何でも家のまわりにそろっていればいいと思うが。	不明	不明
大型スーパー、安売り店等はあるが、個人の店があまりにも少なく、年をとってくると不便だと思う。	女性	不明
町に大型スーパーがないため、市外に流通（消費）が流れている。	女性	40代
すべて身近で揃うという考えが無くなってしまって、お金はほとんど福岡へ流れている。商業の発展が、この問題を改善できる。福岡の様なまちを佐賀へ。	男性	30代
活気あふれるまち作り。	女性	30代
もう一度白山商店街に活気が戻ってきたらいいと思う。	女性	30代
町に活気があり、住環境が整って、公共交通機関がしっかりしているところ。	女性	30代
町が活気がない。楽しみがない。イベントもない。	女性	50代
地域の持っている潜在力が生かされていない。もっとお互いが交流できる場づくり。	男性	50代
暮らしやすいというよりももっと活気をつけることが必要と思う。	男性	50代
活発で若者たちが寄ってきたくなる元気なまち。	男性	60代
各地域の商店街が活気づく行事等の実施。	男性	60代
問6②の2（市街地や農地の調和がとれていない）に○をつけましたが、3（まちなかに活気がない）と5（美しい景観が保全されていない）にマルをつけたい気持ちがあります。	女性	60代
人がたくさん集まる町並み。	女性	70代以上
不景気と老人が多すぎる。又市などシャッターが閉まりすぎ。若い人がもともと暮らしやすいようにしてもらいたい。	女性	70代以上
だれもが安心して生活できるまち。	男性	30代
子ども連れで母親が買い物に出れるような環境が欲しい！	女性	30代
隣人愛に満ちたまちづくり。	男性	40代
子どもやお年寄りが安心して暮らせるまち。	女性	40代
公平にみんなが幸せに暮らせるまち。	男性	40代
安心、安全、行政サービスの充実。“共生”の意識、住民の交流など、適度に行われ、お互いに顔の見える町。	男性	50代
安全、安心で、介護がわかりやすく誰でも利用できる。	女性	60代
安心安全なまち。	男性	70代以上
自然豊かでもあり、大型ショッピングモールもある。交通の便もよく、地域も安全なまち。	女性	20代
環境にやさしいまち。エコ。	女性	20代
店はあるけれど、それなりに田舎・・・という自然が気に入っています。	女性	30代
佐賀市内の緑が少ない。とにかく街中が死んでいる。	男性	60代
自然に恵まれた治安のいい街。	女性	60代
自然環境。	女性	60代

治安がよい。	女性	30代
治安の良いまち。	男性	30代
犯罪のないまち。	女性	40代
夜でも街が明るく。	男性	40代
防犯、防災の対策がしっかり行われている事。	女性	50代
犯罪のない町。	女性	50代
治安が良く交通機関など身近な移動手段が整備されている町。	女性	50代
月に1回ぐらい話し合う場所がほしい。でも、決めても忙しすぎて、みんな集まってこないと思う。	女性	70代以上
色々な活動に参加できて、毎日の生活に事欠く事もなく楽しく暮らせること。	女性	70代以上
隣近所が言葉を交わし、社会のこと、周りのこと、家族のこと等、話し合えることが一番だと思う。	女性	70代以上
山海川と身近にあり、町の人みんなが兄弟みたいです。	女性	70代以上
町中行事の形態が大きすぎて参加する余地がない。	男性	60代
足腰不自由でも、赤ちゃん連れでも出かけやすい道があること。お年寄り用バイクを邪魔に感じないくらい広い道路があって、散歩に出かけてもベビーカーの車輪が割れ目や溝にはさまったりしない歩道があるまちでしょうか。	女性	20代
市民があまり利用しない道路に多額のお金をかけて道路を整備するのは税金の無駄遣い。水害に対応する河川整備、道路整備、あまり知られていない道路から入った所が水害で困っていたりする。	男性	20代
とにかく道路が危険。通学路も危険きわまりない。街の中はともかく、田舎の道はもっと整備されるべき。お年寄りの事故（横断事故）が後をたたないのは道路のせい。	女性	40代
これ以上、必要もない道路などをつくってほしくなく、自然を残してほしい。ゆっくりとした時間を過ごしたい。	女性	50代
ここから佐賀・・・と福岡とは思えないところから佐賀の道路とわかる。整備不良をなくしてもらいたい。	男性	70代以上
昔のような各家庭がともに暮らす日々が戻ってほしい。	男性	40代
核家族が減り、各年齢層の人の同じ生活空間の中で生活でき、孤立できない社会の流れに持って行くよう努力しなければいけないと思う。	女性	50代
親子孫の三世代が同居し笑って過ごせる町。	男性	60代
市県民税が高い！！	女性	20代
他県より税金が安くて、地域サービスが充実していて、適度な人口があること。	女性	30代
住民税が低いこと。	男性	50代
市の予算が中心部ばかりにつき込まれている。	男性	40代
行政でしっかり推進してほしい。	男性	70代以上
支所の職員に活気がない。	男性	70代以上
地域の人や隣近所の人や他の地域の人に、色々文句を言われたい事。	女性	40代
地域とのお付き合いがスムーズにできること。	女性	60代
町内会の会合でも参加者が少ないのにびっくりで、発起人さんの身にもなり、自分だけでなく、若い方から年配の方まで、和の誠心がほしい町にしたい。	女性	60代
特に佐賀が遅れているのが下水処理施設。現在も我家は汲み取りである。他県の方は呆れてる。	男性	50代
下水道の整備。商店街が活気ある。	女性	50代
下水道処理をしている家でも、2機目の洗濯機を物置等で使用し、溝に流してありますが、どうか思っています。まだ全家庭が完全になされていませんので、大きくはいえませんが。	女性	70代以上
多久市は昔、小城郡でしたから、多久市は小城市に合併すべきだと思う。	女性	70代以上
合併しても中心だけが機能的で、地方は何も出来ていない。山間部はおきざりである。	女性	70代以上
合併後、できないことが増えた。赤字補填のため、他の市に税金が流れ、旧市町村は損をしている。	女性	30代
道に犬などの糞がないまち（夜に犬を放し飼いしている人がいる）。責任を持って動物を飼ってほしい。	女性	20代
犬を飼っている人が増えてきているのに、「犬の散歩禁止」の立て札があって入れない。じゃなくて、飼い主をきちんと教育してマナーを守らせて、入っていけるところを増やした方がいいと思う。	女性	40代
ペットを飼う人が多いが、しつけられていない犬が多い。あるアジアの国は犬をよくしつけ、やたらと人にほえないし、なにより飼い主が動物を扱うことがうまい。家畜と人間の違いを考えてほしい。	女性	40代
年々改善されてきているという実感はある。ただ、もう少し観光地の整備を進めていってほしい。特に少しマイナーなところほど。差がありすぎる感がある。	女性	20代
最近の不景気のせいでしようが、佐賀の自慢できる場所をもっとPRして、たくさんの方が佐賀に来られるような案があればと思います。	男性	70代以上
公園など自然が満喫できる。治安が保たれている。バス・電車の本数。田舎ほど少ない。	女性	20代
犬の散歩する公園がない。	男性	70代以上
人々の心が時間に追われ、心に余裕がないから、心が清ければ暮らしやすい社会になると思う。	女性	60代
住民の心がなっていない。あまりにも自由過ぎる。行政、議会が機嫌とりすぎ。	男性	60代
1、2、3次産業が上手く融合しているまち。	男性	20代
農業、漁業、商業でそれぞれの生活が成り立つ町。	女性	20代
ゴミが一つも落ちてなくて、障害者の方も安全に暮らせる町。	女性	20代

高齢者、障害者にやさしく、環境にやさしいまち。	男性	50代
ライフラインが整っていて、災害がないこと。安全であること。上水道がね。もう少しいい水だと嬉しい。贅沢ですね。	女性	30代
水道代が高い。	女性	30代
自然災害、犯罪が少ない町。	男性	40代
佐賀県は災害が少なく住みやすい。	男性	60代
人口の多い所が暮らしやすくなって、他の所と差があると思います。	女性	50代
文化活動、スポーツ等、利用できる時間（夜間）があり、必要な情報、医療機関名じゃなく、医療内容をオープンにして、感染情報も含めて、ほしい情報が自分で選べる。	女性	50代
都市整備は長い時間がかかるのも分かるが、市民への説明不足。専門的な言葉じゃなくわかりやすい説明で。	男性	30代
CSOが必要です。CSOに任せすぎにならないように。公務員が一番年休を取っていますよ。人事院は調査しますか。	男性	60代
県内の企業は大企業の分工場が多い（本社でない）為に地域に密着してない。政治の地方分権と同じく、企業もそうさせるべき。	男性	60代
清潔な環境でありえない。道路の溝側に汚水がたまって、その「におい」がひどい場所がある。	女性	70代以上
社会保障が安定していて、明るく安心できる事。	女性	70代以上
子どもやお年寄りの方が暮らしやすいことが一番だと思います。	男性	50代
ボランティアを楽しむ。	男性	20代
孫は一人います。現在、鳥栖市に住んでいますが、子育てネットワークが充実していて住みやすいです。近くに公園があれば尚いいのですが・・・。	女性	50代
今のままでいいと思う。昭和40年代ぐらいまで戻ってもいいよ。田舎でいいよ。	男性	50代
街路樹は美しく整備してほしい。佐賀市だけはきれいなよう・・・。	女性	40代
川等は3面をコンクリート化しないで、側面は石垣、底は砂などで整備して、昔のような河川にしてほしい。	女性	50代
若者からのしがらみ、風習、しきたり、葬式などの決まりごとでがんじがらめの人が多い。	男性	30代
いろいろな情報が得やすい。	女性	20代
心的・物的ストレスの少ないまち。	女性	40代
地産地消で安全なお米、お野菜が安く、または自分たちで作り、家族仲良く同居生活で住居費を抑え、ある程度お金の余裕があり、休暇を楽しめるようなまち。	女性	30代
合併した故に、団体役職に天下りが本庁から旧町村に来るのはおかしい。地元雇用で良いのでは。	不明	60代
住めば都。	男性	20代
反社会勢力ゼロのまち。	男性	20代
世代間交流、安全、循環社会の実現。	女性	20代
若い人が住みたくなるような社会（若い人をターゲットにした店が少ない。バーなど→結婚にも多少つながる）。	男性	20代
住民が不満、不安なく暮らすまち（前ページまでの「福祉・保健・医療」や「教育・文化・スポーツ」の分野が充実していることが必要）。	女性	20代
佐賀にそんな町があるの？どうせできませんでしょう。	男性	40代
物事のバランスがとれている状態。	男性	50代
助け合いの気持ちが伝わりあう、「お互い様」の街。	女性	50代
樹木の消毒をせず、除草剤を撒かない。ケミカルフリーのまちです。	女性	50代
今は何にも不自由がないので、何にも感じていない。	女性	50代
専門職のアドバイス。	男性	60代
区費や組費のない社会。	男性	60代
町からの援助か手当。	男性	60代
市街、少しの農地、商店街、病院、パーマ、飲食店、とても暮らしやすい。市から来る税金が後を左右する。	女性	60代
私は住みやすいです。	女性	60代
現在、鳥栖市は暮らしやすい町になっていると思う。	男性	70代以上
医院が多い。	男性	70代以上
不平不満を言わずに自ら努力する人の多い町。	女性	70代以上
まず、食料がある事。電化製品が調うている。衣服、車、水、病院、私は中国から引越して来ましたので、特に感じます。昔の事を思うと今は天国です。	女性	70代以上
車社会になったので、駐車できる場がもっとできたらよいと思う。	女性	70代以上
佐賀市は暮らしやすい町です。	女性	70代以上
私としては一寸したボランティアをしています。もっとしたいと思います。身体が元気なうちに。	女性	70代以上
充実して緩やかに進展する社会。	男性	70代以上
佐賀県は他県より恵まれてないが、よく思っている。	男性	70代以上
官と市民（住民）との調和がとれた社会。	不明	不明
私は佐世保から来ましたけれど、バス停などは皆さんとても優しい感じがしました。	不明	不明
隣町までは汚水処理施設が整備されているのに、私の住む町では地元の反対があるようで、実現まで遠いようです。	女性	60代
中年代の40～50代ぐらいがもっと町にも力を入れて引っ張っていく町になればいいけど。	女性	70代以上
自己中心的なことを自分なりに話すことを話し合っ和をとって住む。人のことを考えていくように努力してほしい。	女性	70代以上

3-(3) 「交通・社会基盤整備・情報化」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
関係者はどうすれば集客できるかよく考えること。佐賀の市民会館に行くのに佐賀駅で降りて、その先はタクシーで現場まで来いでは、高齢者には無理。	男性	20代
山間部などバスの便がもっと増えるといい。小さなミニバスなどがぐるぐる走っているといいと思う。	女性	30代
佐賀市へ行くより、福岡へ行く事が多い。県庁所在地である佐賀市を盛り上げ、行きたくなるまちにし、行きやすい交通手段を増やしていったらどうか。	女性	30代
飛行機にしる、バスにしる、今の状況だと無駄に思えます。せつかくなら、もうちょっと使い勝手をよくしていただきたい。	女性	30代
運転免許センターから鳥栖方面の交通機関（バス）があればうれしいです。	男性	30代
電車のない田舎は専ら車です。ガソリンの金額を他のところより安くして頂けたらありがたいです。交通基盤が逆に徹底されていないからこそその良さもあり、犯罪から地域は守られているところもあり、その点ではとても感謝しています。	女性	30代
郊外に住むと車がないと生活できない。長崎新幹線の必要性が分からない。	男性	30代
佐賀県内の北と南、交通の便が悪い。道を早く整備して欲しい。そうすれば佐賀空港も使うのかも知れない。私は福岡空港ばかり使用。	男性	40代
汽車の便が悪い事と、タクシー代が高い。	女性	40代
交通はバスの本数などが少ないので車が必要な県と思う。運転ができる人は良いが、お年寄りや車が運転できないとなると、生活の移動が大変だと思う。	女性	40代
地下鉄計画。	男性	40代
バス会社、JRとも採算を考えると縮小せざるを得なくなるのはわかるが、それでは利用者がますます離れて悪循環になるばかりなので、市なり県なりが補助をして頂きたい。市内を走るショッピングセンター行きのバスも便数も少ないし、市の中心部とショッピングセンターの往復のみなので、中心部近くでない人は利用しにくい。大型ショッピングセンターがないので、市外や県外に流れている。	女性	50代
コミュニティバスが、もう少し便が多く、いろんな方面にも利用できると思います。	女性	50代
無料バスの運行、65才以上。	男性	60代
交通機関ではバス乗り下りの場所、少し広くお願いしたい。お客様が少ないので小さいバスでいいと思う。空港まで行くのも、車に乗らないものとしては不便である。	女性	60代
交通の便（バス）が悪い。特に片田江方面に行く市営バスをお願いします。	女性	70代以上
赤字民営のバス会社、高齢者（歩行者）の足の確保がないため、対策が必要ではないか。	男性	70代以上
佐賀市を通らない（通るのが少ない）。無料化は意味がないのでは・・・。福岡～長崎、または熊本とか・・・。	男性	70代以上
福祉センター、公民館等、公共施設等、新しく建設していただいても、老人や車の運転が出来ない者は公共交通機関が無い場所では、都合のいい日、いい時間に行けないで、諸手を上げて喜ばません。	女性	70代以上
通勤・通学・通院・買物に便利な循環ミニバスの運行が必要ではないでしょうか。	男性	70代以上
公共交通機関を廃止、廃止と言わないで、保障してほしい。	女性	70代以上
乗り合いバスのバス券をいただき、非常に助かっています。	女性	70代以上
とにかく交通の便が悪い。自家用車を持っている人はよいが、年配の方、車を運転できない人には住みにくい。	不明	不明
道路工事もっと道の悪いところから直していった方がいい。自転車や歩きでも通れる車道脇の歩道をもっと増やす。	女性	20代
車の量が多い（移動はほぼ車）のに、混む道路が2車線になっていない。がけ崩れなどの復旧が遅い。	男性	20代
小・中学生の通学路で何か所か危ない場所があるので、早く整備してほしい。	女性	20代
佐賀の高速道路は道がコンクリートなのか、すごい音がするし、タイヤに悪い。ふつうのアスファルトのようにしてほしい。	女性	30代
不要な道路整備等があるように思う。また、工事が始まって終わるまでが長すぎる。	女性	30代
国道整備を早くしてほしい。ある所まで4車線で2車線又4車線、こうなった道路多い。	男性	40代
佐賀市⇄唐津市や有明海沿岸道路など道路整備がとても遅れている。	男性	40代
新幹線や空港より、まず、幹線道路の整備をしてほしい。特に有明海沿岸道路や高速道路とのアクセスなど。	男性	50代
県内の端から端まで行くのに時間がかかりすぎ。	男性	50代
「県道」でもまだ歩道すらないところもあり、環境面から自転車道も必要かと。財政的なこともあり、これから先は本当に必要なものと、先延ばしでもいいものとおわけて考える時代かと。	男性	50代
機能しているとは思えない歩道橋は不要。交差点の信号は全て歩行者と車両が交差しないよう時間差を設けるべき。	女性	50代
自転車、道路を作ってほしい。	女性	60代
小さい県の割には、移動に時間がかかる。	男性	60代
道路整備をするべし。広い所（整備済）、狭い所が相当あり、事故のおきる可能性がある。要は未完成道路（未整備）である。	男性	60代
道路整備、歩道整備。	男性	60代
赤穂山線を早く二車線にしてほしい。1年になります。21.7.26日の大雨による被害。	不明	不明

有明佐賀空港を今まで利用したこともないし、利用しようと思っただけでもない。いるのか？	男性	20代
空港利用者が少ないので、その周辺にお客が集まる設備。インフラ整備した方がよい。	男性	30代
佐賀空港、最高です！！利用しやすい。	女性	40代
有明佐賀空港の発着は、朝一便は早すぎる。また最終便のPM6:15は会議に最後まで参加できないなど支障を来している。せめて最終便だけでも時刻の変更を実現してほしい。	女性	40代
繰り返しになりますが、佐賀空港、新幹線は誰が考えても無駄。県民投票でもして県民の意思を聞いてください。	男性	40代
佐賀空港を自衛隊に売りに出せないか。佐賀空港は必要なし。赤字を少なく、早く打切ったら傷が浅めになると思う。	女性	50代
有明佐賀空港の必要性をもう一度考えるべきである。	男性	50代
佐賀空港ができたが、活性化になっていない。逆に赤字になり負担になっているのでは。	女性	50代
佐賀空港にて、年に4~5回伊丹⇄佐賀と利用させていただいております。せめて、盆、正月、祭日くらいは運行させてほしいと願っております。	女性	50代
佐賀空港までのアクセス。自家用車で行くとき、わかりづらいのであまり行きたくない。	女性	50代
佐賀空港着工、2~3年前だったと思います。マスコミから空港は賛成か反対かとのTEL有り、私は反対との意見を申し上げました。赤字になるのは目に見えていたのに。北部九州の貨物は、佐賀空港から都市への計画もあったのにどの位利用されているのか…？費用対効果を考えるとどんな計算をしていたのか本当に情けない。	男性	60代
佐賀空港、新幹線（佐賀、長崎）はいらない。	女性	70代以上
国際マーケットをアーケード跡地に作ってはいかがでしょうか。どこまでも続く国際色豊かな一画を作ってみてはどうでしょう。	女性	30代
駅前通りが寂しすぎる。	女性	30代
中央商店街の空洞化をみていて寂しくなります。駐車場が有料というのがネックのような気がします。それを解消して魅力的な店を誘致できると、もう少し活気があっていいのになと思います。	女性	40代
商店街に活気がない。もっと行政が支援してもいいのでは？ムダにお金（税金）を使って立派な施設を造るより、よっぽどいいと思う。	男性	50代
街中（市街地）に人手を多くする催し物の開催。	男性	70代以上
中心街にもっと行けるよう、市の有料駐車場でよいのでつくってほしい。	女性	70代以上
大企業を誘致する頑張りをしてシャッターを開けてほしい。又、市の中心部に省庁、銀行、会社そして病院を。佐賀の市を、シャッターが閉まっている所を、市や県が買い上げ、又、国有地を安く払い下げて、どんどん交通の便利性を訴え、会社（大）を誘致し活発化してほしい。	女性	70代以上
佐賀という立地条件をいかした町づくり。	不明	不明
どの県にもない、佐賀にしかない、佐賀だから出来たという、らしさを追求し、発展させてもらいたい。	男性	30代
新幹線に使うお金がもったいないと思っています。	女性	30代
新幹線本当に必要？ますます佐賀は通過点化する。	女性	40代
新幹線は必要ではない（不要）。空港の利用促進と、どう整合性をとるのか。一部単線区間があるのに、そこに新幹線を走らせるのか？（通常使用している在来線に対する、しわ寄せがでるのではないか？）。	男性	40代
知事選のときは今の知事に一票入れたが、今は辞めてほしい。先のことを考え、財政を大事にする人になってほしい（新幹線への税の投入）。	男性	60代
今の時期、新幹線不要。在来線の複線化は？	男性	60代
長崎新幹線の新鳥栖は、どうして不便な場所に新設したのか？（今更ですけど）。直線距離で最短になるのは理解するが、全体の活性化にはならないと思う！！	女性	60代
利便性を求めて自然を安易に壊さないで下さい。	女性	40代
今の生活で気になることもないので、私には合っている。むしろ、この自然と静かな環境を維持してほしい（佐賀らしさになる）。最近ヘリコプターの飛行が多くなるさ。	女性	50代
交通や社会的な基盤や情報化が進んだら便利になると思うが、便利になることのみを追い求めるのではなく、佐賀ならではの自然の美しさや豊かさを損なうことのない進め方をしてほしい。プチ都会になるより、田舎のよさを残してほしいと思う。	女性	50代
美しい景観を保ってほしい。	女性	60代
基盤整備については、自然を壊さないように配慮してほしい。	男性	60代
佐賀県は情報化は頑張っていると思う。ネットで行政手続はとても便利だと思う。	女性	20代
インターネットの利用というより、そもそも出来る環境が整ってないと思われる。	男性	20代
高速情報通信網（光）の整備。	男性	30代
もっとケーブルテレビを通じて情報を流してもらいたい。	男性	40代
情報化については、もっとインターネット活用（行政等）をすべき。高齢に向け、今のうちに進めるべき（ペーパーレス等）。また、それにより行政の人員削減を。	男性	60代
もっと風通しのよい人間づきあいを望む。	男性	30代
交通、情報の利便性向上はこれ以上必要ない。心の利便性、民生委員の倍増で心のケア。	女性	60代
私の町では夏祭りや春祭りもなくなり…。何か部落にしても花見もなくなり、お日待もなくなり、これからの横のつながり…いや、縦の付き合いもなくなるのではと悲しく思う。	女性	70代以上
地区の清掃はみんなで徹底してやれないものだろうか（側溝の掃除）。	女性	70代以上
市場原理の中で郊外大型店等が閉店し、身近な買い物のできる店が減少。高齢化、独居老人の増加の中で、買い物難民が増加しつつある。行政の出番が必要。	男性	50代
高齢者であっても自動車運転が出来ないと買物にも行けない。近くに日用品を買うところがない。	女性	70代以上

交通基盤で、高齢者の独り暮らしで、年金生活や生活保護で、バス料金が高額な為に利用をやめてしまう。買い物にも用事にも出るのもやめてしまうから、社会への交流も少なくなってしまうので認知症になりかねない。	女性	70代以上
ルーズな運転をするドライバーが多い。	女性	20代
毎年、夏場、走り屋ですかね。夜中、騒音がうるさい。駐在所もあるのですが対応してほしい。	男性	50代
交通は、スーパーに行った時、横断歩道があるが、そこで自転車を降りても停まってくれない時もある。	女性	50代
間違っていたと思ったらすぐにやめることができるシステム。	女性	30代
基山町に住んでいますが、自動車免許の更新に佐賀市まで行く必要があり困っている。非常に不便です。鳥栖市の警察で行えない、行わない理由がわからない。	男性	40代
なぜ県警のパトカーはクラウンの新型でないといけないのか！予算のムダ。ついでに交通取り締まりも嫌がらせてほしい。暴走族を捕まえろ！	男性	40代
街に活気がなく、景観が保全されていない。	女性	60代
自然景観の良いところに住んでいますが、高層建築物がそれを壊してしまいました。景観保全は私だけが望んでいることでしょうか？	女性	60代
いまだ多くの家庭で下水が河川に垂れ流されている。早急に下水施設を整えてほしい。	女性	30代
下水道が整備され、川がキレイになる。安いだけでなく、良い商品を作る。	女性	50代
交通など、私はまだ車の移動など自由にできるけど、車社会になった今、お年寄りの人はどのようにしているのが心配です。	女性	40代
車がないと生活できない。年をとって運転できなくなったときに心配。	女性	40代
子どもたちが安心して遊べる公園、もっと大きな公園があるといいと思います。特に諸富。	女性	60代
冬期、雪が降り道路が凍結した朝、切木経由、有浦経由のどこが通れないのか、肥前町にいると唐津へ行くのに情報が入らない。安全に通勤できる情報をケーブルテレビ放送などで流してほしい。	男性	50代
CSOに頼る前に県が責任をもってすることがあるのではないのかと思います。	女性	20代
川の周辺の整備をされて、きれいになり散歩ができて良かった。	女性	30代
宮崎県の真似をする（プロ野球やキャンプ地等、人物すべてがついてくる）。	男性	50代
田畑の休耕地が多くなり、荒れ果てている。	男性	70代以上
高速道路の土日千円はいつ終わるのですか？全くテレビを見ないので、県内道路の地図を載せていただくと助かります。やはり、千円になったけれども、佐賀県は通行税取るというわけにはいかないのですか？小耳にはさんだのですが、あれで納期が遅れたりする山間部の精密機械の工場があって、困っているそうですが。産業保護とかなんとかいって。	女性	20代
プロボノ。	男性	20代
発達しても佐賀の力量なら無駄なものもあると思います。予算を使いすぎず、福祉、雇用などを優先すべきでは。	女性	20代
適当に不自由でいいさ。	男性	50代
回覧板も、殆どの情報を載せて回ってきて、不自由なく暮らしております。	女性	70代以上
現状でよい。	男性	70代以上
一人、人にお会いすれば、みなみな良き人々ばかりです。本心を表に出せないように感じるこのごろです。※自分だけを守るため・・・だけのことは情報・・・かなと思っている私もかも。	女性	70代以上
一人で暮らしていると先のことが心配になります。シルバー団地に早く行きたいです。希望します。	不明	不明

3. 「交通・社会基盤整備・情報化」分野

(1) 「人や物、情報の交流がスムーズにできる社会」とは

内容	性別	年代
身近に電車など交通機関がある。	女性	20代
交通機関の充実。駅の周りにデパートをつくるなど、人が来やすい環境をつくる。情報の交流も興味を引くように提供するとスムーズ。	女性	20代
どんなに交通機関があっても、県のはずれからはずれでは県の機関を利用するのは無理。	男性	20代
交通の便がよい。	女性	20代
交通に関しては、もっと便を増やすなどして、使いたいと思うような社会にしてほしい。	男性	20代
駅やバスの利用がしやすい。	女性	20代
公共の乗物の整備が進んでいる。その点、佐賀は大変不便。	女性	30代
田舎の方では交通機関が不便でどうしても車が必要です。もう少し各種乗物の便が増えたらと思います。	女性	30代
人と物で言うと、流れが止まる事にストレスを感じる。道路、線路、空港と、すべて離れた所にあり、スムーズな流れがまったくない。そこをまず整備すべき。	男性	30代
バスが利用しやすい。本数が少なすぎるのを増やしてほしい。	女性	30代
大きなバスはいらない。小さなバスでいいので、バス路線を充実してほしい。	男性	30代
公共交通機関が整っている社会。	女性	30代
佐賀市内だけでなく、他の地域ほど交通基盤や情報化の整備が必要だと思う。	女性	30代
自動車を持っていないと不便である。	男性	40代
交通網が発達していること。車が運転できなくても、ある程度不自由しない程度に公共交通機関が発達している社会だと思います（バス便が行先・便数ともに少なすぎです）。	女性	40代
町内だけのバスがあって、高齢者、子どもは激安で乗れたらいいと思う。	女性	40代
交通網の整備。	男性	40代
佐賀は車社会であり、ほとんどが公共の交通機関は利用していないのが現状です。	男性	50代
車を持っていないと移動が大変。公共の交通機関の利用ができない（便が少ない）。	女性	50代
公共交通機関が発達している社会。核となる施設をたくさん作って自由に選べる社会。	男性	50代
人口が少ないのでしょうがないのかもしれないが、公共の乗物が段々減り、高齢者は住み難い佐賀になってきている。	女性	50代
もっとコミュニティーバスや乗り合いタクシー等を整備！気楽に外出ができるようにしてほしい。	男性	60代
山間地区のバスの便が少ない。	男性	60代
人口が少ないから仕方ないことだけど、バスの便がすごく悪い。空港は必要なし。新幹線も必要なし。県民利用度の多いものに力を入れるべし。	男性	60代
車社会になって、これまでのバス路線が廃止されたり、JRの本数が少なく気軽に外出できない。	女性	70代以上
マイカーがない高齢者には、隣町へ行くにもバスがなくて不自由です。	女性	70代以上
列車の本数が少ない。	男性	70代以上
佐賀空港の運用そのものに疑問。毎年赤字の補填をするなら閉鎖すべき。もっと地域の要望を吸収すべき（道路とか）。	男性	40代
お金をかけてムダな電子申請制度をつくって、誰も利用しない。人手があまっているのに人手をへらすことをしてどうするのですか。	女性	40代
佐賀空港を見直すべき。	男性	40代
佐賀空港も新幹線もいらない。マイカーを持たない若年、老年層が移動できる公共交通機関を整備すべき。	男性	40代
赤字の空港はいらない。いらないのになぜ造ったのか、今でもわからない。初めから利用者が少ない事はわかってたのに。	男性	50代
県南西部に住んでいる者にとって、佐賀空港は利用しにくいし、なくてもいいのではないかと思います。	男性	50代
佐賀空港に名古屋、大阪がほしい。せめて5月、8月、12～1月でも。	女性	50代
空港は県内に必要だとは思いません。福岡、長崎（大村）への基幹道路は必要（高速無料等で）。	男性	50代
空港、新幹線などの無駄をなくし福岡へのアクセスをちゃんと整えた社会。	女性	50代
空港があってもうまく利用されていないし、アピールが少ない。もっと道路も空港の発着便も増やし、整備して利用者が増えればいい。	男性	50代
有明佐賀空港の便が多くなる。	女性	60代
発着便が少なく利用しづらい。福岡空港まで1時間で行けるので廃止すべき。税金の無駄遣いはやめてほしい。	女性	60代
空港と高速道路が直結していない。有用的なネットワークが整備されていて。	男性	60代
佐賀空港は一度も利用したことがない。不便だ。	男性	60代
問6①の1、便が少ないというより、元々空港など必要ない。	女性	60代
佐賀空港は不要。福岡が便利。新幹線ができればなおさら。他の利用を考えるか、アクセスを良くして九州のハブ空港にするか（政治力が弱い）。	男性	60代
佐賀空港は金のむだ使いでいらない。	男性	60代
佐賀空港より福岡空港が便利。理由、福岡空港までバスで30分（高速道路）で行ける。	男性	60代
佐賀空港には発着の時間を合わせて利用している。	女性	60代

有明空港の大阪便をなくすな。	男性	70代以上
老人には縁のないことでわかりません。唐津地区からは有明空港は遠いので利用できません（交通の便も悪い）。	女性	70代以上
佐賀空港は税金のムダ使い。赤字がわかっていながらなぜつくったのか。担当者は責任を取らせ退職金の支払い不要。	男性	70代以上
佐賀空港の大阪便は現在のままで、減便絶対反対。利用密度の高い時間帯に変更すべきでは・・・。	男性	70代以上
佐賀空港の利用者も少なく、毎年多額の赤字を出している。血税を無駄にするような交通機関は廃止すべきか、他の利用法を考えるべき。	女性	70代以上
赤字の佐賀空港はいらない。	女性	70代以上
人や物、情報の交流自体にあまりお金がかからない社会。	男性	20代
情報に関する事が少ない。高速が利用しづらい。	男性	20代
色々な知識の共有。	男性	20代
誰でも簡単にメールやインターネットが使えるようにできる機会がある社会。	女性	20代
佐賀空港、長崎新幹線はいらない。なくても十分住みやすい。それより、若い人から老人までインターネットが使える技術を身に付けたい。	男性	30代
インターネット環境の充実。快適なインターネットを行うための設備充実。インターネットを利用したことがない人のための活動を行う（ボランティア含む）。	男性	30代
必ずしも情報等がスムーズになっている町が暮らしやすい町とは限らない。	女性	40代
鉄道の遅進、運行状況をインターネットで調べてもよくわからない。遅い。	女性	40代
システムの整備です。	女性	40代
現代はインターネットがあるので、地方にいても情報の交流はスムーズにできると思うし、物流も随分改善されたので、あまり不便を感じない。	女性	40代
ユビキタス社会。	男性	50代
インターネットの利用はこれからは欠かせないと思うので、利用者いろいろな方面からのサポートがほしい。	女性	50代
電子産業の急速な発展、商法に高齢者はついて行けず、戸惑っている場面が多くみられる。「より速く、より多く」だけが情報のあり方？	女性	50代
今ほしい情報が簡単に入手できる社会。	女性	50代
誰もがみんなインターネットやメールができるように、地域ぐるみで取り組んでほしい。	男性	50代
高齢者にもわかる様な情報も必要。	女性	50代
メールやインターネットばかりでなく、老人への対応の仕方が悪い（インターネットに程遠い人間がいること）。	女性	60代
新聞、テレビの情報、マスコミの信頼できる情報。	男性	60代
今の世の中に、あんまりできすぎ。情報が多く、なんかわからんように思う。付いて行けない。	女性	70代以上
高齢者も参加できるインターネットの利用や交通網の保障がほしい。	女性	70代以上
年寄りですので、メールやインターネットを使えません。教えてくれるところがあれば習いたい。	女性	70代以上
情報の氾濫で先が心配である。	男性	70代以上
高齢者にはメールやインターネットでの行事手続は無理。	女性	70代以上
駅が古いせいもあるが、もっと明るい場所で、いろんな情報がすぐわかるようなシステム！	女性	60代
広く整備された道。マナーを守る使用者。	女性	20代
道路整備。	女性	20代
特に佐賀市内に道路をつくりすぎていると思う。	女性	30代
道路の整備、バス路線の増便、インターネットを使つての情報開示の充実。	男性	30代
必要な場所に道路を作つて欲しい。不必要な道路はいらないと思います。	女性	30代
空港よりも佐賀県は道路整備の方が重要ではないか？	男性	30代
道路については、各管理者が責任を持って維持・改善を進めるべき。	男性	40代
田舎なのに車の流れがスムーズでない。バイパスはなんのためにあるの？信号ばかりが多すぎる。	男性	40代
佐賀県の場合、車の利用が不可欠な地域も多いので、道路整備の優先度を上げて欲しい。例えば国道34号の東部、右折待ちの車による渋滞の解消など。	男性	40代
できる社会の前に、何のための道路なのかかわからないのが多すぎる。必要なのか、どうしてこんなところに予算を使うのか。	女性	50代
幹線道路が進んでいない。	男性	60代
道路と乗り物。	男性	60代
長崎新幹線より、佐賀～佐賀空港～鹿児島線～鉄道でつなぎ、有明湾岸道路を早くつくつた方がいい。	女性	60代
幹線道路をもっと整備。とにかく道路が狭い。歩道が狭い。	男性	60代
唐津⇄佐賀間の道路整備（佐賀医大に時間がかかる）。	男性	60代
道路や空港等、その他施設を必要以上に作らないで下さい。自然がこわされていくのが恐いです。	女性	60代
以前より工事（道路）が少なくなり良かった。でも便利さからいうと駄目だなあと思う。道路の作り方が二重も三重も不便である。道路はきれいになった。	女性	70代以上
道路のせまい所がある（鳥海付近）。	不明	不明
佐賀は立地条件はいいところなので、道路等をもっと整備して交通がスムーズにできる社会。	不明	不明
全戸に光ファイバーを（山の中なのでまだ利用できない）。	女性	60代
幹線道路の充実。全世帯のパソコン普及と行政とのインターネット化。	男性	60代
インターネットやテレビ、ラジオで情報できる。	女性	70代以上

インターネットができない者は、新聞さえ購読してない時は、身近な情報は隣近所の付き合いが唯一の手立てだと思う。自治会組織が大事になってくる。	男性	70代以上
高齢者にとってはインターネットの使い方が難しいので、利用者が少ないのではないのでしょうか？	女性	70代以上
九州では宮崎が進んでいる。佐賀県も新幹線が整備されたら、まず宮崎県に近づく。	男性	50代
長崎新幹線は佐賀県には不要である。九州のゴーストタウンになる恐れがあると考えます。	男性	60代
新幹線新島栖駅ができてから活気に満ちた町になった。犯罪がなければいい。	女性	60代
長崎新幹線は必要ないと思う。現在の特急で充分。	女性	70代以上
公官庁での事務処理に時間がかかりすぎだし、平日は行きにくい。公官庁のサービス充実。	男性	30代
税金のムダが多い。	男性	50代
税金の有効活用。	男性	50代
赤ちゃんからお年寄りが不自由なくスムーズに移動できること。	女性	40代
高齢者や障害のある方には、生活の為に移動するには困難な場合があります。移動手段を確保することなど。	女性	50代
メールやインターネットがすべてではありません。回覧板や、いわゆる昔の「ふれごと」により、地域の人の顔と顔があうことも一方で大切ですし、これからの時代はより大切かと。	男性	50代
人を引きつける魅力的な何かがあれば、自然と交流がスムーズにできるのでは。物や情報も同じです。	女性	50代
渋滞緩和、わかりやすい標識、インターネットのわかりやすさやパソコン利用の普及、教育の充実。	女性	30代
混雑、渋滞を防ぐ。	男性	50代
新幹線ができればいいというのはさておき、インフラがなければ移動も生活もできないので、やはりインフラが整備された社会ということになるかと思います。	女性	20代
物流、人流ともに福岡県へ流れやすい。佐賀は福岡と長崎の間にある休憩地点のイメージをなくし、全国的に有名な県にしてください。	女性	30代
佐賀市内中心部が大雨で冠水するのは、早期に改善して欲しい。スムーズに通行できるのがベスト。	女性	50代
多くの企業の誘致。	男性	20代
佐賀は車社会なので、今月何日は「ノーカーデー」とかにして、公共交通機関を利用させ、環境に優しいまち佐賀県にしたらどう？	女性	20代
佐賀空港でイベントをして、お笑いのミニライブとかで人を呼んで賑やかにするとか。	女性	60代
佐賀にはこれ以上いらんと思う。田舎でいいよ。	男性	50代
自動車の数が多くて、年齢、身体的適応に応じて免許証を回収しないと、車は毎年（18才になる人）増加してしまい、道路状況が最悪で、大型車、自家用車併用は危険。	男性	20代
手続き等が単純明瞭であること。	女性	30代
意外に早く人伝いで情報は入ってくるので、佐賀って狭いなと思いつつ、特に不便はしていません。	女性	30代
人口が少ないのだから、多少の不便は仕方がないです。	女性	30代
渋滞することなく目的地へ行ける。歩道をつくる。	女性	30代
第一産業が多い佐賀県は、全国の食を支えている役割を中心としているので、あまり他の世界を知りすぎても地域から出ていってしまうので、今のくらいで良いのでは？と思います。	女性	30代
車の運転ができなくなりかけている高齢の人は、インターネットができない年齢です。そういう方たちのための工夫。メール・インターネット・グローバルなど知らなくてもスムーズに生活できる社会。	女性	40代
講演会等の数を増やし、みんながもっと知る機会をつくる。	男性	40代
使用料金がなければ利用が増すし、足を運ばなくてすむ。	男性	40代
都会にあるようなデパートとか映画館などが少ない。	女性	40代
都市化だと思います。	男性	40代
基本的な生活ができる地域になり、不便だと思う事がなくなる社会。	女性	50代
エスプラッツの活動充実は、とてもよいと思う。	女性	50代
個々の家庭と同じで、お金がないと何もできない。もっと県民とよく対話をして税金を使ってほしい。今の知事のやり方に反対。	男性	60代
不便な地域性。	女性	60代
回覧板を充実する。	女性	60代
福岡に近いので、あまり考えない。	不明	60代
佐賀県の実態を考慮し、整備の方向性を考えてください。	男性	60代
小学生までの子どもには子どもクラブを、65歳以上には交流の場を。	女性	60代
若い方から年配まで、もう少し支えあえる気持ちがほしいですね。物はたくさんありすぎて、大切さが欠けているので、交換しながら心の交流も必要です。	女性	60代
ニーズが佐賀でどのくらいあるか未確認のため。	男性	70代以上
みんな忙しすぎて話し合うとき、人がいない。	女性	70代以上
佐賀県の地域の状態上、よい環境にある。	女性	70代以上
利用したい時間帯が少ないので利用しにくい。回数を多くできたらいいと思う。	女性	70代以上
高齢者が自己責任の範囲で自由にできるものはない。	女性	70代以上
世の中の変わり方があまりにも早いため、80才近くもなればついて行けない。	女性	70代以上
地域差があるのでなんとも言えない。	女性	70代以上
老いても夢を持つこと。	男性	70代以上

日本列島、日本でも佐賀地域は村も町も、前は「気候風土」があり、そこに他の県にはない素晴らしい「優性」がありました。今はみんな食も衣も心も一列です。	女性	70代以上
---	----	-------

3-(2) 「暮らしやすいまち」とは

内容	性別	年代
交通機関がたくさんある。充実している。	女性	20代
公園や遊び場が手に入りやすい交通機関。例えば公共機関を使って、そこから現場までシャトルバスを利用する。	男性	20代
バスや電車などの公共交通機関が充実しているまち。	女性	20代
交通に不便のないまち。	女性	20代
安全に移動できる交通環境が整っている。	男性	20代
市街地に活気があり、そこに行くまでの交通機関も充実している。	女性	20代
バスや電車の公共機関が充実したまち。	女性	20代
市営バスしか走っていないのに、タイヤが少なすぎる。	女性	30代
お年寄りが家にこもらなくていいように、交通の便がよく、福祉サービスが整っていて、買い物、文化的な活動に不便しない街。	女性	30代
バスなどの交通機関が早い時間に終わるので、ゆっくり買い物などができない。	女性	30代
公共交通機関はバスしかなく、そのバスも採算の問題からか廃止になっているケースもあります。お年寄りに優しい交通の便を考えてほしい。	女性	30代
交通の便が充実していること。	男性	30代
今、公共の交通機関が利用しにくい。マイカーがないと不便。→マイカーなくても色んな所へ遊びに行ける。	女性	30代
無料バスも、もっともっと範囲を広げてほしい。	女性	40代
高齢者が簡単に移動できる手段、または、料金割引or無料化。	男性	40代
公共の小型バスなどが頻繁に往復（低料金）してくれたら、年寄り、子どもは助かります（無理でしょう）。	女性	50代
通学以外での公共交通を利用する人が少ないため、特にバスの路線廃止、便の現象が相次いで、車の運転ができない人の足が確保できにくくなっている。	女性	50代
田舎はやはり車がないと不便です。でも、長崎本線は役に立っています。	男性	50代
車のない人も動きやすいまちになると良いと思います。	女性	50代
せっかく公共交通機関が通っているが、ほとんど利用者がいないと思う。もっとPRして利用者を増やすようにすると思う。もったいない。	女性	50代
公共交通機関など身近にあり、美しい景観が保全されている。	女性	60代
公共の乗物の便が悪い。段々縮小されている。バスを小型化にして、便を多くしてほしい。	男性	60代
交通の利便性。物価の安定。福祉の充実した町。	男性	60代
交通が良くて店があって美しい景観がほしい。	女性	70代以上
交通機関（バス路線）がないために、移動が自由にできない。高齢者が自由に動ける交通機関の充実。	女性	70代以上
利用しやすい交通機関が発達しているまち。	男性	70代以上
交通基盤が整っている（地方）。	女性	70代以上
交通の便利のいいことが一番望ましいことです。	女性	70代以上
静かなよい町と思っているけど、鉄道の本線がなく、バスも少なくなって、自家用車以外非常に不便。	女性	70代以上
合併が続き、それに交通機関はともなっていない。車社会で高齢者は少ない年金では動けない。	男性	70代以上
高齢者、独り暮らしの方の交通手段が困る事のないような、1週間1度無料バスを出す。又、バス停の屋根付き、待ち場の設置、市街地に朝市みたいな毎週何曜日か開催をするまち。	女性	70代以上
公共交通機関など、身近な移動手段が少ない。	男性	70代以上
バスの便が悪くて、車に乗らない人が困っています。	不明	不明
小さなコミュニティーで独立的に生活もできるようになっているといい・・・（クリニック、買い物など）。	女性	30代
過疎化が進んでいる地域では、老人たちが買い物に行くのに一苦労。もう少し店舗（商業施設）の分化ができないだろうか。	男性	30代
買物、医療、職場等が近くにあり、交通も便利で、犯罪、災害も少ない（または対策がある）まち、明るい笑顔が多いまち。	女性	30代
身近にお店、公園、公共施設などがそろっているまち。	男性	30代
都会のように、近くに店、病院、学校、すべてある事。	女性	30代
小さな子どもがいて、なかなか買物に行けなくても配達してもらえるようなものがたくさんあるとよい。	女性	30代
自営業で生活ができる調和の取れた町。個人商店が近くからなくなり、買い物が遠くまで行かなくてはならず不便すぎ。	女性	40代
商業施設、文化施設などのそろっている町。	女性	40代
体が不自由でも安心してそれなりの生活ができる町。	男性	40代

車がなくても暮らしていける「町」。大型ショッピングセンターは便利だけれど、暮らしやすい町に必要な「商店」「小店」をつぶしてしまっている気がします。アメリカ社会がすでに経験した失敗をみているような気がします。身体が不自由になったときに、徒歩5分、交通機関を使えば用の足りる社会だと思います。	女性	40代
商業施設の大規模化、一局集中で、だれでも同じ範囲の中でサービスや商品を選ぶことになるので、市街地ならではの個性的な特徴を打ち出した街作りがあって欲しい。	男性	40代
近くにスーパーや大型店ができ、買い物がとても便利になりました。	女性	50代
中心街に行ったら何でもそろっている。商店街・デパート・映画館・レストラン・公園など、子ども、学生と高齢者に人気あるスポットを。	女性	50代
不便のない環境。	男性	50代
日常の買い物、通院、近所つきあいが安心してできる事。緑豊かで犯罪のない事。	男性	50代
高齢者が歩いていて、買い物に行ける店、スーパーが近くにない地域がたくさんあるので、市県レベルで検討していただきたい。車社会の若者はいいけど。	女性	50代
自家用車がなくても、生活するのに困らないこと（買い物・病院施設）。近くの商店などを支援しながら生活していくこと。	女性	50代
高齢者が歩いて用事がすませられるコンパクトシティ整備を目指すべきだと考える。	男性	60代
自立ができ、安心して暮らせるまち。	女性	60代
買い物の便利さや交通手段の便利な町。	女性	60代
学校・病院等が近くにある。人間関係のうまくいく所。	女性	60代
物価が安く、交通の便がよく、信頼できる医療機関があって、高齢者にやさしい町。	男性	60代
各町村に個人病院がなくなった。遠いところまで少しの病でも交通費出して行かなくてはならない。	男性	70代以上
思うようなデパートが少なく、他の町まで買物に行かなくてはいいけない。もっと活気ある町になってほしい。	男性	70代以上
自分の足で歩き、好きなもの、ほしいものを自分で買って、整地された田畑に農産物が豊かに実るのを見ることが出来るなど。	不明	70代以上
自宅から歩いて行ける範囲にスーパーもコンビニも、勿論デパートもありません。高齢者は困っています。	女性	70代以上
買い物が不便。車のない老人です。	女性	70代以上
高齢者が楽しく安心してお買い物等が出来るまち。	女性	70代以上
大型店ばかり出来て高齢者等の近くでの買い物ができない。車など乗れない者は「暮らしやすいまち」とは思えない。	女性	70代以上
何でも家のまわりにそろっていればいいと思うが。	不明	不明
大型スーパー、安売り店等はあるが、個人の店があまりにも少なく、年をとってくと不便だと思う。	女性	不明
町に大型スーパーがないため、市外に流通（消費）が流れている。	女性	40代
すべて身近で揃うという考えが無くなってしまって、お金はほとんど福岡へ流れている。商業の発展が、この問題を改善できる。福岡の様なまちを佐賀へ。	男性	30代
活気あふれるまち作り。	女性	30代
もう一度白山商店街に活気が戻ってきたらいいと思う。	女性	30代
町に活気があり、住環境が整って、公共交通機関がしっかりしているところ。	女性	30代
町が活気がない。楽しみがない。イベントもない。	女性	50代
地域の持っている潜在力が生かされていない。もっとお互いが交流できる場づくり。	男性	50代
暮らしやすいというよりももっと活気をつけることが必要と思う。	男性	50代
活発で若者たちが寄ってきたくなる元気なまち。	男性	60代
各地域の商店街が活気づく行事等の実施。	男性	60代
問6②の2（市街地や農地の調和がとれていない）に○をつけましたが、3（まちなかに活気がない）と5（美しい景観が保全されていない）にマルをつけたい気持ちがあります。	女性	60代
人がたくさん集まる町並み。	女性	70代以上
不景気と老人が多すぎる。又市などシャッターが閉まりすぎ。若い人がもともと暮らしやすいようにしてもらいたい。	女性	70代以上
だれもが安心して生活できるまち。	男性	30代
子ども連れで母親が買い物に出れるような環境が欲しい！	女性	30代
隣人愛に満ちたまちづくり。	男性	40代
子どもやお年寄りが安心して暮らせるまち。	女性	40代
公平にみんなが幸せに暮らせるまち。	男性	40代
安心、安全、行政サービスの充実。“共生”の意識、住民の交流など、適度に行われ、お互いに顔の見える町。	男性	50代
安全、安心で、介護がわかりやすく誰でも利用できる。	女性	60代
安心安全なまち。	男性	70代以上
自然豊かでもあり、大型ショッピングモールもある。交通の便もよく、地域も安全なまち。	女性	20代
環境にやさしいまち。エコ。	女性	20代
店はあるけれど、それなりに田舎・・・という自然が気に入っています。	女性	30代
佐賀市内の緑が少ない。とにかく街中が死んでいる。	男性	60代
自然に恵まれた治安のいい街。	女性	60代
自然環境。	女性	60代

治安がよい。	女性	30代
治安の良いまち。	男性	30代
犯罪のないまち。	女性	40代
夜でも街が明るく。	男性	40代
防犯、防災の対策がしっかり行われている事。	女性	50代
犯罪のない町。	女性	50代
治安が良く交通機関など身近な移動手段が整備されている町。	女性	50代
月に1回ぐらい話し合う場所がほしい。でも、決めても忙しすぎて、みんな集まってこないと思う。	女性	70代以上
色々な活動に参加できて、毎日の生活に事欠く事もなく楽しく暮らせること。	女性	70代以上
隣近所が言葉を交わし、社会のこと、周りのこと、家族のこと等、話し合えることが一番だと思う。	女性	70代以上
山海川と身近にあり、町の人みんなが兄弟みたいです。	女性	70代以上
町中行事の形態が大きすぎて参加する余地がない。	男性	60代
足腰不自由でも、赤ちゃん連れでも出かけやすい道があること。お年寄り用バイクを邪魔に感じないくらい広い道路があって、散歩に出かけてもベビーカーの車輪が割れ目や溝にはさまったりしない歩道があるまちでしょうか。	女性	20代
市民があまり利用しない道路に多額のお金をかけて道路を整備するのは税金の無駄遣い。水害に対応する河川整備、道路整備、あまり知られていない道路から入った所が水害で困っていたりする。	男性	20代
とにかく道路が危険。通学路も危険きわまりない。街の中はともかく、田舎の道はもっと整備されるべき。お年寄りの事故（横断事故）が後をたたないのは道路のせい。	女性	40代
これ以上、必要もない道路などをつくってほしくなく、自然を残してほしい。ゆっくりとした時間を過ごしたい。	女性	50代
ここから佐賀・・・と福岡とは思えないところから佐賀の道路とわかる。整備不良をなくしてもらいたい。	男性	70代以上
昔のような各家庭がともに暮らす日々が戻ってほしい。	男性	40代
核家族が減り、各年齢層の人の同じ生活空間の中で生活でき、孤立できない社会の流れに持って行くよう努力しなければいけないと思う。	女性	50代
親子孫の三世代が同居し笑って過ごせる町。	男性	60代
市県民税が高い！！	女性	20代
他県より税金が安くて、地域サービスが充実していて、適度な人口があること。	女性	30代
住民税が低いこと。	男性	50代
市の予算が中心部ばかりにつき込まれている。	男性	40代
行政でしっかり推進してほしい。	男性	70代以上
支所の職員に活気がない。	男性	70代以上
地域の人や隣近所の人や他の地域の人に、色々文句を言われたい事。	女性	40代
地域とのお付き合いがスムーズにできること。	女性	60代
町内会の会合でも参加者が少ないのにびっくりで、発起人さんの身にもなり、自分だけでなく、若い方から年配の方まで、和の誠心がほしい町にしたい。	女性	60代
特に佐賀が遅れているのが下水処理施設。現在も我家は汲み取りである。他県の方は呆れてる。	男性	50代
下水道の整備。商店街が活気ある。	女性	50代
下水道処理をしている家でも、2機目の洗濯機を物置等で使用し、溝に流してありますが、どうか思っています。まだ全家庭が完全になされていませんので、大きくはいえませんが。	女性	70代以上
多久市は昔、小城郡でしたから、多久市は小城市に合併すべきだと思う。	女性	70代以上
合併しても中心だけが機能的で、地方は何も出来ていない。山間部はおきざりである。	女性	70代以上
合併後、できないことが増えた。赤字補填のため、他の市に税金が流れ、旧市町村は損をしている。	女性	30代
道に犬などの糞がないまち（夜に犬を放し飼いしている人がいる）。責任を持って動物を飼ってほしい。	女性	20代
犬を飼っている人が増えてきているのに、「犬の散歩禁止」の立て札があって入れない。じゃなくて、飼い主をきちんと教育してマナーを守らせて、入っていけるところを増やした方がいいと思う。	女性	40代
ペットを飼う人が多いが、しつけられていない犬が多い。あるアジアの国は犬をよくしつけ、やたらと人にほえないし、なにより飼い主が動物を扱うことがうまい。家畜と人間の違いを考えてほしい。	女性	40代
年々改善されてきているという実感はある。ただ、もう少し観光地の整備を進めていってほしい。特に少しマイナーなところほど。差がありすぎる感がある。	女性	20代
最近の不景気のせいでしようが、佐賀の自慢できる場所をもっとPRして、たくさんの方が佐賀に来られるような案があればと思います。	男性	70代以上
公園など自然が満喫できる。治安が保たれている。バス・電車の本数。田舎ほど少ない。	女性	20代
犬の散歩する公園がない。	男性	70代以上
人々の心が時間に追われ、心に余裕がないから、心が清ければ暮らしやすい社会になると思う。	女性	60代
住民の心がなっていない。あまりにも自由過ぎる。行政、議会が機嫌とりすぎ。	男性	60代
1、2、3次産業が上手く融合しているまち。	男性	20代
農業、漁業、商業でそれぞれの生活が成り立つ町。	女性	20代
ゴミが一つも落ちてなくて、障害者の方も安全に暮らせる町。	女性	20代

高齢者、障害者にやさしく、環境にやさしいまち。	男性	50代
ライフラインが整っていて、災害がないこと。安全であること。上水道がね。もう少しいい水だと嬉しい。贅沢ですね。	女性	30代
水道代が高い。	女性	30代
自然災害、犯罪が少ない町。	男性	40代
佐賀県は災害が少なく住みやすい。	男性	60代
人口の多い所が暮らしやすくなって、他の所と差があると思います。	女性	50代
文化活動、スポーツ等、利用できる時間（夜間）があり、必要な情報、医療機関名じゃなく、医療内容をオープンにして、感染情報も含めて、ほしい情報が自分で選べる。	女性	50代
都市整備は長い時間がかかるのも分かるが、市民への説明不足。専門的な言葉じゃなくわかりやすい説明で。	男性	30代
CSOが必要です。CSOに任せすぎにならないように。公務員が一番年休を取っていますよ。人事院は調査しますか。	男性	60代
県内の企業は大企業の分工場が多い（本社でない）為に地域に密着してない。政治の地方分権と同じく、企業もそうさせるべき。	男性	60代
清潔な環境でありえない。道路の溝側に汚水がたまって、その「におい」がひどい場所がある。	女性	70代以上
社会保障が安定していて、明るく安心できる事。	女性	70代以上
子どもやお年寄りの方が暮らしやすいことが一番だと思います。	男性	50代
ボランティアを楽しむ。	男性	20代
孫は一人います。現在、鳥栖市に住んでいますが、子育てネットワークが充実していて住みやすいです。近くに公園があれば尚いいのですが・・・。	女性	50代
今のままでいいと思う。昭和40年代ぐらいまで戻ってもいいよ。田舎でいいよ。	男性	50代
街路樹は美しく整備してほしい。佐賀市だけはきれいなよう・・・。	女性	40代
川等は3面をコンクリート化しないで、側面は石垣、底は砂などで整備して、昔のような河川にしてほしい。	女性	50代
若者からのしがらみ、風習、しきたり、葬式などの決まりごとでがんじがらめの人が多い。	男性	30代
いろいろな情報が得やすい。	女性	20代
心的・物的ストレスの少ないまち。	女性	40代
地産地消で安全なお米、お野菜が安く、または自分たちで作り、家族仲良く同居生活で住居費を抑え、ある程度お金の余裕があり、休暇を楽しめるようなまち。	女性	30代
合併した故に、団体役職に天下りが本庁から旧町村に来るのはおかしい。地元雇用で良いのでは。	不明	60代
住めば都。	男性	20代
反社会勢力ゼロのまち。	男性	20代
世代間交流、安全、循環社会の実現。	女性	20代
若い人が住みたくなるような社会（若い人をターゲットにした店が少ない。バーなど→結婚にも多少つながる）。	男性	20代
住民が不満、不安なく暮らすまち（前ページまでの「福祉・保健・医療」や「教育・文化・スポーツ」の分野が充実していることが必要）。	女性	20代
佐賀にそんな町があるの？どうせできませんでしょう。	男性	40代
物事のバランスがとれている状態。	男性	50代
助け合いの気持ちが伝わりあう、「お互い様」の街。	女性	50代
樹木の消毒をせず、除草剤を撒かない。ケミカルフリーのまちです。	女性	50代
今は何にも不自由がないので、何にも感じていない。	女性	50代
専門職のアドバイス。	男性	60代
区費や組費のない社会。	男性	60代
町からの援助か手当。	男性	60代
市街、少しの農地、商店街、病院、パーマ、飲食店、とても暮らしやすい。市から来る税金が後を左右する。	女性	60代
私は住みやすいです。	女性	60代
現在、鳥栖市は暮らしやすい町になっていると思う。	男性	70代以上
医院が多い。	男性	70代以上
不平不満を言わずに自ら努力する人の多い町。	女性	70代以上
まず、食料がある事。電化製品が調うている。衣服、車、水、病院、私は中国から引越して来ましたので、特に感じます。昔の事を思うと今は天国です。	女性	70代以上
車社会になったので、駐車できる場がもっとできたらよいと思う。	女性	70代以上
佐賀市は暮らしやすい町です。	女性	70代以上
私としては一寸したボランティアをしています。もっとしたいと思います。身体が元気なうちに。	女性	70代以上
充実して緩やかに進展する社会。	男性	70代以上
佐賀県は他県より恵まれてないが、よく思っている。	男性	70代以上
官と市民（住民）との調和がとれた社会。	不明	不明
私は佐世保から来ましたけれど、バス停などは皆さんとても優しい感じがしました。	不明	不明
隣町までは汚水処理施設が整備されているのに、私の住む町では地元の反対があるようで、実現まで遠いようです。	女性	60代
中年代の40～50代ぐらいがもっと町にも力を入れて引っ張っていく町になればいいけど。	女性	70代以上
自己中心的なことを自分なりに話すことを話し合って和をとって住む。人のことを考えていくように努力してほしい。	女性	70代以上

3-(3) 「交通・社会基盤整備・情報化」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
関係者はどうすれば集客できるかよく考えること。佐賀の市民会館に行くのに佐賀駅で降りて、その先はタクシーで現場まで来いでは、高齢者には無理。	男性	20代
山間部などバスの便がもっと増えるといい。小さなミニバスなどがぐるぐる走っているといいと思う。	女性	30代
佐賀市へ行くより、福岡へ行く事が多い。県庁所在地である佐賀市を盛り上げ、行きたくなるまちにし、行きやすい交通手段を増やしていったらどうか。	女性	30代
飛行機にしる、バスにしる、今の状況だと無駄に思えます。せつかくなら、もうちょっと使い勝手をよくしていただきたい。	女性	30代
運転免許センターから鳥栖方面の交通機関（バス）があればうれしいです。	男性	30代
電車のない田舎は専ら車です。ガソリンの金額を他のところより安くして頂けたらありがたいです。交通基盤が逆に徹底されていないからこそその良さもあり、犯罪から地域は守られているところもあり、その点ではとても感謝しています。	女性	30代
郊外に住むと車がないと生活できない。長崎新幹線の必要性が分からない。	男性	30代
佐賀県内の北と南、交通の便が悪い。道を早く整備して欲しい。そうすれば佐賀空港も使うのかも知れない。私は福岡空港ばかり使用。	男性	40代
汽車の便が悪い事と、タクシー代が高い。	女性	40代
交通はバスの本数などが少ないので車が必要な県と思う。運転ができる人は良いが、お年寄りや車が運転できないとなると、生活の移動が大変だと思う。	女性	40代
地下鉄計画。	男性	40代
バス会社、JRとも採算を考えると縮小せざるを得なくなるのはわかるが、それでは利用者がますます離れて悪循環になるばかりなので、市なり県なりが補助をして頂きたい。市内を走るショッピングセンター行きのバスも便数も少ないし、市の中心部とショッピングセンターの往復のみなので、中心部近くでない人は利用しにくい。大型ショッピングセンターがないので、市外や県外に流れている。	女性	50代
コミュニティバスが、もう少し便が多く、いろんな方面にも利用できると思います。	女性	50代
無料バスの運行、65才以上。	男性	60代
交通機関ではバス乗り下りの場所、少し広くお願いしたい。お客様が少ないので小さいバスでいいと思う。空港まで行くのも、車に乗らないものとしては不便である。	女性	60代
交通の便（バス）が悪い。特に片田江方面に行く市営バスをお願いします。	女性	70代以上
赤字民営のバス会社、高齢者（歩行者）の足の確保がないため、対策が必要ではないか。	男性	70代以上
佐賀市を通らない（通るのが少ない）。無料化は意味がないのでは・・・。福岡～長崎、または熊本とか・・・。	男性	70代以上
福祉センター、公民館等、公共施設等、新しく建設していただいても、老人や車の運転が出来ない者は公共交通機関が無い場所では、都合のいい日、いい時間に行けないで、諸手を上げて喜ばません。	女性	70代以上
通勤・通学・通院・買物に便利な循環ミニバスの運行が必要ではないでしょうか。	男性	70代以上
公共交通機関を廃止、廃止と言わないで、保障してほしい。	女性	70代以上
乗り合いバスのバス券をいただき、非常に助かっています。	女性	70代以上
とにかく交通の便が悪い。自家用車を持っている人はよいが、年配の方、車を運転できない人には住みにくい。	不明	不明
道路工事もっと道の悪いところから直していった方がいい。自転車や歩きでも通れる車道脇の歩道をもっと増やす。	女性	20代
車の量が多い（移動はほぼ車）のに、混む道路が2車線になっていない。がけ崩れなどの復旧が遅い。	男性	20代
小・中学生の通学路で何か所か危ない場所があるので、早く整備してほしい。	女性	20代
佐賀の高速道路は道がコンクリートなのか、すごい音がするし、タイヤに悪い。ふつうのアスファルトのようにしてほしい。	女性	30代
不要な道路整備等があるように思う。また、工事が始まって終わるまでが長すぎる。	女性	30代
国道整備を早くしてほしい。ある所まで4車線で2車線又4車線、こうなった道路多い。	男性	40代
佐賀市⇄唐津市や有明海沿岸道路など道路整備がとても遅れている。	男性	40代
新幹線や空港より、まず、幹線道路の整備をしてほしい。特に有明海沿岸道路や高速道路とのアクセスなど。	男性	50代
県内の端から端まで行くのに時間がかかりすぎ。	男性	50代
「県道」でもまだ歩道すらないところもあり、環境面から自転車道も必要かと。財政的なこともあり、これから先は本当に必要なものと、先延ばしでもいいものとおわけて考える時代かと。	男性	50代
機能しているとは思えない歩道橋は不要。交差点の信号は全て歩行者と車両が交差しないよう時間差を設けるべき。	女性	50代
自転車、道路を作ってほしい。	女性	60代
小さい県の割には、移動に時間がかかる。	男性	60代
道路整備をするべし。広い所（整備済）、狭い所が相当あり、事故のおきる可能性がある。要は未完成道路（未整備）である。	男性	60代
道路整備、歩道整備。	男性	60代
赤穂山線を早く二車線にしてほしい。1年になります。21.7.26日の大雨による被害。	不明	不明

有明佐賀空港を今まで利用したこともないし、利用しようと思っただけでもない。いるのか？	男性	20代
空港利用者が少ないので、その周辺にお客が集まる設備。インフラ整備した方がよい。	男性	30代
佐賀空港、最高です！！利用しやすい。	女性	40代
有明佐賀空港の発着は、朝一便は早すぎる。また最終便のPM6:15は会議に最後まで参加できないなど支障を来している。せめて最終便だけでも時刻の変更を実現してほしい。	女性	40代
繰り返しますが、佐賀空港、新幹線は誰が考えても無駄。県民投票でもして県民の意思を聞いてください。	男性	40代
佐賀空港を自衛隊に売りに出せないか。佐賀空港は必要なし。赤字を少なく、早く打切ったら傷が浅めになると思う。	女性	50代
有明佐賀空港の必要性をもう一度考えるべきである。	男性	50代
佐賀空港ができたが、活性化になっていない。逆に赤字になり負担になっているのでは。	女性	50代
佐賀空港にて、年に4~5回伊丹⇄佐賀と利用させていただいております。せめて、盆、正月、祭日くらいは運行させてほしいと願っております。	女性	50代
佐賀空港までのアクセス。自家用車で行くとき、わかりづらいのであまり行きたくない。	女性	50代
佐賀空港着工、2~3年前だったと思います。マスコミから空港は賛成か反対かとのTEL有り、私は反対との意見を申し上げました。赤字になるのは目に見えていたのに。北部九州の貨物は、佐賀空港から都市への計画もあったのにどの位利用されているのか…？費用対効果を考えるとどんな計算をしていたのか本当に情けない。	男性	60代
佐賀空港、新幹線（佐賀、長崎）はいらない。	女性	70代以上
国際マーケットをアーケード跡地に作ってはいかがでしょうか。どこまでも続く国際色豊かな一画を作ってみてはどうでしょう。	女性	30代
駅前通りが寂しすぎる。	女性	30代
中央商店街の空洞化をみていて寂しくなります。駐車場が有料というのがネックのような気がします。それを解消して魅力的な店を誘致できると、もう少し活気があっていいのになと思います。	女性	40代
商店街に活気がない。もっと行政が支援してもいいのでは？ムダにお金（税金）を使って立派な施設を造るより、よっぽどいいと思う。	男性	50代
街中（市街地）に人手を多くする催し物の開催。	男性	70代以上
中心街にもっと行けるよう、市の有料駐車場でよいのでつくってほしい。	女性	70代以上
大企業を誘致する頑張りをしてシャッターを開けてほしい。又、市の中心部に省庁、銀行、会社そして病院を。佐賀の市を、シャッターが閉まっている所を、市や県が買い上げ、又、国有地を安く払い下げて、どんどん交通の便利性を訴え、会社（大）を誘致し活発化してほしい。	女性	70代以上
佐賀という立地条件をいかした町づくり。	不明	不明
どの県にもない、佐賀にしかない、佐賀だから出来たという、らしさを追求し、発展させてもらいたい。	男性	30代
新幹線に使うお金がもったいないと思っています。	女性	30代
新幹線本当に必要？ますます佐賀は通過点化する。	女性	40代
新幹線は必要ではない（不要）。空港の利用促進と、どう整合性をとるのか。一部単線区間があるのに、そこに新幹線を走らせるのか？（通常使用している在来線に対する、しわ寄せがでるのではないか？）。	男性	40代
知事選のときは今の知事に一票入れたが、今は辞めてほしい。先のことを考え、財政を大事にする人になってほしい（新幹線への税の投入）。	男性	60代
今の時期、新幹線不要。在来線の複線化は？	男性	60代
長崎新幹線の新鳥栖は、どうして不便な場所に新設したのか？（今更ですけど）。直線距離で最短になるのは理解するが、全体の活性化にはならないと思う！！	女性	60代
利便性を求めて自然を安易に壊さないで下さい。	女性	40代
今の生活で気になることもないので、私には合っている。むしろ、この自然と静かな環境を維持してほしい（佐賀らしさになる）。最近ヘリコプターの飛行が多くなるさ。	女性	50代
交通や社会的な基盤や情報化が進んだら便利になると思うが、便利になることのみを追い求めるのではなく、佐賀ならではの自然の美しさや豊かさを損なうことのない進め方をしてほしい。プチ都会になるより、田舎のよさを残してほしいと思う。	女性	50代
美しい景観を保ってほしい。	女性	60代
基盤整備については、自然を壊さないように配慮してほしい。	男性	60代
佐賀県は情報化は頑張っていると思う。ネットで行政手続はとても便利だと思う。	女性	20代
インターネットの利用というより、そもそも出来る環境が整ってないと思われる。	男性	20代
高速情報通信網（光）の整備。	男性	30代
もっとケーブルテレビを通じて情報を流してもらいたい。	男性	40代
情報化については、もっとインターネット活用（行政等）をすべき。高齢に向け、今のうちに進めるべき（ペーパーレス等）。また、それにより行政の人員削減を。	男性	60代
もっと風通しのよい人間づきあいを望む。	男性	30代
交通、情報の利便性向上はこれ以上必要ない。心の利便性、民生委員の倍増で心のケア。	女性	60代
私の町では夏祭りや春祭りもなくなり…。何か部落にしても花見もなくなり、お日待もなくなり、これからの横のつながり…いや、縦の付き合いもなくなるのではと悲しく思う。	女性	70代以上
地区の清掃はみんなで徹底してやれないものだろうか（側溝の掃除）。	女性	70代以上
市場原理の中で郊外大型店等が閉店し、身近な買い物のできる店が減少。高齢化、独居老人の増加の中で、買い物難民が増加しつつある。行政の出番が必要。	男性	50代
高齢者であっても自動車運転が出来ないと買物にも行けない。近くに日用品を買うところがない。	女性	70代以上

交通基盤で、高齢者の独り暮らしで、年金生活や生活保護で、バス料金が高額な為に利用をやめてしまう。買い物にも用事にも出るのもやめてしまうから、社会への交流も少なくなってしまうので認知症になりかねない。	女性	70代以上
ルーズな運転をするドライバーが多い。	女性	20代
毎年、夏場、走り屋ですかね。夜中、騒音がうるさい。駐在所もあるのですが対応してほしい。	男性	50代
交通は、スーパーに行った時、横断歩道があるが、そこで自転車を降りても停まってくれない時もある。	女性	50代
間違っていたと思ったらすぐにやめることができるシステム。	女性	30代
基山町に住んでいますが、自動車免許の更新に佐賀市まで行く必要があり困っている。非常に不便です。鳥栖市の警察で行えない、行わない理由がわからない。	男性	40代
なぜ県警のパトカーはクラウンの新型でないといけなのか！予算のムダ。ついでに交通取り締まりも嫌がらせてほしい。暴走族を捕まえろ！	男性	40代
街に活気がなく、景観が保全されていない。	女性	60代
自然景観の良いところに住んでいますが、高層建築物がそれを壊してしまいました。景観保全は私だけが望んでいることでしょうか？	女性	60代
いまだ多くの家庭で下水が河川に垂れ流されている。早急に下水施設を整えてほしい。	女性	30代
下水道が整備され、川がキレイになる。安いだけでなく、良い商品を作る。	女性	50代
交通など、私はまだ車の移動など自由にできるけど、車社会になった今、お年寄りの人はどのようにしているのが心配です。	女性	40代
車がないと生活できない。年をとって運転できなくなったときに心配。	女性	40代
子どもたちが安心して遊べる公園、もっと大きな公園があるといいと思います。特に諸富。	女性	60代
冬期、雪が降り道路が凍結した朝、切木経由、有浦経由のどこが通れないのか、肥前町にいると唐津へ行くのに情報が入らない。安全に通勤できる情報をケーブルテレビ放送などで流してほしい。	男性	50代
CSOに頼る前に県が責任をもってすることがあるのではないのかと思います。	女性	20代
川の周辺の整備をされて、きれいになり散歩ができて良かった。	女性	30代
宮崎県の真似をする（プロ野球やキャンプ地等、人物すべてがついてくる）。	男性	50代
田畑の休耕地が多くなり、荒れ果てている。	男性	70代以上
高速道路の土日千円はいつ終わるのですか？全くテレビを見ないので、県内道路の地図を載せていただくと助かります。やはり、千円になったけれども、佐賀県は通行税取るというわけにはいかないのですか？小耳にはさんだのですが、あれで納期が遅れたりする山間部の精密機械の工場があって、困っているそうですが。産業保護とかなんとかいって。	女性	20代
プロボノ。	男性	20代
発達しても佐賀の力量なら無駄なものもあると思います。予算を使いすぎず、福祉、雇用などを優先すべきでは。	女性	20代
適当に不自由でいいさ。	男性	50代
回覧板も、殆どの情報を載せて回ってきて、不自由なく暮らしております。	女性	70代以上
現状でよい。	男性	70代以上
一人、人にお会いすれば、みなみな良き人々ばかりです。本心を表に出せないように感じるこのごろです。※自分だけを守るため・・・だけのことは情報・・・かなと思っている私もかも。	女性	70代以上
一人で暮らしていると先のことが心配になります。シルバー団地に早く行きたいです。希望します。	不明	不明

4. 「安全（消費、食、交通安全、防犯、防災）・環境（地球環境、自然環境、生活環境）」分野

(1) 「安心して消費生活を送れる社会」とは

内容	性別	年代
食品等の適正な表示がしてある。	女性	20代
さが食育フェスタ2010はよかったが、地域のスーパーマーケットまでその考えはおいていない。食育の実現。	女性	20代
食品のニセ表示、あまり信用できないものが多い。	男性	20代
地産を売っているところが多いので、安心して生鮮品が買えます。	女性	20代
食品表示や生産者がわかりやすく適正である社会。	女性	20代
その地域でとれた野菜や魚を消費する。その日に。安全だし安心。	女性	30代
品質表示がきちんと表示され、疑問があれば調べることができる（ネットなど）整備がなされている社会。	女性	30代
食品の産地偽造など、ニュースで見るとちゃんと未然に防いでほしいと思う。	女性	30代
表示を安心・信用できない。	女性	30代
生産者側が、安心して買ってもらうことを第一に考えて心をこめて生産し、消費する側もお金を媒体に生産者の真心を受けとれるような社会。	女性	30代
うそ、いつわりのない商品表示がされている事！	女性	30代
地産地消。やっぱり国産が一番。	男性	40代
地産地消、せめて自県の方だけでも、まかなえる自給力がつくといいなと思います。	女性	40代
「地産地消」の割合がもっとふえていけばいいと思う。	女性	40代
農産物の安全性が確保されている。	女性	40代
農業被曝のより少ない食品及び環境がある社会。農業を日常的に使っている身で身勝手ではあるが、農村全体の被曝量を考えると・・・。	男性	50代
例えば松茸ですが、袋には国産と表示してあっても、レジを通すとレシートに中国産と出ることがある。	女性	50代
農産物は地産地消、その他の商品等は市外に出かけなくてはならないのは不便です。ただ、なんであれ「信頼」のある売買、契約、表示、製造が第一です。	男性	50代
食品の適正な表示がされ、安心安全な食べ物が安く手に入る。	女性	50代
問7①の3（食品の適正な表示）がまじめになされていること。	女性	50代
表示が信頼できる。体に良い食品。	女性	50代
偽装のない。	男性	50代
地産地消ができればこれが一番。まず地域。次が都会へ。	女性	50代
安全な食品が口にできて、地球にやさしい暮らしが送れる事。	女性	50代
食品の適正な表示と安全性がある。	女性	60代
食品の安全性の監視に力を入れて安心して食事ができる社会を目指してほしい。	男性	60代
食品の一部に製造先が中国と明記してない製品が多くなった。	男性	60代
中国製食品の輸入禁止（厳しいチェック）。	女性	60代
自給自足。店頭商品は信頼しにくい。	女性	60代
地産地消を進めるべき。高くしても安全なものを（食育を）進める。輸入品（加工品についても）については、販売店で売り場を区分するような条例を作る。	男性	60代
米、野菜を安くする社会。	男性	60代
賞味期限におかしいと思うことがある。	女性	60代
スーパーなどの食品の検査などはしっかりと役所関係で行われているだろうかと心配である。	女性	60代
特に食品添加物に対する検査はどのようになされているのか、全くこの件に関するニュースがないのが気になる。	男性	70代以上
食品の賞味期間を守ってほしい。たまにカビが発生しているときがある。痛んでいるときも。	女性	70代以上
農業、漁業中心の地域社会であり、無農薬、その他地産地消の考えが広がりつつある。よい傾向である。	女性	70代以上
中国、韓国等の食品は恐くて買わない。地産地消でいきたい（農業政策の転換を考えてもらいたい）。	男性	70代以上
食の安全がほしい。外国産は輸入してほしくない。	女性	70代以上
安全性（例えば髪の毛混入、目付書換え）などに気をつけて下さい。	女性	70代以上
食の安全と人とのトラブルのない社会だと思います。	女性	70代以上
地産地消が身近に行えるのが一番安心。やはり身土不二。	女性	70代以上
食べることの安さ便利さ。特に近いこと。	男性	70代以上
世界からの輸入、食品について安心できない情報を聞かされるために・・・不安です。	女性	70代以上
食品が安心安全である事。	不明	不明
未来の子どものため。我々の食生活が安心していける。中国製の野菜とか品物が多すぎる。	女性	不明
食物への薬品が使いすぎて体に悪い（癌の患者が増えている）。ペットの糞が道路に多く落ちている（厳しくしてほしい）。	女性	60代
どんな細かなこともきちんと説明する。そしてやってはいけないことがあった場合、それを行政機関等に報告できる人がいる社会。	男性	20代
契約トラブルについての情報の周知が足りないので増やす。食品の原産国などがたまに書いていないことがあるので、それは細かすぎるぐらい書いてよい。	女性	20代

高校でもっと、消費者相談の内容を教えてくれる社会。大学生（2年・3年）になった途端、ジュエリーとか化粧品とか下着とか買わせようと勧誘してくる。ねずみ講は犯罪と教えるべき。大体は小・中の同級生。そんなことで友人なくしたくない。三面契約についてももちろん。	女性	20代
トラブルが起きたときの対処法が明確なこと。	女性	30代
契約書を確認する時間を与えずにサイン、押印させられる場面が多い。	男性	30代
消費者もしっかり考えて買えば、売る側も疑わしいことをしなくなるのでは・・・。	女性	30代
人が人を騙し過ぎ。もっと厳しく取り締まるべき。	男性	60代
トラブル等に。	女性	60代
サラ金等悪質なハリ紙がなかなか撤去されない（警察の怠慢）。	男性	60代
業者は全責任をとってもらいたい。	女性	70代以上
契約トラブルについてもはっきりした解答がなされない。	女性	70代以上
トラブルが発生してからの相談ではなく、市・地区毎の安全診断を実施するよう取り組むべきであると思います。	男性	70代以上
大手のスーパーがなくなった。核となる商業施設があってほしい。	男性	50代
偽装のない商品が購入できる店がある事。	女性	50代
信頼を持てる店、商品がある。	男性	60代
近くにスーパーがあり、買い物がしやすいようになっている。近くに店がないので遠くに出かけなければいけないので困りますが。	女性	70代以上
高齢者が買い物を近くでできる社会を。郊外型のお店が増。街中の商店街がシャッターが閉まっている社会を見直してほしい。	女性	70代以上
スーパー、医院、郵便局が近くにある。	男性	70代以上
独居老人でも買い物ができるように配達の方法がある社会。	男性	70代以上
大型店ばかりの進出で、昔の小売店等がなくなり不便になった。出張販売車等が定期的に回ればよいと思う。	男性	70代以上
山間部である故に、店も閉店となり老人は車の免許ももたずに居り、街まで行くには思うにならず、もっと老人から金をとらない様に。	女性	70代以上
スーパーができ、便利になったが、老人には店まで遠すぎる。大変である。食品の適正はよいと思う。	女性	70代以上
近くにスーパーがありますけれど、生ものの品ぞろえが少ない。	不明	不明
捨て犬、捨て猫が多すぎる。トラブルがあっても警察は話を聞くだけで動いてくれない。	女性	30代
私の周りに、餌を与えないでくださいと張り紙がしてあるのに、餌を食べさせているのをみたことがある。	女性	50代
山間地は、「犬捨山、猫捨山」です。村の人たちの多くは保護して（飼っているだけという感じですが）いらっしゃいます。キャットフードはケミカル漬けでガンや腎臓病で死ぬことが多いと聞いて、うちの猫にはできるだけ汚染のない小魚を主食にしてみました。が、生のお魚でも加熱すると微かにケミカル臭がすることがあり、猫たちも食べようとしません。特にシケ続きの時はひどかったです。また大量に仕入れるお店のはケミ臭いです（普通の人には判らないと思います）。今は顔の見える（信頼できる）産地から送って頂いています。	女性	50代
ペット（犬）、早朝、また、夜に犬の散歩をしている人がフンの処理していない。誰も見ていないと思って持って帰らない人がいるので、環境・マナーが悪いと思う。	女性	50代
ペットを飼っている人にペット税というものをつくるべきと思う。	男性	50代
ねこ、犬のふんをそのまま、中には野良猫にえさをやる人がいる。飼うなら飼うでちゃんとせずに、近所迷惑も考えない人がいてこまっています。	女性	60代
信頼できるペット病院がない。ペットの医療費が高い。	男性	60代
米国等に比べ、人間以外の犬、猫、野生動物等の命が大切にされていない。	男性	60代
質問に疑問。問7①の4項目が必要な事項か疑問。	男性	70代以上
のら猫が多い。	女性	70代以上
近くに田んぼがあり、農薬空中散布による人や家畜への被害を恐れている。	女性	60代
経済成長を安定して続ける社会。	男性	20代
無駄に物を売ろうとしない社会。大切にしていた物が使えなくなったとき、また、大切にしようという物が買える社会。	女性	40代
個々が自分の力量に合わせた生活をする。上ばかり見たらきりがいいことに気付くこと。	男性	40代
これ以上、税が増えず、物価が上がらないこと。	女性	40代
安定した収入があり、業者の商業ペースにのらない的確な判断ができる環境が整っている。無駄をなくしていくべき。	女性	50代
財布の中身を心配せずに買い物ができる社会。	男性	50代
会社へ42年間勤め、厚生年金7万円（64歳から13万円）で安心して生活が送れると思いますか。年金の一元化を望む。	男性	60代
1年間の給料が一番大切。それで生活ができると思う。	男性	70代以上
トラブルが発生したときの相談窓口が整っている社会。	女性	40代
県庁内に消費生活相談センターを設置。	男性	40代
どこに相談するのか。	男性	40代
都会より新鮮な食料が手に入りやすい。法律相談も、もっと利用しやすくなればいいのにといます。	女性	50代
子どもや高齢者が一人でも安心していられること。昼間のセールスが多く、高齢者が相談する場がない。	女性	50代

警察等、もっと気軽に相談できる場所をつくらねばいけないと思う。	女性	50代
身近に感じられない。遠く高いところに行政があり、すぐ相談という感覚ではない。	女性	50代
自分だけで考えずに、家族や周りの人と話し合うこと。	女性	70代以上
消費物に常に不信を抱かなくてすむ社会。	男性	60代
生産者、製造者のトレーサビリティの充実。	男性	60代
安、近、車、機器を含め複雑な説明が多くなってきた。	女性	60代
セキュリティ、情報の伝達がしっかり連携されている社会。	男性	50代
トラブルの情報が遅いように思う。	女性	60代
中身が安心して利用できるものを売っている保障がほしい。	男性	40代
国内の流通・消費がうまくいっている。	女性	20代
安全をひとくくりにして質問をされているが、質問の幅が広すぎて答えようがありません。	女性	50代
小さな情報でも、各家庭に届いてほしい。	女性	50代
住民に配慮する。	男性	50代
高齢者が何不自由なく生活が送れる社会。	女性	50代
色々と安全策等考えて対策をとってもらっていますが、それと平行して、人の物の見方、自分の見方、命、生活すること等を一人一人がもっと正しく受けとめて、社会の中で生かされていくこと等に力を入れるべきだと思います。	女性	60代
田舎の高齢者ですが、大きな不自由はありません。	女性	70代以上
日常生活にあまり困らないこと。	女性	70代以上
明るく誠実（善意）さが自然に通じ合える社会。	男性	70代以上
パトロール中のパトカー！！回転灯もサイレンもならさず、信号無視発見！！悲しい状況でした。政治、警察等の内部環境はどうなっていますか？	女性	30代
街灯をもう少し増やしてほしい。	女性	30代
狭い歩道なのに自転車が通るので、非常に危なくて歩けないので困る。	女性	70代以上
警察巡回の際（1件1件の訪問）、生活の上での未然防止の情報を地域全般に、より分かりやすくする。	女性	70代以上

4-（2）「安全・安心な社会」とは

内容	性別	年代
歩道の整備は大切。ガソリン代も高いので、自転車を使う機会増。結構、同じ場所で交通事故が多発するので、改善・見直しをする。	女性	20代
信号機が近くにあっても、高齢者が勝手に横断して危険を感じる。マナーが悪い。	男性	20代
道路が広い。	男性	20代
通学路に指導員さんや保護者が立つことで、事故や犯罪が防げると思う。	女性	20代
交通事故の少ない社会。	女性	20代
歩道や道路が安全に整備されている社会。	女性	20代
一概には言えないが、特に女性の交通ルールの知識が少ない。交通安全のためにも、もっとルールを理解できる社会を。	男性	20代
歩道に庭木が出ていて、子どもの通学の妨げになっているところがあるが、どこへ相談していいかわからない。	女性	30代
農道整備、交通渋滞整理にもっと力を。	女性	30代
佐賀の人は突然道に出てきたり、マナーが悪い（自動車）。考えられない行動、運転をする。	女性	30代
交通のストレスが大きすぎる。高架化が急務である。用がないまちも、すべて通らないといけな	男性	30代
夜間の自転車の無灯火が多い気がします。車を運転していてヒヤリとする事が多々あります（中・高生は保護者や学校で注意促してほしい）。あと、自転車を運転しながらの携帯操作。前方不注意ですし、こちら（自動車側）としては、細心の注意をしても同じではないでしょうか。	女性	30代
うちの近くでよく事故があり心配。	女性	30代
携帯電話しながらの車の運転、自動車の運転は怖い。車間距離のない追い立てドライバー、歩道のない場所でスピードを落とさないで歩行者の横をかけてゆくドライバーは恐ろしい。暗い道での学生服、散歩中の黒い服、ドライバーはドキドキ。自分のしていることが少々人に迷惑をかけていると気付かせてもらえるのが、改めなくてはと思わせてくれるのが、安心な社会かな。	女性	40代
事故が少ない、周囲の人が信頼できる社会です。	男性	40代
うちの下の道路は、バイパスみたいになって危なくて仕方がない。対策をとるべき（県道相知浜玉線）。	男性	40代
バイパスが多いので、少し乱暴な運転をする車を見かけたりする。朝、交番や交差点に警察官の方が立っておられることや、パトカーがあるだけでも減速する車で安全が保たれるので、交通安全週間以外でも時々続けてほしい。	女性	40代
歩行者専用道路に自動車が走行している。	男性	40代
歩道の整備。信号機の設置。街灯。	男性	40代
他人の事を思いやれる社会。「おいが、おいが」で、自分の事しか考えない人が多い。もう少し自分にゆとりをもって車を運転できれば、安全な社会になると思う。	女性	40代
保育園、学校付近の道路の幅が狭い、昔のまま。車はワンボックス車化して大きい。県から指導してほしい。規定設置すべき。	女性	40代
道の狭いところが多く、側溝に蓋がなく、通りづらい。	女性	40代

警察に見つからなければ、スピード違反、信号無視をする人が多いのにびっくり。危ないと思う。	女性	50代
歩道が整備されていない箇所も多々あるようです。PTAの話し合いで申請しても、国土省管轄で改善されないケースが多い（予算）。	女性	50代
交通事故がより少なくなる社会。	男性	50代
いまだに飲酒運転が多く、信号無視（特に女性）が多い。	男性	50代
大きな事故、または死亡事故があったからの対応では遅いと思う。危険箇所が数ヶ所ある。	女性	50代
歩道に目を向けてほしいと思います。特に、自転車道路、街灯も不足していると思います。	女性	50代
家の前の道が狭い。	女性	50代
事故防止のために行っていない事がある。例えば、道路に停止のラインを引くとか（いつも事故の多い場所なのに）。	女性	50代
子どもたちの通学路に歩道が整備されていない場所があること。JR踏切りに歩道がないため、無理やり入ってくる車に線路を追いやられること。相変わらず携帯で話しながらのドライバーを多く見かけること。交差点で横断している人がいるにも関わらず、突っ込んで来て事故に遭いそうになったこと。マナーの悪いドライバーが依然多い。	女性	50代
とりあえず、国道といわれる道路には、歩道をちゃんと早急につくってほしいです。	男性	50代
道路整備、少しずつでなく、ある程度終わるまでは続けてつなげてやってほしい。	女性	50代
まだ歩道のないところがある。	男性	50代
自転車歩行時の道路、歩道の段差と整備施行されたのに、水たまりができています。安全な道（障害者の方にも）。	女性	50代
暴走族が自由に走り回ることが納得いかない。いつも騒がしい。	男性	50代
歩道の整備は進んでいるが、二輪車（原付）のための道路の整備がない。	男性	50代
道路の両側に植木を植えてあるが、車の運転席から左右を確認するが植木が高くて左右が見え難く危険です。運転席から左右見えるぐらいに切ってほしいです（車の運転する人の身になってください）。	女性	50代
交通マナーというが刑法にふれる事もある。マナーといわず違反と強くアピールすべきだ。	男性	50代
近所で夜当て逃げ物損事故が未だに解決していない。	男性	50代
スーパーに行った時、横断歩道があるが、自転車、人がいても信号機がないため、停まってくれないので信号機を増やして下さい。	女性	50代
私の住んでいる所は国道沿いで、歩道もなく、騒音や安全面でも安心できない。	女性	50代
通学路の歩道が未整備な所があり。	男性	50代
交通安全の取り組みが行われている。	女性	60代
歩行者、自転車道を整備し、人と車を分離して、安心して生活できる社会にしてほしい。	男性	60代
交通規則の徹底（特に中・高生）。運転中の携帯電話使用禁止。	男性	60代
歩道が整備されず狭すぎる。	男性	60代
交通ルールが守られていないと思う。交差点の一時停止や携帯電話のかけながら運転がまだ多いと思う。	女性	60代
日本の道路建設は車への対応に重点が置かれており、自転車や歩行者への対応がおろそかになっていると感じます。県庁前の堀越道路は見かけはいいが、自転車での通行時は非常に危険を感じます。橋から交差点へ向うところの高低（段差）のため。	男性	60代
昔からの生活道路は整備するべき。	男性	60代
基幹道路と同じ様に、通学路等は整備が必要。弱者が置きざりにされている。（歩道、自転車専用道路）。	男性	60代
ガードレールなど作る。一旦停止など。	男性	60代
夜中の車、バイクの騒音により眠れなかったり、驚かされたりし、安心した環境とはいえない。	女性	60代
子ども、老人が安心して自転車、歩いて、買い物、病院等へ行ける歩道が整備されていないので安全とはいえない。	女性	60代
交通安全のため、地域の人、警察の人、小学校の先生、父兄の方が努力していらっしゃる。	女性	60代
国道沿いの道路なので、仕方がないのですが、道路が他に3箇所ぐらいあるのですが、大型車が走っています。隣接住居地を挟んでの国道の通行車両や速度の見直し、歩道を設ける。	男性	60代
交通量に比べ道路の整備が遅れている。	男性	60代
道路整備ができていない。交通量は増えているのに歩道がない。	男性	60代
交通事故での消防署、警察の対応が遅すぎる（現場の到着時間、行動等）。	男性	60代
特にバイクの違反爆音など、果たしてどんな対策がなされているのか、10年前と比べても全然減っていない。	男性	70代以上
ドライバーのマナーが全然薄れている。老人・子どもの横断には車を止めるような気持ちがほしい。	男性	70代以上
道路・歩道、また、標識等、不備。標識の仕方が統一的でない。	男性	70代以上
子どもたちの通学が、車が多くて安心して歩けない。道路の歩道が狭い。いつも思っている。	女性	70代以上
生活道路の整備。歩道の設置。	男性	70代以上
交通安全については、外郭団体に頼りすぎている。もっと行政として予算等について取り組んでほしい。	女性	70代以上
歩道がせまく、少ない。	女性	70代以上
高齢者の車の運転、横断事故のない社会。	女性	70代以上
交差点の信号無視が多すぎる。カメラ設置をいかがかな。	男性	70代以上
歩道が少なく、子ども達の学校の行き帰りが悪く、危険がつながっている。	不明	不明
道路工事の期間が長すぎる。東山代の工事道路はすごく危ない気がする。	女性	不明

反社会的勢力ゼロの社会。	男性	20代
夜中でも安心して外に出れる社会。	男性	20代
犯罪が少ないことが必須の条件。	女性	20代
犯罪率が低い社会。	女性	30代
暴力団組織や外国人犯罪者が複雑巧妙になっているので、警察も本気で取り組んでほしい。	男性	30代
地域がしっかり結びついていれば安心・安全であると思う。	女性	30代
誰が見ても、安全安心と思える社会。	男性	30代
治安がいい社会。暴走族や暴力団の排除されている社会。	男性	30代
生産者一人一人が正直に生きていけば、できた野菜も商品も安心安全なものだから消費者側も何も迷わず安全で安心なものを手に入れることができる社会。地域の安全に関して。我が町は電車もなく、バスも本数が少ないため、外部の人間が入りにくい環境にあります。あいさつを大事にして地域でのパトロールを毎日みんなで協力しているので、子どもたちはとても恵まれて安全・安心な毎日を日々送っていると思います。	女性	30代
犯罪が最小限なくなる社会。	女性	40代
犯罪のない、薬物の取引がない社会。	女性	40代
犯罪がなく、夜でも安心して眠れる社会。	女性	40代
夜でも安心して道を歩ける。	男性	40代
治安がよく、犯罪がない社会。	男性	40代
事が起こってからではなく、起こる前に防犯に努めていかなければならない。不定住者の増加も不安です。	女性	40代
犯罪が少ない社会。ねずみ講は人間関係がダメになる。	女性	50代
女性が1人でウォーキングできる環境。	女性	50代
暴力団を排除する。	男性	50代
災害、犯罪のない社会。	男性	50代
犯罪が減るよう、個人が努力している。罪をきびしくする。	女性	50代
空巢などの心配がなく暮らせる事。	男性	50代
社会的弱者（犯罪者を含め）を孤立させない取り組み。	男性	50代
失業者が少ない→犯罪の減少につながる。	女性	60代
夜、安心して眠れる社会。	女性	60代
犯罪、特に凶悪犯罪がないこと。雇用が安定していること。	女性	60代
戦争のない、事故・犯罪のない社会。	女性	60代
何もしなくても常に身や財産を守られている社会。ガードマンのいない社会。	男性	60代
暴力団を中途半端な組織としない。税金を徴収する事。	男性	60代
犯罪を未然にするような広報をする。	男性	70代以上
犯罪がない社会。	女性	70代以上
生活にゆとりがあれば犯罪は起きないと思う。人の生活がよくみえるから、物をとったり、事件を起こしたりする。	不明	不明
地域での取り組みが盛ん。	男性	40代
地域犯罪などの情報を共有でき、町ぐるみでその予防等に努めることのできる社会。	女性	40代
もっと小部落が安全について考える場が少なくなった（自分の家だけ守る）。	男性	40代
近所付き合いがあること。地域の力が安全や安心な社会を支えていると思うから。	女性	40代
皆がルールを守る。	女性	40代
明るい町づくり。	女性	40代
時間帯を決めて、地域内を見回ってもらいたい。	女性	40代
近隣住民の顔と名前がわかる社会。	男性	40代
犯罪を起こさない、出さない、家庭・地域にすることが第一です。なにより“教育”が大切かと。人間力を高める教育です。	男性	50代
女性たちの強烈な好奇心に支えられた「井戸端会議ネットワーク」の力が生かされた地域防犯型。	女性	50代
近くで泥棒が入ったと、後から聞く事があります。近所とお付き合いもだんだん疎遠になってきています。近所との挨拶、登校児への声かけをもっとしなければと思います。	女性	50代
地域が干渉しあうのではなく、適度な距離を持って見守りあうことができる社会がいいなと思う。	女性	50代
昼・夜問わず、パトロールができないか？どんな人がうろついているか、もっと声かけがほしい。	女性	50代
住民の交流がもっと盛んにならなければいけない。そのためには、教育を変えなければいけない。みんなで協力して、よい社会をつくろうと小さいときから教えなければいけない。	女性	50代
ルールが守られていること。	男性	60代
近隣がまず社会生活の第一歩だと思う。お互いに迷惑をかけない。（例えば路上駐車・・・通行の迷惑。他人の敷地への無断駐車・・・生活安全面）配慮がほしい。特に前者に対しては指導がほしい。	女性	60代
自分の考えや地区の意見が通用しない。	男性	60代
地域との連帯があること。	男性	60代
夜の地域パトロール。自動車を含め、強制保険の拡大。若者へのしつけ教育。	女性	60代
地域での防犯対策がすぐに行うことができる様々な体制であること。	女性	60代
声かけできる町になればいいと思う。小学生等あいさつしてくれる。	男性	70代以上
歩道上に車をとめたり、ペットの糞や物をはみ出して置くなどマナーが悪いのに困る。	女性	70代以上
地区毎の相互信頼と行政側の安全診断の実施が緊要であると思います。	男性	70代以上
警察が巡回して守ってくれている社会。	女性	20代

関係ないことですが、シートベルトをしていたが、シートベルトでも切符を切られた。国家権力のせいで絶対誤認を認めない。	女性	20代
事故しても、あて逃げされ、警察は加害者の肩を持つってどういうことよ？	女性	20代
犯罪を無くし、もっとパトロールをふやしてほしい。	女性	30代
警察との信頼関係がつかれる社会。あと、隣近所とのコミュニケーションがとれる社会。	女性	30代
警察の人がもっと地域をパトロールしたり、近所の方々と交流を持つような社会です。以前、アパートを借りていたときに、1年間の間に違う犯人3人にそれぞれ3戸が空き巣に入られたので、そういうとき、もっとパトロールしてもらいたかったです。	女性	30代
犯罪が少なく、検挙率の高い社会。信頼できる警察官がいる社会。	女性	30代
事故や犯罪が起きたとき、すぐ警察に適切な対応をしてもらえ。	女性	50代
私の場合、車が車庫でひどい傷とパンクで警察にTELしたが、50分も待って来る始末。安全な社会とは何かと考えさせられた。	男性	60代
未解決事件が多い。	男性	60代
外灯が少ない（田舎ほど夜が暗い）。警察官のパトロールをもっと増やしてほしい。	女性	60代
一時期パトロールの巡回が目についていいことだと思っていたが、最近、また少なくなっているような気がする。交通マナーが悪すぎるので、もっと取り締まってほしい。特に信号無視が多い。「ねずみ取り」はやめてほしい。	男性	60代
警察官の特権がみられる。交通事故調査等による時の口にきき方非常に心外に思う。	女性	60代
警察官をもっと増やすべき。	女性	70代以上
駅前交番がない事が防犯上気にかかる。	男性	70代以上
交通事故の加害者となった折、処理する警察官に対し、非常に不快と不信をもった経験がある。加害者、被害者両者の言い分を公平に聞こうとせず、被害者がズルズルと車を動かして当たったのに、被害者のみに肩入れし、加害者が状況を説明しようとしても、警官が大声で制して言わず「自分がやったと自白しろ」とか罵声を浴びせた。恐ろしさで身が凍んだ。許しがたい言動の警官だった。権威を傘に法外な事が行われている現実と直面し、底知れぬ恐ろしさで不安を感じている。この時受けた罪人扱いによる傷は計り知れない深いものでした。	女性	70代以上
交番が少ない。大切な時に警官が不在。	女性	70代以上
子どもが安全に成長できる社会。	男性	30代
子どもたちへの犯罪を地域で見守れる社会。	男性	30代
子どもの安全。	男性	30代
未成年が悪さをしない、大人がマナーを守る。	男性	30代
子どもの通学路などであった事件などは、小さくてもメールで教えてほしいです。	女性	30代
交通量の多い、歩道のない学童の整備。交通量の少ない道路の街灯の設置。	男性	30代
子どもたちが安心して地域生活（通学等）が送れるような道路整備がなされた社会。道路整備が追いつかないのであれば、時間帯での車両進入禁止にも積極的に取り組むべき。	男性	40代
子どもたちが非行に走らないような社会。	女性	40代
子どもが安全な歩道を通り通学できる社会。	女性	40代
子ども達を守る（交通）前に、子どもにもっと親がきびしく、ルールを教えてほしい。	女性	50代
子どもの登下校も安心できる社会。	男性	50代
暴力団を排除できる社会。駅前100m防犯灯の設置。	男性	40代
暗い夜道の歩道はとても危ない。道路は明るさがほしい。	女性	70代以上
ペットの飼い方が汚い！迷惑！	女性	30代
歩道も広く、安心、野良犬が全くいない。これは重要。	男性	70代以上
地産地消の生活のできる社会。	女性	70代以上
みんな食べるのに困らず、各々娯楽・趣味を楽しめるだけの余裕ある生活ができている社会。昔にくらべて子ども達と大人が触れ合う場が減っている気がする。	女性	20代
なにかあってからではなく、日頃から災害についての話し合いが必要だと思う。	女性	30代
安全、安心の提供ばかりを望むのではなく、個人個人も自分で考え、判断する力を養うのも必要ではないか。	女性	30代
原子力発電のない社会。	女性	40代
弱者を守る環境。	男性	40代
大人も勉強すべきことがたくさんあるように思います。通勤道路にゴミを捨ててあるのを目にします。	男性	40代
プライバシーがおかされないこと。	女性	50代
決まったルールをきちんとまもって生活していくこと。	女性	50代
ルール違反に対しては、その場で“ちゃんと注意”と言える人間社会の実現。	男性	60代
佐賀で家族力が低下している。	男性	60代
これも、正しくルールを守ることが、何故必要かを分かっていない人があると思う。人間の人格が向上することが大切と思う。	女性	60代
他人や行政に頼らず、自己管理に努める。	女性	70代以上
なに事も、じっくり考えて生活していかないと、家庭や自分自身がだめになってしまう。	女性	70代以上
心配のない毎日が過ごせること。	女性	70代以上
普段、明るく率直にという心がけが、思いがけないことに会って安心に導く。	男性	70代以上
食、防犯、防災等が安定している社会を望む。	男性	70代以上
老若男女を問わずいたわること。	男性	70代以上

昔は兄弟が多かったのですが、思いやりのある子どもが多かったのが、今は自分のことばかりで、人の痛みがわからない子が多すぎると思う。	女性	70代以上
駅や病院の誘致が悪いおかげで、老人には不便である。遠いのである。離れすぎ。	女性	70代以上

4-(3) 「災害に対して安心できる社会」とは

内容	性別	年代
だいたい把握しているが、市町村指定場所には遠く、中心地域外の所も関心を持ってほしい。	男性	20代
避難場所が近くにあること。避難するところどころに保安員がいてくれること。	男性	20代
災害がないと避難場所をすぐ忘れてしまいます。定期的に避難場所が確認できるようにしてください。	女性	20代
避難所や情報をいつでも知ることができる社会。	女性	20代
分かりやすい避難場所の確保や、お年寄りの1人暮らしの方に対する心づかいがほしい。	女性	30代
もっと台風の時とか大雨の時に避難できる場所を知らせてほしい。	女性	40代
市町村での災害時の避難場所の紙が届いているが、自分自身、感心を持って見ていないので、災害時はどこに避難していいのかわからないです。	女性	40代
避難場所がわからない。	女性	50代
平野なので心配ないが、地震の時の避難場所など、訓練などしてほしい。	女性	50代
障害者や乳幼児及び病弱者など、災害弱者の為に、トイレやパニックでさわぐことなどを考慮した避難場所があればと思います。	女性	50代
避難場所をもっと多くしなくてはいけないと思う。	男性	50代
避難場所等、地域ぐるみで体制が整っていること。	女性	50代
災害時の避難場所がわかる。	女性	60代
市から来られているので、避難場所はわかっている。	女性	60代
避難場所が町の真中にあるので、もしもの場合、行くのが大変と思う。	女性	70代以上
安心して集落に避難する場所がほしい。	男性	70代以上
指示されている避難場所が遠く、老人一人では無理。	不明	70代以上
災害時の避難場所の表示と、1軒1軒の家屋の倒壊の不安を聞き、地域全体で災害にそなえられる社会。	女性	70代以上
洪水防止のための用水路の整備。	女性	30代
水害時にここがこうなるとか情報を知らせてほしい。	男性	30代
お金ばかりかける河川改修が必要か。ハードよりソフトの方が大切。	男性	40代
雨が降ると土木事務所の人が見回りに行っているのを見かけた。区長さんが自分の地区を見回ったら、いち早く危険な箇所気づくと思う。	女性	40代
大雨の時にクリークなどから水があふれる。治水がいまいち。	男性	50代
大雨で水がよってくる所、もう一度確認するべき。	女性	50代
私60代、妻50代、地区は水害地域、地震にあったらと思うけど、今更財政的にもどうすることもできない。	男性	60代
川が洪水に耐えられる。でないと家々に水が浸水するから。	女性	60代
佐賀市内は低平地が多いため、水害対策を考慮してほしい。	男性	60代
風水害に対するの恐怖があります。このように突然に発生する(特に水の)事実に対しては、それらの恐怖を除くと安心できる。	女性	60代
嘉瀬川の堤防のすぐ側近に暮らしていますが、毎年梅雨時期、又、台風シーズンになると安心してられません。嘉瀬川堤防は補強工事が上流下流済んでいますが、207号線嘉瀬橋より北へ500mだけ残されています。	女性	60代
最近の気候の変化により、河川の調査等が必要と思う。石積が崩れてからでは遅い。いつ被害に合うか心配。	女性	60代
測溝の不整備。	男性	60代
このところ水害が少ないが、主な河川の真中に樹木が茂っている(厳木川、松浦川)。川の水の流れをさえぎるので、早急に伐ってほしい。	女性	70代以上
昭和26、27年の大洪水からだんだん災害のない地域になってきた。でも、天災異常には、やはり温暖化のせいかと思う。原理原則を守らねば。	女性	70代以上
武雄市武内町内には松浦川がありますが、大水の時は田が水につかって、どんどん流れる。満潮の時。	不明	不明
定期的にわかりやすいように災害時の避難場所や情報などを市報のように送ってほしい。普段気にしないので、見ると気付かされる。	女性	20代
災害避難マップの作成。住民(障がい、人口呼吸器、有無も含めて)の把握。	女性	20代
災害に対し、他県への援助を通じ、防災対策について、横の連絡が密に取れている社会。防災のノウハウをフィードバックする仕組みが(回覧板等)あれば。	女性	20代
実際、なってみないとわからない部分もあるが、災害時に対する冊子等を配布し、住民が周知徹底すればよい。	女性	20代
災害時にどうすべきかを誰もが理解できる社会。	男性	20代
ハザードマップを住民に詳しく伝える。	男性	30代
今のところ幸運にも災害という災害に会っていませんが、いざとなったときに困らないよう対処できる知識を持つ。	女性	30代
災害時の対応についての説明の行き届いている社会。	女性	40代

高齢者、障害者など弱者に対しての情報発信が充実していないので、その辺りを考えてほしい。	男性	40代
災害マップとかは計画があるようですが、一般住民に広く浸透はしてないかな？・・・と思います。	女性	50代
危険な箇所を情報収集する。	男性	50代
災害が起きた時の備えが判りやすく、住民に連絡が提示されている。	女性	50代
行政と国民が、縦と横の関係で情報網がすみずみまで行き届いている。	男性	50代
地域共通の情報がある。一目見てわかる避難場所の地図がある。障害者への対応がわかっていること。	女性	50代
危険を知る情報。	男性	60代
インターネットの広がり、高齢者はすべての情報は届かない。なにか尋ねてもインターネットに詳しくありますとの返事。	女性	70代以上
万一の場合に対する防災体制の整備、迅速な災害情報の提供。	男性	30代
災害時に対し、市町村の対処、要領的なマニュアルが確立、又は明確されている。	男性	30代
災害対策が整っている社会（情報、医療、食料等）。	女性	40代
災害も今や分館車くらいでもっと話し合う時期にきていると思う。	男性	40代
もしものとき、素早く行動できる社会。	女性	40代
土木工学の専門家に防犯パトロールで指導してもらおう社会。	男性	40代
地域では高齢者が多く、災害時など防災体制が整っていない行政などと密になって、日ごろ高齢者や障害者がどこにいるか把握してほしい。	男性	50代
公的な防災も必要でなし、そのための体制づくりも必要でしょうが。これも自己責任の意識が必要かと。ただし、弱者には細かい配慮を・・・。	男性	50代
地域での防災体制、訓練、伝達、緊急時の避難訓練。本の配布、一年に一回は必要。	女性	50代
地震、火事等、天災にすぐ対応してくれる。	男性	50代
防災体制の充実。	男性	50代
災害があったときに、常に不安を持たなくてすむ社会。	男性	60代
市役所職員の巡回。区長のレベル向上。	女性	60代
年々対策面でよくなってきていると思う。更に進めてもらいたい。	男性	70代以上
よく、国・県・市は村でやってもらっているので感謝している。	男性	70代以上
防災設備は勿論、被災後の支援が行き届いている社会。	女性	20代
市の防災無線、壊れているのに修理してくれない。自費で・・・と。それではちよっと・・・。また、独居老人の避難所への介入は？	女性	30代
防災無線の整備（修理）ができていない。	男性	40代
2年前まで他県に住んでいました。そちらでは1軒につき防災無線が取り付けられて、情報がわかりやすかったです。	女性	40代
東北のように道路の水はけが良く、すぐ道路が水没してしまわないように対策が整う取り組みをしていること。	男性	50代
大雨や台風などの防災無線機能を発揮していない。災害復旧工事が未だになされていない現状を見直す。	女性	70代以上
災害時に流される無線機を取り付けていただいたので、一寸だけ安心しております。この頃は小一年生の下校時間まで放送されています。	女性	70代以上
完備されたる施設のあること。	男性	70代以上
災害に対する環境が少しずつよくなってきましたので、老々生活でも安心できるようになりました。	女性	70代以上
山間部でも安心して暮らせる環境を整備してほしい。	男性	70代以上
ここ数年の異常気象により、長雨等の土砂災害が心配である。	女性	40代
土砂災害の発生の可能性があるところの情報がとれない（公表しない）。大きな問題である。	男性	50代
今日は大雨で土石流の災害が大きい。山村の者は避難のタイミングがわからない。早く移動しないと、道中土石流に会うかも・・・。まだ一度も、その時が来なかったので訓練もないし。	男性	50代
山は杉ばかり→土壌菌が片寄って災害に弱いと言われていました。利便性優先でなく、もっと自然に学ぶやり方（スローライフ）に。	女性	50代
防災ダムをつくる（小さいのでいい）。砂防工事を多くする。	男性	70代以上
自分の家の周りの土砂災害の情報、知ることができるのかわからない。	女性	70代以上
土砂災害が起こる前の事前防災が出来ないものでしょうか。	女性	70代以上
防災訓練が個人まで行き渡っている社会。希望者のみにでも定期的に防災訓練を実施してはいいでしょうか。	女性	30代
定期的に地域の人々と一緒に災害時の避難訓練をした方がいいと思う。地域のことの災害時の避難経路マップなどをつくってほしい。	女性	30代
訓練等にも住民全体で参加できるような事業を実施し、周知を図ってほしい。	女性	40代
危険地域の特定と日常的な防災訓練の実施。または、防災工事の実施推進。	男性	60代
もしものときの逃げ場とか、逃げ道とか、誰を助けるとか、助けられるとか、訓練したらいい。	女性	70代以上
災害が起きる前に訓練等を十分にやってほしい。	男性	70代以上
佐賀は大きな災害が起こっていないので、今は安心。	男性	20代
国民が日頃から災害に対して意識しておくこと。	女性	20代
いつも危機意識のある社会。	女性	20代
なにかあってからではなく、日頃から災害についての話し合いが必要だと思う。	女性	30代

自然災害に対して安心できる社会なんてないと思う。災害に絶えず気を配りながら対処していくしかないと思います。	男性	50代
個人が自覚をもって災害に備える事が大切だと思います。避難場所の確認や、家具の倒壊防止などは出来そうです。地震の時、ボランティアの方々の活躍を見て、日本って何て素晴らしい国だろうと思いました。	女性	50代
防災訓練が個人まで行き渡っている社会。希望者のみにも定期的に防災訓練を実施してはいいかでしょうか。	女性	30代
定期的に地域の人々と一緒に災害時の避難訓練をした方がいいと思う。地域のことの災害時の避難経路マップなどをつくってほしい。	女性	30代
訓練等にも住民全体で参加できるような事業を実施し、周知を図ってほしい。	女性	40代
危険地域の特定と日常的な防災訓練の実施。または、防災工事の実施推進。	男性	60代
もしものときの逃げ場とか、逃げ道とか、誰を助けるとか、助けられるとか、訓練したらいい。	女性	70代以上
災害が起きる前に訓練等を十分にやってほしい。	男性	70代以上
地域で助け合える。	女性	20代
地域がしっかり結びついていれば、災害時も助け合える。	女性	30代
緊急な対応ができること。災害時に的確な判断ができる指導者（リーダー）が身近にいること。	男性	40代
ご近所の輪があり、災害の折、助け合えること。日頃より訓練されているリーダーを育てていく。	女性	50代
環境に対する関心を高めあう、身近なことから行動できる近所付き合い。	男性	70代以上
もし災害が起きた後、いろいろと助けてくれる社会。	男性	40代
災害に備えての準備ももちろんですが、「災害にあった後」のフォローが充実している社会なのではないでしょうか。	女性	40代
復旧作業をすみやかにする。	女性	60代
まだ佐賀では災害にあったことがないので安心できる環境かどうかはわからないが、災害の後の対応が心配である。	男性	60代
人を助ける。	女性	70代以上
佐賀県は地震の少ない土地柄であり、その耐久性について心配がある。家屋についても心配を感じている。	男性	60代
中越地震のときの教訓は、市町村まで具体的に反映されているのかなあ！翌日1人見舞い品を持って現地に行った。	男性	70代以上
地震や災害などが不安。	不明	不明
災害は起きてからより、事前対策が必要。家等建てる前に審査をもっと厳しく。（土地開発など）。	男性	60代
家を建ててから、この場所は危ないと言われること。	女性	60代
防災シュミレーションが全くできていない。唐津に住んでいますが、原発の放射能漏れのときはいったいどうするんだ！！	女性	50代
玄海原発が一番安心できない。	不明	60代
消防団員を増やして、災害時に協力をたくさんもらえる社会。	女性	30代
県営住宅に住んでいますが、壁の剥がれが発生している。	男性	20代
となりの家との間隔が広い。	男性	20代
災害にならない、災害をおこさせない社会。	男性	30代
とりあえず隣に放火した犯人を捕まえてください。	女性	30代
他方面に移動できる道路の完備。	女性	40代
もっともっと団地などをたくさんつくってほしい。	女性	40代
佐賀平野は良好。	男性	50代
災害がおきない。	女性	50代
築50年になる家で修理も多くなってきている。	女性	50代
この地域はあまり災害がない方だと思う。	女性	60代
警察の役職を減らす事。縦の社会の弊害あり。	男性	60代
家と家とが離れていて道も広い。	男性	70代以上
人災はみんなで協力。天災はそのときの出来事で今のところ安心とは言えないです。	女性	70代以上

4-（4）「環境（地球、自然、生活など）が保全されている社会」とは

内容	性別	年代
エコという言葉がなくなった社会。	男性	20代
人間の「便利」を優先しない社会。	女性	20代
スウェーデンなどを見習った社会。是非、県民に知ってほしい。	女性	30代
一人ひとりがエコについて真剣に考える社会。	女性	30代
環境の事を一人ひとりが意識を持って、身近なところから取り組む社会。	女性	30代
それぞれの人が、その立場に応じて環境への意識づくりができていく社会。	男性	30代
一人ひとりがモラルを持った社会。	女性	30代
もっともっと一人ひとりが環境のことについて認識し、取り組むべきだと思う。そのために認識すべき場をつくってほしい。子どもたちには学校でもっと勉強してほしいと思う。	女性	30代
個々の意識が高く、情報を生活に取り入れることが、たやすくできる社会。	女性	40代
個々が環境を守っていくことを意識している社会。	女性	40代
使い捨て文化（物）の一掃。	男性	40代

誰もが環境に興味をもって、温暖化防止にとりくむ社会。	女性	40代
自分たち「人類」が「私」ではなく「公」を意識して生活している社会だと思います。	女性	40代
個々が自覚を持つ。	女性	40代
環境は一人ひとりが認識しないと、本当の意味をなさないと思う。設備の前に、一人ひとりが環境をよくする努力がないとなくなならない。	男性	40代
個人個人が環境に対して高い意識をもち、実行できる社会。	女性	40代
みんなが意識と責任を強く持ち、行動してほしい。	女性	40代
みんながもっと環境について理解すべきである。	女性	50代
環境が保全されていく為に、地域で決められた事は守っていき、ルール違反はしない。	女性	50代
個人個人が自覚を持って、大人の行動をしている社会。	女性	50代
家庭、職場での環境意識。	男性	50代
便利な生活になって、地球を汚してきたけど、不便でも自然にやさしい生活。	女性	50代
子どもや孫たちの将来の生活が安心して暮らせるように、みんな意識して環境整備の必要があると思う。再三の啓発してほしい。	女性	60代
地球の汚染に歯止めをかけ、常に食料の自給率が安定していること。後世の人々が幸せに暮らすことのできる国づくり。	女性	60代
みんないろいろと希望はあるでしょうけど、まず自分が努力しないと。	女性	60代
まだ、人々の意識が低すぎる。県・市・町等の行政はもっとアピールすべき。	男性	60代
一人ひとりができるだけの努力をすればいい。	女性	70代以上
自然と向き合うことから考えねばならないかと思えます。	女性	70代以上
一人ひとりがゴミを捨てないなど意識を持つ。	女性	20代
温暖化防止、エコなど言葉は馴染んでいるが、不燃ゴミ・資源ゴミの収集日が相変わらず少なく、ゴミの選別しても、ゴミがずっと家にあるのが不便。資源の循環がされやすい社会を！	女性	30代
ゴミ処理等を安心して任せられる社会。	男性	40代
高速道路やコンビニのゴミ箱に、家庭のゴミを捨てる人がなくなる社会。道路や田んぼに空き缶やゴミクズを捨てる人がなくなる社会。	女性	40代
近所でよく草とかを自分の敷地内で燃やしてあります。地域の指導はどうなってるのですか？	女性	40代
家庭でゴミを燃やしてはいけないなど、やりすぎにならない程々の社会。	男性	40代
車よりゴミ、タバコの投げ捨てが多いように思う。	女性	50代
自分たちのところは他のところから粗大ゴミなどを持ってきておられる。	男性	60代
海外からの海岸のゴミ清掃は県でやった方がいい。個人的にゴミ拾いでは無理。	男性	60代
各家庭に粗大ごみがたまりすぎている。家の中の環境が悪いので、年1回くらいは自由に出せるごみの日を作ってほしい。	女性	60代
花栽培のポットや鉢等が田に飛んできて困る。また、空き地でポット等を焼いている。絶対に燃やさないでほしい。	女性	60代
河川や道路にゴミや空き缶のポイ捨てが多く、身の回りの環境を整える事から始める。	男性	60代
ゴミ捨てが多すぎる。	女性	60代
この頃、タバコの吸殻が道に落ちていない。犬の糞もない。	男性	70代以上
家庭内ゴミ等は量が多すぎる。各家庭でゴミ焼が多い。	男性	70代以上
不法投棄が全くない社会。	男性	70代以上
ちり焼きがまを役場が引き取ることになっているのに、未だ放置されたままになっている家庭がある。決められたことは徹底してほしい。	女性	70代以上
ゴミ、空き缶など決まった場所に捨てられていない。	女性	70代以上
川岸などに家庭のごみなどをやっている人がいる。	女性	70代以上
ゴミをもっと出さない。太陽光を利用する。	女性	70代以上
これから建つ建築物に太陽光発電をつける。	女性	20代
太陽光・風力・火力・原子力すべてに力を入れている佐賀県。個人個人が意識向上できる努力を。	女性	30代
身近ないたるところに太陽光パネル、風力風車があり、それが社会に溶け込んでいる。	男性	30代
風力発電は24h対応なので、取組みに力を入れるべきである。	男性	40代
太陽光、風力、水力等もっと普及すべきだと思う。	男性	40代
新エネルギーの普及に力を入れてほしい。	女性	50代
化石燃料や原発に頼らない社会（そんな社会、来るかしら？）。	男性	50代
太陽光発電。	女性	50代
ソーラーエネルギーによるものは、家電や車だけでなく、農業機械などにも広がってほしい。	男性	50代
原子力に頼らない、自然エネルギーの活用。海や川を大切に。生き物が生きられる自然。	女性	50代
太陽光発電がよいとわかっていても高く買えない。ここにも貧富の差がみられる。	女性	50代
地球温暖化の件で、太陽光発電のことを思っても高額すぎて取り付けられない。	女性	60代
各家庭の太陽光発電の活用と、機器の改良が今一つと思われる。また、経済的問題もあると思う。	男性	60代
新エネルギーについて有機EL照明など発光をつかって夜でも発電できる太陽光発電に力を入れるべきだと思います。	男性	60代
太陽熱利用もいいけれど、屋根の上でのソーラーは屋根そのものがこわれるから駄目でした。	女性	70代以上
新しいエネルギー、太陽光等を進めてほしい。助成金等必要と思う。	男性	70代以上
佐賀は太陽光熱が一番との事。これで良いと思う。	女性	70代以上
都市でも至る所で緑を見ることが出来る社会。道路で動物、昆虫がやけどをしない環境。	男性	20代
CO2対策ではなく、緑化に力を入れて欲しい。原子力発電は不要。	男性	20代
農家が果たしている自然への多大な利を知らない人々が多い。もっと緑への感謝を感じてほしい。	男性	30代

もっと緑の中に住んでいる人々が考えないといけない。	男性	40代
CO2濃度と森林緑化運動とのバランスがとれた社会。	男性	40代
森林、緑づくりの充実。森林で働く人の雇用を良くして、人数も増やし取り組む事が、災害、自然を守る事につながる。	女性	50代
森林、緑づくり環境は、木を植えても、その後の手入れはどうなっているのか、下払いもやっていくのか？	女性	50代
緑豊かで自然と共存している事。	男性	50代
小規模な森でもよいから整備してはいかがでしょうか。	男性	60代
山林の手当する。間伐など。	男性	60代
公園等、造ったら後の手入れが行き届いてない所もある。	不明	60代
きれいな自然（緑の多い山、きれいな川、海）。	女性	60代
自然が残されている事。	男性	60代
緑が多い社会。日通しのよい環境。	男性	60代
森林とは、この何十年、杉や松の植林ばかりで、水の保全に役立つ雑木がない。倒木の後は雑木林をしてほしい。	女性	70代以上
プルサーマルって結局どうなったんですか？理解が低いというより、情報を正しく理解できるよう教わっていないし、じゃあ勉強したいとなっても「受け入れ」とは、また別のものだし、ある以上仕方ないので法に基づいた厳正な施設運用を願望以外にできることはありません。	女性	20代
プルサーマルはやっぱり反対です。	女性	30代
原子力発電は地球にとってマイナス、負であります。廃止して頂きたいです。	女性	40代
プルサーマルはアメとムチの典型。どうせ反対してもきかんやるもん！	男性	40代
原子力に頼ってしまうこと。日本人は根本的に省エネを徹底させるべき。	女性	40代
原子力発電に対する理解が高い。	女性	60代
原子力発電に頼らない、低エネルギー社会。	男性	60代
原子力の理解向上と推進。週2回のノーカーデー。	女性	60代
原子力発電に一言。とても賛成、反対と言っている方のこともわかるけど、やっぱり原発は必要。	女性	70代以上
原子力発電所の変異などは早急に市民へ知らせるべきだと思う。たとえ小さなことでも隠さずに。	女性	70代以上
玄海原発の存在そのものが恐ろしい。問7④の9の「原子力発電に対する理解が低い」などの理由は、玄海原発の反省（プルトニウムの持込など）が全くない。	女性	70代以上
プルサーマルは安全性が保障されていません。運転をやめてほしい。	女性	70代以上
原子力のプルサーマル、本当に安全に行ってほしい。	女性	不明
循環社会。意識向上。	女性	20代
うちの市でもリサイクルへの取り組みが積極的に行われているが、各個人が小さなエコから始めることで保全されると思う。	女性	20代
無理、無駄のない循環が進んでいる社会。もっと研究機関と共にパーマカルチャー的社会を研究開発すべき。	女性	30代
10年前、20年前・・・昔に戻ればいいと思いますが、それは無理。わかりません。今できること、節電、ゴミの分別、リサイクルなどです。	女性	40代
循環型社会。	女性	50代
生物全体が生きやすい環境、すなわち人間も生きやすい。そのためには、一人ひとりが考え直して、循環型社会になればよい。大気・水・土、すべてにおいて。	女性	50代
3Rの推進等に見本となるものを行政主導で。今の生活と比較できるようになる。現状の生活（住宅等の比較）を目で見確認できる様な展示館等。太陽光発電、木の柱、土壁、木のフロ、フロオケ、化学製品を使用せず、県産の木材を利用し家具や家も100年使える様なもので使い捨てしない。これらを比較してランニングコストがどうなるかを明示、納得できる方法を示してやる。	男性	60代
環境整備も重要だが、小動物・昆虫等も住みやすい環境も必要。	男性	40代
住宅会社に山をとられ、動物たちが生きる場所が少なくなっている。	男性	40代
河川をコンクリートで固めないでほしい。コンクリートで固めた河川には昆虫や魚が生息していないので、便利さばかりを追求しないでほしい。	男性	60代
野良猫が勝手に家の中に入り込んだり、ゴミの不法投棄等がない社会。	女性	60代
猪が多い。	女性	60代
イノシシ、猿、カラス等の避妊をして。	男性	70代以上
自然を守ることは野生動物を野放しにする事でしょうか。野生動物が多くなって大変困っています。	女性	70代以上
これ以上山を削らず、川を汚染しない社会。	女性	30代
下水道をもっと進ませてほしい。	男性	30代
きれいな水、空気、自然あふれる社会。	男性	30代
生活廃水のたれ流しが心配。ゴルフ場の芝生の消毒も放置状態をなくす。身の回りのものへ色々な規制を作り、健康が保てるようになっていく。	女性	50代
家庭排水などが整ってない。蚊が多い。	女性	50代
「奇跡のリンゴ」で脚光を浴びつつある「自然栽培（無農薬無肥料）」ですが（私も自然農で畑を作っています）、佐賀は世界に冠たる農業県なので、広まるかしらと思いますが、是非、広まってほしいです。特に山間地は「薬剤はハイカラ」と思っていらっしゃるようで、平野の人が飲む水の汚染が心配です。	女性	50代
今、川にメダカがいない。ヘドロが多い（特に三面水路）。これは川の中の微生物を殺してしまった結果である。	男性	70代以上

高齢者がゲームをしている近くに、子ども達の遊び場が目の届くところにある。	男性	20代
安心して親しめる公園や遊歩道が非常に少ない。	女性	40代
県を環境、自然、生活ゾーンを決めて、各地ごとに色分けして整備する。	男性	50代
子ども、動物、高齢者が一緒に遊べる場所がない。	男性	70代以上
碎石場で物を焼くときに異臭がするのでやめてほしい。	不明	不明
安心して住める街。たとえば犬やねこの放し飼い。環境が守られていない。(牛のふんや、おしっこのおい)。	不明	不明
自然は多い方だと思うので、このまま維持していくといいと思う。海上の灯台を増やす。船の事故多い。	女性	20代
早く諫早湾の開門をしてほしい。	男性	40代
有明海の生態系をこわさない、守られる社会。子ども達が安心して緑の中で走りまわれる環境がある社会。	男性	50代
有明海の再生が進んでいない。	男性	70代以上
地球温暖化を意識した社会。	女性	20代
地球温暖化に対する県・市・町・村等の対応をわかりやすくする。	男性	40代
公共交通機関及び自転車道、歩道等が整備され、車の利用が少ない社会。	男性	50代
車両の通行にもよる。光化学スモッグを起こさせない環境。	男性	60代
もっともっと国(行政)と地方が力を入れて取り組んでいただきたい。国と国民参加による取り組みが必要。	男性	60代
お隣同士の心の通じ合い。心易く行動に移せる心がけ。	男性	70代以上
農家の春秋の野焼を中止。	女性	70代以上
農業を営みながら自然の恩恵に気づけてスローフーズ、スローライフを楽しめるような社会。	女性	30代
原始のころの社会。	女性	30代
山をあまり切らないで。海もあまり埋め立てないで、そのままの自然にしてほしい。	女性	40代
山・川の管理ができています。	女性	50代
極力人的なものを排除し、自然に任せて生活ができる社会。	男性	60代
佐賀県の方、佐賀の自然を生かした社会。	男性	60代
突然の出来事でもすぐに対応ができる社会であること。	女性	60代

4-(5)「安全・環境」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
メタンハイドレートの開発(実用化に向けた)が進んでいるようなので、佐賀県が先行してメタハイドの導入を検討してもらいたい。	男性	30代
太陽光発電をつけるのに、役所や大企業の工場とか、大きな屋根を持っているところが率先すべきなのにやらないのは、昼間の電気代を高くする電力は料金体制を見直して欲しい。	女性	40代
太陽光発電は、まず県庁など大きな施設(公共)がつけて欲しい。無駄な経費を削れば可能ではないですか？	女性	40代
電気エネルギー等費用が高すぎる。	女性	40代
海洋温度差発電で初めて電球が灯ってからずいぶん時間が、年月が過ぎました。あれ以来、あまり最近では話を聞かなくなりました。太陽光や風力、それにこの海洋のエネルギーの発展を願ってますが。	男性	50代
太陽光発電に限らず、新エネルギーの開発に力を入れ、石油や原子力に頼らないエネルギーを作り出すべき。例えば水力、バイオマスetc。風力は騒音や野鳥への害があるので考慮が必要。	女性	60代
ゴミの捨て方を教えてほしい。	男性	20代
家庭は勿論、店(いろんな)や街中のゴミ分別を徹底する。まだまだできることがあると思う。リサイクルにしても、コストはかかるけれど大切なこと。	女性	20代
車の窓からのタバコのポイ捨てが非常に多く感じる。条例で取り締まってもよいのではないかと。	男性	20代
車からタバコの吸殻を捨てるのをやめる運動をしてもらいたい。小さなことだけど、火のついた吸殻が後続車に当たってトラブったり、植木が焦げたりして危ない。子どもに当たったら・・・と思うと怖い。	女性	30代
産廃処理等のゴミ処理。山や水資源の保全を自治体がしっかり行い、田畑を時代の若者に渡せる社会です。	男性	40代
道路に空き缶、タバコの吸殻を投げ捨てて平気な不道徳な者が多い。道路側の農地を持つ人は困っている。	女性	70代以上
佐賀県(佐賀市)は交通ルール・マナーが非常に悪いと思っています。	女性	20代
自転車が安心して乗れる道の整備を。自転車が普及すると、環境にもよく、健康にも良いのでは？歩道が狭く整備されていない部分が多い(特に小学生、中学生の通学路)。	女性	30代
下水道を普及させ、有明海へ流れる汚水等を減らす。	男性	40代
藁(稲刈り後)を燃やす習慣をなくす(二酸化炭素排出の削減、煙による車の運転の妨げになる)。	男性	40代
生活に身近な道路や歩道が整備されている。	女性	60代
町中を通る国県の主要道に歩道の設置がないところが多線ある。高速道の云々より、まずは生活道としての安全性が急務である。	男性	70代以上
猫(飼い猫に多い)の糞に多くの方が迷惑している。何かよい対策はないものか、行政で検討してください。	男性	70代以上
ため池化している河川の整備を早急に。	女性	40代

最近、町で、し尿のタレ流しがあったが、言語道断です。行政はしっかり指導して下さい（美しい川を残そうと、春・秋、市内は川掃除がなされているのに、上流にあたる所で悪行する者（企業）には厳しく当たって下さい。）	女性	50代
黄砂が気になるのですが、井戸水を使用しているのですが、近くにゴルフ場があったり、除草剤を使っている家庭もあるので不安です。	男性	50代
各家庭の生活において、台所の洗剤等の使用が多すぎるため、川の汚染が気になる。若い人たちの認識が問われるように思う。	女性	70代以上
川を元に戻すには、三面水路を、草木がある、土がある、昔の川に戻すことが環境をよくすることになり、水もきれいになる。この事実を知事は知ってて何もしないのかな。	男性	70代以上
有明海再生のために、干拓水門の早期開門を！！	女性	50代
有明海の開門について進展が遅い。早く調査をしてほしい。	男性	70代以上
有明海を室の海に戻してほしい。直ちに開門を。	女性	70代以上
有明海の再生は長崎人が再生のテストの邪魔をしている。	女性	70代以上
未来に処分できない核のゴミを持つプルサーマルは反対です。もっと自然エネルギーを使ってほしいです。	女性	30代
有明海、原発と環境に関しては評価は全くできていない。ドイツを見習うべし。	女性	40代
プルサーマルが全国で最初に佐賀県に設置されたのは大きな不安です。	女性	50代
原子力発電をできるだけ使用しないで、今からは太陽光発電などの新エネルギーの普及に力を入れて下さい。身近な所は、太陽温水器を、自然エネルギーを逃してもったいない。	男性	50代
マンションに住んでいると、インターフォンが鳴って誰が来たのかがわからない。以前、他所の県で殺人事件もあったように、マンションにはカメラ付インターフォンの設置を進めてほしいです。	女性	20代
泥棒や車上荒らしなど、治安でも不安がある。そういう方面に警察官はシフトすべき。	男性	40代
外国と比較しても、まだまだ安全だと思っています。	女性	50代
天地空防犯トラブルなど、素早い対応で取り組んでいただけますように。	女性	60代
エコ活動は全体的に進んでいると思う。食の安全は徹底してほしい。猪などの畑や人を荒らし襲う動物の駆除の徹底。	女性	20代
野生の動物（猪・猿）により、人間の生活環境が荒らされている。	女性	40代
一步山に入ってみますと、猪の環境破壊は恐ろしいほどですが、私の家の近くでも崖崩れが怖い。	女性	60代
環境が守られていない（牛のふんやおしっこのおい）。何回でも市役所に相談しますが、改善してくれない。	不明	不明
近所の方など、田んぼの中で家のゴミを燃やされている。会社の焼却炉でナイロンや発泡スチロールなど燃やされている（夜）。	女性	30代
太陽光の普及はなかなか進んでいるようで、「すごいな」と思うのですが、農家の方の野焼き、ゴミの焼却（自分で）を見かけることが多いのが悲しいです。	女性	40代
田舎では、まだ普通に空地などでビニールなどが燃やされたりする現状である。行政などは強くこれに対して処分を下してほしいと願う。	男性	50代
環境問題について各市町村とも取り組んでありますが、中にはビニールシート、外壁材等を平気で焼却している場を見ますが、各個人の意識の向上を徹底すべきだと思います。	女性	70代以上
田畑は多いが、街には樹木が少ないように思う（他県に比べて）。	女性	30代
山、森林、緑の環境作りの為、森林で働く人の雇用体制を良くし、働く人を増やす事が災害、自然を守る為にととても重要と思います。	女性	50代
自然がなくなってきている。	女性	50代
山林について、杉やヒノキなどが多く、広葉樹や実のなる動物用の森が少ない。	男性	50代
環境、環境言い過ぎと言ったら怒られるけど・・・市役所は暑い。	女性	30代
地球温暖化で、天気予報を見ていると、九州とか四国、中国、関東、東北、北海道などいろんな境遇にあっている。	女性	50代
地球温暖化について、地球上のすべての人類が本当に真剣に取り組むべき。恐らく近い将来に滅亡することを思わなければならない。	男性	70代以上
エコを流行のようにとらえている人が多い。環境の保全に力を入れるべき。	男性	30代
安全、環境も子は親の背を見て育つ。もっと親が勉強をする必要がある。	男性	40代
国・県・市町村でなく、地域住民を使ってきれいな環境づくりに指導をされたい。	男性	70代以上
今後は環境問題は避けて通れないので、県は補助すべき。	男性	60代
佐賀の特質を生かし、自然や環境をより保全されたい。	不明	不明
玄米食していると、例え放射能漏れの問題が出てきたとしても人体から有害物質は排泄されるので、県全体で食改善の見直しをして体を守っていくことも大切かと思えます。	女性	30代
農薬など使用して収穫しなくても、安全なものを提供してほしい。	女性	70代以上
非行事案（暴走族、薬物乱用等）に警察のかかわりを多くして、強い態度で、なくなるようにしてほしい。	男性	30代
問7③県内で特定市町村のための義援金を寄附したい場合、その方法。募金箱設置場所や方法について。送金は最寄りの役場に頼めたりするのでしょうか。最近、募金詐欺がはやっているのが疑心暗鬼になってしまっております。お店で見かけても中抜きされるのは嫌なので。	女性	20代
特に災害に関する仕事に、自分が住んでいる市は怠慢で、情報を公開しない。	男性	50代
県内風倒木が多い。	男性	60代
多少金がかかってもリサイクルはしっかりしましょう。どれだけできているのか疑問です。（リサイクル業者を含めて）。	男性	50代
安全を守る地域消防団、過疎地の開拓した考え方。	男性	60代

河川工事後の老朽化の調査等が必要ではないか。温暖化によるゲリラ豪雨災害による、堤防等の被害が身近に発生している。	女性	60代
他県に比べて街中の公園や一息できる場所（憩いのエリア）が非常に少ない。	女性	40代
集落の中では廃屋が多くあり、管理者が不明であり、台風時などが心配である。相続などの問題もあるだろうが、なんとか改善できないか？	女性	30代
災害時の防災無線は（大雨、台風時）、音量を高くする。聞こえない。	女性	70代以上
各地域の公民館等に非常用の水、食料、毛布等を備蓄できるよう、指導及び援助等を考えてみてはどうでしょうか？	女性	50代
福岡県は暴力団に対する条例を施行されたが、それをも上回る強固な条例をつくるべき。県議会議員や市町村等の議員に暴力関係者がいるのでは？いるなら即名前を公表すべき。いるかいないかも公表すべき。暴力団の事務所、フロント企業の場所名称を公表すべき！！	男性	20代
自分勝手な考えを持つ人が多すぎる。	男性	20代
何をすることも行政等に任せっきりではいけないと思う。もっと住民一人ひとりが意識するよう働きかけてほしい。	女性	40代
佐賀県は人口増えないので安全です。環境は地区の特性を生かして整備する。	男性	50代
若者を含め、しつけの教育と罰。	女性	60代
ある乳酸飲料の空き容器で水質浄化ができるらしいので、何とか利用したら。	女性	70代以上

5. 「産業（農業・林業・水産業・商業・工業・観光）」分野

(1) 「望ましい農林水産業の姿」とは

内容	性別	年代
海が一番温暖化の影響を受けています。水産業の負担は大きいです。船の油代の引き下げをしても らわないと生活していけません。	女性	20代
生活に結びつくこと。	女性	20代
最終的に自立した経営ができる。	男性	30代
農林水産業の所得の向上と、それに伴う担い手の育成・確保。	男性	30代
農林水産業の方々ほど大変な仕事はないと思います。漁業においては原油高とうなど資源減少で魚 がとれないので県での対策を！	女性	30代
生産者の収入増加。品物に似合う価格の設定。	男性	40代
努力した従事者がきちんと報われる。	女性	40代
農林水産業でも収入がきちんとあり、若い人でも進んでやる気が持てないとだめでしょう。「米」 をつくることに農家の方が喜びを持てるのがいいですね。	女性	40代
若い人が活気にあふれて就労できる（収入の面が大きいのではないか）。	男性	40代
農林漁業は国の宝という意識を国民全体が持つことが大切。さらに、その仕事に従事する人々が、 その仕事で生活でき、生きていける社会。	男性	50代
農業で生活できるよう指導と担い手が安心して生活できる社会。	女性	50代
米をもっと高くしてほしい。	女性	50代
農林水産だけでも生活ができる収入。	女性	60代
経営的にみて生計が立たないほどに厳しい。急速に高齢化していく中で、若い人が希望を持って従 事されるような体制づくりが必要。	男性	60代
担い手がないのは、親の責任もあるけど、まずは所得を上げられるように努力しないと、どうにも ならないと思う。	女性	60代
食って（生活できる）いける農業。	女性	60代
農林水産業に魅力を持って取り組める時代にならなければ、若い人も受け継いでくれないと思いま す。兼業ではなく、農林水産業で生活できる姿を望みます。	女性	70代以上
労働時間に対する適正な報酬。	女性	70代以上
従事している人が生活できる収入があること。人にはそれぞれの能力があって、誰でもよい生活が できるとは限らないが、専業者でも安心できる生活ができればいい。	女性	70代以上
米1表、30,000円以上にしてほしい。	男性	70代以上
次世代育成、後継者問題、食育、活気、新E n e r g yの利用。	女性	20代
後継者育成をきちんとしている。	女性	20代
後継者の育成 a n d 保障制度（価格）の拡大。	男性	20代
もっと県民に情報を流して、後継者の育成ができる社会。	男性	20代
農林水産業に従事している人の保護を行い、担い手を育成していく。	女性	30代
親から子へ、子から孫へ受け継いでいく農林水産業を、今まで通りやりながら、Iターン、Uターン を募ってさらに充実させていく姿。	女性	30代
若手の“跡継ぎ”と共同で仕事ができている。農業なら農業のみで生活ができる。自然と共存でき る。	女性	40代
次の世代を担う後継者がいること。	女性	40代
若者がもっと農業を継ぐ姿。	男性	40代
後継者がきちんとして、生活していけること。	女性	40代
若い労働者が育つ環境。	女性	40代
農水業のみなさんの仕事をもっとOPENにし、後継者育成に力を入れる。これからは国産の時代が来 る。農業佐賀の力に期待。	女性	40代
農業の後継者が楽しんで後継ぎが出来るような農業、林業。	男性	60代
後継者を心配している我家です。どこでもこのことが一番の悩みです。集団農営で鳥栖麓地区が大 いに栄えることを望んでいます。	女性	60代
後継者がいる。	男性	70代以上
後継者を増やす事。地産地消。	男性	70代以上
農林水産業の担い手の育成と確保。農林水産業のイメージをかえたい。	不明	不明
地産地消。	女性	20代
地産地消を進めるには、定期的に生産者と消費者が集まれる状況ではない。	男性	20代
地産地消を行う。	女性	20代
地産地消。	男性	20代
地産地消ですべてまかなえる姿。県民も県産のものを選んでほしい。	女性	30代
地産地消の活性化。	女性	30代
県でつくったものを積極的に活用していき、活気がある社会。	女性	40代
食育や地産地消は全国的にも広まりつつあるテーマなので、県内でも遅れをとらず、優先的に推進 していく価値は大いにあると思う。	男性	40代
外国品を使用せず、輸入せず、県内もしくは日本の物をできるだけ使用する。木材など下降してい る中、佐賀は山間部が多い所であり、もう一度見直してほしい。	男性	40代
地産地消できること。その為にも担い手が確保されますように、行政も係わる。（野菜工場整備な ど）。	女性	50代
地産地消。	女性	50代

詳しくはわかりませんが、山下惣一さんの本を読むと、大変そうなのが伝わってきます。コストがかかっても、地産地消を県民全体でバックアップすべきだと思います。	女性	50代
やっぱり地産地消と思う。	男性	50代
地産地消と安全安心な農産物。	男性	60代
地域で取れた野菜などを高く売ってほしい。	女性	60代
国内産の農林産業が充実して活き活きた山々をみたいです。	女性	70代以上
農業用水になる河川を汚さないよう、社会全体で田んぼを大事にする社会。ゴミなどはファストフードやお菓子ばかり。もっと自分の食べるものに気をつかうべき。	女性	20代
農薬を使わない安全な農産物と環境に配慮してほしい。	女性	30代
地域の環境保全、住環境の充実できた状態。そのための所得の確保。	男性	40代
森、山、海の自然を守る体制が大切。森林整備が遅れ、災害につながっている。	女性	50代
自然を取り戻す。水がキレイ、空気がキレイ。	女性	50代
(無農薬、無肥料)自然栽培。例えば農業ですが、やっと「無農薬」「有機」という発想になってきましたが、有機農産物の殆どはケミカル汚染がひどいです。症状が出て調べてみると、有機肥料として(結局、産業廃棄物です)「循環型農業」というより畑・田んぼがゴミ捨て場になっています。	女性	50代
一般流通の油カス(ヘキサンという薬剤で何度も絞るのでその薬剤)。 特に動物の排泄物がよるしくありません。抗生物質の使用は人間の何倍も多く、長くわかしても「多剤性耐性菌」が見つかるなど、大変危険です。		
山でとれた物は空気がきれい、水がおいしい。減農薬で、野菜、米を作っています。商品に少しは考えてほしい。	男性	60代
今現在、ミツバチが減ってきているといわれます。残留農薬の事もあると思う。茶葉には絶対農薬を使用しないでほしい。	男性	70代以上
畑も機会もあるのに、食料自給率の少ない日本なので畑をつくらせず、助成金を出すのはおかしい。そのお金で米の活用方法を開発してほしい。	女性	30代
農業等に特化した県づくりを目指す。	男性	40代
将来大切とわかっているけど、選挙のときだけ対策めいたことを言う浅ましい政治家。	男性	40代
国の長期的展望。	男性	50代
大分県の一村一品のように、県をあげて地元の農産物を盛りあげて、県民に意識させればいいのではないかと。	男性	50代
農業に対する国の施策が根本的に悪い。選挙をするための施策が多すぎる。	男性	70代以上
米の輸入自由化などで、どれほど農家の人たちに不利益をもたらしたか。政治の方針が全くおかしい。すべての理由があてはまるのではないのでしょうか。	女性	70代以上
間伐材の利用が消費者に見え難いので、インターネットなどで簡単に検索できるようにしてほしい。	男性	30代
林業での生活の安定。	男性	50代
間伐材の無料配布(給)を考えてみたら。	男性	60代
専門的なことはわからないが、山の木は手付かずの状態が全国で多くあるとか・・・。	男性	70代以上
国内で育った木材を使い、日本の風土に合った建築物が(民家も含めて)出来たら、景観も変わり、山林も元気になるのではないかと思います。	不明	70代以上
先祖の人々が植林されている杉・ヒノキ等、見放されて生きていない。これをどうにかいい方法はないものかと感じています。	女性	70代以上
今は山はいらないとは何ですか。50年の杉でも1本250円。若い人達が現金収入を得るため、今から田や畑が荒れてくる。	不明	不明
自給自足ができること。	女性	40代
食料自給率の低下は致命的。平和ボケの中で危機感がない。国策として英国に見習うべき。	男性	50代
まずは食料自給率を高める。農産物・林業に国産の活用をもっともっと積極的に。	女性	50代
食物の自給率を高めること。	男性	50代
自給自足の拡大。	男性	50代
食料の自給率を高めること。	男性	60代
漁船の登り旗、農村のバラ→ヒマワリ→コスモス→サザンカ園が見れる景色。	男性	40代
活気が伝わってこない。	女性	50代
未来が感じられること。希望が持てること。	男性	60代
農業従事者の笑顔がみれる社会。	男性	60代
希望を持って働ける農林水産業。	男性	70代以上
姿がわかるほど情報が取れない。アピール不足では。	女性	30代
のり、佐賀牛、呼子イカといったブランドがあり、ある程度全国区になっているが、観光といった産業にいかせてない。	男性	30代
せっかく素晴らしい農産物が他県に知られてなき過ぎる。	女性	30代
宮崎県がモデルです。情報を発信する人、情報を支援する生活者少ない。	男性	50代
デモとかしなくですむ豊かな有明海になるために、山をもっと手入れして欲しい。	女性	40代
昔の有明海が戻ってほしい。	女性	40代
里山に戻す。海砂をとらない。	男性	50代
有明の海をきれいにしたい。開門して。	女性	60代
公務員化もしくは会社員化して企業としてしまうこと。給与、休日、福利厚生の実により、若い人たちがたくても漁業権や土地がなくてできない人たちの参加が望める産業とすること。	女性	40代

若い人達が働ける会社方式の採用。	男性	50代
ある程度の企業化による経営本質への変化が求められる。	男性	60代
食・生活に関わる農林水産業が一番大切な産業だという見直しの方が必要と思う。	女性	20代
格安弁当等が安易に手に入る時代。食育=家族=心の育ち。美食のテレビ、ダイエットのテレビ、食育の大切さをもっとアピールしてほしい。	女性	50代
健康な食品を作って、それを消費者も理解して食する事。	女性	50代
特産品作りが不足。プロジェクトとして取り組む。県独自の補助事業として。JAまかせではダメ。	男性	60代
県の特産物などを大いに利用し、地域活性化に今ひとつ研究してもらいたい。	女性	70代以上
佐賀は佐賀産物で農家も豊かになるのでは。	女性	70代以上
多少高くてもいいから佐賀独特の「安全高級品」をつくって、国内だけでなく海外事業にも進出する。	女性	30代
県内の農産物を海外に輸出することで、ブランド力をつけ、農業を活気付ける。	男性	40代
地域ブランドの開発に努めてほしい。	男性	60代
農業の未来に希望がもてない。中山間の地が空き地が多い。猪問題がある。	女性	60代
自給生活のため山に移り住んだのに、耕作放棄地は沢山あるのに、農家でないので買ったり借りたりできないというのはおかしい。放棄地の有効利用にもなるので狭い土地でも売買もしくは借りられるようにしてほしい。このままでは猪に住みかを提供しているようなものだ。	女性	60代
山が荒れて猪も増えています。猪対策を早急に取り組んでください。別に食べなくてもいいから、捕るだけで。	女性	50代
猪が増えないように。	男性	60代
みんなが一度でも大人になるまでにふれる機会がある。	男性	20代
食育や農業体験などを通じた農業への理解が進んだ姿。	女性	20代
農林水産加工品の生産工場を、雇用と県の収入付加価値増加のため。	女性	60代
労働力の不足は機械化である。機会は最大の消費リースや協同機械を利用する事。	男性	60代
農家の人の勉強が足りない。JAの人の勉強不足。JAの人材不足。佐賀のJAに東大出がいるか？	男性	60代
漁業の方はもっと近海の魚貝類など、安価で市場に出されたらみんな助かると思う。	女性	70代以上
あんまり大型化農業が進みすぎ、山間地農業がつぶれてしまった。	男性	40代
みんな考えやすくなる集落営農。まず、間伐材を使った利用促進（割り箸等消費促進）。	男性	40代
農地を所有していなくても農業に従事しやすい環境。若い人が農業を試みようとする為の支援策。	男性	20代
生産技術の向上。	女性	30代
農林水産業に寄生して存続する団体が少ない社会。	男性	70代以上
緑多い町並み作り。	男性	60代
第一次産業が廃れていかない状態。	男性	30代
農地が耕作放棄地にならない。廃業する人がいない（わずかである）こと。県産のおいしい農水産。	女性	40代
もはや何をしても手遅れの状態では？現状からは「望ましい農林水産業の姿」は全く描けません。	男性	50代
まあまあ頑張っていると思います。もっと頑張ってください。	女性	50代
農と共に歩む社会。	男性	50代
すべてが今からの県の力の状況、頑張るのみ。	男性	60代
農林水産業とは、一年間の天候も関わりあうので、どうあるべきかが難しい。困ったとき、平均的仕事があればと思う。	女性	60代
米生産量より質に転換。最低自分が作った米は自分で食べる事。	男性	60代
昔のように自分の田の管理ができていない。除草剤等使った、あぜの管理が悪い。	男性	70代以上
よく学び現状を知り、自分にできることを行動に移す。	女性	70代以上
同業者同士のつながりをより強くし、私だけではなく、仲間同士で強くなって、県全体通して強くして盛り上げるように持っていけないかなと思います。	女性	70代以上
明日は届くような魚でも野菜でも手に入るようになり助かっています。	女性	70代以上
若い漁業者が山や野に広葉樹林を育てておられることに感動。	男性	70代以上

5 - (2) 「望ましい県内企業の状況」とは

内容	性別	年代
雇用の仕組みから変えないと活気は出ない。正社員プラス会社も社員一人ひとりをちゃんと見ないとつぶれる。	女性	20代
雇用確保という面では、企業誘致は考える一つの手段ですが、そのために今佐賀にある他の企業を圧迫しない形で行うべきである。税金免除して迎え入れるまでの価値があるのか。周囲への公害対策はもちろんのこと、ゴミの山にしてしまうだけの産業廃棄物処理施設の建設に対し、知事が県民の安全・健康を守るという、毅然とした態度で拒否すること。また、ワークライフバランスについて、男性の育児休暇など、県の取り組みをモデルとし、バランスのとれた働き方を意識し、地域と共に栄える存在であってほしい。	女性	20代
新しい人たち（若い人たち）が積極的に雇用され、働いている状況。	女性	20代
リストラや派遣切りをなくす。	女性	20代
雇用状況と勤務時間の差が酷すぎる（サービス残業、正社員の不採用など）。	男性	20代
新入社員が多い。各世代が機能し、どの世代も重宝される。	女性	20代
雇用が十分にできること。	女性	20代
働く場所がたくさんあること。	男性	30代

県内で勉強した学生が県内で就職できる。	女性	40代
若い働きたくても働けない。情けなくなる。	男性	40代
若い人が県外にしか就職できない。働くところがなさすぎ。	女性	40代
企業が増し、若手、中間、働く者が県外に出ない。	男性	40代
もっと働くところがあって、自分に合う仕事があること。	女性	40代
近くで働く所が少ない。	女性	50代
就職がなく、若者のことを考えると、県内に帰っておいでと言えない。よい人材は帰ってこない。	女性	50代
地域の労働力は地元で。	男性	60代
若者が働ける企業を数多く誘致し、地場にとどまれる環境を作るべし。	男性	60代
働きたいときに働ける企業がある社会。	男性	60代
県内に帰ってきて、県内で頑張りたい。結婚したい。	女性	70代以上
地元の老年男女が働ける企業が増えることを願っている。	女性	70代以上
新規就職者が他県に流れないこと。	男性	70代以上
就職を希望する人が、職があつて独居をなくす方に向えば、県内企業も盛んになると思う。	男性	70代以上
年齢に応じた産業があれば良い。	女性	70代以上
雇用がしっかりあつて、それなりの収入があれば、生活にハリも出て、仕事にも意欲がわく。そうすれば企業も発展する。	不明	不明
地元の企業や商店を生かそうという努力が全く見えない。	男性	40代
誘致も大事ですが、今ある企業も大切に守ってほしい。	女性	50代
もうすでに企業誘致の時代ではない。たとえ小さくても、焼物や家具以外、菓子やその他の製造のいわゆる「職人」と言われるような、佐賀ならではの本物が育つ社会を。	男性	50代
誇りをもってできる企業の発掘。日本一、世界一の企業を育ててほしい。	男性	50代
地場産業（中小企業）を育成する。	男性	60代
佐賀大学の農学部はすごいのに、企業、特にJAがダメ。	男性	60代
バイオリズムと一緒に、良いときもあれば悪いときもある。足腰の強い会社にするために、特に財政面を強くしておくことと思う。	男性	60代
同じ企業で活気のあるところとないところがあり、それはその企業の取り組み方である。	男性	60代
佐賀に企業があるものは、佐賀を利用して、物や品物を受注したり、生産したりしてもらって、企業を盛り上げる。	女性	60代
健全経営の理念のもと、利益配分を平等に実施できる企業。	男性	60代
安定した企業がない？少ない？	女性	60代
地場産業を援助・育成。	男性	70代以上
佐賀にしかないような企業を育てる。	不明	不明
他県にはないユニークな企業誘致の提案など検討されてはいいかでしょう。望ましい状況は活気があつて面白さであること。	女性	30代
もっと大手企業等の誘致をするべき。ディズニーランドが断つたのはイタイ。	女性	30代
県内に企業を増やし、安定した雇用があり、活気ある県にしてほしい。	女性	30代
一流の企業が多くあり、県内就職を第一に考えられるような状況。	男性	40代
近所に働ける企業がない。	女性	40代
県が大企業を誘致する支援をする。ビール会社、地代を安くする。	男性	50代
県内に大きい会社などできて（農林水産業）、地元若い人たちが帰ってこられるような場所にするよくなるのでは（活気が出るのでは）。	女性	50代
いろいろな業種の企業が、どんどん入ってくるような魅力のある佐賀県作り。	男性	60代
環境の良い山間地に精密工業の誘致。地震の少ない土地である事を企業へPRする。	男性	60代
空地などが多い。企業や学校など誘致する。	男性	60代
企業誘致が少ないので、若者が他県に就職するので、人口の減少がはなはだしい。小学校の児童数が大変少ない。	女性	70代以上
トヨタ自動車組立工場がほしい。外にもあり。工場、皆です。	男性	70代以上
県民も企業に協力をして、企業誘致を進めたい。	男性	70代以上
活気、佐賀から発信するEnergyが欠けている。	女性	20代
中小企業にも活気のある状況。	女性	20代
中小企業や町工場とかを、もっと活気付けて盛り上げる。「町工場ブランド」をつくる。	女性	30代
すべてに対して元気がなく、活路が見えない。	女性	50代
中小企業が元気がないと佐賀のお金が回らない。	女性	50代
佐賀県は「おちこぼれ」。元気がない、活気がない、商売ベタ。	男性	60代
若人の人口減少（少しずつ）が活気がないように思います。	女性	70代以上
特許、ノウハウといったオリジナリティーで競争力がある状況。	男性	40代
はやりものにとびつくのではなく、「はやるものをつくれる企業」「はやるものを発進できる佐賀」であればいいと思う。	女性	40代
もっと積極的にアイデアを出し、経営の工夫をする状態。	女性	40代
企業だと平行のままでは進歩がみられない。企業同士がアイデアを出し合えば活気が出るのでは。	男性	50代
常に安定した売上げを得るために、ニーズにそつた商品開発に努力している企業、そして結果を出す企業。	女性	60代
閉鎖的でなく新しい力、考えを受け入れて、世界と交流のあつた、やきものの時代を思いおこして欲しい。	女性	60代
景気が良くなる。売上げが上がる。社員だけでなく、パートの待遇ももっと良くする。	女性	50代

政府の景気対策をもっとしっかりやってもらおう。	男性	50代
どこの企業でも今は元気がないように見受けられる。世の中全体が早く回復するとういとお考える。	女性	60代
不況で厳しいかもしれませんが、不況のせいばかりにせず、プラス思考でがんばってほしい。	女性	30代
小さい子どもでも名前を知っている状況。	男性	20代
県内企業をもっと外へ宣伝してほしい。	男性	50代
お金のいることだけど、がんばって作って、優れている生産物もあります。世の中に知ってもらおうように、どうしたらよいか（宣伝）をしないと。	女性	60代
企業が少なすぎると思う。	男性	50代
県内に企業が少なく為に労働力が県外に取られてしまっている。	男性	60代
企業数の不足。給料が低いのを高く。	男性	60代
関連企業が学術的なものと一緒になって対策を資源（木材等）に向けていったら・・・。	男性	70代以上
大学と企業、そして一般社会が一致協力した体制がとれていないのが問題です。	女性	70代以上
大学は学生を育てることは一番だと思うが、地域への提言もしっかりしてほしい。地域を育てることも大切な役割だと思う。	女性	70代以上
やきものは地場のものは高価すぎる、親しみが無い。	男性	20代
十数代続く窯元がない。商人の自殺者も多発。隔たったプロジェクトチームだけへの支援はおかしい。（ラーメン鉢、カレー皿など）権利を独占している。口蹄疫への支援より重要視すべき。有田焼はなくなってしまう。	女性	40代
やきもの作りに新しい発想で取り組んでいる番組を見ました。素晴らしかったです。優良企業とは、従業員を大切に、会社も発展させる、そんな企業だと思います。	女性	50代
もっと技術力を高める努力をすべき。日本のその力はハイテク技術です。	男性	40代
オンリーワンの技術をもつ企業が増えて欲しい。	女性	40代
給料が安くて生活が苦しい。	女性	20代
真面目にこつこつ頑張っている人が給料が少なくなっているのに、働かない人に手当ばかり出しておかしい。	女性	60代
中小企業を県が大切にしてほしい。仕事が増えて収入が割に合わない。	女性	40代
県がサポートすることによって、県外企業と同等以上に渡り合えるような状況。	男性	50代
商店街に活気がほしい。	男性	50代
企業というより商店街のシャッターが多すぎて明るさがない。	女性	70代以上
中小企業にもう少し光をあててほしい。金利を安くしてほしい。	女性	50代
中小企業（商店）に元気がない。	男性	70代以上
倒産が続かないこと。	女性	40代
近くの会社、企業（大手）が、いくつも廃止され、身内、知人も遠方へ行かされた。もう少し県も考えて対処してほしい。家庭の事情で退職しても職もない状況です。	女性	70代以上
もっと互いを首絞めあわず、利益の出る仕事ができるような社会にしてほしい。今はデフレもそうだが、悪循環。	男性	20代
安定した企業が増えること。	女性	20代
佐賀らしさがほとんどない。他県のマネばかりであり、後手である。佐賀らしさを追求する企業が増えるのが望ましい。	男性	30代
中小企業に元気になるような支援が必要。低金利の貸付、情報交換など。	女性	30代
小売店などを見て、接客や対応がいまひとつな気がします。もう少し商売上手になってほしいです。県内の企業と大学の共同があると、資金提供→研究開発→企業へ研究結果提供→企業に活気・・・とつながるといいと思います。	女性	40代
スーパーに行けば地産のレトルトが貼られているが、佐賀の産物の表示が少ない。遠い所で北海道や栃木、宮崎など貼ってある。これじゃ佐賀のスーパーの運賃が我々に加算され困る。なんで運賃など安く仕入れられると思う。他県から取り引きが多い。是非佐賀は佐賀産物の表示が多くなるよう、スーパーに指導していただきたい。	女性	70代以上
県内の特産（やきもの等）を全国に売り込む為に、大学などと研究し、特価な物作りをしていく。	男性	50代
県内ベンチャーを育て、雇用を創出させていく。	男性	40代
もっと林業の発展と山間部の生き方を考えて、離村しない様に考慮してもらいたい。	女性	70代以上
産業構造は時代とともに変化するものだから、老舗企業以外はScrap and Buildしていいものかもしれない。	男性	40代
「中小企業に元気がない」に○を付けましたが、反面、新聞等でいろいろと頑張っている企業も拝見しております。そういう点では「佐賀も頑張っているな！！」と頼もしく思います。高校生等も商品開発等に取り組んでいますし、彼、彼女らが未来を担ってくれることを楽しみにしています。	女性	40代
部品から製品へ、更に付加価値増加のため、商品へ。ものづくり、県のヴィジョンと仕組みの検討を急ぐこと。高専・高校の5年生。中小企業にマイスター、ブルーカラーよりもホワイトカラー（研究所）。	女性	60代
大学の研究レベルが世界の最先端レベルに達していない。	男性	60代
他県についてそれぞれの長所・短所を研究し、よいところはどんどん取り入れてもらいたい。	女性	70代以上
農山村の振興に力点を於いて取り組んでほしいと思います。	男性	70代以上
活力の芽が少しではあるが育ちつつある。小さくとも生真面目さが未来へつながる。	男性	70代以上

5-(3) 「県外の人にとって魅力ある佐賀県」とは

内容	性別	年代
佐賀は今ままで十分素敵なところだと思う。全国的にはそれほど有名ではないかもしれないが、わかるひとにはわかるはず。山や海、森などできるだけそのままにしておいてほしい。	女性	20代
土を大切に、大地に根ざした生き方をする。→焼き物、有明海、自然、佐賀北のようなハイテクには程遠い、どろんこ根性。	女性	20代
他を真似することなく、緑豊かで食べ物が美味しい佐賀をのばしていくこと。	女性	30代
佐賀県でしか手に入らないとか食べられない食材、特産品、観光地。	女性	30代
「佐賀」と言ったら～、～と言ったら「佐賀県」とすぐ言葉に出るような県産品や観光地が多いと魅力があるのでは？	女性	30代
他県に佐賀県特有な物・商品があれば。	男性	30代
これは佐賀県にしか無いものをアピールして行く。	女性	30代
どこにも真似できない、佐賀だけの「佐賀ブランド」をつくる。	女性	30代
美味しいお米、野菜、美味しい魚介類、やきもの、他県で消滅しても県内では家を継ぐ習慣を大切にしてお先祖様を大切にしているところが素晴らしいと思います。	女性	30代
今の日本人が失いかけている温かさや、大らかさは佐賀県人にあると思う。都市圏の人がこちらに旅行に来るとその寛大さに魅力を感じると思う。その点（性質）をアピールするテレビコマーシャル等すれば、もっと魅力あると思う。	女性	40代
海の幸、山の幸、やきもの関係、温泉、おいしい米、畜産。それぞれの分野が元気になれば、魅力が県内いっぱいです。	女性	50代
古きよき、先人の知恵がしっかりと活かされた土地。	男性	50代
これは佐賀県にしかないものをつくることで県外の人を集める。	女性	50代
オンリーワンです。ガタリンピックや吉野ヶ里バルーンフェスタなど、佐賀だからできる事をもっと増やし、宣伝するなど。昨今、映画での場所が観光地になっているので、映画誘致ガンバル（活動されてるのは新聞等で知ってます）。	女性	50代
世界に誇るやきものや有明海、玄海があり、リピーターが増加するような魅力ある環境にする。	男性	50代
佐賀県でお勧めする特産品は「これだ」というものが少ない。他県とかぶってしまうことも・・・。	女性	50代
ガタリンピックでは海外からも来佐される。むつごろう、ワラスポなど珍味も魅力。有明のりも世界でも有名。	女性	50代
「佐賀って何が有名？」と聞かれる。今のところ吉野ヶ里くらいしかありません。寂しいものです。	女性	60代
佐賀県は安全・安心な食物、質実剛健な人材を輩出している。県をもう少し露出。	女性	60代
佐賀のりは有名で、送ると喜んでくれる。温泉も有名。有田焼、伊万里焼も有名。	男性	70代以上
嬉野茶、嬉野温泉。	女性	70代以上
吉野ヶ里町、県立佐賀城本丸歴史館。	女性	70代以上
現在、有田やガタリンピック等、だんだん受け入れられてきている様に思う。他県と違うものを開催したらよいと思う。	男性	70代以上
開けっ広げの性格の人間が多く、お茶あり、お米あり、海のものあり、いいものがあるのに、魅力ある物へと結びつけることができないのが残念。	女性	70代以上
県外で活躍された歴史人物の人々、有明ノリ、みかん？、米、小城ようかん、柿。	女性	70代以上
佐賀に行きたい！と思えるような何かをしてほしい。	男性	20代
来てくれる人はよかったと言うが、来てくれるまでが足りない。もっと企業参画の観光アピールを！！	女性	30代
佐賀をもっとアピールして欲しい！！	女性	30代
佐賀はバルーン・くんち・陶器市と大きなイベントがあるので、もっとPRして頑張ってもらいたい！佐賀の方は見慣れていらっしゃるかもしれませんが、大空のバルーンの姿は最高です。九州でもなかなか見る機会がないので、もっとたくさんの方に見てほしいです。私は結婚して佐賀に来て、初めて！見ました！！感動しました！！子どもたちが見慣れて、「あっ、バルーンね・・・」くらいの姿になっているので、こんなものなのかな・・・と不思議に思いました。	女性	30代
もっと佐賀のいいところ、いいものなどをPRしてほしい。	女性	30代
デパート（物産市など）やテレビなどで佐賀の良さを紹介するべき。	女性	30代
佐賀の農産物、のりなど、もっと紹介。物産展などを他県に知ってもらいたい。	女性	40代
宣伝が下手である。	男性	50代
もっと佐賀県をアピールするべき。	女性	50代
バルーンフェスタ、ガタリンピック、陶磁器、佐賀牛以外に思いつきません。佐賀県民でこれですから、もっともっとPRしてほしい。	女性	50代
もっと佐賀品を県外にアピールしてほしい。	女性	50代
農業、畜産、漁業の食材の良さを都市圏にアピールすべきである。	男性	50代
首都圏で8年間住んでいましたが、有田焼、伊万里焼はわかるが、吉野ヶ里公園の認知度はない。もっともっと佐賀のPRを願う。	女性	50代
宮崎県に負けないくらいのアピールがほしい。	女性	60代
TVコマーシャルや有産品を増やす努力。	男性	60代
佐賀県は少し暗いイメージがある。他県にもう少しアピールする必要がある。	女性	60代

有田焼、バルーン等、全国に発信度が足りないと思う。福岡県より佐賀県の方が魅力があるのに・・・。	男性	60代
佐賀県出身の人に宣伝してもらおう。	男性	70代以上
佐賀県にも素敵なところはたくさんありますが、県民性でしょうか。外にPRをしないから知られていない。大いにPRすべきです。	女性	70代以上
地域の人をもっと自分たちのよさを見直し、外部へのPRを地域ぐるみでしたら、変わってはいかないだろうか。	女性	70代以上
PR活動に力を入れて。佐賀県はPRが下手である。	男性	70代以上
PRを十分に、佐賀は素晴らしいと思われるようにしたい。	男性	70代以上
観光地に魅力のある佐賀県。	女性	20代
食べたい物、見たい物、遊びたい場所がある佐賀県。	女性	30代
観光地が分散しすぎているので、移動時間を楽しめるよう観光バスと連携してほしい。	男性	30代
佐賀県に観光に来たいと思う催し、場所のPRの拡充。	男性	30代
観光地などに魅力があり、情報発信もできていること。	男性	30代
また行きたい！と思える佐賀県にする。観光に力を入れる。	女性	40代
来たいと思う観光地に対し、宿泊場所の充実。	女性	40代
観光と県産品。	女性	40代
佐賀県の魅力は自然の美しさと陶芸だと思うので、もっとアピールして観光に力を入れたいと思う。	女性	40代
支援と歴史を満喫できる場所が案内板などでスムーズに訪れることができること。	男性	50代
田舎の良さや農水産物を組み合わせて、観光に力を入れたいと思う。	女性	50代
福岡県堺等に、癒しの場所として各ゾーン等が少ないと思う。足止めをするような企画が必要では。	男性	60代
行ってみたい、見てみたいという観光地が少ない為、何か魅力ある所が出来ればと思う。	女性	60代
観光地は自然地の活用で調和が取れていないと思う。	男性	70代以上
観光地の魅力をもっと宣伝してほしい（特に県外へ）。	女性	70代以上
県の観光地はマンネリ化してしまっている。新しい息吹を吹き込んでもらいたい。	女性	70代以上
観光地の案内の看板が少ない。	不明	不明
豊かな自然や農産物、体が喜び、心が浄化されるすばらしい財産にあふれた県だと思います。	女性	30代
自然が美しく、看板などでイメージを崩さない。観光地間が遠くならないよう紹介してある。	女性	40代
「豊かな自然」を満喫できる、「町の駅 鳥栖」的なものをもっとあれば、福岡からでも長崎からでも近いので、観光地にまで人は流れると思う。もっと上手に派手にPRして欲しい。	女性	40代
佐賀県は有田焼や佐賀牛など、自然と結びつくような偉大なるイメージがあると思う。	女性	40代
自然環境に恵まれた土地であることをもっと広めてほしい。	女性	50代
佐賀の魅力は宮崎に劣らない自然と農水産、高速道路などの利便性。	男性	50代
パチンコ屋さんがもっと少なくなって、福岡・長崎のように派手ではなくてよいから、自然（緑）が多いなあと思わせる。	女性	50代
自然が豊かで人間が素朴であること。	女性	60代
広い平野、どこまででも続く青い空、きれいな空気（私達にとってなんでもない普通の景色が大きな財産です）。	男性	60代
きれいな自然の多い都市作り。	男性	60代
自然がきれい。人情がある。	女性	60代
大自然に囲まれて、安心安全な土地で心豊かに暮らす。	女性	70代以上
綺麗な山・海（林間学校、海浜学習）。	男性	70代以上
農山村、漁村体験留学等の活動を強めてほしい。	男性	70代以上
大都市圏では、相変わらず佐賀県ってどこだっけという事を言われる。	男性	40代
よくラジオを聞いていますが、この前、歴史好きというタレントさんが吉野ヶ里を知らなかった。	女性	40代
まず、全国の人に佐賀県の特徴を知ってもらおう（佐賀県が存在すら知らない人が多いと思います）。	女性	50代
佐賀県の認知度を上げる。	女性	50代
佐賀牛といった何品かしか知られていない。	男性	50代
佐賀県そのものを知らない人がいる（佐賀県には海があります等の質問を受ける）。メディアをもっと活用すべき。	男性	60代
確かに知名度が低いです。	男性	60代
新幹線が開通したら少しは変わると思う。現状では県内でも県外でもあまり知られていない。	男性	70代以上
都会へ行って佐賀と言っても、京都の嵯峨と思われるのが残念です。佐賀は佐賀と知ってほしい。	女性	70代以上
もう少し佐賀も他県の人に知ってもらいたい。	女性	70代以上
佐賀県を知らない人が多い。	女性	70代以上
佐賀という地名・場所さえ知らない人が多いので、全国的に知られるものをもってくる。	不明	不明
他県に劣らない、県産品があること。	女性	50代
いろいろな特産品があること。	女性	50代
佐賀と言われてもすぐに思い浮かべられる県産品がない。県内のブランド力がないので、「佐賀といえば…」というのが5コも6コもあればいいのでは。	男性	50代
県産品で思うこと。あまりに高値だと佐賀県人でも食べられないので、お土産にも持って行けない。手頃で幅広く。	男性	60代

佐賀の南部は土が肥えているので、その土地に適した農産物を見つけ、作っていけば道は開けてくると思う。	女性	60代
県外人が求める農産品が多くあること。	男性	60代
がばいばあちゃん等で少し知名度が上がりましたが、県産品のPRがほしいです。	女性	60代
もっと県の紹介で、特産品等をテレビ等、機会があればした方がいい。	女性	70代以上
歴史上の人物や米麦の産物強化。	女性	70代以上
代表するような物が少ない。	不明	不明
県産品を育てる生産者、広告する人、支援する県。	男性	50代
なごやか。	女性	20代
田舎なりのよさ、ユーターンしたいと思えるような。	男性	20代
素朴でかわいくて、純粋で・・・騙されやすそうなところ。だから守ってやらなくちゃと思うらしいです。自己紹介？そう言われればそうかもしれません（笑）。しっかり者が多いと思われていますよ。	女性	20代
治安が良く低コストで生活が出来、社会福祉が充実している。	男性	20代
自然豊か。子どもも楽しめるテーマパークがある（遊園地や牧場的なもの）。交通の便がよい佐賀県になればいい。	女性	20代
都会的ではなく、まあまあくらしやすく、自然が多い県であればいいと思います。	男性	30代
田舎、素朴を生かした観光。	女性	30代
田舎の佐賀でいいんじゃないの。	男性	50代
イベントごとや文化などを周知し、みんなが興味を持つ。まず県内の人にも魅力を伝えないといけない。仕事をすることで維持費の引き下げ。ガソリン代などの費用など。地産地消は広まってきているのでいいと思います。	女性	20代
まず、県内の人に魅力ある佐賀県に。県外に毎週遊びに行っては話にならない。日曜日に遊びに行く場所はまずない。	女性	30代
県内の人にとって魅力あるものが他県の人にも魅力あるものになる。県内のニーズを探ると答えが見つかるのでは。	女性	30代
“ありのまま”を生かし、大切にし、そのよさを、まず県民が知ること。そのよさを県民一人ひとりが人に伝えること、話すこと・・・。少なくとも“竜馬”のような流行に流されないことです。	男性	50代
私自身があまり佐賀県の事をよく知りません。そういう機会もないので、そうだと思います。もっと身近で県内の事がわかる様な仕組みになればいいですね。	女性	50代
佐賀県全体の人をもっと地方自治や観光に興味を持ってほしいし、市民参加や県民参加で県外の人にアピールを。	男性	60代
県外の人に魅力ある前に、県民にとっても魅力ある県でないと話になりません。今、何の魅力もありません。	男性	60代
伊万里焼とか有田焼とか・・・やきものがたくさん！	女性	20代
私自身、県外出身なのですが、「有田・伊万里・唐津」で、やきものは非常に魅力的でした。伯母は「吉野ヶ里」に魅力を感じています。あとはアピールが上手になると、とても魅力的な観光地になると思います。	女性	40代
県外に住んだことのある方はよくわかると思いますが、やはり有田焼でしょう。小城ようかんなど唐津方面か？もっと佐賀県の紹介をさせていただきますように。	女性	60代
有田焼は世界に誇れる素晴らしいものである。PRが必要と思う。	女性	70代以上
有田、伊万里焼は少しは知られているが、本当にその地に行ってみようと思う人が何人いるだろうか。有田陶器市もTVの教程、人が来ているのだろうか。	女性	不明
もっと農業を生かした、体験学習とかを広げてやってもらいたい。	男性	40代
定年後の農業体験付住宅保障などあるといいと思います。	女性	50代
農漁村の“体験県”型の事業化の推進・・・佐賀県の“オンリーワン”を目指しては？	男性	60代
佐賀県は農村地区で他の県に比べると寂しく思います。	男性	70代以上
「これこそが佐賀だ！！」と胸を張って言える物がある。	男性	20代
一昔前よりは確実に「佐賀」に対する知名度や印象は良くなってきていると思う。足りないのは佐賀県民自身の郷土に対する自信や誇りでは？	女性	20代
特色が明確にわかること。住んでいる人間が佐賀のことを好きでいること。	女性	30代
佐賀県に自信を持っている佐賀県人が増えるといいのではないのでしょうか。卑下しすぎの人が多いような。	女性	30代
佐賀は人柄的に内向的で、大きな変化をなかなか受入れない為、どこかやる事に対して間がぬけていて、いいものも魅力にかけてしまう。	女性	30代
誰にでも優しく、人間味があふれているところ。	女性	60代
仕事に対してつましく生真面目な姿勢が信頼を呼び喜ばれている。	男性	70代以上
人によるので難しいです。食べ物で特産品が多いといいのではないのでしょうか。	男性	40代
「おいしいもの」	女性	40代
ムシ、ノリ、玉ねぎ、カス漬けなどの生産。	女性	50代
行ってみたいところ。住みたいような佐賀県。	女性	40代
観光に訪れてもらうのもいいけれど、やはり住みたい県になりたい。物価が安いとか、安心で美味しい物がたくさんあるなど。	女性	40代
地域の人が楽しんでいる姿を、素直に見せる社会。	男性	60代
おもてなしの心で歓迎する。また訪れたいと思う接客態度が必要だと考えます。	男性	40代
自然体でもてなしができる町づくり。	男性	60代

誠意が見られること。	女性	60代
有田はなぜNHKの朝ドラとかに利用されないのか？	女性	40代
佐賀県で撮影された佐賀県を紹介するテレビや映画のPR。	女性	60代
そのときだけのテレビ放映で継続性がなく、特に長崎新幹線が開通したら、素通りの町になってしまう。	男性	60代
宮崎県みたいなことをしてみたら？東国原知事はすごい！！	女性	20代
知事が宮崎県のようにPR活動を行えば、もっと県外の人に佐賀県の認知度があがると思う。	女性	20代
佐賀県＝〇〇と、ひとつでも全国的、日本一があること。	女性	40代
のりが日本一と聞いて嬉しいです。	不明	不明
関東地方の人は佐賀県が九州のどこの場所にあるかもわかっていない。もっと魅力がある県ブランドをつくるべきだと思う。	女性	40代
県のブランド品をつくってアピールする。	女性	50代
人が集まる場所がほとんどない。中心部はいいが、他はそうでもなく、公共機関も便数が少なく不便。	女性	40代
四季ごとにイベントをやりたい。	女性	50代
県で自信作は海外へ輸出しても良いと思う。定められた認可手続きを取り、後に中国、インド、ブラジル、ロシアなどに、価格は高くても購入する方々がいると思う。	男性	20代
新製品の開発に進んでほしい。いろんな商品にしてもマンネリ化してしまっている様に思う。	女性	70代以上
佐賀に引っ越す前には頭にもなかった。もう少し町を明るく活性化してほしい。デパートを増やすとか、駅前をもう少しにぎやかにするとか、交通の便をよくするとか。	女性	30代
桃源郷を思わせる景観づくり。映画監督の指導を受けてつくってください。	男性	40代
海、山、自然豊かな魅力はありますが、原発があるため情けなく思っています。	女性	40代
佐賀県民が佐賀に満足していたら、それが一番良い。	男性	30代
歴史や文化、食、自然などだけでなく、病院や教育環境の充実があり、安心して生活できる県になるといいと思う。	男性	30代
観光地にセンスがないので、もっと県産品のセンスのある、一言でいうと雰囲気と思う。	男性	50代
今。	男性	20代
県民が考えるより、知事の仕事。	男性	60代
長崎みたいに上手に県全体をアピールできたら…と思う。中途半端（今は）。	女性	20代
福岡に近い、自然が多い。	女性	20代
福岡のテレビ局は佐賀の放送はするけど、佐賀のテレビ局は取り組みが下手すぎる。	男性	60代
佐賀牛、やきものは有名ですが、伊万里トンテントンや唐津くんちなどのお祭りは知名度が低いようなので、もっとアピールしてよいと思います。	女性	30代
各地の「道の駅」が成功している原因を良く研究し、県外向け道の駅商法を推進すべきだ。	男性	70代以上
無理なテーマ。全然魅力なし。	男性	30代
佐賀は明治維新で官軍を勝利に導いたと言われる大砲や七偉人などを輩出しているのに、宣伝が下手でありあまり知られていない。土佐、薩摩に負けるな。	不明	不明
佐賀県の名は多少知られているが、場所と名所が無い。若者が興味を持つような佐賀県が一番魅力である。	男性	30代
目玉商品から商品の多様化へとといった「点」ではなく、その先の「線」へとつながる戦略を考えてみては。	男性	30代
佐賀＝学力の高い県。	女性	30代
何度も来なくなる。	女性	30代
知事は輸出に対し熱心だが、農家へのメリットはあるのか？県として何ができ、何をすべきかもっと検討すべき。パフォーマンスはほどほどに。	男性	40代
なんでも人気一点ばりではダメ。もっと地道にいいものをつくる努力を。	男性	40代
佐賀県はまず県内全てにまとまりがない。連携がない。だから県外の人を楽しませるのに力が分散し、全てがいまいちである。	女性	50代
レンタル自動車。宿泊しながら観光スポットを巡るなどできる。	男性	50代
伊万里湾、唐津湾をもっと有効活用すること。	男性	50代
パターンが決まったものしかない。まず、地元の人を愛する気持ちを持つことが大切である。	男性	50代
帰ってきてよかったと、笑顔で働く若者の顔が次の世代をつくる。	女性	50代
有田の町はとても好条件の立地と歴史がありますが、もっと原点に戻って有田を佐賀の湯布院の町のように、皆で盛り上げていけば佐賀の知名度もあがるのでは。	女性	60代
地元の企業を安定させ、豊富な収入で安定生活。	男性	60代
私は県内です。佐賀県は今のところ仕事はあまりないですが、地震や水害も今のところは少ないので。	女性	60代
佐賀県をアピール団体を組織して、活動できる人たちを育てる。	女性	70代以上
努力されていると思うが・・・。	女性	70代以上

5 - (4) 「産業」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
観光客が地元にお金を落とすための何かがない。素通りするだけ。	男性	50代
長崎の小値賀島の魅力を紹介して、全国から観光客を集めるのに成功している番組を見ました。何もないと思っている発想を転換できる策はないのでしょうか。	女性	50代

佐賀県は魅力ある観光地があるので、他県にもっとPRしてもらいたい。	女性	50代
熊の川や古湯のお湯はゆっくり入れるぬる湯なので、1日ゆっくりしてもらおう為には日帰りに5,000円も取るのではなく、女性はそんなに料理は多くなくてもいいので、1回5,000円よりも3,000円ぐらいだったら、1回が2回行ける。人が動くと産業も発展すると思う。	女性	60代
大和町の巨石パーク、道が険しいのでモノレールのようなものをつくる。資金はカンパして利用券を出してはどうか。	女性	70代以上
とりあえず雇用に・・・！仕事に就きにくいです。	女性	30代
高齢者が増す中、他の場所へは移りにくい状態。働く場所が少ない。若い人が出て行ってしまう。産業・企業の移転先の検討。	男性	40代
若者が地元で定着できる、産業・職場の醸成。	男性	70代以上
若者が働ける場所をつくってほしい。	男性	70代以上
仕事場が少なく、企業が少ないので、県外に出る人が多い。	不明	不明
もっと知事とか佐賀のPRをした方がいい。宮崎みたいに頑張ってもらいたい。	女性	40代
地元テレビ放送局の電波を利用すればいいが、いずれも「いもっほい」。	男性	60代
佐賀県を紹介するテレビを県内で放送するのではなく、他県のローカル放送にももっと放映すること。	女性	60代
県出身者で他県に居住している人が、皆さん県全域を知っているかという点と疑問。私の知人でも、友人出身の町村は解っていても、他市町村の産品についてはうとい。口コミPRも「佐賀県」を知ってもらう大きな担い手になるのでは。	女性	60代
都会でのアンテナショップで、佐賀県産の商品が少ないので、もっとアピールすべきなのでは？コミュニケーションをもっとすべきではないかと思えます。	女性	50代
世の中すべてが安いものを購入したいという時代になっているが、県内の農作物だったり、県内の企業の商品を優先して取り入れたり、県内の建設業などに工事をしてもらうことで、少しでも県内の産業が元気になるのではと思う。県内の産業を優先することで雇用にもよい影響を与えてほしいと思う。	女性	50代
先日、山口県に住む甥が玉ネギを食べ比べたら、佐賀の玉ネギが甘くておいしかったとの事で送る事になりました。私達の知らない「おいしい物」多くあると思います。	女性	50代
テレビに佐賀県の特産品を紹介してください。	女性	70代以上
問8①について、担い手の高齢化と第一次産業の価値の低さから、他産業からの参入が極めて難しい。このため、産業全体としては希望がない。家族労働で誤魔化してきた。低い労働価値を他産業並みに引き上げることができれば、希望は生まれてくると思う。	男性	50代
中山間地域農業は、環境保全型農業として、国・県・市が助成すべきである。	男性	50代
まずは農水産業、立県をめざす。県外の人々が農水産業ツアーで佐賀に来るように、佐賀空港→むつごろう、カニ、カキ→嬉野温泉→北山のリンゴ→浜玉のミカン→伊万里のナシ→武雄温泉→呼子のイカ→（この他に産地作りをして、都会の人が2泊3日ぐらいで楽しめるように）。	男性	60代
知事の農業に対する政策（姿勢）が冷たい。全体的に不況だから、ある程度しょうがない。	男性	60代
給食の材料は、佐賀県産の農作物で完全にまかなってほしい。	男性	40代
「できるだけ地産地消を」と思っていますので、それぞれ生産者の活動を期待します。林業は全く分かりません。林業は長い時間での長期計画とかになりますか？県民に知らせたい事があれば、どんどん広報して下さい。	女性	50代
地産地消・・・まず有明のノリ、白石の玉ねぎ、れんこん、多々ある商品を、まず地元の人たちが食卓にのぼるような流通状態を作る。その良さを口こみ等でもよいが、一人ひとりが伝える等・・・。	男性	60代
佐賀の特産物を増やして有名にした方がいいと思う。	女性	20代
「No. 1」を目指して特産品を作り、東京で宣伝し、全国に発信していく。	女性	30代
佐賀県といえば（物・場所）、などをつくる。いつまでも「がばい〇〇ちゃん」では飽きられません。	女性	30代
不況で日本自体活気がないので、困窮している地方が元気がないのはしょうがないと思うのですが、白山にはもう少し元気になってほしいな・・・と思ってやみません。	女性	40代
県も土地を確保して産業都市をたくさん増やして活気ある県になることを大いに期待をしています。	女性	60代
企業の誘致、次世代型の研究や生産をされている企業を増やし、新しいことをどんどん進めていく。	男性	30代
伊万里の地に、また、佐賀県内に私たちの生活に潤う企業を受け入れてほしい。	女性	不明
土地の狭い日本、佐賀県、どうしたら産業と言えるものになるだろうか。これだけは他にないというものがあればいいが。	女性	70代以上
佐賀という特質を生かして産業をおこす。	不明	不明
1 デパート的な施設が少なすぎるので、新幹線開業に便乗してつくればよい。	女性	20代
昔のように松原マーケットみたいな、歩きながら両脇の店を見て買物出来る所がほしいです。エスプラッツのような所は好まない。	女性	70代以上
産業に関してはこれからだと期待しています。焦らず、周りに流されず、短絡的な判断をせず、まずは人材を育て上げていくべきだと思います。物よりも人でしょう。	女性	20代
戦略的に行う。物はあります。人を育てる。広告する人。	男性	50代
佐賀県の知名度が低すぎる。	男性	20代
佐賀県はほんとにいいところですが、あまり全国的には知られていない。	女性	70代以上

最近、田んぼがつぶされて家が建つものを見る度に、残念な気持ちになります。就農希望ですが、費用もそろわず、子どもの小さいので、どんどん潰されていくのを見るたび、早くしないといけないけれども、一体何をしたらよいのだろうか？と焦るばかりです。就農コンサルタントのような人はおられるのでしょうか。時々、「相談会」の記事は目にしますが、転職用のイベントではなさそうなので。貯金はほとんどないのですが、農家になってやっていけるのでしょうか。	女性	20代
中国野菜の農薬消毒の件他、いろいろの問題を考えると、今私達が安全な食生活を送るには、農家の担い手の育成、確保が必要ではないでしょうか。	男性	60代
有田焼の新しい取り組み・PRはすごいと思う。これからもがんばってほしい。	女性	30代
今は有田のやきものはあまり売れ行きが悪いと思います。店を頼める人が見られません。	女性	60代
ひとまねをしな。独創性が必要です。卒にとらわれないアイデア！不景気の時こそアイデアを出し、好景気のときは儲けて慎重に！	男性	40代
佐賀県の事をアニメやまんがでアピールするのはどうでしょうか？今や日本のサブカルチャーは、世界でも有名ですし、観光客を呼び込むにはもってこいだと思います。最近では、「のだめカンタービレ」に佐賀のりが出ていたりしましたが、そういうふうにして少しでも日本を舞台にした有名なマンガに出してもらっただけでも、多くの人に佐賀を知ってもらえると思います。	男性	20代
仕事をする上での維持費の引き上げ。ガソリン代などの費用など。地産地消は広まってきているのでいいと思います。	女性	20代
田舎を逆手に取る発想を！空港や新幹線なんかいらん！人を育てなさい。	男性	40代
棚田でいろいろイベントをしているが、棚田は他にもいっぱいありますよ。したくても補助がないのです。どうかして！	男性	50代
インターネット放映。県内の者が佐賀県をよく知らない。	男性	20代
海洋エネルギーの進歩発展の為の研究、開発。湾を囲って鯨を保育したらどうでしょうか。	男性	50代
まあ、役所がまず頑張れ。	男性	30代
世の中の景気が悪いので、農林水産業だけは発達しないので、まず始めにこの日本全体の景気をよくしてください。	女性	50代
トライアル発注で発掘されるだけでなく、育成にも力を入れられたらどうでしょうか。	男性	50代
自らの故郷のことを知らずに“観光”もなにもないでしょう。県民の一人ひとりが魅力的な自分になり、佐賀のよさを広げれば客はきます。たとえ少々不便でも。	男性	50代
問8②勤務状況の改善として、勤務基準監査所と共同して、全ての企業とは言わないが、一定数の企業を訪問、調査して、一度調べた方がよいと思います。	男性	20代
低賃金→購買力の低下→不況。日本で作り日本で消費できるシステムが少ない。	女性	50代
美味しいものを食べれる店が少ない。こんなに一級品の材料はあるのにもったいない。ここにも育成制度があるのでは？	女性	40代
やはり佐賀県は農林漁業分野に力をもっと入れてもらう。	男性	40代
佐賀牛が東京などで人気がある中、不祥事は痛手。自分たちの言動、行動がこれだけの影響力があることを知って行動しなさい。	女性	20代
佐賀に一つしかないブランドを作る。	男性	60代
県外にとって魅力ある佐賀は難しい。住民が地元を好きならそれでいい、と思います。	女性	20代
町中の商店が寂れている。理由の一つには駐車場（無料）がないこと。行政の対応が望まれる。	男性	70代以上
海外輸出にもっと力を入れるべきだと思います。	男性	50代
山間部の林業を発展させ、外国の木材が規制され減少しても国内で賄う体制が必要であるのでは。	男性	60代
映画が欲しい。	男性	20代
ブランドに力を入れず、安くていいものをつくってほしい。	男性	30代
脊振の100円宅地など、定住できる土地を増やして、他県からの人が「豊かな自然」「安全な街」づくりをして欲しい。	女性	40代
IT・航空・宇宙産業化へ。教育・芸術・産業の充実へ。	男性	40代
日本市場について、四季感が少なくなっている。何か手を打たにやいかんばい。	男性	50代
知事もいろいろと頑張っていると思うが、私自身、長崎新幹線では「トラウマ」になっています。	男性	60代
人間引き際が大事です。若い人を盛り立て、若い力をもっと大事にして欲しい。	女性	60代
大学・高校、地公体、製造業、各種団体・・・でのものづくり会館。少年たちがいつも来館し遊んでいる。	女性	60代
私個人では、住みやすく安定しているのでこのままでよいです。	女性	60代
50年前はまだ田んぼだった所が、みな道路と建物に変わりました。また、50年後はどうなっているでしょうね。見る事はできませんが。	男性	70代以上
めざましいことは急にはできない。たゆまずにより良いものをと励みあう精神を培いたい。	男性	70代以上

6. 「雇用・労働」分野

(1) 「望ましい労働環境」とは

内容	性別	年代
どんな人でも職業に就いて、安心して一日の労働を終えられる場がない。	男性	20代
働きたい人が働ける状況。	女性	20代
働ける場所を増やした状況。	女性	20代
職種の選択肢が多く、条件も選択肢が多い方が望ましい。	女性	30代
仕事を選ばなければある程度あると思うが、いろいろ選んでいると目の前の仕事に就けない。	男性	30代
やる気、やりがいある仕事を誰もができ、雇用を増やす企業をつくってほしい。	男性	30代
どんな仕事でもいいので、なるべく県内からの雇用を優先し失業者を減らす。	女性	30代
働ける場所がある事。	女性	30代
全部の年代の人が働く場所があること。人口が少ないので仕方ないけど、アジアの玄関口の隣なので、大きい企業がひとつでもあればいいのに・・・。	女性	30代
常に雇用が確保できる社会。	男性	40代
企業誘致（税金の減税）。	男性	40代
若人が他県にしかいられないから活気なし。	女性	40代
中高年の女性の雇用が少ない。	女性	40代
若い人が正職員として働く場所が多くあること。若者が地元に残りたいと思った時に、就職する所がないといったことがないようになっていくこと。きちんとした理由なく男女年齢等で、働く機会、条件が制限されない環境。	女性	40代
働く職場、職種が多くある。	男性	40代
景気がよくなると働ける場が少ない。アイデアが生まれる労働環境。そしたら景気がよくなります。	男性	40代
老人でも少しの仕事でも働く場所ほしい。	男性	40代
地元で安心して働ける環境が今ひとつ整っていないような気がする。	女性	50代
若い人は働く場はあるが、50才過ぎると、なかなか仕事の間がなく、困っている人が少なくない。働く場を広げてほしい。	女性	50代
県内に職する所が少ない。	女性	50代
私自身も定年間近になって、60才過ぎても本人が働ける能力があれば、それを活躍できる職場がもっとたくさんあればいいと思います。	女性	50代
働く場が少なく、給与の面でも少なく、安心して働ける状況でないようです。民間が活力ある県にして欲しいです。	女性	50代
若者が多く働けるような社会にしてほしい。	女性	50代
働きたい人が働ける環境。中小企業をもっと支援してもらいたい。	女性	50代
障害者やだれもが多く働く場があり労働力環境がそろってほしい。高齢者も多く雇用してほしい。	女性	50代
県内の最低賃金を上げ、少しでも働きやすい、中小企業も多く雇用してくれるような体制を整えてほしい。	男性	50代
若者の仕事がないので、かわいそうに思います。若者が仕事について、将来、希望、夢のある生活になってほしい。	女性	50代
公共事業を増やすことにより、サービス業やその他の自由業に仕事を増やす。	男性	60代
仕事が全然ないことと思います。	女性	60代
多くの企業数+誘える力を強くする。	男性	60代
若者にとって働く場が余りにも少ない。	男性	60代
働ける場所がある事。	女性	60代
企業誘致。	女性	60代
小さい子どものお母さんの働く場をもっと多く、広く！40才以上のまだまだ働ける人の仕事する場をもっと多く。	男性	60代
企業誘致が進んでいない現状では無理な面があり、意欲・能力の向上がないのでは。	男性	70代以上
県外から県に戻っても、年を40歳過ぎたら仕事がない。	男性	70代以上
老若男女を問わず、働く場所が少ないと思う。	女性	70代以上
職場が少ないので雇用もない。60歳定年後、働けるのに家にいなければいけない人がいる。若い人も安定した働き場所がない。みんな働いて社会が活性化できれば。	女性	70代以上
企業の誘致をして町を賑やかにしたい。それによって雇用努力を得られ、ニートを減らすことができると思います。	男性	70代以上
大企業を誘致する事。	女性	70代以上
若者が働く場が少ない。	不明	不明
地域に密着できる仕事が少ない。	不明	不明
「法律で決まってるから」と休み、有給がもらえる。パートでもそれがあつたのは、金融ぐらいでした。現在、請負という形ですが、外注なので無理だったら、さようならという世界です。かといって、給料がすごくいいというわけでもないため、小さい子どももいて、結構プレッシャーです。	女性	20代
仕事を選ぶことができる環境が望ましい。	男性	20代
社内に託児所を設け、女性も安心して働けるようにする。	女性	20代
楽しく、やる気もてる環境。	女性	20代

心も体も健康で気持ちよく仕事ができる環境。うつ病や対人障害などでの精神的弱者へのケアがまったくされていない。	男性	30代
病気のときなど休みがとりやすい状態。働く人数体制がぎりぎりではなく、少し余裕のある環境。有給をとりやすい環境。	女性	30代
障害があって、能力が低ければ、その分の人をふやしてフォローするとか、指導するとか、今もやっているとと思う人が少ない。	女性	30代
会社だけでなく、労働者本人も仕事と家庭の両立に取り組んでいること。	男性	30代
セクハラをされて、「やめてください」と言っても、リストラ対象にならない労働環境。	女性	30代
望ましい雇用、適正な賃金があってこそ、健康的な生活や教育に取り組む姿勢が培われる。そのためにも、「生きがい」と「適正賃金」がみなぎる労働環境の醸成が必要である。	男性	40代
一生働く場所があること。	男性	40代
女性も安心して働ける社会。	女性	40代
難しいのですが、「生活に必要な賃金が必ず得られること」「男・女の性差を認めた上で就労できること」「子どもの託児施設が企業内にあること」だと思います。	女性	40代
高卒・短大卒・大卒など学歴に関係なく、新卒の人は正規で働けること。また、数年間非正規でも、正規への道が開けること。	女性	40代
労使関係がうまくいっている職場。	女性	50代
(8時間労働している)パートでも、社員の様に有給か通勤費、ボーナス等々、レベルは下がっても同じ扱いを(法的に)して欲しい。	女性	50代
どんな仕事も大切な仕事とされ、仕事に対する正当な雇用状況が保障されることだと思います。	女性	50代
働き続けることができる、無理なくできる。子どもの成長と共に会社で働く形態を変えながら働き続けられること。	女性	50代
誰もが楽しく働ける事。	男性	50代
老若男女、誰でもが働ける労働環境。	男性	60代
人が人として働ける環境では今はないように思う。厳しすぎる(時間が長いなど)(給料は安い)。	女性	60代
人権尊重の言葉の暴力。格差のない労働。	女性	60代
サービス残業が桁違いに長い、労働違反。	女性	60代
安全。雇用の安定。労基法を遵守すること。サービス残業はもってのほか。	女性	60代
現在、雇い手が強く、労働基準法無視で我慢を強いられて働いている人が多い。もっと労働基準局はしっかり見張ってほしい。	男性	60代
労基法が順守されていて、かつ人間を大切に、どんな仕事であろうと“ちゃんと”感謝と評価をしてくれる社会環境。	男性	60代
誰でも仕事をしやすい労働環境ではないです。	女性	60代
明日の活力が生まれる労働環境。	男性	70代以上
能力に応じて持ちつ持たれつの職場を。	女性	70代以上
若い者が家から通勤できる職場が多くあってほしい。	女性	70代以上
給料をもらうからには、一生懸命働かないといけない。また、会社も労働条件を良くして、話し合い歩み寄らなければいけない。	女性	70代以上
時間外勤務が長い上に、毎日続くので健康面で非常に心配している。今までも肺炎で入院したし、経営者はもう少し考慮してほしいですね。	女性	70代以上
楽しい人間関係が出来て、まじめな働きに対する賃金がなければならない。「働きがいのある」職場や労働環境。	女性	70代以上
安心して働く職場。	男性	70代以上
仕事と家庭が両立できていない。	男性	70代以上
安心して働ける場所を多くして下さい。	男性	70代以上
子育てのできる生活をやっていける労働環境にしてほしい。	男性	20代
子育てをしながらでも働けるワークライフバランスを自分で選べる環境。	女性	30代
子育て世代にはきちんと優遇してもらえる。	女性	30代
未満児がいても働きやすい環境。	女性	30代
育児、家事、勤労が安定して行えること。	男性	30代
子育てしながら働く理解が少ない。	女性	30代
子どもが小さいと、なかなか雇ってくれるところがない。	女性	30代
子どもが産まれても働ける。	女性	30代
子育て世代の長時間労働を強くない。育休、看休などをきちんと保障する。	女性	30代
働きたいときに幼児を預けられる保育所の確保。基本的に保育所が少ない。	女性	30代
仕事と家庭が両立できる環境を整えてほしい。企業も子育てについて、もっと真剣に協力すべきだと思う。	女性	30代
小さい子どもがいても働ける場所があること。	女性	30代
育児休暇に対する県の企業へのサポートが必要。	女性	30代
結婚、出産をしても仕事が続けられる環境。	女性	40代
既婚女性に限っていえば、子育ての後の再就職が保障されていればいいのと思います。	女性	40代
産休・育休がとれる職業・会社が少なすぎる。	男性	50代
育児と仕事に安心して暮らせたい。無料で預けられる保育所があれば(所得制限)。	女性	50代

育児所、託児所の整備を充実させて、女性の働く機会を増やす。	女性	50代
働きたくても子ども（幼児）がいればできないし、保育園に入れるにしても、仕事をしていないと受け入れてもらえない。どうしようもない。	女性	60代
安心して子どもを預かってくれる場所。	男性	70代以上
とにかく安心して子どもを預けることができる所が整ってほしい。	女性	70代以上
誰でも仕事ができ、賃金の格差があまりない状況。	女性	20代
労働賃金の額が低い。	男性	20代
働ける場所が誰にでもある、働いただけの給与がもらえる環境。	女性	20代
日本一安い給与！！悲しいです。	女性	30代
働いた分、お金になるのが望ましい。	男性	30代
労働に見合った収入。意識レベルの高い労働環境。	女性	30代
賃金を上げないと…。時給は全国的にも低いし…。働く側にとっても魅力ない県になってしまう。	男性	30代
安定した収入が得られること。通勤に時間が少なくてすむこと。	男性	40代
働いていても報われない賃金の格差。もっと高給取りから税金とらね。	男性	40代
ゆとりがある仕事をしたい。税金、生活費に追われながらの生活はしたくない。	男性	40代
とにかく賃金が安すぎるのではないのでしょうか？	女性	50代
働いても働いても、一向に暮らし向きが良くならない。雇用に対する賃金格差が大きい。働けば働くほど家庭がおろそかになる。	男性	50代
佐賀県は労働賃金が安い。公務員の給料が高いと言って中央の官僚と同じ給料をもらっている訳ではないので、公務員たたきをやっている議員さんが多くては中小企業の発展はありません。	女性	50代
その人に応じた報酬。	男性	60代
労働時間に合わせ給料をなくすこと。	女性	60代
労働条件に比べて賃金が安い。	男性	60代
年金をもらうまでの仕事（収入）が必要。年金の支給が年々遅くなっていく。	女性	70代以上
社員と非正規社員の賃金の格差。	不明	不明
自分自身の能力が生かせること。	女性	20代
個人のキャリアを認めてくれる場が少なく、それを生かせる場もなく、入社したとしても、地場企業では、出るくいは打てのようになり、冷たい扱いをされる。とても悲しい人達の集まりですね。	女性	30代
それぞれの希望する条件に合った仕事を見つけることができるような状況。	女性	40代
人は何か一つ自分に合った仕事があると思う。若い人はそれを探す意欲もなくなっている。	男性	40代
障害者の中でも就労可能な方達や、専門性・独自性の高い分野に関する教育施設や学校、訓練施設を強化して、現代社会とマッチングを高める工夫が得られる環境。	男性	40代
できる事をやれる環境。	女性	40代
仕事に就きたいと思う人が自分の能力や技術に合った仕事を選んで、やりがいの持てる環境で働けること。	女性	50代
自分の特技や特性が生かせる環境。	男性	50代
すべての人が自分の望む仕事に就き、自分の能力を十分に発揮できる状況。	男性	50代
個人の能力が発揮できる職場が豊富にあること。	女性	60代
自分に合う労働。好きとか特技を生かせたら。	男性	60代
働きたい人の能力に応じて働ける場があること。適当な報酬とともに。	男性	60代
年に似合った仕事ができる。	女性	70代以上
自分がしたい職場を選べる。子どもを働きながら安心して預ける環境がある（夜まで預けられる保育所）。	男性	70代以上
自分が働く時間帯が自由に選べる場所。	女性	60代
正社員の雇用がもっとあるといい。残業や休日出勤が多いが、給料にプラスされないの、休みはちゃんと休めるようになってほしい。	女性	20代
もっと仕事ができる分野を増やしてほしい。非正規の仕事が多いので、正規社員の仕事や雇用を安定させてほしい。	女性	20代
非正規社員から正社員への登用が進んでいる。子育てをしながら働けるような職場がない。	女性	20代
正社員登用を増やす。	男性	20代
時給など給与が安いのでビックリした。期間社員でなく常用の雇用がほしい。	女性	30代
すべてが正規雇用であること。	男性	30代
誰でも意欲をもって働ける場がほしいし、不安定だと安心して暮らせないので、正規に雇用してもらえるようにしてほしい。	女性	40代
人の話を聞くだけでなく、実際の求人情報は知りません。正社員求人が少ないとしか聞いていませので、安定した職場の求人が多いこと。	女性	50代
仕事する人が全てに正規社員になれる、労働環境の実現。	女性	50代
派遣をなくす。正規労働者を増やす。仕事性別で分けられている多様な働き方を見直してほしい。結婚しても子どもを産んでも働きやすい職場。	女性	50代
派遣法改正。	男性	50代
正社員として働けること。	男性	60代
非正規社員（制度）はなくして、すべて正社員とする。	女性	60代

契約社員・アルバイトの若者ばかりが知り合いです。この子たちの将来が不安です。20～30年先、どんな社会なんでしょう。	女性	60代
学歴など関係なく正規社員になれる、希望ある企業をつかってほしい。努力して働いている若者にもっと目を向けるべきだ。	男性	60代
誰でも働ける場があり、意欲を持って就活ができる環境があるといい。ハローワークでもネットで見るのと同じ内容しか聞けない。	女性	20代
はっきり言って支援がなっていない。こういうアンケート調査などする金があるならもっと他に使ってほしいです。	女性	20代
社会が就職支援を充実させる。企業は社員の生活に対し責任を持つ。	男性	20代
働けるのに働かない人を働くように促し、働きたいのに働く場がない人への支援（スキルアップなど）し、やりがいに満ちた社会。	女性	30代
特に「ニート」に関して思うこと。ニートの若者を集めて農業で汗を流す。食に関する肉体労働をしているうちに、迷いもなくなるはず！！	女性	30代
年齢を決めつけないで欲しい。	男性	40代
年齢制限がなく、誰でも入れる社会。	女性	40代
若者が誰でも平等に働けること。	女性	40代
大規模職種対応の職業訓練校の設置（非正規社員を優先）。	男性	40代
誰でも職業訓練できるようにする。	男性	50代
求職者、採用側、ハローワーク等、関係機関の一元化。	女性	60代
今ごろは、みなさん大変仕事を探るのが難しいと言っています。早く仕事を探される職場がたくさんほしいものです。	女性	60代
循環型労働社会を構築すべきだと思います。10年以上失業問題をかかえた生活者を放ったままにしないでほしい。	女性	70代以上
高齢者でも働く力のある人がもっと頑張れる状況。	女性	50代
高齢者の仕事の間が少なくて、必要な訓練をしてもらいたい。	女性	50代
高齢化が進み、働く意欲のある高齢者の雇用拡大。	男性	60代
働くにも年をとり、年齢に合った仕事は少ない。例えば、草むしりでもあったらいいと思う。	女性	70代以上
高齢者に対する支援、シルバーセンターなどでも少し有意義な突っ込みがほしい。	女性	70代以上
よいと思う、高齢者で働くことができるようにしてほしい。	男性	70代以上
誰でもが働ける仕事場がほしい。	女性	60代
年齢に関係なく雇用してほしい。	女性	60代
誰もがきちんと就業できる環境。	男性	30代
障害者が働ける場所がないこと。	女性	50代
年休が使いやすい状況か。	女性	20代
働くことの意義。	女性	20代
ニートが多いのは今の政治、世の中の状況では、将来に期待が持てないからだと思う。その他に様々な理由があると思うが・・・。	男性	20代
働くこと！外で働くことが一般的に言われていますが、専業主婦も立派な仕事です。自分の子どもを手元に置いて育てられる、安心した保障をしてほしいです。夫の手当からは切り捨てられ、働いていないのだから保障しない！と言われているようです。自分の子どもを預けて、いつ子どもを育てられるんですか？一日中、子どもに教え、甘えさせ、世話をし、安心した子どもの満足感をいっぱいあげたいです。それができる保障をしてください。夫の給料だけで生活できるなら、女性の働くための支援はいらないと思います。	女性	30代
パート、アルバイトなど、その人の時間の都合のつく仕事がたくさんあるといいと思う。	女性	30代
バランスの良いこと。時間帯。家庭内の協力。	女性	40代
自分ががんばること。	女性	40代
天下り採用をするよりも、若者を採用して育てて下さい。	女性	50代
「望ましい労働環境」など若いときに望まないこと。なんでもやってみる・・・くらいの気持ちがあればいいと思います。“望み”はキリがないものですから。	男性	50代
自分が働ける時間を利用して勤務ができる。	女性	50代
働かざるものは食うべからず。	男性	50代
楽しい社会。	男性	50代
職安は相談相手にならない。	男性	50代
働く人の考え方、働く人のやる気が先です。	男性	60代
安定して住宅取得ができること。	男性	60代
自分自身次第。老後のことを考えれば。	男性	60代
これも教育が必要（働かざるもの食うべからず）。若者が仕事つかずにいる。働く姿勢があればどこでも仕事はある。	男性	60代
子どもを甘やかした親が多い為、諸問題がおきると思う。	男性	60代
若い人にも働く意志・意欲を強く持ってほしい。	男性	60代
短時間でも良いと思ってるパート等、人数を多く雇用して、慣れた人を長く雇用すべき。	女性	60代
誰もが安心して働ける社会を社会保障の充実、年金、健康保険等、老後の生活が保障された社会。	女性	70代以上
ニートの若者はもっと頭でっかちにならず、なんでもやってみる。なんでもいい、仕事がない、向かないと言わず、まずやってみて！！	女性	70代以上

倒産→失業にもっと視点を・・・。対策をする。	男性	70代以上
これも政府の取り組みが企業者側に有利な方向で法律が作られるため、どれ一つでも良いものがない。	女性	70代以上
お互いの善意を認め努力を喜びあえること。	男性	70代以上
世界中が物が満タンであり、つくっても売れないから、製造業が成り立たないので雇用労働がない。世界中が物が満タンで先へ進まない。	不明	不明
国の経済が向上しない限り、地域の企業は向上しない。	不明	不明
チャレンジする精神を多くの企業が全体で持っている状況。	男性	20代
試用期限を決めても、まず採用してくれる会社があれば働くチャンスがある。そういう会社が出てくる事が望ましい。	女性	50代

6-(2)「雇用・労働」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
とにかく仕事が少ない。もっと言えば魅力ある、仕事したくなる職がない。だからニートが増える。働きたくても働けない。	女性	20代
きちんとした雇用政策を県民に示すべき。	女性	20代
企業が少ない。米軍基地誘致も考える必要がある。	男性	30代
働く場を増やして下さい。でないと今以上に若者が県外に働く場を求めて出て行ってしまいます！！	女性	30代
佐賀県での企業数が非常に少ない。福岡県、熊本県のように、何か特化した産業を創るべきである。	男性	30代
リストラされてから本当に生活に困っております。仕事に就きたいのに門前払いが当たり前・・・。もう何社受けたか覚えていません。税金も払いたいが払えません。雇用を本当に何とかしてください。	女性	30代
佐賀で働こうにも職がない？なぜかを考えたら？結局、企業が来てくれないからでは？	男性	40代
働ける場が少ない。但し、本人が前向きになることが、まずは第一ではないか。	男性	40代
大卒者、工業高卒者の働ける場の確保。	男性	40代
女性が働く場所が少ない(求人)。	男性	40代
若い人の働く場が少なすぎる。外国人を雇いすぎ。若者は県外へ出てしまう。それでいいんでしょうか？	女性	40代
若者が県外に出て行かなくても仕事ができるような職場がない。	女性	50代
企業を誘致する。	男性	50代
企業誘致、大変だと思いますが頑張ってください。	女性	50代
雇用を増やして欲しい。十代の人でもパートで働いている(8時間の仕事がない)。劣悪な環境でも辞めたくても次の仕事がない。	女性	50代
街中を若い人が魅力と感じる職場が増えればと思う。	男性	60代
働く意欲も、健全な体もあるのに働く場がない。悲しい時代です。	女性	60代
働く場所が少ない。	女性	70代以上
雇用、労働できるように、行政も力を入れてほしい。	男性	70代以上
特に若者たちが地元で定着できる雇用の場が望まれる。行政は本腰で企業誘致等に取り組むべき。	男性	70代以上
早く若い人の動く場所をつくってもらいたい。	不明	70代以上
もう少し若者の働ける企業が少ない。賃金が少ない。	不明	不明
定着できる仕事がないことで、若者が育たない。	不明	不明
現在、非正規雇用が1/3を(雇用者数)超えていると言われるが、佐賀県の雇用状況はどうなっているか知りたい。若年者の賃金は低いと言われているが、そうでないところ(業種)もあると思う。県はそういう分野の見極めをするよう促したり、気づきの場を県だよりなどを通じて提供すべきでは。ITスキルを大人になっても身につけることは大事だが、大人になる前に身につけることには、もっと価値があると思う。いい意味でも悪い意味でも、のんびりしている佐賀県民のよい所が活かされるよう願っています。	女性	20代
正社員にずっとなれない。パートやバイトなどにやる気を出せる若者など、いないと思う。	男性	20代
派遣社員の増加は、企業の後継者を無くし、技術の低下につながる。	男性	40代
佐賀県だけの問題ではありませんが、若い方が何年も非正規、派遣というのはおかしい雇用のあり方だと思います。	女性	40代
正しい雇用制度の法制化もいるし、パート、パートのつなぎで自分中心の雇用している会社が多いのもいけないと思う。	女性	40代
若者に正社員になれる仕組みを考えてほしい。安定した生活ができず、結婚ができない現状。ますます少子化になってしまう。	男性	50代
若者が非正規でなく正社員として安心して働き、結婚、出産ができ、未来に希望が持てる労働環境が必要。	女性	60代
雇用法を改正して、人を消耗品としかみていないような法律の改正。	男性	60代
派遣労働は止めてほしい。派遣会社が50%以上天引きして労働者は1/3位しか渡してない。もっと厳しく取り締まること。	男性	60代
子ども達が仕事にと思っててもパート、又、ボーナスもないきつい仕事に就いています。もっと正規雇用の仕事をお願いします。	男性	60代

正規社員。非正規写真、仕事の内容は同じなのに、あまりに待遇が違いすぎる。小さいところは労働条件も関係なく、酷いところがいっぱいありますが、知っていますか？本人たちはなかなか訴えられないです。今なかなか仕事がないから・・・。	男性	60代
正雇用が増えてお若い方から年配の方までお仕事ができる環境が整えると少しは暮らしも楽になるのでは！	女性	60代
政府による規制緩和で、人材派遣は若い人達の働く意欲を失わせているのではないだろうか。先々は年金支給にからんでくるから。規制緩和もしない所もあるけれど難しい。	男性	60代
働く人が将来も保障された社会の確立。	女性	70代以上
安全、安定して働ける場所が少ないのではないかと。又、職を求める人も良い条件を選びすぎるのではないかと思います。	女性	70代以上
専門職の人で仕事が見つからない。職安に行っても60定年後の者は仕事が見つからない。	男性	20代
ニートに対して進んで雇用してほしい。	女性	20代
合同面接会を開き、働けない人に対してきっかけをつくってあげればよい。	女性	20代
ニートに対してもう少し厳しくしてほしいと思う。甘やかされてあたりまえと思っている。	男性	30代
失業者に仕事ができるように早く対策してほしい。	男性	30代
職業訓練の種類を増やしてほしい（現状に対応していない）。事務の求人ほとんどないのに、事務関係の職業訓練を受けても就職できないなど。もっと専門分野の強化してほしい。	女性	30代
職業訓練の場を増やし、資格を取りやすい環境を作る。	女性	30代
スキルアップできる環境がない？学べて生かせる場がない！情報収集がしたいがわからない。若くなくても労働できる環境がほしい。知りたいです。	女性	40代
不況に対する国のテコ入れがほしい。失業対策を充実してほしい。個人の資質に応じた職場の提供がほしい。手当を出すのではなく、仕事を与えてほしい。	女性	50代
職安は廃止して市で管理するほうが良い。農業も含めて。	男性	50代
私の息子は35才になりますが、外国に行って帰ってきましたが、2年間も100件位、就職活動してませんが、まったく採用がなくて困っています。もう少し県でも取り組んでほしいと思います。一生懸命に勉強してもと嘆いています。	女性	60代
未就職者へ就職についての希望書・面談。既企業の人材投入のコンサル。	女性	60代
若者（高齢者）の意欲と能力を出来るだけ引き出し、伸ばしてやる。高校時代に本人の適正を可能な限りはっきりさせておく。	男性	70代以上
雇用・労働は自殺に関連しているので、もっと真面目に取り組むべきだ。	女性	20代
労働者を人間として扱ってほしい。個人の意見に耳をかしてほしい。病人をこきつかいすぎ。	男性	30代
残業は多いが、雇用は少ない。法が守られていない。	男性	30代
県庁では働く環境が整えられてきてますが、県内企業の現状とは差があります。また能力主義的な流れにあって、佐賀では勤務年数の長さだけで決められてしまう事が多々残っています。	女性	40代
現代は凄まじいスピードで発展している。しかし、本来の人間性、愛国心など何か急ぎすぎて人に対する思いやりが欠けている。	男性	50代
同じ仕事場をみても30～40歳の方がパート2箇所働いている。1箇所だけの人もいて、老後のことを思うと不安に思う。	男性	50代
結婚や出産、親の看護等の問題がでてきた時、パート等の時間や日数等を自由に選択しながら働き続ける。	女性	50代
雇用の労働条件の内容が昔と比べると特殊になってきている。40代すぎるとなかなか難しい。	女性	50代
人を人として扱う環境が崩れている。	女性	60代
主人を亡くしたのは50才代でした。勤めていた会社を辞め、主人の看病して、また働きました。65才で辞めましたけど。給料が少ないので雇用保険が出ないかもという話を聞きショックでした。	女性	70代以上
労働基準なんてないですね。平気で時間外労働をタダでさせる病院。ナースは本当にサービスの仕事でクタクタです。	女性	70代以上
農村でも専業農家は家庭内で雇用労働の体制をとっているところがありますか？とても重労働に見えます。見合う報酬があるとは思えません。	女性	70代以上
子どもや孫は明るいうちに帰って来ることはありません。労働基準法などは現存しているのでしょうか。過労死などを心配しています。	不明	70代以上
雇用される側に立って考えてほしい。	女性	70代以上
最低賃金が低すぎる。	男性	20代
働いても所得が低すぎるのも生活が安定しない。所得が増えるようにしてほしい。	女性	30代
働いても働いても賃金が安いために意欲が失われていく。	男性	50代
賃金が低すぎる。	男性	50代
佐賀は給与が少ない為、仕事に意欲がない。福岡並みにする事が一番。	男性	60代
全般的に賃金が低い。	男性	60代
正社員と非正社員の格差が大きだと思う。	女性	70代以上
佐賀は賃金が安すぎる。上と下との差がありすぎる。	不明	不明
障害者というだけで、面接で、ろこつにイヤな顔をされたりしました。もう少し差別をなくしてほしい。	女性	30代

障害者の働く場が少ない。	女性	40代
現在、仕事はしていませんが、二人の子どもたちが今の雇用状況のまま就職できるか不安です。一人は知的障害があるのでハンディがある分、受け入れ先があるかどうかともわかりません。ハンディのある部分で、職業訓練的なことも考えてはいますが、小さい町でするので協力的な企業があるのかもわかりません。とにかく私自身が、ひとり立ちできるまで見届けられるかさえもわからないので不安です。	女性	50代
障害者に雇用をお願いしたい。	女性	50代
交通事故で弱度ではあるが障害を持ってしまった知人。中々職場が見つからない。就職しても昨今の社会状態では真っ先にリストラ。公的に職場紹介できないものかと思う。ハローワークに行っても、普通の職場の紹介であり、面接に行っても何回も断られる。年齢的にも不安を覚えておられる。将来に不安も抱いておられる。	女性	60代
60才以上の退職者の積極的な活用→保育所、学校、病院、地域の保安など。県外に出なくても仕事に就けるように職種が多くあり、選択できるように、たくさん企業等を入れること。	男性	30代
どの企業も60歳ぐらいが定年なので、定年を延長して働けるまで働けるようにしてほしい。	女性	50代
高齢者の支援で、年齢不問と求人があるけど、結局は60歳までで、継続で65歳までとなっているところが非常に多い。	女性	60代
60歳定年制は好ましくない。60代はまだまだ働けます。でも、働く場がない。	女性	70代以上
介護の仕事をしているのですが、未満児がいるので短時間の雇用を増やしてもらえよう、企業側に補助を。未満児を持つ親を短時間雇ってくれる施設に補助。介護の仕事をしたいのですが、8時間でないとも雇ってもらえません。せめて、6時間雇用の募集が増えるように。小さい子がいると、病気がちなので雇ってもらえません。	女性	30代
出産したとしても育児休暇がとれるか・・・。皆、職場の理解や環境がなかなか整っていないように思えます。あと、父親の育児休暇も積極的に働きかけ、それが当たり前になる労働状況になれば・・・と思います。	女性	30代
夫婦共働きしなければ食べていけない時代なのに、産休がないととても子どもは産めない。少子高齢化は当たり前だと思う。	男性	50代
雇用とは双方が納得する事とは。いきなり採用でなく1年間働いて、会社側が向き不向きの確認の上で採用すればいいのでは。本人も働いてみて、向き不向きがわかった上で働けばいいのでは。	男性	60代
力仕事でなく、女性の手先を生かせるいろんな産業など。	女性	60代
定年も企業は統一してほしい。ちなみに当社は55歳定年（誕生月まで）。私は4月生まれなので損する。	男性	20代
今一番必要なことでは。	女性	20代
楽しく高収入という考え方は変えるべき。必死になって何でもやってみようという気持ちで、環境など変えていく、くらいの気持ちをもってほしい。	男性	30代
外国人を働かせているのは、日本人の労働できる可能性が減るのでやめるべきである。	男性	40代
労働もせず、ただ遊ぶ、最後は泣く、親のしつけが全責任を取る。親の教育が一番。	男性	40代
大量退職、少子高齢化・・・等々、社会が大きく変わりつつあります。定年制の見直しや、年齢に合わせた職業訓練や人間教育、社会教育の充実を、特に子どもの頃から働くことの意味など体験学習を含めて教えることが大切。働かざる者食うべからず・・・ではありませんが、人間は生きていく上での“自己責任”というものを教えることが大切かと。なんでも国など公がやってくれれば思っているのかと思います。	男性	50代
地域内で安心して相談できる場所などがあれば。	女性	50代
ワーキングシェアが理想と思っていましたが、インターネットで調べると、そうでもなさそうでした。まったく働く場がない訳でもなく、甘えて育った若者の、楽しく儲けられる場を求めているのも一因との意見に考えさせられました。	女性	50代
会社に才能を見出す人がいればもっと安定すると思う。	男性	50代
佐賀県の20～30代の若者は、任せればできる人が多い。	男性	60代
労力を少なめにとすると高い機械を買わなければいけなくなる。	女性	60代
働く意志がなければ雇用も労働もダメ。	男性	60代
貧しくても働こうとしない人がいる。そういう人の指導をしていただけたらと思う。	女性	60代
情報が無い。一部の人にしか情報が無い。採用方法がおかしい（役場、公共）。	男性	60代
県内に帰ってきて、県内で頑張りたい。結婚したい。	女性	70代以上
労働組合の組織化と健全な労使関係の確立。	男性	70代以上
近所のできごと。今年の田植時期、60代戸主が工作中、怪我をして入院した。自分は非農家であったが、自分宅のように思い、田舎も時代に添って人間関係が薄くなっているのでは、又、少子高齢化が進み、皆さん自分宅の事だけでも大変になっているのにと思っていた。何人とか、この家の田植えをしておけば何かかなるのではと、地区のリーダーに相談したら、早速前向きに集会で話を出してくれて、協力が有り、田植は済んだ。本人も入院中だったが、ほんと安心したと言う。昔はあたりまえに考えられた事が、現在ではどうかと思った心配も成功した。田舎に残る無報酬のあたたかい出来事を紹介します。	男性	70代以上
現在、工事や製造業始めても、世界中が物が溢れて物が流通しないので、雇用や労働がない。仕事がない。世の中がどうすることもできない。	不明	不明
一緒に仕事がしたいと思う人材育成、ここで働きたいと思う魅力的な会社が増えると良いと思います。	女性	30代

休業補償を国や県で検討してほしい。会社から休んでくれと言われ、仕事に来るまで収入がない状態。大手企業はよくわからないが、小企業はよくある話だと思う。	男性	40代
男女参画が進められているが、基本は男は仕事、女は家庭と思う。これがくずれ少子化や不登校、いじめの原因になっている。佐賀県が特区として、寿結婚退職には退職金補助を出す等して、子育てを充実してもらう制度を作る。子育てが済んだら又、復帰して働ける環境作りをする。1人の人間が何でもできない。(働きながら子育てや家事が充分できるはずがない)。又、男が役割分担もできないはず。これらを進めれば国際競争力に負ける。	男性	60代

7. 「その他一般」分野

(1) 「だれもが個性や能力を発揮できる社会」とは

内容	性別	年代
妻が出産したときなど、スムーズに夫が休暇を取れる。	女性	60代
差別のない、誰もが助け合える社会。	男性	60代
心から楽しいとの自我が定着していること。自分一人が大変でとか思っていると何も発揮されない。	女性	40代
どんな小さなことでも人のためになることをした人への評価ができる社会。	女性	30代
自己の向上心で現状をまず活用する。	男性	70代以上
国際交流に佐賀県が前向きでない。県の積極性がないのではないのでしょうか。ライオンズクラブにだけ頼るようではダメ。	男性	60代
会社の数が少なく、専門の会社がない。	男性	60代
ユートピア。	男性	70代以上
みんながそれぞれに個性や能力を発揮できるように仕向けてやるのが大事だと思う。	女性	70代以上
自分が得意なことが生かせる社会。周りもそれを認めて頼る。	女性	20代
違いを認め合える人間関係がある社会。	女性	40代
職が得られない人が多い。	男性	40代
個性や能力を発揮できるところの情報提供が少ない。	男性	50代
地方では特に希望する職に就くのではなく、限られた職の中から選んで就職しているのだから、「誰もが・・・社会」はありません。	女性	50代
まだまだ女性が弱い立場だと思う。	女性	20代
男女関係なく能力をもっと発揮してほしい。	女性	50代
能力を持っていても生かせる場がない。国際交流も少ない。それぞれ増やすべき。	女性	20代
自己実現のためには、自立していることも大切だと思う。仕事を持ち、家族を持ち、家庭も仕事もできる大人が増えてほしい。一方、高齢者・障害者を持った方には、自己実現のためにサポートする支援体制を厚くしてほしい。	女性	30代
高齢社会に見合った生活環境の整備を急がないと世の中おかしくなる。	男性	40代
興味を興じる場所が少ない。	男性	30代
はっきり言って田舎。	女性	20代
社会よりもまず家庭！！一番小さい単位の中で個性で能力をつぶされている人が多い。	男性	30代
個性を出すと浮いてしまう傾向にあり、学校でも社会でも個性を押さえた調和を重んじる傾向にあると思う。	女性	50代
世界中の物が溢れて、物をつくっても売れるところがないからつくらない。雇用がない。品物が満タンでつくっても売れない。	不明	不明
雇用形態が画一的であるので、ノルマ、出来高といった能力主義で楽しく働く気持ちになれない。これを人間らしい社会に改める。	男性	70代以上
職業、地域活動、スポーツ、文化・・・等々、得意分野で力を発揮できる社会、また、それを認め合う社会。	男性	50代
社会に参加しているよう。	女性	20代
活動されている方たちのアピール場が少ない。持っている資格の活用は？論理的思考を持った社会であってほしい。	女性	30代
今や自分本位に、物を考えない社会になっている。だから講演会等を増やす必要がある。	男性	40代
まずは自分を修めること。このことを忘れ、自分、自分、個々ばかりで家庭・社会が崩壊されつつある。	男性	50代
女性も社会に参加できる社会。	女性	40代
国家資格や免許等の広報、セミナーを開く。	男性	50代
他人のいい点を認めることができる社会。感謝の気持ちがある社会だと思います。	女性	40代
古臭い考え方が多い。親（義父母と）同居すると、その考え方を押し付けられる。	女性	40代
収入に余裕ありの人が増えていく社会が、発揮可能の人も増える社会。	男性	60代
自分の信念、情熱をもって暮らしていける働く場がない。	女性	70代以上
家事、子育ては女の役目みたいで、身近の人では男性が手伝う人はほとんどいない。	女性	60代
文化祭や体育祭など。	女性	60代
自分がこの会社に能力を発揮できるかどうか、良く調べて入社する事。先輩よりは仕事ができても、できなくても、いやみを言われますね。	女性	70代以上
自分の仕事を誇りに思っている社会であってほしい。	女性	70代以上
経済力に関係なく誰でもが学べる社会。	女性	50代
男女に関係なく能力がある人を認めてもらえるような社会。	女性	50代
問10①の1～7の様なことばかり考えているから、こんな世の中になってしまった。人間の生活にけじめがない。	男性	60代
多種多様な職場がたくさんあること。	女性	60代
若者に対する企業が少ない。市役所に勤める人は夫婦は働かない。二人はだめ。	不明	不明
個性や能力は個々人が発揮したいと思えば出来ると思う。そういう人を認め、虐げない社会。	女性	30代

県が会社をつぶしている。	男性	40代
全ての人がやりたい事だけやれる社会はむずかしいと思う。1人でも多く「自分のやりたい事」に気づけばいいし、個人の考え次第だと思う。	女性	40代
十人十色で実現は難しいと思う。	男性	50代
佐賀の人は少し閉鎖的な部分があるので、新しいことや新しいアイデアを積極的に取り入れる気運がもう少しあればと思う。	男性	60代
お互いに協力し、協力しあえる。	男性	50代
社会的ハンデのある人ない人も、個々の得意分野を充分発揮して、社会に役割をもった人間であると実感できること。	女性	50代
DV被害者は相談に行きにくい。シェルターを公表し、いつでも飛び込めるようにしてもらいたい。知られていない。	女性	40代
チャレンジする場が多くあること。	男性	30代
一人一人を大切にすること。	女性	50代
各人が、それぞれ個々の違いを自覚し容認していること。第一に他者を認め合わなければならない場というのは家庭で、そこから子どもは多くを学ぶと思う。家庭の保育機能がうまく働いていれば、まず問題の大方は減ると思う。	女性	20代
今の日本はそうなっていると思うが、発揮しようとする気力のない人が多い。豊かになったせいで、向上心が不足している。	男性	60代
自分の希望ばかり聞いてもらおうとは思わないが、自分の言い前を雇用者もじっくり聞いて、個性、能力を認めて援助してほしい。とても難しいことですか。	女性	70代以上
誰でも、どんな仕事にも就けることのできる社会。	女性	40代
知人にDVがありますが、あまり相談する場やどの様にしていいかわからずにいました。高齢でした。手助けはしました。	女性	70代以上
女性だけに家事・育児が集中せず、協力できる社会。	女性	30代
不安がないこと。個性を認め合う。	女性	50代
地域の行事等を活発にし、だれもが参加できる体制を整備する。	不明	不明
小さいうちから職業についての情報（例：弁護士になれば平均年収はいくらなど）を開示し、具体的な方向を見せてやること。これが出来ている社会。	男性	20代
結婚や出産を理由に退職をさせられる女性労働者が多い。	女性	40代
若い息子が老いた父親に暴力をふるっている家庭がある。大事が起きる前に公的に何とかできないか。	女性	70代以上
そんなものは贅沢。働いて食べればよい。	女性	40代
資格があっても働く場所がなければ能力は発揮できない。	不明	不明
風習や習慣にとらわれることなく、個人個人の個性を認め、尊重して、生き生きと人生を楽しめる事ができる社会。	女性	50代
高校の芸術コースを卒業した人が、その専門性を発揮できる仕事が、県内で出来ているかという疑問大。若い人の能力を行かしてあげられる手段はないものかと思います。	女性	60代
社会に出て行くと、人の個性ではなく比較される。その場に居づらくなる場合が多い。	男性	20代
人を助けるチャンスがあればいいという。	男性	60代
個人を認め合い、支えあうことができれば、それ以上の物が生まれる。	女性	30代
性別をこえて、家庭や社会で協力し合える社会。	男性	30代
DVが行われているが、相談する場所がない。	女性	50代
閉鎖的な県の中では雰囲気があります。他県から来たせいかもしれませんが、ある意味地域性は豊かで昔からのなじみ感があります。	女性	50代
男女平等の社会（まだまだ男性社会）。	女性	50代
これからは女性も働く事がふえているので男性も家事に参加してほしい。	女性	30代
まずは、家庭内で夫婦が協力して家事をする事から社会につながる。	女性	30代
個人の気のもちよう。	男性	20代
田舎だから？部落差別が未だにある現実。	男性	30代
力や権力で押さえつけない社会。	女性	30代
社会で個性や能力を発揮できる環境、と理想はいろいろあるが、自分が願っている小さな理想も、経済、家庭環境でできません。	女性	60代
都会のように夜遅くまで子どもを預かってくれる施設がほしい。	男性	70代以上
DV等、相談できるところがわからない。	女性	40代
「地域」や家庭が個人を見守れ、それを国が支えられる環境。	男性	50代
人間誰もがいいところ、得意とするところがあります。その点を社会に役立たせ、仕事に結びつけたらと思います。	女性	不明
男性や女性、日本人や外国人関係なく、それぞれが一個人として考えられればよい。	女性	20代
アメリカのように大学の2専攻ができる、国の大学制度のあり方に問題あり。	男性	40代
難しすぎる。小学校から教育しなおす。学ぶことの大切さや楽しさ、ありがたさをもっと教え	女性	30代
それぞれの人がその人のできる能力を生かす。	女性	70代以上
差別なく幸せに生きられる社会。いいことをすれば報われる社会。	男性	40代
もっといろんなものを受け入れる社会。個性を発揮するにはまだまだ難しい。	女性	20代

人権が尊重された社会。	女性	20代
自己啓発講座の機会数の増加を望む。また、指導者の育成も望む。	男性	60代
息子は妻と子の3人家族ですが、食事づくり一切をしています。私は夫婦で決めたことだからと口出しをしません。また、息子より妻の方が収入もあり、妻も働くことが好きと言います。それでいいと思います。多くは望みません。	女性	70代以上
今は会社を辞めています。昔は自分でいろいろな仕事を身につけて、能力を発揮しなければなりませんでした。	女性	60代
つつましい心を持ち合うことは思いがけず大きな前進を生む。	男性	70代以上
男女平等の社会と言われてはいますが、同じ仕事をしていても賃金格差がある。	女性	50代
家にいたい！！子どもを育てたい人もいます！！	女性	30代
アピールの場をつくれる社会。	男性	20代
手に職を持つ訓練施設が必要だと思います。パソコンばかりに頼り、体を使う職業があれば自分に合う職が見つかり、能力が発揮できると思う。	女性	50代
誰もが参加すること。	男性	70代以上
一般的に家庭の力、育児力が低下。基本的な社会生活上のしつけ等、学校に求め、個人個人の努力が低下してきているのでは。	男性	60代
みんなが意見を言う場所がほしい。	男性	40代
自分に与えられた役割を大事にする・・・でしょうか。	女性	70代以上
男性・女性・高齢者がそれぞれ自立していること。子ども・高齢者・障害者へのサポートが充実し、みんなが何にでもチャレンジできること。	女性	50代
警察官の権限を更に生かすために、少年犯罪、DV、交通マナー等、民事を意図的に避けず介入していく。警察資質向上が前提。	女性	60代
能力があっても、それを発揮できる場がないと困る。発揮できる場をつくって増やしてほしい。	女性	30代
誰もがそれぞれの体力に合わせて楽しくお仕事や近所の交流を上手く付き合える過ごせる社会がほしい。	女性	60代
夫婦であっても相手の仕事を尊重すべきであると思います。うちは主人もすべての家事をやりこなせます。仲もいいと思いますが・・・感謝しています。	女性	40代
貧富に関わりなく、子どもの頃から興味ある分野を勉強できるチャンスがある世の中。子ども時代の良質な体験が社会を良くすると思う。	女性	30代
発表する場がもっとある社会。	男性	50代
各々に合わせて努力し、頑張れば明るく元気になる社会。	女性	50代
公務員でパソコンさえ勉強しないでバイト生にばかり仕事をやらせている。もっと自覚と勉強をするべき。	女性	60代
くらしが全般的に充実していないと無理。	女性	20代
基本的なモラルを守れたうえで、他の人の意見を尊重しながら譲歩し合う社会。個人的意見を大らかな気持ちで聞ける余裕。	女性	40代
農業の家に嫁げば、365日農業だけの毎日になってしまうのではおもしろくない。自由になる夜の時間帯に公民館などで何かを習ったり、得意分野あれば人に教えたり、人と交流する場があれば、だれもが個性や能力を発揮できるのではないかと思います。	女性	30代
生活保障。	女性	20代
まだ能力のある人材が60才定年で会社を辞めていく。もったいない。仕事をしたい人ができないなら、せめて技術を広めてほしい。技術の学校を作るとか。	女性	50代
60才で会社を辞めても再雇用の賃金が安い。働ける場があれば幸せと思えばいいのかもしれませんが、それにしても安いです。	女性	50代

7-(2)「その他一般」分野全般についての意見・提案

内容	性別	年代
理想が高すぎても実現できなければ無駄使い。	男性	30代
外人や特別在留人の権利ばかり守っている気がする。もっと日本人の弱い人を守るべき。	男性	40代
私の地区では租税などとして、地域でもお金をとられることが今も行われています。これは何とかならないのでしょうか？	男性	40代
憲法で保障される法の下での平等や人権。平和が守られ、国民の意見がきちんと拾われる政治が行われていない。	男性	50代
相談窓口じゃなくて、相談をたずねに行くことと思う。	男性	50代
是非、財政に強い県になってほしい。金がないと個人も国も県も何もできない（自分の人生の歩みを省みて）。	男性	60代
国・県・市町村の長は、国も地域も、将来のありようを提示してほしい。若者が愛国心を表現できる国づくり。	女性	60代
雇用、労働は切実に改善してもらいたい内容です。ハローワークの体制の強化をお願いしたい。	女性	20代
仕事、スポーツ、芸術など、多くのことにチャレンジしやすいように、時間が自由に使えるようにしてほしい。	男性	30代
子どもの行事も参加でき、仕事も休みがとりやすい職場があればよい。	女性	40代

特に社会的弱者といわれる人が仕事に就けたとしても、一般の人に比べ給料も安く、経済的にきびしい状況になっている。	女性	50代
意識を変えること。我家のことをみても、まだまだ、妻は家庭のことを守りぬくものだと義母は思っているが、段々と女性も社会参画が必要だと思っている。が、今の30代までぐらいの人たちの考え方はき違ひがあるように思う。子どもは保育園などで育てる、しつけるものではない。親になる世代と親の親になる私たちの意識を育てることだと思う。	女性	50代
問10①の1と2について、夫の両親の育て方によって違ってきます。私の主人も末っ子で、何もなかったですね。私の長男は良くしてくれますね。娘の婿は1人っ子でしませんね。	女性	70代以上
問10①の1「夫は仕事、妻は家庭」をどう捉えるのか。妻が社会に進出する事は、国づくりの細胞の一つである家庭を手抜きし、子育てを手抜きすることにつながるとされる。妻としての本来の役割に誇りをもつ自覚が必要ではないかと思ひます。	不明	70代以上
理由問10①の1、以前と比較するといひ方向に進歩したと思ひます。しかし、まだまだ各人で今後努力すべし。	男性	70代以上
「個性を活かす場」そのものが少ないと思ひます。しかし、家庭生活を通じた、他者への思いやりなどは、よそではなかなか身に付かないものと思ひます。家庭教育ができる余裕のある生活を、誰もが送ることができれば、家庭から社会へ「個性を活かす場」を移すのも容易ではないかと思ひます。	女性	20代
偏見がなくなる様に交流できる場が必要不可欠だと思ひます。	男性	20代
どんなことにも、どんな場にも指導者がいる。その指導者によって、つまはじかれると思ひるので、指導者が適していることが大事。	男性	20代
ある中学校の学生で、DVに悩んでいる、もしくはDVの問題があると聞いたことがあり、気がかりです。親から子に対するDVだそうなんです。	女性	30代
手助けしてもらえないけど、金銭面の苦勞がたえません。主人も介護料だけはらって、1度も使えず亡くなって行きました。	女性	60代
佐賀県は、福岡、長崎の通過点と思われています。佐賀には豊かな自然、温泉があるので「健康」をテーマにした観光を積極的にしたらどうでしょうか？健康保険で入れる滞在型温泉など。	女性	30代
楽しくなかったら人は動かないので、楽しく。佐賀県の行事は貧乏臭いと他県の友人に言われた。そうだと思ひました。お金の使い方、下手。	女性	30代
もう少し男の人に「家事・育児」に参加する社会になるように、機会をつくってほしいです。	女性	40代
今からは夫婦で共働きをしないと生活ができなくなると思ひます。男性は食事を作る位の事を、小、中学生より身につける教育をしてほしい。男性も家事に積極的に参加をする教育は絶対必要です。	男性	60代
くらしが全般的に充実していないと無理。	女性	20代
山間部の山林火災について、地元の高齢者が1番地域に詳しいので、協力をさせていただくのがいいのでは。	男性	60代
個人個人の意思や思想は自由だと思ひますが、それを人に強要しない社会がいいなと思ひます。	女性	30代
亭主関白の時代は終わり。もっと協力をしていかないと、もっと離婚は増えていくと思ひます。	男性	40代
再スタートしたくても、経済的な面を考へたり、他の家族のことを考へると何もできない。	女性	40代
未だに閉鎖的な部分や事勿れ主義的なところもあり、なかなか、それから脱しきれない為、自分の思ひ通りに發揮できる環境にはない様に思ひます。またそれを伸ばしてくれる様な、上司、指導者という存在も少ないのでは？	女性	40代
世の中“不景氣”とはいひますが、それでもこの国は成果的に見ても恵まれている国です。公に頼りすぎず、自らに甘えず、真に自立する人が増えてほしいものです。若い人には頑張ってもらい、元気な高齢者はまだまだ社会のお役に立ってもらいたいものです。	男性	50代
これまでの質問は、とても回答するのが大変。とにかくむずかしい。色々なことを考へさせられ、いい経験になりました。1人1人の自覚は大切だと思ひます。	女性	50代
権利と義務を果たしていない人が多い。権利ばかりを主張している。納税の義務すら守られていない。人権尊重もよいが、責任の伴わないものが多い。	男性	60代
みんなが一般社会へ氣楽に飛び込めて、安定した仕事場があり、はじめて落ち着いた家庭もできるのではと思ひます。	女性	60代
県内に帰ってきて、県内で頑張りたい。結婚したい。	女性	70代以上
せつかくおばあちゃんが作ったものを、近くのスーパーに置いてくる。今の若者達は自由奔放に生きている。田や畑が荒れている。	不明	不明

8. 県政に対する意見・提案

	内容	性別	年代
	反社会勢力をゼロにしてほしい。する気があるのか？公務員のボーナス多すぎる。佐賀県で働く人のボーナスの平均額を、佐賀県で働く公務員のボーナスの額にすればいい。	男性	20代
	何に対しても一生懸命に力を入れてほしいです。市役所の職員の数も多すぎると思います。気合が入っていない職員の数が多すぎる！！「この先、大丈夫かな～」とよく思います。近所の議員も選挙が終わるとたん挨拶もなしです。自分のところの田んぼの世話ばかり！！えらそうに何様なんでしょうかね。不満がたくさんあります。でも、佐賀県に生まれ育って、今まで県外にもいろいろ住んできましたが、佐賀県は住みやすい県だと思います。もっともっと佐賀のいいところを広めていけたらいいですね。	女性	20代
	もっと県民1人1人の意見を聞いて、改善してほしい。公務員や市長などの給料（ボーナス）をもっと見直してほしい。	女性	20代
	職員の対応に関しては、全てではないが、手続きをしてあげてる態度が見られる時がある。それは反対でしょう。安心して年をとれる社会にしてほしい。政治家の為の税金を支払っているのではない。老後が保障してもらえれば喜んで税金を支払います。だれもが年老いて行くのです。ゆとりがある方も、ない方も・・・	男性	20代
	県職員として、一般人を軽視していると思う。地域活動に積極的に参加しないといけないと思う。	男性	20代
	保育、市県民税の高さ。	女性	20代
	パスポートの受付の方の接客はどうにかして頂けないでしょうか？気分が良いものではありませんでした。	女性	20代
	国も地方もあまりにも福祉が、貧困問題に対する意識が低すぎる。県として消費税増税に反対して欲しい。増税されてはとても生活できない。消費税増税ではなく累進課税の強化を、米軍が佐賀に基地を置くという話になったら断固反対すべし。米軍などこの国に不要。いい加減に自主独立せよ！！	男性	20代
	夜間や休日でも手続きができるような体制をつくる。	男性	20代
	県民のために意識を高めて働いてください。	男性	20代
	県の車に金をかけすぎ（ムダなパーツが多い）。ムダな工事多すぎ。子どもの助成があまりない。	男性	20代
	地域の状況をもっと把握し、地方に必要な県としての役割を果たしてほしい。中央省庁の受け売りではいづれ地方は破綻してしまうと思う。	女性	30代
	財政難といって職員の給与カット、予算削減などがありますが、職員を自宅に近い職場に移動させるだけで莫大な予算カットにつながるのでは？まわりに40～50km通勤者が大勢いて、手当がもったいない気がしています。	女性	30代
	公務員と会社員の所得差が大きすぎる。このアンケート内容が反映されると、あまり思わないで、このアンケートにも税金が使われていると感じる。	男性	30代
1	空港、毎年赤字。閉鎖も含めて考えてほしい。新幹線も何の利があるか。わずかの時間の短縮より、もっと大切なことに税金を使うべき。	男性	30代
	同じ佐賀県内でも、地域によっていろんな面で差があると思います。中心地では充実しているものが、地方に行くともまったく整っていないなど、格差があるので、できるだけ、どこに住んでも同じサービスを受けられるようにしていただきたいです。	女性	30代
	24時間、県職のサービスをやってほしい。	男性	30代
	高い税金を払っていますので、有意義に使って下さい。独自に仕分けして、佐賀県のムダをなくして下さい。	女性	30代
	県には効率や損得のみで判断するのではなく、社会性があるか、社会にとって善い事かどうかをまず判断してほしい。	女性	30代
	私の職場は月に5日の休みしかありません。公務員の皆様のように週休2日で祝祭も休みではありません。しかも給料も安いです。ですから公務員の皆さん、しっかりお仕事なさって下さい。市民のためによりしくお願いします。	女性	30代
	このアンケートで何が分かるんですか？何の役に立ちますか？	女性	30代
	アンケートのインターネット化を進めて欲しい。送料がもったいないし、紙代も印刷代ももったいない。インターネットにより県政モニター募集などで呼びかけて、各世代の人を集めればいい。	女性	30代
	市役所の接客態度が悪い。必要な説明ができていない。	女性	30代
	公務員になる理由は、安定しているから・・・と聞くと悲しくなります。他の業種はもっとあれをやりたい、これをやりたいと仕事に対しての夢がある。市民の目にビクビクしてクーラーを切ったり、地味にしたりするのではなく、もっとプロ意識を持った人が多くいてほしい。これだけの仕事をしているから当たり前だ！！と堂々とできる仕事をしていただきたい。そして、世の中の役に立つ仕事と言うことで、子どもたちの夢、なりたたい職業になってほしい。そして、内輪の人間関係だけ大切にしないで、行政サービスしてください。	女性	30代
	このような人に直接会わずに行う、アンケートは意味がないと思う。予算が足りないと住民税など増税するより、公務員意識を改め、無駄を減らしてほしい。同居を増やし、安い生活費で生活できる佐賀県にしてほしい。流行語のように流れるキーワードに惑わされず、長い目で見た県政を望む。	男性	30代
	アンケートの質問文がアバウトすぎて答えに困りました。	女性	30代
	公的宿舎は安すぎる。一般と同じにすべき。ホームページで意見を募ったりするのはやめてほしい。ホームページを見ない人がほとんどだと思うので。	男性	30代
	市民の意見を「無理です！」で終わらせないで！	女性	30代

市役所の職員の方の態度を改めてほしい。	女性	30代
市役所の職員を今の半分以上にしてください。お菓子とか食べている人がいます。このまちが大嫌いです。住みづらい。	女性	30代
合併に伴い、市町村の課ごとに意見が違う。それと、仕事のやり方が違い、仕事がやりづらいので、指導してほしい。	男性	30代
行政に頼りすぎず、自分たちでできることから少しずつやるうとする気持ちを持ってほしい。「人にしてもらおう」ではなく、人のために自分に何ができるのかを今一度考えるべきだと私は思う。私一人の力は微力だけど、無力ではない。大した意見にはならないと思うのですが、知事に大いに期待しています。	女性	40代
役場など昼休みをずらして対応してほしい。	男性	40代
市職員の仕事ぶりを見ても遊び半分、仕事半分。でも、給与ボーナスとまた選挙のときに出る賞与4万~2万と聞きます。最低賃金とは言わないけど、差をなくして、1日〇〇〇円と決めたら。我々は一生懸命働いています。	男性	40代
県職員の方々の接客や対応についてはとても親切で丁寧に感じることがあります。お忙しい中頑張ってもらっているという感じを受けます。大変なお仕事が多いでしょうが期待をしております。	女性	40代
公務員だから安定しているとぬるま湯につかっていないで、もっともったいい案をひねって、よりよい佐賀県をお願いします。	女性	40代
こういう調査をして意見を言っても到底聞いてくれないでしょう。何のためにするんですか？調査だけするのだったらやめてください。それから一言、佐賀県は税金のムダづかい（特にハコ物）が多すぎませんか。	男性	40代
県職員の給料カット。仕事していないように見える。市議会議員、県議会議員の削減。	男性	40代
とにかく、税金の無駄使いを見直して、一人ひとり平等にいろいろな面で支援して頂きたいです。	女性	40代
役所にかかわる申請の簡素化。	女性	40代
子ども、高齢者・・・生活弱者への話題はたくさんあるのですが、20代~50代は楽な生活をしているかといえば、もちろん楽ではありません。弱者に対して優しいことは大切ですが、「すべての県民」が幸せになることが大切だと思います。年齢・性別などを越えて、「最大多数の最大幸福」となるような県政を行ってくださることを希望しております。	女性	40代
市民税・県民税高すぎ。対して稼いでないので・・・。もっと市も県も節約してほしい。無理じゃないと思います。もっと耳を傾けて。	女性	40代
税務課の接客態度が悪い。一般市民を馬鹿にしている。低所得者に対して冷たすぎる。偉そうにしているが、なにがそんなに偉いかわからない。もっと腰を低くして接客してほしい。	男性	40代
税金が高すぎて払えない月が多い。納税の件で相談に行っても親身になって相談にのってくれる人が少ない。はっきりいって冷たい！窓口に行くのが嫌になる。	女性	40代
民主党政権となり、無駄を省くために事業仕分けが行われましたが、県の財政を考えると、県政の中で事業仕分けが必要ではないでしょうか？わけのわからないNPOが多すぎます。私たちの税金を大切にしてください。	女性	40代
生活保護を受けている人の生活実態をもっと調べる事。若い人で働けるのに、人頼りにして、パチンコの資金にしたりしてブラブラしている。子ども手当など必要ないと思う。貯金をしたり、食事に使う様だったら、消費税などをなくせばいいと思う。	女性	40代
土木事務所で「僕はきいてない」という理由で、許可がなかなかおりなかった事がありました。「違反をしているから」とか「基準に適合してないから」とかの理由でなかったのがびっくりしました。「公正な役所に、こんな人がいていいのか」と思いました。全ての人がという事ではなく、この人だけです。年功序列の人事はどうだろうと思います。あまりひどい人は役職につけない方がいいんじゃないでしょうか。他の人がとてもいい人にみえました。佐賀は好きです。佐賀弁も好きです。もっと人口が増えればいいなと思います。	女性	40代
減税にしてほしい。高収入はいいが、先が見えない状態。議員、公務員の給料・ボーナスカットでもして、国民の痛みを感じてほしい。働き場所が良い悪いがあるが、この状態では死活問題だ。	男性	40代
県職はもっと働け。私は農業だけ休日も無しに働いている。なにが週休2日だ！！と言いたい。	男性	40代
無駄をなくして、血税を大事に使ってほしい。	女性	40代
住民の声が届きやすいシステムを作ってほしい。	女性	40代
民間は不景気が続いており、また、公立の職場（保育園、福祉施設など）でも、非正規や派遣の職員がたくさんいらっしゃいます。そんな中、やはり公務員は恵まれている立場です。県職の中には、どうしてこんな人が公務員なの？と首をかしげたくなる人もいます。今一度、採用のあり方も検討された方がいいのではないですか。このアンケートが、ただのアンケートに終わらないことを望みます。これにも税金が使われているのでしょから。	女性	40代
保育園、入園優先順位が平等ではない。市役所の接客態度が悪すぎです。コンビニまではとは言わないけど、窓口に立っているのに、誰も知らん顔して来ないし、やっと来ても、お待たせしましたの一言もない。	女性	40代
住みたい県、佐賀県の魅力、年配者でないとわかりません。福岡県と長崎県は隣県ですが、非常に魅力的です。佐賀平野の農業散布が胃がん等に関係しているのかもしれない。田舎者は若い人にとっては素朴なイメージがありますが、そこを逆手にとって、スポーツ、医療、福祉分野に力を入れれば、温かいイメージの佐賀県ができあがると思います。	男性	40代
県職員のボーナスまたは給与が多すぎる。	男性	40代
佐賀県はこれに力を入れますというアピールをしてほしい。	男性	40代
町職員をもっと教育してほしい。友人ではないので、言葉遣いをもっと勉強してほしいです。	女性	40代

牛肉の中東への不正な輸出など、知事の独断な行政手段が少し目立ちすぎる。	男性	40代
このような県民に対して調査していることは、ほめるべきことと思う。あまり県職の人とお会いしたことないので態度とかわからない(よその県から来たので)。その県職の方は人を見下したような感じだった。佐賀の行政の人達は温かい感じがした。公僕としてきつとまじめに働いておると思っています。	女性	40代
県庁(職員)について。新聞やメディアで県庁(内)の改善が行われている様にいろいろ目にしますが、その実情は関係機関に多くの皺寄せを与えた上で成り立っていることが多々あるが、それを県独自の努力と勘ちがいしていることもある。また事実と異なる(事実をごまかす)内容に変更したりすることがあった。県職員の広報される給与を見ていると、端から見れば実際の能力、勤務に見合っていないと思うこともある。県職員の人事異動についても、もう少し早い時期に内示してほしい。引き継ぎがなされていないことあり。また、1年での異動が相次ぐ様なことがあるが、どういう理由でどういう考えで異動が決めているのか判らない。困るのは関係者である。「その場しのぎ」の対応も多々ある。将来的予測の観点に立って行動していない職員もまだまだいらっしゃる様です。自分が担っている職務について理解していなかったり、積極的に取り組む姿勢が見られないこともあります。要求や指摘はしても、逆に対応が遅い。	女性	40代
役所勤めの方は、親方日の丸という感じがする。怠けていても月給は心配ない。危機感がないよう。今の不景気で賞与なんかもらえないのに、私達の税金から大金をもらっている。私たちは貧乏暇なしですごく悲しい。	女性	50代
県政発展にあらゆる分野で頑張ってもらっている職員の方たちに感謝。これからも住みたい県づくりに努めてほしい。“教育と健康第一”。佐賀県から優秀な人材づくりを。	男性	50代
公務員給料の減額。職員の接客態度をもっとよくなってほしい。	男性	50代
県も市ももっと入りやすい、行きやすい場所にしてほしい。“笑顔”の対応をお願いします。同じ目線で!!	女性	50代
支所が近いからいろいろ尋ねにいくと、本庁(?)にTELを入れて尋ねる職員さんが多い(確認のためかもしれませんが)。少し内容を尋ねたら、TEL代の経費節減できるようにして、市民税等安くなるように!	女性	50代
市役所の特に若い男性女性の接客態度が悪い。市民のための職員という意識が一般会社に比べものすごく足りない。不満である。	男性	50代
県会議員と県職員を減らしてほしい。税金を大切に使うしてほしい。	男性	50代
県政においても無駄がないか見直してほしい。国であれだけあったのだから、全くないとは言えないと思います。	女性	50代
日ごろ、県職員の方と接する機会がないのでわかりませんが、時々思うのは、お役所対応が気になるときがあります。	女性	50代
市町村に比べて遠い存在になりがちです。広報のあり方など工夫がほしいものです。人を育て、地域をつくり、企業を伸ばす・・・のは、やはり人です。より広い意見、深く厚い人間性を望まれますように、県職員の方々のご精進をお祈りいたします。	男性	50代
県職員のリストラ、職員の意識の向上を望みます。	男性	50代
世帯分離の件ですが、町に申請するとき、町の負担が多くなるような言い方をされた。県に聞きに行くと行ったら、申請書の書き方が悪いと言われ、初めて申請するので県からも申請用紙の書き方が悪いなら教えるように指導してください。	男性	50代
県職員のパブリックサーバントとしての市政が随分改善されてきていると思う。	男性	50代
宮崎県の真似からスタートしてください。	男性	50代
県の支出をもっと減らしてほしい。県民が思う無駄ってなんですか?のアンケートなら喜んで書きます。事業仕分けを佐賀県でも行ってください。	女性	50代
「県職員の接客態度がどうかなあ?」といつも思っている。まず、挨拶が出来ていない人がいるし、笑顔がなく、いやな思いをした事が多々あった。接客の勉強をされたらと思う。中には、接客に向いている人もいますので、全体にまとめてほしい。上から目線ではなく、下から目線をお願いします。すみません色々書きました。	女性	50代
県の借金を増やさないでほしい。住みやすい県、日本一を目指してほしい。	男性	50代
日頃、佐賀県のためにご尽力くださっていること、ありがたく感謝しています。住みよい佐賀県、楽しい佐賀県になるためには、職員の方が、まず楽しいと思わなければいけないと思います。ゆとりを持ってがんばってください。いろいろ変なことも書きましたが失礼しました。	男性	50代
子どもから老人まで全ての人が暮らしやすい佐賀県になるように、県政をしっかりと行ってほしい。	女性	50代
市県民税が安くなればうれしいです。	女性	50代
いつもお忙しい中ありがとうございます。今後とも県政の為、よろしくお願ひ致します。	女性	50代
自由意見欄を全て記入したかったが、一つ一つの質問がどのようなことを想定しているかを考え記入すると、相当な時間を要するため、回答がおろそかにならざるを得なかった。県がこれまでに、この質問の項目について、どのような施策をあげ、どのようなことをしてきたかを記入すれば、具体的な回答も得られたのではないと思う。また、そのようなPRも必要ではないかと思う。	男性	50代
毎月発行されてあります、「県民だより」を読ませてもらっています。中には読んでいて、これはむずかしいなと思う事もあります。どんな意味かなと思う事もあります。ちょっと下の方にも書いてもらおうと助かります。	女性	50代
県政は何をしているのか、あまり興味をもっていませんでした。本当に個人の意見を取り入れられるかも半信半疑のところがあります。このアンケートから何か行動を起こそう、改革しようと思われているのかなど、少し期待がもてるようになりました。どうぞ頑張って下さい。	女性	50代

景気の問題でしょうが、活気ある県、安心感のある県になって欲しいと思います。夢がかなう、夢を描ける県。幸福感が感じられる県。厳しい時代だからこそ、幸福を実感できる県になると良いと思います。不安の中で生きているようです。	女性	50代
国と市町村に挟まれ微妙な立場であるが、逆にその分政治的な潜在力を発揮できる。縦割りとか、法、制度の壁とかの前に、「住民のために」一人ひとりに何ができるか、何が必要かを考え、実行できる組織になっていただきたい。	男性	50代
一般の生活、表面だけではなく、裏もしっかり見てほしい。待っているのではなく、実際の目で耳で、みんながどんな生活を送っているのか！山、川、街、どんなに変わったのか。どれだけの人が地元から離れなくてはいけなかったのか！見てほしい。会話してほしい！机の上のデータではなく、歩いて肌で感じてほしい。地元のことを！！	女性	50代
佐賀県のよさをわかって仕事に頑張してほしい。	女性	50代
厚生年金、10代から50代までかけ、65歳からの通知を受け、年金が大変少ないとつくづく思い知らされました。社会保険の負担も以前は1割2割と、今は3割負担、消費税も増額の話もあり、生活に不安ばかり。	男性	50代
公務員と民間の格差が大きい。全国的なことかもしれませんが、県民所得が少ない県では特に大きく感じます。	男性	50代
何を書いても同じこと。	男性	50代
(アンケートには関係ないけど)不景気だと会社の賃金も上がらないのに、職員の給料は年々上がっているように思われます。景気にちなんだ給料にするべきだ。税金が高い。	女性	50代
公務員の方は、昔はパソコンがなかったので手書きの仕事が多かったと思いますが、今はパソコンになって仕事も速いと思います。それに反し、公務員の人数が多く、給料も一般人よりもらいすぎと思う。	女性	50代
民間並みの効率を考えて仕事してほしい。	女性	50代
一般企業の社員に比べると、公務員の給料が多いと思います。検討してみてください。	女性	50代
県職員の方の中には、まだまだ接客態度がどうかと思われる方がいます。佐賀のために人力をつくし、サービス業だと思うぐらいの気持ちでお願いしたいです。	女性	50代
県政の一人一人が相談を聞きに行く事だと思う。	男性	50代
本庁、支所、土・日も営業してほしい。平日も週2日～3日は20：00位まで窓口を開けてほしい。※仕事上平日は勤務時間内に行けない為。	男性	50代
県職員に民間退職者を中途採用し、もっとコストダウンを考えて仕事のできる人を増やして、人件費を節約してほしい。仕事のできない人が多すぎる。	女性	50代
県職員の20～30代の人材を表に出して、40歳過ぎの人は黙っている。	男性	60代
議員の視察旅行など中止してほしい。これからは私たちも県も一円のお金も無駄にしないで、住み良い県になってほしいと心より願っています。	男性	60代
知事の下、全職員方々、日々公務に励んでいらっしゃると思います。他県では公務員の不祥事がマスコミで報じられています。当県ではそういう不祥事のないことを願っています。佐賀県の発展のために、しっかりと信念をもって業務に励んでください。佐賀県の将来に幸あれ。	男性	60代
県職員、警察官などが不正なことをしたとき、速やかに実名を挙げて公表するように。	男性	60代
県の職員さんはなぜ遅くまで仕事をされるのですか？仕事の量が多いのか、仕事の能力が不足しているのか、議員の質問が勉強不足でくだらない質問をたらたらやるのか。日曜までTELの呼出して出勤しているのか。	男性	60代
歳費の内容が不透明では？	女性	60代
県政というより政府になるが、不満の原因は公的年金、保険料金の減額徴収のスピードが有無を言わせずやること。また、勝手に年金より引き落とすこと。	男性	60代
年金のことで、63歳になるのに、掛け金が少々不足しているだけでいただくことができないのに不満。生活保護を頂くよりましじゃないですか？保護を頂いている人の中に、パチンコや生活が派手な人がすごく多いのにはびっくりです。	男性	60代
すべての面でムダのない改革をして頂きたい。	不明	60代
年金に力を入れてください。	女性	60代
税金が高い。	女性	60代
昨年、県庁に伺いました。大変親切に接してもらいました。時々、ウォーキングで県庁の前を通りますが、夜遅くまで明かりが付いています（全館ではないですが）。人員が不足なのか、業務が過多かわかりませんが。定時までに業務終了するよう努力されていますか？コストダウンに気を配ってますか？気になります。税込不足の折です。頑張ってください。	男性	60代
県職員や市職員で窓口で働く人は、土・日曜日も出勤してほしい。	男性	60代
一般住民は県職員と直接会話することはないので、担当職員が市町村の公民館等へ出向き住民の要望を聞く機会を設けてはいいかがでしょうか。	男性	60代
将来に希望を持てる社会づくりが必要。	男性	60代
年金制度の説明。	女性	60代
市の職員が多すぎる。会社は利益を上げてボーナス支給。公務員は利益は出ない。ボーナスナシ。これ当たり前。議員の給料も高すぎる。給料が高いから出馬する県市町村議員の人達は、県市町村の事を一生懸命にやってもらおう。そうしたら県民は納得する事と思う。又、日本国が駄目になる。税金の無駄使い。	男性	60代
プルサーマルの事を市民にわかりやすく説明し、一般我々の考えをちゃんと理解してるのか。市民の声をもっと大事にして欲しい。一番大事な健康につながる事なので。	女性	60代

記名で良い人は記名にしてアンケートの結果を返信してほしい。県政、以下、市町村もそうですが、縦割りの組織は変えてほしい。ムダが多い（何でも屋の気持ちで進めてほしい）。縦割りであれば人事異動しないで、もっと専門家を育てた方がよい。	男性	60代
県職員の応接態度が非常に良くないと感じる。	男性	60代
県庁は節約で冷房も効いてなくて暗いイメージです。いろんなご意見もありますが、公務員だからといってあまりにも締め付けない様に、県民全体が理解したいと思います。ほとんどの人が頑張っているから。	女性	60代
こういう調査に対して意味があるのか？	女性	60代
明るい県・市。楽しい県になるように、元気な県。知事よろしく！！	女性	60代
県職員の方に会う事がない。地区住民との対話ができればいいと思う。	男性	60代
県職員、公務員の給料を下げるべき。	女性	60代
適宜アンケートを実施して、住民の満足度を向上させる施策を実施してほしい。住民の満足度の向上が、定住人口増となり、多様な需要に適應できる。まだ人口が少ないと思います。	男性	60代
県職員は多すぎるのでは？県庁でアルバイトをした数人からの意見。「上司はあまり仕事せずに遊んでいる。我々をバイトに雇うから手が足りないのかと思っていたら、役職のある人たち、遊んでいる人が多くて、ムカムカした。税金で給料もらっているのに、何だと思っているんだろう！！」同感！！職員の手当て、公表してほしい。遊び場で遅くなって時間外を付けるなんて信じられない。職員の意識改革が必要。一般社会では通らない話がいっぱい聞こえてくる。	男性	60代
県職員だからといってそんなに差別的に考えないでほしい。民間の会社では、週休2日とか、祭日だから休みだといって休まず、コツコツ仕事して税金払って、県職員の給料をつくりだしております。ボーナス時、退職金は佐賀では民間の平均より多いと思います。だから、民間とか県職員とか差別をあまりつけたくないでほしいです。奉職の精神で頑張ってください。	女性	60代
知事へ 1 現実をよく見て政治を行ってほしい。あまりにも自民党よりでは、今、自民党に何ができるか？政権をとっているのは民主党であることを中立ではいけないのか？新幹線は本当に必要か？税金の無駄遣い。	男性	60代
民間人は生涯の保障も低く、毎日汗かいて働いています。公務員の処遇は超一流企業的内容であり、年休・超勤手当等も手厚く保障されています。一方、教職員の現状の厳しさは目に余るものがあります。真剣に考えるべき時期ではないでしょうか。	男性	60代
公務員は指示されていない企画、提案を年数回を義務化。 県との係わり合いのある県外の人を活用する仕組みを。 東京では県内にいる公務員の評論よりも、県を思う一般人OBの評価が高いのでは！	女性	60代
職員の態度は出かからないのでわかりませんが、いつも県政のこといろいろと大変でしょうが、より一層県への良き力を発揮くださるようお願いいたします。他所の県に負けぬ素晴らしい県に生まれ変わることを望んでいます。私は看病しながらの記入で、毎日少しずつ、わかりにくいところもあると思います。福祉にも大いに力を入れてください。県職員の皆様、ありがとうございます。	女性	60代
この調査で何がわかりますか。この調査で何が変わりますか。	女性	60代
以前からの県政にくらべ、古川県政に変わりずいぶん佐賀県も良くなりつつあると確信しています。無駄な工事、不必要な建物を作らないようにお願いします。今はみんな我慢の時代だと思います。	男性	60代
佐賀県内でも、今、政府がされている無駄を省くことについて取り組んでいけますか。佐賀内をよく見直してみられてはどうですか。	女性	60代
1. 県職員の態度がよく変わる。 2. 自分が説明したことをよく変える人がいる。 3. 自分の担当でないといつもよく教えてくれない。	男性	70代以上
子ども手当はこれからも続けてほしい。私ごとですが、孫たちのことを思うと、やりくりしている子どもがおりますので、是非お願い致します。	女性	70代以上
無駄を省く。便数の少ない飛行場は本当に必要なか。他は転用を考えることはないか。	女性	70代以上
やる気を出して。	男性	70代以上
市町村合併の効果が現れていない。なんのために合併したのかわからない。	男性	70代以上
国の政治を変えなければ何もできないのではないか。	男性	70代以上
未婚の社会人が多すぎます。親子または孫たちと生活できるような社会基盤をつくっていただきたい。	男性	70代以上
何事も行政に頼りすぎると税金が高くなるだけ。 公務員は机上の空論だけで、しかも2、3年で代わる素人であり、例えば10年、20年鍛えた民間人を採用すれば信頼できるし、有益この上なし。本人も虚しい思いがあるようだ（能力のある人は）。	女性	70代以上
佐賀県民の安心安全で心豊かで生活できるよう、諸政策を計画し、実行されることを願っています。よろしく。	男性	70代以上
県総合運動場のトイレが水漏れしていて使用不可能でした。いつもきれいにしておきたいものです（数年前です）。	男性	70代以上
①県政に関する情報が少ないのではないですか。 ②赤字民営を出すような事業計画を出した責任者は退職（免職）させないと、業者だけが金儲けのようなやり方はダメ！！	男性	70代以上
市町村合併によってのメリットがない。	女性	70代以上

佐賀県でももっと削減できる（税金）手段もあると思う。年金受給者にとって、税金の負担は苦痛である。民主党の仕分けじゃないけど、県政においても一考してほしい。知事はじめ議員（県市町）など、漫然と過ごすのではなく、一人ひとりの幸せを考えてほしい。選挙のための美辞麗句よりも、実態に即した県政をやしてほしい。	女性	70代以上
県職員の接客態度は良くなっています。今までは異動があっても同じ管内ぐらいで、市になりましたから雰囲気がかわり良かったです。女性の方、年配の方で仕事も出来る人と思いますが、まわりがピリピリしていましたよ。私達が見ていてもわかりましたね。若い方には勉強になるかもしれませんけど？	女性	70代以上
警察官、消防士をもっと増やしてほしい。	女性	70代以上
①町村合併になって他地区からの市職員に親しみが無い。楽しくない。 ②高齢者になっても自動車運転をとめないで下さい。独居者は大変不自由になります。身体機能のゆるす限り、注意して運転する事に致しますから。	女性	70代以上
合併して支所となり、以前の様な親しみなし。子育て金等ぜいたく、親を甘くさせるだけ。休みの日に遊ぶ方が多い。高校授業費等親が出すのが当たり前。高額者も入金不能な方も同額とは、お偉方は何も考えないのか、腹立たしい。少しの年金生活者からは何もかも引き出すのは当然の様に、消費税10%は何事ですか。働き通して来た老人を馬鹿にするな。	女性	70代以上
年金のおかげで生活が出来、楽しみもあります。年金制度が良い方向にいくように力を入れて下さい。	不明	70代以上
若い頃（大学在学中）の佐賀県と現在も全国でビリだったが今も同じ。子どもや孫には県外に住むように話している。東京に年4～5回行くけど、佐賀との差が大きいのは唖然とする。市や県・国の職員の方の接客態度は非常に良くなっています。	男性	70代以上
公的職場の方の接客態度は良くなったと思いますが、時として、びっくりするようなことがあります。何処でも誰にでも同じ態度で接してほしいと思います。このアンケートをいただき、自分がどんなに片寄った人間であるか、範囲が狭いか、無学かと改めて思いました。	女性	70代以上
年金にボーナス制度をつけて下さい。	不明	70代以上
無駄なお金は使わないでほしい。例えば新幹線。	女性	70代以上
県・市の議員、職員の方々が多すぎると思う。また、公務員の方と中小企業の方と所得額の差が大きいのと思います（高所得と低所得との差）。	女性	70代以上
職員の方々皆やさしい方です。どうぞ頑張ってください。県の為、人々の為に。	女性	70代以上
アンケートに参加できて嬉しかったです。ありがとうございます。アンケート調査をされている事、感謝します。少しでもこのアンケートが改善や結果につながれば幸いです。各保健所へ出先機関など、最近各自自治体に移行されている様です。以前は保健所で色々あってました。一般人も出入りしやすい窓口もほしいですね。私が知らないのですかね。	女性	70代以上
老人であれ、どこの職場に行っても素早い態度で接して頂きたい。あいさつ、笑顔を大切に。	女性	70代以上
老人の生活ができるようお願いします。全部は難しかった。	女性	70代以上
お役所仕事とは、規則ばかりを守らないで、ある程度融通の効くゆとりがほしい。	女性	70代以上
背伸びせず今を大切に周りにつつましく、一步一步より良い環境を築き、良識のみなざる県に致しましょう。	男性	70代以上
別にありません。現在のままでいいと思います。強いて言えば、知事さんに県内各地を回って、実情を見て、県政をやしてほしいと思います。そうすれば県はもっと栄えると思います。	男性	70代以上
県職員もサービス・接客業と同じであり、まず、あいさつ、笑顔、親切、思いやりなど第一印象をどう持たせるかが大事なので忘れずに。あとは仕事に集中する事。先の事、昇進の事など二の次。ギャンプルにはまり借金はありません。税金ですよ。あなたの給料。見本となる様な職員を目指して下さい。人の心は顔に出ます。	男性	30代
福祉に力を！働いている方々も安月給と聞きますが、仕事は体力も精神力も使います。もっと良い社会になればいいな。	女性	20代
介護関係の仕事をしている方の賃金上げなどに力を入れてほしいです。	女性	20代
医療費負担の軽減、水産業見直し、ハローワーク改善、雇用体制の強化、いろいろな情報を積極的に知らせてほしい。子どもを産んでも仕事しやすい環境、保育所増やす、教職員の体制、地方TVで流す内容をもう少し見て興味があるものに。若者も老人と同じようにストレスなどで病気になるので、若者にも優しい医療体制と職場環境をつくる。	女性	20代
最重要課題→福祉・医療・教育。 アンケート→漠然とした内容すぎる！！ 「県民だより」などおもしろくなさすぎ。もっと工夫してみて。	女性	20代
子ども手当を支給しても、そのお金で賭け事に使用する人もいます。それよりも子どもが欲しくても不妊で困っている人達が多い。不妊治療にかかる治療費も高いので、そういう人達のためにお金は使った方がよいのではないかと思います。	男性	20代
福祉と雇用に力を入れてほしい。	女性	20代
福祉に力を入れてほしい。福祉、介護に携わる職員の賃金の見直し。	男性	20代
医療、子育て、福祉に力を入れ、子どもの出生率を上げてほしい。	女性	30代
不妊治療の助成を増やしてほしい。働きながらでも学べる場所がほしい。年金が不安。払ってももらえない、もらえても少ないと感じる。	女性	30代
高齢者や障害者も安心して暮らせる社会づくり。働ける場や周囲の理解。農業・漁業に活気がない。従事する人が減っている。	女性	30代
高齢者の施設を増やした方がいいと思います。	女性	30代
本当に福祉には力を入れてほしいと思います。よろしくお願い致します。	女性	30代

主婦等の定期的健康診断に対し力を入れてほしい。	男性	30代
介護従事者の報酬を上げ、働きやすくすることで人員確保をしてほしい。	男性	30代
医療費（子ども）をもっと補助できるようにしてください。	女性	30代
県職員の電話の対応がほしい。もっと親身になって聞いてほしい。医療費を軽くしてほしい（子ども）。→小学生まで補助してほしい。	女性	30代
福祉に力を入れてほしいと思います。高齢者の方たちは、施設の入所を待っておられる方たちが多いので、もっと施設が増え、職員の数も増えたらいいと思います。	女性	40代
今、県立病院の移転・新築の工事が行われていますが、“ハコモノ”だけでなく、“ナカミ”も新築してほしいです。今、県立病院で働いている人がそのまま新しい病院へ移るだけなら何も変わらないと思います。自分たちは準公務員みたいな認識では、かけた税金がムダです。医師・看護師はもちろんです、事務も食堂も売店もそのままではなく、新しく考え直してほしいです。	女性	40代
福祉に力を入れてほしい。	女性	40代
医療の充実。	男性	40代
県外へ子どもたちが進学、就職したときに「佐賀県出身」をほこれる地元になってほしい。	男性	40代
福祉関係が他県より遅れており、力を入れてほしい。	男性	50代
福祉で働いとりますが、もっと力を入れてほしいです。	女性	50代
福祉にはもっと力を入れてほしい。	女性	50代
県庁はもっと人員を減らしてほしい。出先機関の副所長はすべて不要と考えます。すぐ下の総務課長がやれば良い仕事です（出先の副所長は本当は仕事がないのです）。	女性	50代
福祉及び医療に力を入れてほしい。	男性	50代
まず「福祉の充実」が希望です。子どもに知的障害があるので、市の福祉課へ出向くことがありますが、対応がいつも事務的で、常に「きまりなので」としか答えてくれません。子どものことについての相談などの情報も、こちらが求めないと教えてくれません。市には専門的施設がないため、県外に連れて行かねばならず、交通費などの負担などで頭を痛めています。観光などで外からお金が落ちることを考えているようですが、今、この市に居住している人の生活を充実させてこそが、市の活性化にもつながると思います。個人的に中高一貫校を作って得をしたのは一部の人たちだけ。市民には殆どメリットはありません。	女性	50代
みんなが安心して暮らせるように、福祉に力を入れた県政をお願いします。佐賀のよい所をみんなに知ってもらうことも大事だと考えます。改めて毎日の暮らしを振り返るいい機会をいただいた事に感謝します。	女性	50代
医療の現場で娘が働いてますが、介護士がいないので身体介護も看護師の仕事として毎日疲れて帰ってます。日勤からの深夜勤務、2～3時間からの休憩で仕事には入ります。事故がないのが不思議なくらいです。4年間で半分以上が辞めてクリニック等へ移られました。勤務体制を考えて欲しいです。	女性	50代
福祉に力を入れてほしい。	女性	50代
福祉・医療にもっと力を入れてほしい。母子家庭を持つ人の働く職場が少なくない。	女性	50代
福祉に関して・・・利用できる施設に限られていて（待ち人数が多く）、すぐ入所とかできないので困るというような話をよく耳にします。実態はどうなのかわかりませんが、早く希望する施設に入所できるようにしてほしいと思いました。	女性	50代
福祉は本当に力を入れて、本人はもちろん、家族の方たちの負担を軽くしてあげてください。佐賀は大きな事故・事件もなく、わりと住みやすい県だと思います。県政も県民の小さな声をまとめて、出来る事から少しずつでもけっこうですので、改善あるいは見直しなど頑張してほしいと思います。	女性	50代
福祉の収入をもっと入れてほしい。介護、医療に交通、教育などにもっと力を入れてほしい。消費税をもっと減らしてほしいです。	女性	50代
福祉・子育てに力を入れてほしい。不妊治療している人達にももう少し支援をして治療しやすい環境を整えてほしい。商店街に元気がないので、県をあげて何か企画し盛りあげてほしい。県職員、町職員…多すぎでは?!窓口手続きに来て近くで堂々と昼食をとるのはおかしい。休憩室でとるべき（お茶なども）。	男性	50代
高齢化社会が進むので、福祉にさらに力を入れてほしい。また、佐賀県の「よさ」観光地等をもっとPRしてほしい。	女性	50代
①福祉に力を入れてほしい（介護施設）。 ②県職員の方は、「公務員」とは考えず、一人の県民として、県民の税金から給料を支払っている、もらっていると考え直し、きちんと仕事をしてほしい。仕事と休み時間のけじめをつけて下さい。	男性	50代
もっと予防医療に力を入れ、介護が必要なく、健康で長生きできるように、福祉にもっと力を入れてほしい。	男性	60代
年金生活で介護保険が高すぎる。	男性	60代
福祉に力を入れてほしい。本人が年金をもらっていない人は、デイサービスを利用したときなど、一律いくらか定めてほしい。（すみません。県政に望むことじゃないけど、一つの案として受け止めて下さい。）選んでいただきありがとうございます。	女性	60代
高齢の方々が安心して暮らしていける社会をつくってほしい。病院へ行って、病院代を払ったら、年金で暮らすことができないので、足腰の痛みは我慢して行かないとの声を聞いた。自分の行先をみているようです。福祉に力をお願いします。	女性	60代
福祉に力を入れてほしい。	女性	60代

年金の件で今、80歳代の母（要介護4）がデイを利用し、夜は家で看ている。もっと介護利用をと思うけど、私たち夫婦も60歳過ぎ、年金もまだ。母の年金も国保で介護保険を差し引くと手取りがわずかで、デイサービス料も不足で困っている。せめて最低年金額、月手取り7万ぐらいあればと思う。	女性	60代
年老いても安心して生活できるように。そんな県政、今の国の政治家みたいに自分の党だけを守り、国のことはその後みたいな政治はやめて、県のことをしっかりみて、福祉・犯罪・いじめなどに取り組んでほしいと思います。	女性	60代
国民年金を生活がきつく60才より頂いており、1ヶ月介護料を引かれ4万円しかなく、年を老いて病院代、薬代など毎日の生活が苦しくて大変な思いをしております。よろしくをお願いします。	女性	60代
町内にある病院内の先生や、その他に関する不満や不評を以前より地域の人から聞いていましたが、現実にも感じています。つまり、先生方の治療レベルが低いと言うこと。安心してまかせられる医療レベルの高い先生の派遣をお願いします。また、先生方への指導の方もお願いします。その病院に出入りしている看護師からは詳細な話も出ています。あのような立派な病院があるのに残念です。皆が安心して信頼出来るよう指導お願い致します。	女性	60代
福祉関係に力を入れて下さい。	男性	60代
介護福祉に力を入れてほしいです。	女性	60代
福祉はもっと安く利用できるようにしてほしい。7万円～10万円なんて、とても出せません。	女性	60代
農作業、家事、親の介護に比べ、今回は考えたので頭痛がした。福祉、医療に力を入れてほしい。ガンセンターが設立されるそうですけど、県民、市民にとっては、総合病院、総合老人福祉介護センターが今すぐでも必要です。	女性	60代
老後入るところがほしい？	男性	60代
①福祉・医療の分野に力を入れてほしい。 ②年金制度のあり方（見直し）。	男性	60代
福祉に力を入れてほしい。	女性	70代以上
福祉に力を入れてほしい。	男性	70代以上
老人の医療をもう少し楽にしてほしい（子どもも同様）。	男性	70代以上
1. 県民の健康、2. 教育、3. 産業、4. 福祉。	不明	70代以上
福祉に力を入れて下さい。リハビリに行くのにガソリン代くらいはほしい。	男性	70代以上
老人に対して福祉にもっと力を入れて下さい。使い捨てライターではありません。老人を捨てないで。	男性	70代以上
高齢者の福祉に力を入れてほしいと思いました。	女性	70代以上
福祉に力を、農業に活力を。	男性	70代以上
医療補助器具の案内を県報に寄せてください。器具の単価。あとは長所。	女性	70代以上
高齢者や身障者、弱者等安心して生活ができるよう、何も贅沢なことを申しません。普通の生活がされるよう、福祉に力を入れてください。	女性	70代以上
県政に関して高齢のため特別に意見はありませんが、高齢者に対する介護保険料が収入にもよるけれども、高すぎる感がありますので、特に80歳以上の者の介護保険料の割引のご検討をお願い致します。	女性	70代以上
老々介護への支援を希望します。	女性	70代以上
福祉、医療、高齢者の支援に力を入れてほしい。	女性	70代以上
二人とも年をとっていますので（主人入院のため）福祉の方に力を入れてもらいたいです。	女性	70代以上
福祉に力を入れてほしい。	男性	70代以上
福祉お願いします（高齢のため）。	男性	70代以上
介護デーに行った時、個人の用事をしてもらいたい。	女性	70代以上
もっと老人が住みやすい所にして欲しいですね。例えば医療費が無料とか、私達現在老人は、以前若い頃、病気しないで沢山健康保険等払ってきました。現在、年をとり病気をします。どうか病院にかかりやすくして欲しいです。こんなに質問が多いと、老人には体にこたえます。	女性	70代以上
回答者本人が高齢のため代筆させていただきます。各保険料・税金を年金受給者は特別徴収という形で確実に差し引かれる中で、今後これらが引き上げられ、そのうえ消費税までもが上がることになると、年金のみで生活する者にとってはますます暮らしていく世の中になってしまいます。（家族に負担をかけるのも心苦しく思います）。介護施設を利用し、病院にも通院しておりますので自己負担があるのは当然とは思いますが、年金は目減りし、出ていくお金は増えてゆくばかり。これから一段と足腰も頭も弱り、経済的にも身体的にも家族に迷惑をかけるとなる	男性	70代以上
我が家からいえば、県政に関して（大きくいえば）、何一つ手のひらにも乗れないような、ちっぽけな存在だなと思いました。このちっぽけな存在には福祉がますます福祉差別が広がりつつあります。福祉の窓口はあっても無視する制度にはしないで下さいませ。	女性	70代以上
福祉に力を入れてほしい。農業就業者の高齢化が進んでいて、専門者は見込めない状態にある対応策をどう考えてあるでしょうか。	男性	70代以上
福祉に力を入れて下さい。	女性	70代以上
療養介護の型を一昨年までの療養型介護の病棟として病院で受入出来るようにしてほしい。	男性	70代以上
福祉に力を入れてほしい。病気したら入れる所をたくさん作ってほしい。皆さん困っておられる。	女性	70代以上
一人暮らしの者、買い物難民、昔のように御用聞きみたいな人はいないのでしょうか。福祉にお願いしたいです。	女性	70代以上
福祉に力を入れてほしい。	女性	70代以上
私は脳梗塞で倒れた夫を11年介護しております。福祉のリハビリ関係に力を入れてほしいです。年金から何でも控除されますので大変です。	女性	70代以上

私達夫婦は低年金でぎりぎりの生活をしております（地デジのチューナーさえ買えない有様です）。低年金者、後期高齢者医療制度の見直し等、生活弱者の目線で福祉行政に取り組んでいただきたい。	女性	70代以上
福祉も色々あると思いますが、生活保護者の実態をもう少し考えてほしい。働くより生活保護金をもらう方が良くと言う50～65才位の方が多く様に思います。民生員を多くして調査した方が良くと思う。ギャンブル（パチンコ、ポートルース）する人が多い。	男性	70代以上
雇用が増えるようにしてほしい。	女性	20代
雇用の充実。 専門的な勉強をする学校が鳥栖にはない。福岡、佐賀方面への通学にしても不便。	男性	20代
企業の誘致と、それに対する弊害への対応を第一に行われることを希望します。	男性	20代
雇用対策に力を入れてほしい。兄弟が地元で職を見つけられない。	男性	20代
雇用に力を入れてほしい。非正規社員が不安な日々を送らなくてすむようにしてほしい。	女性	20代
新卒者の雇用の場を広げてほしい。	女性	20代
雇用・福祉に力を入れてほしいと思います。新幹線など発達がすすんでいます、収入の見込みを考慮して予算を決め、無駄な投資をさせて頂きたいです。	女性	20代
子育てをしているため、なかなか外部のことがわからないので、難しかったです。いざ仕事を始めようと思っていても、急に保育園（入りたいと思っているところ）に入れないのが大変だと思った。	女性	30代
国民が納めている税金で公務員は働いているので、もう少し接客態度を改めてほしいです。雇用をもっとしっかりしてほしい。	男性	30代
今の不況ではいつ働き手の仕事なくなるかわかりません。子を育てていく上で、資格など取りやすくなってほしいと思っています。	女性	30代
労働環境を整えてほしい。いろんな意味で。	男性	30代
福祉も労働者側からですが、過酷な上に賃金があまりに安く、仕事を続けたくても自分の体が参ってしまいます。あと1つ、役場などに行って書類の説明をもらうとき、1つのことに3人も来られ、2人の方はただ聞いて見ておられるだけで、他に仕事ないのかなと思います。	女性	30代
雇用に力を入れてほしい。（数ヶ月もしくは1年以内には必ず正規社員にする）とか。サービス残業をなくす（定期的に調査する）など。	男性	30代
時給をあげてください。	男性	30代
県の職員さんは本当に頑張っていると思います。公務員というやっかみもありますが（笑）。自分の個人的な意見だと、もちろん福祉も大事ですが、何よりも雇用問題を何とかしてもらいたいと思います。どうかよろしくお願い致します。	女性	30代
安心して働ける場がもっと増えれば良いと思う。現状では非正規労働が多く、それでは今後の生活にとっても不安がある。もっと正規の労働を増やしてほしい。	女性	30代
特に農林業の振興と若者が安心して働くことができる雇用対策。	男性	30代
佐賀県内での雇用を確保してほしい。県内に就職したくてもできない若者が多数います。	男性	40代
財政難の折ではあると思いますが、インフラの整備が進んでいません。地域密着型の行政をお願いします。また、職場の確保（誘致が進む条件整備）を！	男性	40代
県内は雇用が少なく、就職するのに大変困りました。子どもたちがいろんな仕事のチャンスが与えられるといいと思います。雇用の情報などももっと発信してほしいです。	女性	40代
公共事業を増やしてほしい。	男性	40代
現在、大型スーパーがなく、買い物に困っています。水道代が高く、思うように企業の進出もなく、錆びれていく一方です。働くにも県外に出なくてはなりません。地元に戻ってきたくても働く場所がありません。どうしたらよいでしょうか？	女性	40代
40代、50代、60代の方々、男女が働ける会社を増やして欲しい。又、4、5時間の短時間の仕事ではなく、8時間労働を増やして欲しい。	男性	40代
若い人の雇用がある、生活の安定した暮らしができる、佐賀県になればと思っています。	女性	40代
景気が低迷している今、就職を控えている子どもを持つ親といたしましては、雇用の事で先行き不安です。佐賀県内にもっと働ける場所を作ってもらいたいです。高校の授業料無償化や子育て支援金など、一部の人が該当するものではなく、皆平等になるように、健康保険税等の負担を少なくして頂きたい（税金の種類が多すぎます）。	女性	40代
農業のみなど、自営業の人の年金だったり、税金だったり、見直してほしい。サラリーマンに比べて厳しいと思います。不景気のため、ボーナスもなし。日々の仕事も機具など交通費も必要。経費は高いが収入が低く家なし。子どももつくれず老後が心配です。	女性	40代
無駄を改善していただき、佐賀県の発展に今以上に取り組んでもらいたいと思います。雇用の問題、就職先の紹介等。	男性	40代
佐賀県のホームページはよく見ている。周りの方々に仕事がなく困っている人が多いので、雇用をどうにかしてほしい。特に若い人の働く場所も少ない。	男性	40代
どの職種にしても若者が育たず、後継者不足が問題のようです。地元に残って働きたい。でも、企業が少ない。労働条件が他県よりも悪い。そんな声も耳にします。活気ある佐賀、そして我が町。子どもたちの将来のために、私たちが一歩前進しなければならないと思っています。	女性	40代
高齢者が働きやすい環境をつくってほしい。	男性	50代
特に北部では企業の誘致が進んでいない。また、今から先、建設業などの仕事などがなくなって、倒産する企業なども出てくる。子どもたちには部活動などしやすい環境（誰もが）、経済面で望む。もう少し行政なども机などの仕事ばかりしていないで、自分たちの目、足などを使って、地域の人たちとコミュニケーションを取ってほしいと願う。	男性	50代

地元を希望しても都会に就職しなければならないので、県内に働ける企業がほしい。	女性	50代
今年度、来年度と失業者が増えてくると思われますので、「雇用・労働」環境を充実してほしい。	男性	50代
勤めるところが少ない。	男性	50代
県政に望むこと。若い人が都会に仕事を求めなくていいように企業を誘致・育成してほしい。	男性	50代
福祉の仕事をしてはいますが、雇用、労働体制を良くして欲しい。どうしてもサービス残業になっている。 労働基準局の指導体制を強くして欲しい。（夜勤時の人数を増やし、高齢者の安全、見守りを充実して欲しい）。	女性	50代
就労の場を増やしてほしい。生活に余裕がある職員の退職を望む。若い人へのチェンジをしてほしい。日頃の生活に追われ、県政など周りを見ていなかった。もっと自由に意見が言えるよう勉強しなければと実感しました。	女性	50代
子どもは県外に出て、地域では老人が多く、私も二人暮らしなので老後の事が心配です。老人ホームなどはお金が高いと聞いています。働ける間は働きたい。高齢者が働ける様な職場がたくさんあれば良いと思います。	女性	50代
県全体に活力を与えてほしい。雇用促進し若者に希望にそう仕事を与えたい。	女性	50代
若者が少ない。ユーターンしても雇用がないために若者が定住できない。	男性	50代
若者の就労に力を入れてほしい。		
他県人は「佐賀は通過する県」と良く聞かすが、有田や嬉野をもっとPRしては。また、佐賀県人気質として排他的なところがあり、改めるべきではと思う。 新幹線は必要ない。在来線で十分だ。税金の無駄使いはやめてほしい。	女性	60代
個性や能力を発揮できるかできないかは、ある程度、経済的に余裕が必要であったり、又、病気の親と同居であったりすれば、なかなか、そういう機会に恵まれないと思う。やはり失業者を増やさな社会、介護者の負担の軽減が必要だと思う。	女性	60代
県民の収入アップを目指してほしい。	男性	60代
時給を下さい。	男性	60代
立派な若い人がいっぱいいらっしゃいます。その能力を活かせるような職場が佐賀にはやっぱり少ないと思います。仕方ないとは思いますが、少しは考えてみてください。お願いします。農家の私達の努力不足もありますけど、この広い佐賀平野を活かせる農業を考えてください。	女性	60代
若いお母さんの働く場と理解！保育料とパート収入（子どもがいる為、正社員で雇ってもらえない）の格差。40才以上のまだまだ働ける人の職場がない。	男性	60代
もっと若い人達の働けるような企業誘致に努力してほしい。	女性	70代以上
市役所にはよく行きますが、県庁には行った事がないので、テレビで知事を見る位です。佐賀県が私の終のすみかですので、若い人達が働けていける様な所にしてもらいたいですね。	男性	70代以上
県庁に行くことがない程の生活です。安心して暮らしています。県民だよりが県政を知る唯一の資料です。昭和20年代と比べると、何10倍も幸せです。若者の仕事がないのが最大の悩みです。	女性	70代以上
企業に元気がない為、思い切った補助、支援が必要である。若者が仕事が出来る環境、企業、県、社会必要で、元気老人が働く県（佐賀県）を作してほしい。 知事様へお願いは、高齢者の医療費を無料にしてほしい。よろしくごお願い致します。	男性	70代以上
長崎新幹線は本当に必要なか疑問である。産業振興に力を注いでいただき、雇用の増大を図り、若者等が県外に流出しないよう努力してほしい。又、有明海沿岸道路早期完成を！！	男性	70代以上
公共機関の充実。雇用の充実（働ける場が少なすぎる）。	女性	70代以上
障害者の働く施設を増やしてほしい。一般労働者の働く施設が少ない。増やしてほしい。	男性	70代以上
①大企業の誘致。②各省庁（市、県、病院など）老人には離れすぎ。交通も道路の作り方が悪い。手続きが困難。③子どもの基礎教育。自衛隊などで基礎を学び忍耐力をつける。先生も質のよい人を選ぶ。④県の病院は嘉瀬町など行かず今のところのままでないと、遠すぎる。⑤こまごました手続き、病院やいろいろな所の書き方を市、県の公報してもらいたい。⑥県産物のはんえいをするためスーパーの指導。佐賀は佐賀産で…。	女性	70代以上
雇用、経済を立て直し。税の負担が多すぎる。	女性	不明
長崎新幹線をやめること。時速130kmで新幹線？時速300km以上が新幹線と私は思います。国も県もJRも馬鹿としか思えません。	男性	50代
公共交通をもっと便利にしてほしい。	女性	20代
雇用の確保に全力を注いでほしい。 公共交通機関をもっと利用しやすくしてほしい。	女性	20代
道路の歩道が広すぎる。信号が不便な交差点が多い（右折できない）。		
交通の便をもっと良くしてほしい。特に電車。本数を増やして終電をもうちょっと遅くしてほしい。	女性	20代
県職員の対応は全体的に悪いので訓練してほしい。佐賀の平坦な土地を利用して、諸富町にあるようなサイクリングロードをつくらせたり、車道と歩道の間に自転車専用道路を設けていただきたい。	男性	30代
交通（公共の乗物）の整備に力を入れてほしい。山間部などは大型バスでなくミニバスなどを走らせるなど・・・	女性	30代
佐賀空港をもっと活用できるようにしてほしい。佐賀をアピールしてほしい。中学まで子どもの医療費を軽減してほしい。公務員の医療費負担をサラリーマンと同じにするべきです！	女性	30代
佐賀空港の有効利用をもっとアピールしてほしい。佐賀空港を継続して下さい。	女性	40代
子どもたちが通学する歩道の整備に力を入れてほしい。	女性	40代
幹線道路の整備や企業の誘致に力を入れてほしい。	女性	50代
道路の整備を見直してもらいたい。	女性	50代

	道路、交通網整備の充実。	男性	50代
	山間部の国道でカーブの傾斜が不足して、速度を落としているにもかかわらず、遠心力で外へ振られる感じで運転しています。適正な傾斜希望。大和町三反田の電光表示が「凍結」「歩行」電文字が重なって、冬季は意味不明のままです。冬期山間部の積雪状況をもっとわかりやすく表示を希望。	女性	50代
	道路拡幅工事の話があり、5年間に完成しますと。それが予算がないと進まず、新幹線の話が解決したら、また、その話が進んでいます。どういう事ですか。市長が反対したら予算はなし。	男性	50代
	佐賀に帰ってきて約1年になりますが、一番望むことは交通の便の悪さです。以前は福岡市内に住んでいたからだとは思いますが、市内に住んでも、田舎の郡部に住んでも変わらないくらい便の悪さにびっくりです。車を購入するにしても支払いはかさむし、職はないしで最悪です。若い人がこのままだと都会へ移住してしまいますよ。よく考えてほしいです。又、老いた人も大変だと思います。このアンケートを生かしてほしいです。	女性	50代
1	佐賀空港は本当に必要なのか。新幹線も必要なのか。佐賀空港の利用方法を考えてほしい（自衛隊とかに貸すとか）。	男性	50代
1	私は長崎新幹線は佐賀県民にとって必要な鉄道ではないと強く思っています。私のまわりでも30分位の時間短縮位ならば現在走っている「白いかもめ」がとてもきれいです。私のまわりの人達も長崎新幹線に賛成してる人もいないのです。県民の民意を問う県民投票を期待しているのです。公共事業の為の新幹線と言っても過言ではありません。	女性	50代
	交通に力を入れてほしい。	女性	60代
	地方にも、バス・電車等をもっと本数を増やしてほしい。今は自家用車で買い物等に行けるけど、あと10年後は、近くに店もない、歩いていけるかどうか？	女性	60代
	旧城島町とみやき町に橋をかけてもらいたい。私たちのところは島になっているのでとても不便です。	男性	60代
1	長崎新幹線は必要ない。	男性	60代
	緑づくりはされてると思うが、後の手入れがなされていない。近くでも生い茂り、側溝も枯葉で埋まっている。	女性	60代
	約40年間鳥栖市に住んでいるが、勤務先が福岡市の為、鳥栖市で暮らしている実感が無い。公共交通機関が少なく、自家用車がなければ移動が困難であり、高齢化で自動車を運転できなくなると、生活環境が狭くならないかと不安を感じている。又、地域住民同士の交流イベントが減少している、高齢者の活用を推進する組織体制になっていない。	男性	60代
	私ども田舎道があまり整備されていない様に思います。	女性	60代
	道路の整備を多くしてほしい。県道・国道・市道等の道（自転車道）の整備、狭い所、広い所が、一本の道に何ヶ所もある。林道はきれいに整備されているのに、その下の生活道路の方が悪い箇所が多すぎる。	男性	60代
	居住地に隣接する国道の通行車両や速度規制の見直し。地響き、地揺れ、爆音等々公害である。	男性	60代
	佐賀空港の利用が不便。鹿島・嬉野からの利用が（自家用車・高齢者）不便。何らかの方策がなければ利用しにくい。	男性	70代以上
	75才以上の主婦で運転歴45年で、いまだ無事故無違反で過ごしてきましたが、もう自分で運転するのは自信がなくなると思いますので、市内の無料バスを増便して頂ければ高齢者は助かると思います。	女性	70代以上
	他県（九州全般）にしても、当県は交通道路等整備の遅れを認め、全般的に進捗状況が進まず、役所の方も懸命に頑張っておられると思いますが、県民のため住みよい町作りに更に頑張ってください。お疲れ様、有難うございます。お体を大切に。	男性	70代以上
	自分の住んでいる場所は公共機関、バス停、スーパーも遠いし、新住宅も少ないし、とても答えづらかったです。	女性	70代以上
	私は本を読みたいが、読みたい本が手に入らない。交通の便が悪くて思うように出かけられない。現在、電動車を利用していますが、電動車にも補助がほしいです。	女性	70代以上
	交通アクセスを含む街づくり（市街地の活性化）。※すべて他県に見劣りする。県産品等の積極PR（農水産業を含め…商売がへた）。他県に負けている。交通（特に道路）の拡充（佐賀県と規模が同じ徳島市など見て来なさい）。	女性	70代以上
	高齢者の免許証の返上を促進させるには、県や市が交通機関に補助をしてでも交通機関を充実させて下さい。	女性	70代以上
	子育て環境に力を入れてほしい。	女性	20代
	転勤で福岡から佐賀に来て24年目になります。最初は田舎というイメージであまり気が進みませんでしたが、住んでみても大好きになりました。特に子育てするにはとてもいい環境だと思っています。幼稚園や保育園のサロンへ出かけたり、公園など一緒に遊ぶ場所が多く、しかも周りのママ友達やお店ですれ違う人たちも親切な人が多く、本当に住みやすく安心して子育てしています。ただ、これから先、子どもが大きくなって学校の教育自体がどのような感じなのか全くわかりませんし、私たちのように転勤族の方々が頼れる身内が近くにいないので、病気になったときにどうなるのかという不安もあります。	女性	30代
	子育て・・・特に働く両親をもつ子どもの過ごす場所などに力を入れてほしい。保育園に行っている間はいいが、小学生になると放課後や長期休暇などはどうなるのか・・・心配です。	女性	30代
	子どもが安心して生活できる環境にしてほしい。銀行の駐車場をちゃんとしてほしい。	女性	30代

子どもができて～出産して～復職（又は就職）するまで経済的に補助してほしい。旦那のお金やら、今の手当てでは安心して子どもが産めない。	女性	30代
少子・高齢対策に力を入れてほしい。子どもを生みやすく育てやすい。	女性	30代
夫の収入が少なく生活がとても大変なのに（毎日外でちゃんと働いてますが・・・）、税金や保育園料や子ども達の医療など出費が多すぎて、このままでは追いつめられて、どうにかなりそうです。せめて、子ども達を安心して、お金の事を気にせず、病院にも連れて行けるようにしてほしいです。	女性	30代
子育てしやすく働きやすい。	女性	30代
女性がもっと仕事ができる環境をつくってほしいと思う。子どもが小さい頃、急に熱を出したり、運動会の代休で学校が休みになると、実家も遠く、預ける場所もなく、大変困った。不景気で会社側も急に休みを取ったり、会議や打ち合わせが入っていたりすると休むこともできなくなり大変だった。佐賀県はまだまだ子育てと仕事を両立するのは難しいと思う。	女性	40代
1人親家庭が増えています。子どもたちがのびのびと暮らせる環境づくりをしてほしいと思います。	女性	40代
働きながら子育てができるよう、もう少し子育て支援に力を入れてほしい。	女性	40代
活気ある街づくりをしてほしい。子育ての最中なので、未来ある子ども達の為の沢山の取り組みを期待しています。	女性	40代
子育て支援は良く聞くが、佐賀県は親との同居、家族も多いが、嫁、姑の悩み相談所、子育てと仕事もしている姑問題、話の分かる、解決法が有るのか等、話のできる（息抜きのできる）場。もし、そんな所があるなら、声高に宣伝してほしい。姑にも今の勉強してほしい。保育園を増やしてほしい！仕事復帰は決まっているのに保育所が決まらない。預ける1ヶ月前でないと分からないとは、それでは遅すぎる。ハッキリ決まらず不安、その時点でダメと言われた時、どうすれば良いのか、自分の身に置き換えて考えてほしい。	女性	50代
保育所を充実して下さい（ありがたいことに、我家はずばらしい保育園に通わせて頂いています）。公園をきれいにし頂いて（トイレもです）皆がリラックスできる街にしてください。	女性	50代
今から子どもをつくっていく中で、妻は仕事を続けたいと思っているようです。しかし、夜まで仕事があるので、夜まで子どもを預けられるような所ができればいい。	男性	70代以上
温泉地なのに、観光地として、見るところが何もない。旅館業など、今日大変だと思います。	女性	40代
観光地等がたいぶ錆びれかけているため、もっと活性化できないでしょうか。他の県に行かなくても地元で楽しめる場所があればいいのではと思います。	女性	40代
パスポートの手続きに行きました。その部署には職員が仕事量に対して多すぎると思いました。	女性	40代
佐賀をもっともっとマスコミ等で知ってもらうことを考えてほしい。LOVE SAGA	男性	50代
突然のアンケートで考えがまとまらないまま、急いで記入しました。じっくり考えればもっと有意義な事を記入できたかも知れません。申し訳ない。日頃佐賀県民の自覚なく暮らしています。佐賀牛以外の事で他県の人と話せるように（自慢できるように）なりたい！！	男性	50代
佐賀県を全国区にする必要があると思います。宮崎県のように良くも悪くも名前は全国区になると県全体も活発になってくるのでは？知事さんの頑張りが足りないのではないのでしょうか？県民のトップが又、役人さん方がもっと動かないとダメ（口だけ動いている人が多い）。	男性	50代
宮崎に行ったときに県庁の方々の態度がすごく良かった。そしてお土産屋さんがあったのでいっぱい買って来た。佐賀県庁のレストランに時々食事に行きますが、佐賀県庁の職員の方は誰でも知らんぷりしておられる。この前、伊万里の方とか唐津の方を連れてきましたが、食事だけでは寂しかねーって言うていました。空きスペースがいっぱいあるのに、何もない店の方から高い家賃を取るのではなく、安くしてあげて、お店があると賑やかになるのになーっていつも思っています。	女性	60代
もっともっと佐賀県を全国に知ってもらいたい。	女性	60代
私は今、自分自身とっても安定した生活をしています。税金は少々高いなど思う反面、それに見合った収入もあるということで有難く思っています。佐賀県はとっても好きです。只、旅行して「佐賀県って、どこにあるんですか？」との問いがまだある事（以前より少なくなったけど）に残念です。この調査を通じて改めて、佐賀はずばらしいと再認識いたしました。ありがとうございます。	女性	60代
佐賀をもっとアピールしてほしい。活気ある佐賀にし、生活しやすい環境をつくってほしい。	男性	70代以上
学校の先生の良し悪しが両極です。公正な目で見て、「先生に不向きな方」を排除すべきです。抜き打ちで教育現場を見て下さい！このままでは佐賀県を担う子どもたちが死んでしまいます。大至急の対策を！！	女性	40代
教職員の指導力と人格向上をお願いします。	女性	40代
自分の理解度が低いのもかもしれないが、決して県政が悪いとは思わない。国政や国全体の問題が多いように感じる。豊かになったのはいいが、日本人自体が変わり、おかしい方向に進んでいる気がしてならない。具体的に何が悪いとも言えないが、強いてあげれば学校教育が・・・。	男性	40代
県税は平等に取るように。納税している人、していない人がある。教職員に楽しい学級づくりの指導をもっとしてほしい。	女性	40代
主婦であり世間のことも知らず、質問の内容がめんどくさくなり、あまりお役に立てないと思います。すみません。思ったのは、社会、環境は人間がつくっていくものなので、やはり家庭環境、子ども教育が必要だと思います。勉強だけではなく、当たり前を教えることができていないと思います。学校のせいにするのではなく、まず家庭からきっちり！！そうすれば、その後の社会環境もよくなるのではと願っています。	女性	40代

	人口の偏りがあり、小中学校、高校と各地区でばらばらというところです。県全体できちんと整える。伊万里は高校4校、武雄はたった1校なのに、伊万里から武雄に来る子どもも多く、武雄の子どもは外に出ている。子どもを大切にされているとは到底考えられない。もっと行政に力を持って整備を一般の有識者と共に再編すべき。	女性	40代
	私立学校に対する助成金を増やしてほしい。	女性	40代
	公立の小、中学校の先生の件ですが、とても教員として不適格ではないかと思われる方がいらっ しゃいます。職員同士の意見や保護者からの意見、苦情の多すぎる先生に対しては、転勤させてし のぐことはせず、しっかり正面から対処してほしいです。	女性	40代
1	佐賀空港や新幹線など、体面にとられずに、見直すべきではないか（特に佐賀空港）。そして大 事な財源を教育、文化、雇用、福祉に投入すべきだと思います。県政の英断を期待します。	男性	50代
	教育の場に置いてしつけマナー、団体行動等正しく教えている学校の人や、地域に対して強度のク レームをつける人が多くなってきているようだが、クレームは現場で対処せず、上に対処する仕組 みをつくり、同時に解決していくのがよい（情報の共有と解決の共有する組織を作ってはど うか。）。)	男性	50代
	ある新聞の論説の記事に書いてあったが（体罰と懲戒）、今の学校教育の現状は、何もしない教師 が問われることなく、情熱を持って本気で子どもの指導に取り組んでいる教師が、少しでも行き過 ぎた事をすると問われている。保護者も「体罰は許されないが、子どもにも反省するべき事がある のでは…」と見つめることができたなら子どもは前に進める。教師の反省も深くなる。このような ことについて、討論する場を作るべきだと思う。	男性	60代
	子どもの教育に力を入れてほしい。世界に通じる人になるために英会話が自由にできる人に、自分 の考えをきちんと発言できるコミュニケーションができる人に、そして皆が幸福な次世代を担える 人になるような教育に力を入れてほしい。 老人が安心して暮らせる福祉に力を入れてほしい。	女性	70代以上
	福祉や教育に力を入れてほしい。特に、最近の学校は上（国や県）からの締め付けが厳しく、先生 たちは多忙化し、余裕がなくなっているようです。先生が安心して勤められる学校でなければ、よ い子は育たないと思います。	女性	70代以上
	猫の放し飼いで困っている家族がたくさんあります。私もですけど、犬と同じく放し飼いは禁止す べきです。屋根やテラスなど壊されても何も言えないし、本当に困っています。何とかして下さい。	女性	30代
	役場は道路整備や庁舎に税金を使いすぎると思います。もっと公園整備や商店街の活性化、町営住 宅の建て替えなどに力を入れ、町外から人を呼び込むことを考えるべきです。	男性	40代
	みんなが安心して暮らせるようよろしくお願いします。	男性	50代
	近くにショッピングセンターが一箇所もない。	女性	50代
	高齢者や子どもが住みやすい県になる事を期待します。	男性	50代
	暮らしを豊かにする工夫をいろいろな分野で考えて試すことができる社会になるよう、努力される ことを願っています。	女性	50代
	子どもや老人が安心して安全な生活が送れるようにしてほしい。	男性	50代
	安く安全に楽しく元気良く暮らせる県。他県民（外国人も含む）が多数訪れる県にしてほしい。な んとなく福岡県が羨ましい。暮らしやすく元気があると思う。ドームとかウォーターフロント等の 施設が少ない。	男性	60代
	高齢者が安心して暮らせるような世の中にしてください。	男性	60代
	多久市には大きな商業施設がないので、やや不自由しています。	女性	60代
	大きな病院・博物館・美術館・文化会館、全部、市内中心部にあります。地方に住む者は不公平を 感じます。このアンケートも住んでいる場所、ブロック別に実施しないと意味ないと思います。腹 立たしささえ覚えました。	女性	60代
	佐賀市に住んでいるのですが、農政区域とか言っって、家が建てられないのは困ります。子どもが少 ないと言って家が建たないと増えません。考えて下さい。	女性	70代以上
	地域の安心・安全に力を入れてほしい。	女性	70代以上
	専門医がないので遠くまで行かなければならない。仕方ないことだけれども辛抱するのが辛い。	不明	70代以上
	佐賀に転居して2年。まだ地域になじめていないので、今回のアンケートに答えるのが難しかった。 ただ県の中心地にしては、そこはかとなく、さみしさを感じます。地域の活性化がんばってくだ さい。	女性	20代
	働ける場と娯楽を増やしてほしい。福祉にも力を入れてほしい。	女性	20代
	人が集まるような県にして下さい。福岡のダサイ植民地のイメージを脱却して下さい。	女性	30代
	佐賀市アーケード跡地の、又は、市街地の観光スポット作りに力を入れてほしい。人が集まれば、 人も企業も町もすべてがうるおい活気にあふれますしね・・・。	女性	30代
	農林水産業の発展、雇用の充実、福祉の充実、商工業を含めた地域の活性化に力を入れてほしい。	男性	30代
	大きな発展の為に地域をつぶさない県政を望みます。地元の店がちゃんと成り立つように、大型店 の出店とかは検討してほしい。職人さんとか服店はほとんど閉店。買い物は豆腐1丁でも車で15分 かかる生活になっています。年をとったら生活できないのではと不安です。車生活で地域の人の 交流も少なくなりました。	女性	40代
	佐賀は福岡にも1時間程度で行けて、温泉もありいいところだと思う。全国的に馬鹿にされるのが おかしいと思う。佐賀牛、有田焼などブランドもあるのに栄えないのはなぜ？若者の都会への流出 が・・・。憧れる時期があるのはわかるが、「戻ってきたい佐賀」を目指して頑張ってもらいた い。	女性	40代

佐賀県全市町村の活気を取り戻して欲しい。多久市など商業地域から距離がある地域の交通手段の充実化。	男性	40代
活気ある佐賀県にしてほしい。福祉施設の職員の希望に力を入れてほしい。	男性	60代
佐賀市街（特に昔の松原アーケード街）をもっと美しくしてほしい。福祉をよくしてほしい。ムダをはぶいてほしい。新幹線について、強引に決めるといったことはしないでください。	男性	60代
①特に佐賀駅周辺から中央大通りにかけてもっと活気溢れる人が集まる町づくりをしてほしい。 ②バルーンフェスティバルもバルーンが飛ばないことも多いので、そういうときでも楽しめるイベントづくりをしてほしい。 ③佐賀県はただの通過点と言われたいのためにも、また、県外から観光に来てもらうための町づくりをしていてもらいたい。	女性	60代
佐賀市の中心街の活性化、商店街の復活。大型ショッピングセンターを中心街への誘致。地元商店街の人たちとの広い駐車場への協力建設へ。多久市にも大型ショッピングセンターを。若者も集まってくるようなショッピングセンター（有名なファーストフード店が入居した）。	男性	60代
県東部の発展のテコ入れを望みます。	男性	70代以上
農家が自立して農業を営めるよう、税金を使ったサポートではなく勉強会、講演会などをさかんに行ってほしい。税金からの補助金をもらうために営農計画をしている現状は、農家にも県民にとっても悪循環であると思う。他県の好例を県内で取り組む環境が整えば、後継者も増えるのではないだろうか。	女性	30代
農業の末端にもっと見てほしい。今や兼業農家ではともにつぶれてしまいそう。	男性	40代
農業に対して考えてほしい。	女性	60代
農業の振興（農協だよりの気がする）。 高齢者の福祉、子どもの医療費低下など。	男性	60代
農家には後継者が、なぜ出来ないか。農業所得が少ないので苦しい生活になっている。肥料や農薬等は年々上がる。生活するには現金が必要である。農業外での収入がほしい。農地を荒廃させない様に頑張っている現状です。	男性	70代以上
佐賀県は農業県だから、農業に力を入れてほしい。農家に収入がなく困っている。税金を多く払う農家にしてほしい。	男性	70代以上
県政とは申しませんが、国が行った減反政策により猪が繁殖して農地が荒らされている。	女性	70代以上
農林業に力を入れてほしい。	男性	50代
毎日が農業の日々です。それが私の一日です。食糧危機に向って頑張っています。日本産の農産物、水産物をたくさん消費してもらえよう日本経済になってほしい。	男性	50代
①下水道基盤の早急な改善（他県と比較して劣っている）。 ②老人福祉の充実。 ③農業の改善（休耕田が多く見られる）。もったいない。 ④自然の美しさを最大限生かす行政。	男性	50代
市または県に公園や住宅をつくってほしい（安く）。	女性	50代
情報化に力を入れて欲しい。	男性	30代
情報が隅々までしっかり伝わる県政をお願い致します。いいことが行われていても知らない。よくわからない人が多いのでは。	女性	40代
警察の接客を改善してほしい。	男性	40代
県にとって重要なことへの取り組みが積極的ではない。予算が少ないこともあると思うが、自然環境に対する対応が手緩いと思う。二酸化炭素の減少対策にしても、具体的な対策が少ないどころか、むしろないに等しいと思う。	男性	60代
住みやすい町にしてほしい。	女性	20代
水産・加工場等の活力がないので、生活水準が低いと思います。	女性	20代
災害時の避難場所等、すべての地域で体制を整備する。 過疎対策。	女性	50代
ボーリング場やプールや娯楽施設が少ないと思う。映画館も少ないと思う。	男性	20代
このようなアンケートによる調査は良いアイデアだと思います。県民一人ひとりの小さな声を取り上げ、これからの県政に是非役立たせてほしいですね。県民自身が「住みやすい県」と自負できる県にしていきましょう！頑張ってください。	女性	20代
佐賀県になにも期待していません。	女性	20代
これは県政に求める事ではないかもしれませんが、不況を“打破”してほしいです。	男性	20代
佐賀県はあんまり好きじゃないけど、吉野ヶ里町は大好きです。	女性	20代
佐賀で生きていきたいので、仕事できる、楽しく暮らせる地域になってほしい。市のごみ処理センターの対応が悪い。	男性	30代
毎年記入しているアンケート。実際に社会・県政に役立ててください。	女性	30代
アンケートの質問の仕方の順番が逆だったら良かったと思います。（問1、2、3を最後に。答えているうちに考えさせられるので）。正直、佐賀県に住んでおきながら、目は「福岡」へ向いています。もっと県政の事に関心を持たなくてはと反省しています。良いきっかけを与えてくださってありがとうございます。佐賀県に目を向け、もっと住みやすい県にして、他県にうらやましがられるような佐賀県にしていきたいですね。	女性	30代
特に期待する事はありません。将来は佐賀を離れるよう考えている為。	男性	30代
ふだん思っている事を書く事ができてよい機会になりました。ありがとうございます。	女性	30代
住みやすい佐賀県、他県の人に自慢できる佐賀県にしてほしいです。	女性	30代

最後のページで性別などを聞かれています、これだけの情報があれば無記名の意味がないのではないのでしょうか。誰なのか大体わかると思いますが。	女性	30代
このアンケートをムダなく政策に反映してほしい。	男性	30代
アンケートの量が多すぎて、とても大変でしたが、一つ一つ答えてゆく中で、いろんな気づきがありました。田舎の不便さの裏側には、田舎の良さもありました。これからも、ますますよい県になりますように、よい日本になりますように、よい世界になりますように、心から祈っています。	女性	30代
人が生きるということをもっと見つめ直して頂きたい。原発の愚かさに気付いて頂きたい。地球に負の遺産を残さない仕事をして頂きたい。原発廃止して下さい。一住民の声に耳を傾けて下さい。都合のいいところだけ利用するのはやめて下さい。	女性	40代
アンケートのすみのほうに書いてあるイラストはいいと思います。とくに食べんばくんがうちの息子にそっくりです。	男性	40代
私は県外から佐賀に移り住んで20年になります。佐賀はどんどん住みやすい街(佐賀市内)になっていると感じます。一方、市以外は限界集落の話も時々聞きます。前知事さんの「住みたい県日本一」というのが私は好きで、そういう県になってほしいと思っています。「住みたい県、住み続けたい県」。自然と歴史、充実した教育、子育てには良い環境だと思います。若い世代の人が住みたくなる街づくりを。そして若い世代が高齢世代を支えていけるとよいなと思います。自分が日頃目を向けないことについては回答しにくかった。自由意見を書く欄がたくさんあるのがうれしかった(選択肢では伝えられないので)。	女性	40代
知事は素晴らしいです。よろしく願い申し上げます。	男性	40代
佐賀県らしさを追求してもらいたい。	男性	40代
関係ない事ですが、名前を間違えて送ってありました。	女性	40代
皆が利用出来る図書館をもっと充実してほしい。車イス…通路が狭い。小さいお子さん…座敷等。放課後の子ども達の居場所の一つ(ルールを守る事を条件に)。	女性	40代
間に対して理由がわかりにくい。	男性	50代
封筒に県で3,000人の方を無作為に選んでお願いしていますと書いてあったと思いますが、前回も同じようなアンケートに答えました。1回答えた人は選ばれないようにしていただけないでしょうか?よろしく願います。いろいろな方から回答してもらった方がいいと思います。	女性	50代
自分にはあまり関係ない質問は答えにくかった。今後、アンケートの情報を生かした政策をしてほしい。	女性	50代
県外に出て、はじめて佐賀の良さがみえてきます。昔からの風景(クリークのある佐賀平野、大楠、広い空etc)など、佐賀らしいものは残してほしいです。このアンケートで意見を少し言えてよかったです。	女性	50代
この様なアンケートは初めてであり、回答は難しかったです。	男性	50代
多すぎる。	女性	50代
今の時代、未婚の男女がいますね。佐賀県で特例をつくって、25歳になったら結婚をする。みたいなことをやってみたらどうですか。	男性	50代
とても難しかったです。自分自身、佐賀県のことをあまり知らないことがわかりました。佐賀県がいろいろなことに頑張っていることは感じていますが、今、何に力を入れているのか、どうしたいのか、なかなか見えない部分があります。これからも頑張ってください。期待しています。	女性	50代
誠実に答えようとするとますます難しかった。本人がいないので母親が書いた。県政に対して、国政に対してなど、日頃は考えないことをしっかり考えるよい機会になりました(今はパートで働いているが、以前の農業だったので、今の農政や今後の佐賀のあり方なども)。	女性	50代
設問に対して答が合っていない。答えのしようがない問が多い。	男性	50代
質問のテーマ毎にアンケートの対象を絞った方法の方が、より具体的な意見が出ると思う。	男性	50代
今、若い人はもう少し働くことへの意欲を持ってほしいと思う。	女性	60代
この調査票を記入するのに、ちょっと苦労しました。それだけ日頃から自分が県政のこと、社会のこと、地域産業のことなどに目を向けていないことを知り、あまりの無知さに恥ずかしくなりました。今回3000名の一人に選ばれて、真剣に考える場をいただいたこと、ありがたく思いました。	女性	60代
少し理解しづらい説明がある。	男性	60代
自分個人の事はわかるけど、自分に関係ない項目は回答しづらいので、関知していないので不明の項目を。わからないでもよい。	男性	60代
あまりありません。これからは自分たちも福祉にお世話になる年齢だからです。	女性	60代
感謝しています。	女性	60代
他県から移住してきた者です。美しい田舎の中で生活していますが、風習の違い等を感じながら佐賀県大好きになると思っています。県庁、市町村、これからもっと知り、なにか役立つことがあれば活動してみたいと思っています。	女性	60代
県職員と会う機会が無い。	男性	60代
自由意見の欄が少なすぎて書く気になれないが多かった。イラストや空白欄が多すぎる。素人は意見をまとめるのが下手だから、無駄な言葉も多いと思われるが、プロではないから仕方がない。そのためにも意見欄は思いきって多く取るべきだと思う。	男性	70代以上
調査対象を選ばれるのを考えられたらと思いました。高齢者2人暮らしには答えられないことが多かった。	女性	70代以上
県の機関に最近入ったことがないのでわかりませんが、私ども保険会社関係でも昼食時間を割いて対応している会社があり、感心しています。	男性	70代以上

県職員をあんまり虐めないで。話を聞けば（家の者でない）、県庁職員さんが8時1、2分遅れで駆け込んでこられるのを見てすぐTELして、その職員は「なっとらん」とか言われたり、今の人は何か心から腐りかけているのでは。それを聞いてほんとうに今の人に昔を見せたい！！思いやる心を忘れてる世の中。	女性	70代以上
孫が県内で頑張りたい。結婚したい。	女性	70代以上
このアンケートはなるべく若い人へお願いします。	女性	70代以上
年金の少ない人も多勢います。低所得のことも考えて下さい。	男性	70代以上
後期高齢者に聞かれてもわかりません。	女性	70代以上
無作為でなく、若い人を選んでほしい。将来性を望むためにも、いろんな活性化ができるようにと思いました。ニュース等は聞くけど、回答に当たっては適切な○印はできなかった。	女性	70代以上
はっきりと申します。私たち老人には考えるにとても難しいです。もっと若い人にアンケートを出してください。頭が悪いから特にイヤです。批判ではないですよ。これで協力ができれば幸いです。	男性	70代以上
この調査は難しく調査の目的達成、当局での活用が生かされるか疑問である。調査の内容を簡潔にしてほしいです。無記名ではなく記名とした方が、適正な回答が得られると考えられる。	男性	70代以上
生涯学習面で佐賀で全国大会を考えているが（500名くらい）、県から何らかの対応が得られるだろうか。500名を佐賀に・・・とした場合、相当の経済効果も望めると思うので考えてほしいのですが・・・。	男性	70代以上
今、自分の立場と現在の暮らしから考えて、自分の思いのままに回答させてもらったので色々と質問にあてはまらない所もあって、自分の思いだけで回答させていただきました。	男性	70代以上
親切でわかりやすい質問の仕方であったと思います。	男性	70代以上
県政の事はあまりわかりませんが、佐賀県は住み良い所と思います。今のままで幸せです。県職の皆様これからもよろしくお願い致します。	女性	70代以上
年金は減る一方、払う事が多い（税金など）介護。	男性	70代以上
家族より。本人の意見80%、家族の意見20%の回答率です。県の職員の方、県民の幸福のため頑張ってください。本人談です。	女性	70代以上
各項目についての意見以外に、信頼された人の現在の状況を把握できるような質問の方法を取ってもらえると良いのではと思います。どの様な生活状態かとか、何に困っているか等、個々の生活を知ってもらえたらと思います。	女性	70代以上
移転して年月が少ないので当地の事は殆ど分かりません。協力出来なくて申し訳ありません。	男性	70代以上
この何十年の間、結婚しない人が男女を問わず多くなっています。生活の基礎は結婚と子育て、社会とのつながりと職場を離れたところに多くあります。人間の智恵もその間で生まれます。どうすれば結婚させる社会になるのでしょうか。私の身の回りにも多くの人が一人がいいと結婚しない人がいて心配です。	女性	70代以上
後期高齢者に質問に対して十分な答えができませんでした。	女性	70代以上
終戦によって零下30度のハルビンから夫の故郷に引き上げてきました。80歳代の私にアンケートとはびっくりですが、気楽に書きました。私の故郷は雪国なので、冬が訪れても雪を見ない佐賀は天国でしょうか。人情は雪国の方が濃いように思います。	女性	70代以上
近年、適齢期を過ぎた未婚の男女が多すぎる感がある。私の周りにも数多くいます。各々に事情はあると思うが、行政としての手助けが必要ではないかと思う。例えば、公立の結婚相談所とか集団見合いとかその他・・・。	男性	70代以上
老人にこんなアンケート送られても困りました。私達老人は世の人々に迷惑をかけないように生きていくのが精一杯です。	不明	70代以上
この度のアンケートを頂いて自分の関心のなさを実感しました。勉強になりました。1人暮らしが安全に過ごせますように、女性は特に不安です。おまわりさんの巡回や、自治会の活動をよくしてください。	女性	70代以上
税務署に行きましたが、とても親切で丁寧でした。	不明	不明